

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査
〔高齢者・在宅介護者・介護保険事業者〕
報 告 書

令和5年（2023年）3月



茨 木 市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査設計及び回収結果	5
4 報告書の見方	6
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果	7
1 回答者の属性	7
（1）性別	7
（2）年齢	8
（3）居住地	8
（4）家族構成	9
2 介護・介助の状況について	10
（1）介護・介助の必要性	10
（2）主な介護・介助者	12
（3）経済的な現在の暮らしの状況	13
3 からだを動かすことについて	15
（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	15
（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること	16
（3）15分位続けて歩くこと	17
（4）運動の頻度	18
（5）1日の座位時間	19
（6）過去1年間に転んだ経験	20
（7）転倒に対する不安	21
（8）週あたりの外出頻度	22
（9）徒歩で出かける範囲	23
（10）昨年と比べた外出の回数	24
（11）外出の控え	25
（12）外出を控えている理由	26
（13）外出時の移動手段	28
4 食べることについて	31
（1）身長と体重	31
（2）6か月間での体重減少	33
（3）半年前に比べて固いものが食べにくくなること	35
（4）歯の数と入れ歯の利用状況	36

(5) 誰かと食事をともにする機会	37
(6) 1日の食事回数	39
(7) 食生活改善の意向	41
5 毎日の生活について	42
(1) 物忘れが多いと感じること	42
(2) バスや電車を利用した一人での外出	43
(3) 自分で食品・日用品の買物をする	44
(4) 自分で食事の用意をする	46
(5) 食事の確保	48
(6) 自分で請求書の支払いをする	50
(7) 自分で預貯金の出し入れをする	51
(8) 新聞、本、雑誌を読む	52
(9) 健康についての記事や番組への関心	53
(10) 趣味・生きがい	55
(11) 日常生活で使用している情報通信機器	59
(12) 日常生活での困りごと	65
6 地域での活動について	68
(1) 地域活動の参加頻度	68
(2) 地域活動に参加者としての参加意向	76
(3) 地域活動に企画・運営としての参加意向	77
(4) 地域活動に企画・運営として参加する際の報酬の必要性	78
(5) 利用したいと思う居場所	79
7 たすけあいについて	80
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	80
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	81
(3) 看病や世話をしてくれる人	82
(4) 看病や世話をしてあげる人	83
(5) 相談相手（家族・友人・知人以外）	84
(6) 手助けできること	86
(7) 近所や地域の人に頼みづらいこと	89
(8) 近所や地域の人に頼みづらい理由	92
8 健康について	93
(1) 主観的健康感	93
(2) 主観的幸福感	97
(3) 健康や介護予防、認知症予防のために取り組んでいること	101
(4) 飲酒の状況	108

(5) 喫煙の状況	109
(6) ゆううつな気持ちになったりすること	110
(7) 物事に対して心から楽しめない感じること	114
(8) 耳の聞こえの状態	115
(9) 補聴器の使用	116
(10) 補聴器を持っていない理由	118
(11) 現在治療中または後遺症のある病気	119
(12) かかりつけの医療提供者	125
(13) 趣味や交流活動を実施していること	126
(14) 自主的な健康診断の受診状況	128
(15) 健康診断の受診頻度	129
9 認知症について	130
(1) 自身や家族に認知症の症状がある人がいること	130
(2) 自身が認知症になったときに期待する支援	131
(3) 家族が認知症になったときに期待する支援	133
(4) 認知症に関する相談窓口の認知度	135
(5) 知っている認知症に関する相談窓口	136
(6) 認知症に関する市の事業の認知度	138
10 人生の最期について	142
(1) 終活の認知度	142
(2) 人生の最期について家族と話し合うこと	143
(3) アドバンス・ケア・プランニングの認知度	144
(4) アドバンス・ケア・プランニングの取組	145
(5) 介護を受けたい場所	146
(6) 在宅での看取り	147
(7) 看取りを可能にするために必要なこと	148
(8) 医療・療養について話し合うきっかけ	149
11 自然災害の備えについて	150
(1) 災害時における自宅周りの避難所・避難場所の把握	150
(2) ハザードマップの認知度	151
(3) ふだんの備え	152
(4) 準備をしているふだんの備え	153
12 高齢者施策全般について	154
(1) 重点を置くべき施策	154
(2) 重点を置くべき施策の内容	156
(3) 成年後見制度の認知度	159

(4) 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先	160
(5) 高齢者虐待を防止するための地域における取組	162
13 生活機能評価等に関する分析について	164
(1) 転倒	164
(2) 運動器	166
(3) 閉じこもり	168
(4) 栄養	170
(5) 認知	172
(6) うつ	174
(7) 手段的自立度 (I A D L)	176
第3章 在宅介護実態調査の結果	179
1 回答者の属性	179
(1) 性別	179
(2) 年齢	179
(3) 居住地	180
(4) 要介護度	181
(5) アンケート記入者	181
(6) 世帯類型	182
(7) 介護・介助が必要になった主な原因	182
(8) 施設等への入所・入居の検討状況	183
(9) 介護保険サービスの利用の有無	184
(10) 1か月間の介護保険サービスの利用状況	185
(11) 家族等による介護の頻度	186
2 主な介護者について	187
(1) 介護のための離職の有無	187
(2) 主な介護者の年齢	187
(3) 介護の期間	188
(4) 介護者の人数	188
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	189
(6) 主な介護者自身の不安	189
(7) 主な介護者自身の困りごとの相談相手	190
(8) 主な介護者の勤務形態	190
(9) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	191
(10) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	192
(11) 就労していない理由	192
(12) 介護が終了した後の介護者自身の就労意向	193

(13) はつらつパスポートの利用状況.....	193
第4章 介護保険事業者調査の結果.....	195
1 法人の概要.....	195
(1) 法人種別.....	195
(2) 現在提供しているサービス.....	196
2 サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について.....	198
(1) サービス提供に対する自己評価.....	198
(2) 介護保険サービス以外の事業の実施状況.....	198
(3) 運営やサービス向上のために必要な情報や支援.....	199
3 医療との連携について.....	199
(1) 医療機関との連携について取り組んでいること.....	199
(2) 医療機関との連携について困難に感じること.....	200
(3) 医療ニーズの高い利用者の受入状況.....	200
(4) 看取りの体制の整備状況.....	201
(5) 看取りができない(困難な)理由.....	201
(6) 施設(事業所)での看取りに係わった実人数.....	202
4 職員の処遇改善に向けた取組について.....	203
(1) 令和3年度における介護職員の採用人数.....	203
(2) 令和3年度における介護職員の離職人数.....	205
(3) 外国人介護職員の採用状況.....	207
(4) 職員の処遇向上のために取り組んでいること.....	208
(5) 利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策.....	208
(6) 利用者の人権や虐待防止に関する研修の実施状況.....	209
(7) 事業所でのICTの整備状況.....	210
(8) ケア倶楽部の閲覧頻度.....	211
5 自由意見.....	212
資料(調査票).....	213
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	213
2 在宅介護実態調査.....	222
3 介護保険事業者調査.....	225

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「茨木市高齢者保健福祉計画（第10次）・介護保険事業計画（第9期）」を策定するため、高齢者の生活状況を把握し、今後充実の必要なサービスに対するニーズを分析するとともに、高齢者福祉施策の検討に必要な資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査項目

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

区分	質問項目	設問番号	
アンケートの記入者		○	
1 回答者の属性	性別	問1	Q1
	年齢		Q2
	居住地		Q3
	家族構成		Q4
2 介護・介助の状況について	介護・介助の必要性		Q5
	主な介護・介助者		Q5-1
	経済的な現在の暮らしの状況	Q6	
3 からだを動かすことについて	階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	問2	Q1
	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること		Q2
	15分位続けて歩くこと		Q3
	運動の頻度		Q4
	1日の座位時間		Q5
	過去1年間に転んだ経験		Q6
	転倒に対する不安		Q7
	週あたりの外出頻度		Q8
	徒歩で出かける範囲		Q9
	昨年と比べた外出の回数		Q10
	外出の控え		Q11
	外出を控えている理由		Q11-1
	外出時の移動手段	Q12	
4 食べることについて	身長と体重	問3	Q1
	6か月間での体重減少		Q2
	半年前に比べて固いものが食べにくくなること		Q3
	歯の数と入れ歯の利用状況		Q4
	誰かと食事をともにする機会		Q5

第1章 調査の概要

区分	質問項目	設問番号	
	1日の食事回数		Q 6
	食生活改善の意向		Q 7
5 毎日の生活 について	物忘れが多いと感じること	問 4	Q 1
	バスや電車を利用した一人での外出		Q 2
	自分で食品・日用品の買物をする		Q 3
	自分で食事の用意をする		Q 4
	食事の確保		Q 4-1
	自分で請求書の支払いをする		Q 5
	自分で預貯金の出し入れをする		Q 6
	新聞、本、雑誌を読む		Q 7
	健康についての記事や番組への関心		Q 8
	趣味・生きがい		Q 9
	日常生活で使用している情報通信機器		Q 10
	日常生活での困りごと		Q 11
6 地域での活動 について	地域活動の参加頻度	問 5	Q 1
	地域活動に参加者としての参加意向		Q 2
	地域活動に企画・運営としての参加意向		Q 3
	地域活動に企画・運営として参加する際の報酬の必要性		Q 3-1
	利用したいと思う居場所		Q 4
7 たすけあい について	心配事や愚痴を聞いてくれる人	問 6	Q 1
	心配事や愚痴を聞いてあげる人		Q 2
	看病や世話をしてくれる人		Q 3
	看病や世話をしてあげる人		Q 4
	相談相手（家族・友人・知人以外）		Q 5
	手助けできること		Q 6
	近所や地域の人に頼みづらいこと		Q 7
	近所や地域の人に頼みづらい理由		Q 7-1
8 健康について	主観的健康感	問 7	Q 1
	主観的幸福感		Q 2
	健康や介護予防、認知症予防のために取り組んでいること		Q 3
	飲酒の状況		Q 4
	喫煙の状況		Q 5
	ゆううつな気持ちになったりすること		Q 6
	物事に対して心から楽しめないと感じること		Q 7
	耳の聞こえの状況		Q 8
	補聴器の使用		Q 8-1

区分	質問項目	設問番号	
	補聴器を持っていない理由		Q 8-2
	現在治療中または後遺症のある病気		Q 9
	かかりつけの医療提供者		Q 10
	趣味や交流活動を実施していること		Q 11
	自主的な健康診断の受診状況		Q 12
	健康診断の受診頻度		Q 12-1
9 認知症 について	自身や家族に認知症の症状がある人がいること	問 8	Q 1
	自身が認知症になったときに期待する支援		Q 2
	家族が認知症になったときに期待する支援		Q 3
	認知症に関する相談窓口の認知度		Q 4
	知っている認知症に関する相談窓口		Q 4-1
	認知症に関する市の事業の認知度		Q 5
10 人生の最期 について	終活の認知度	問 9	Q 1
	人生の最期について家族と話し合うこと		Q 2
	アドバンス・ケア・プランニングの認知度		Q 3
	アドバンス・ケア・プランニングの取組		Q 3-1
	介護を受けたい場所		Q 4
	在宅での看取り		Q 5
	看取りを可能にするために必要なこと		Q 5-1
	医療・療養について話し合うきっかけ		Q 6
11 自然災害の備え について	災害時における自宅周りの避難所・避難場所の把握	問 10	Q 1
	ハザードマップの認知度		Q 2
	ふだんの備え		Q 3
	準備をしているふだんの備え		Q 3-1
12 高齢者施策全般 について	重点を置くべき施策	問 11	Q 1
	重点を置くべき施策の内容		Q 1-1
	成年後見制度の認知度		Q 2
	虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先		Q 3
	高齢者虐待を防止するための地域における取組		Q 4

●在宅介護実態調査

区分	質問項目	設問番号	
1 回答者の属性	性別	A 票	問 1
	年齢		問 2
	居住地		問 3
	要介護度		問 4
	アンケート記入者		問 5

第1章 調査の概要

区分	質問項目	設問番号
	世帯類型	問6
	介護・介助が必要になった主な原因	問7
	施設等への入所・入居の検討状況	問8
	介護保険サービスの利用の有無	問9
	1か月間の介護保険サービスの利用状況	問10
	家族等による介護の頻度	問11
2 主な介護者 について	介護のための離職の有無	問1
	主な介護者の年齢	問2
	介護の期間	問3
	介護者の人数	問4
	主な介護者が不安に感じる介護	問5
	主な介護者自身の不安	問6
	主な介護者自身の困りごとの相談相手	問7
	主な介護者の勤務形態	問8
	主な介護者の方の働き方の調整の状況	問9
	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	問10
	就労していない理由	問11
	介護が終了した後の介護者自身の就労意向	問12
	はつらつパスポートの利用状況	問13

●介護保険事業者調査

区分	質問項目	設問番号
1 法人の概要	法人種別	問1
	現在提供しているサービス	問2
2 サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について	サービス提供に対する自己評価	問3
	介護保険サービス外の事業の実施状況	問4
	運営やサービス向上のために必要な情報や支援	問5
3 医療との連携について	医療機関との連携について取り組んでいること	問6
	医療機関との連携について困難に感じること	問7
	医療ニーズの高い利用者の受入状況	問8
	看取りの体制の整備状況	問9
	看取りができない（困難な）理由	問9-1
	施設（事業所）での看取りに係わった実人数	問9-2
4 職員の処遇改善に向けた取組について	令和3年度における介護職員の採用人数	問10
	令和3年度における介護職員の離職人数	問11
	外国人介護職員の採用状況	問12
	職員の処遇向上のために取り組んでいること	問13

区分	質問項目	設問番号
	利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策	問14
	利用者の人権や虐待防止に関する研修の実施状況	問15
	事業所でのICTの整備状況	問16
	ケア倶楽部の閲覧頻度	問17
5 自由意見		問18

3 調査設計及び回収結果

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象	要介護認定を受けていない高齢者及び要支援認定者
調査方法	郵送配布・郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年(2022年)11月28日～12月20日
配布数	3,000人
有効回答数	2,284人(郵送:2,172人、Web:112人)
有効回答率	76.1%

●在宅介護実態調査

調査対象	郵送及び認定調査員による聴き取り
調査方法	郵送配布・郵送及びWeb回収、認定調査員による聴き取り
調査期間	令和4年(2022年)11月28日～12月20日
配布数	2,000人
有効回答数	1,290人(郵送:1,224人、Web:66人)
有効回答率	64.5%

●介護保険事業者調査

調査対象	市内で介護保険サービスを提供している事業者
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年(2022年)11月28日～12月20日
配布数	188事業者
有効回答数	104事業者(郵送:72事業者、Web:32事業者)
有効回答率	55.3%

4 報告書の見方

- 図中の n (Number of case) は、設問に対する回答者数のことです。
- 回答比率 (%) は回答者数 (n) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0%を超えることがあります。
- 図表中の「MA%」(Multiple Answer の略) という表示は、複数回答形式の設問 (回答選択肢の中から「〇はいくつでも」選択する形式の設問) です。
- 回答者数 (n) が 30 人未満の場合、母数が少ないことから一概に適正な比率とは言えないため注意が必要です。
- 日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続しながら、多様なサービスが受けられるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案して定める区域のことです。茨木市では、32の小学校区を5つの日常生活圏域に設定しています。

エリア	圏域	
清溪 忍頂寺 山手台	北	
安威 耳原 福井		
豊川 郡山 彩都西		
太田 西河原		東
三島 庄栄		
東 白川		
郡 畑田 春日	西	
沢池 西		
穂積 春日丘		
茨木 中条	中央	
大池 中津		
天王 東奈良	南	
水尾 玉櫛		
玉島 葦原		



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

●調査目的

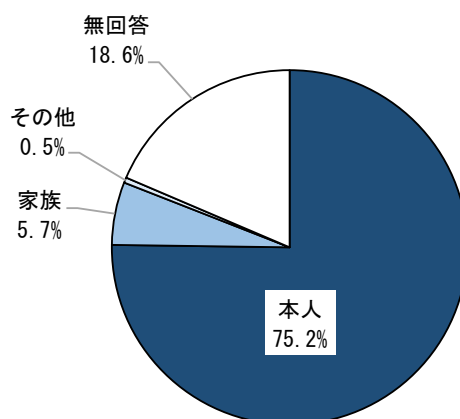
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、保険者が、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的として実施しました。

●アンケート記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。	○は1つ
--------------------	------

アンケートの記入者について、「本人」が75.2%で最も多く、次いで「家族」が5.7%、「その他」が0.5%となっています。

(n=2,284)



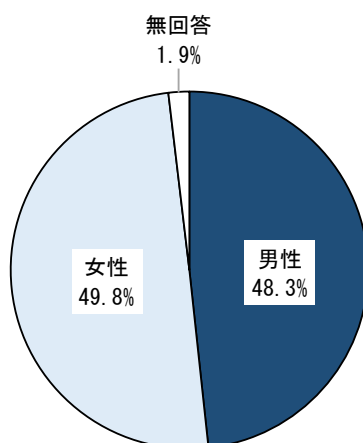
I 回答者の属性

(I) 性別

問 I	Q I	あなたの身体上の性別は。	○は任意
-----	-----	--------------	------

性別について、「男性」が48.3%、「女性」が49.8%となっています。

(n=2,284)

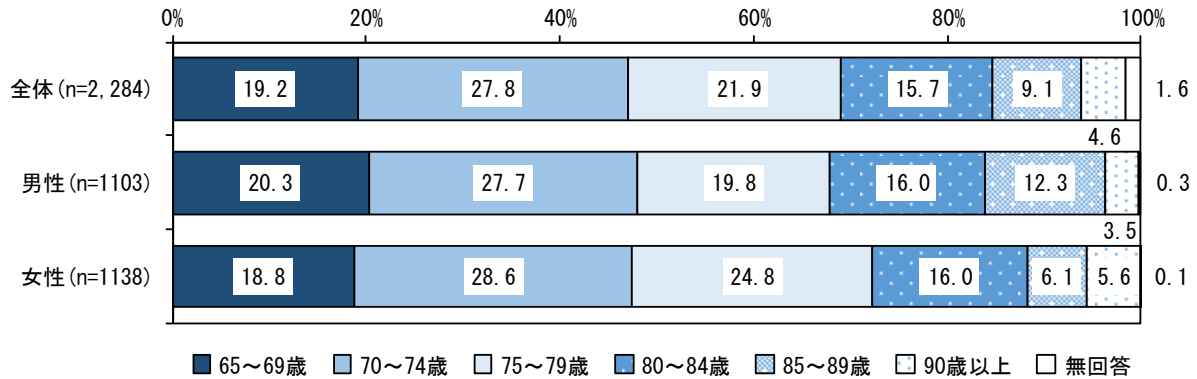


(2) 年齢

問1	Q2	年齢は、次のどれにあてはまりますか。	○は1つ
----	----	--------------------	------

年齢について、「70～74歳」が27.8%で最も多く、次いで「75～79歳」が21.9%、「65～69歳」が19.2%となっています。

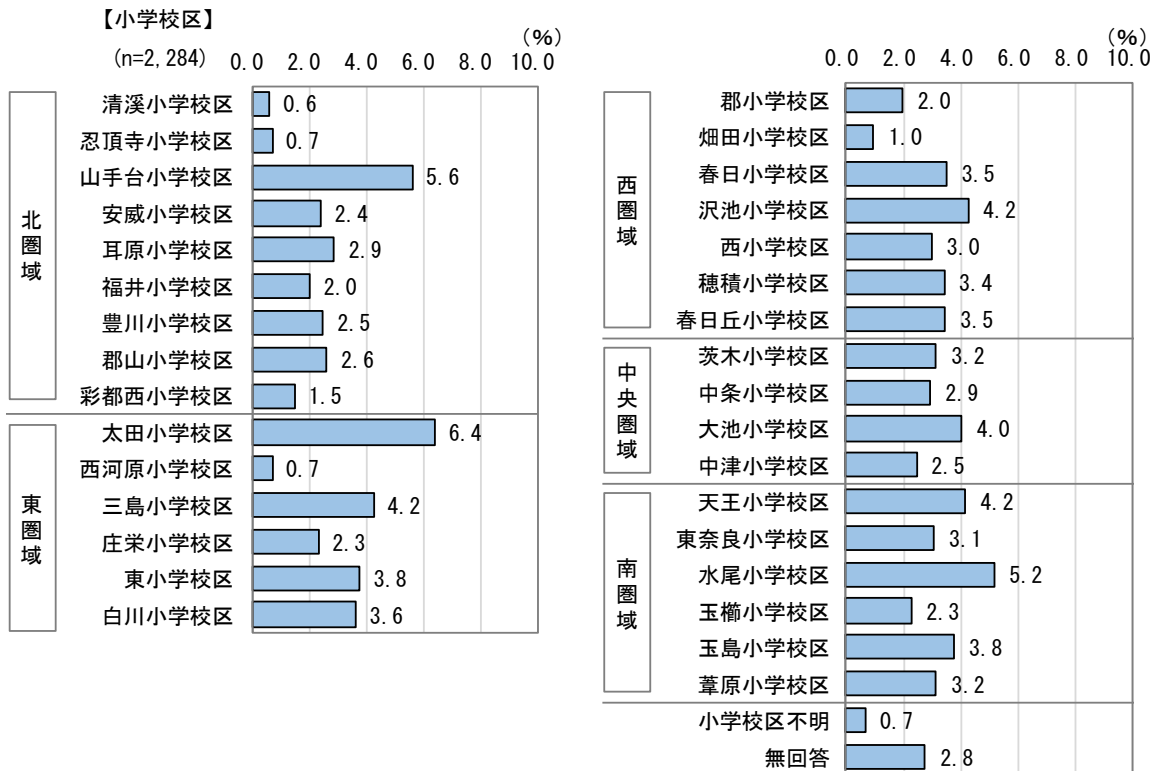
また、性別でみると、男女ともに「70～74歳」が最も多く、「男性」が27.7%、「女性」が28.6%となっています。



(3) 居住地

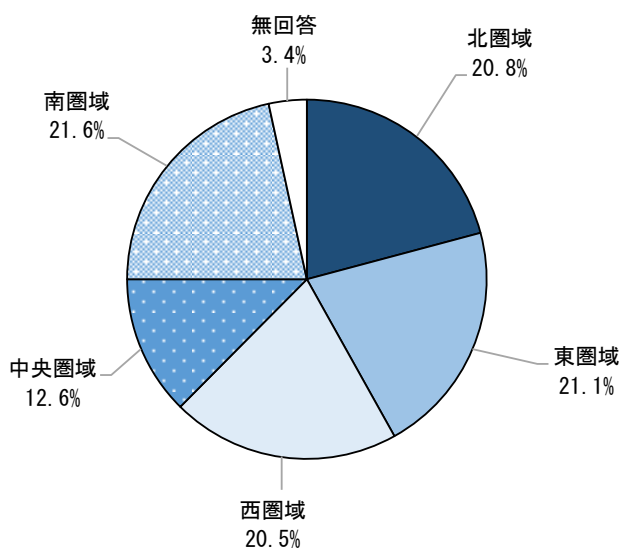
問1	Q3	あなたのお住まいの町名を教えてください。	記述
----	----	----------------------	----

居住地について、日常生活圏域別（以下「圏域別」という。）でみると、「南圏域」が21.6%で最も多く、次いで「東圏域」が21.1%、「北圏域」が20.8%となっています。



【日常生活圏域】

(n=2,284)

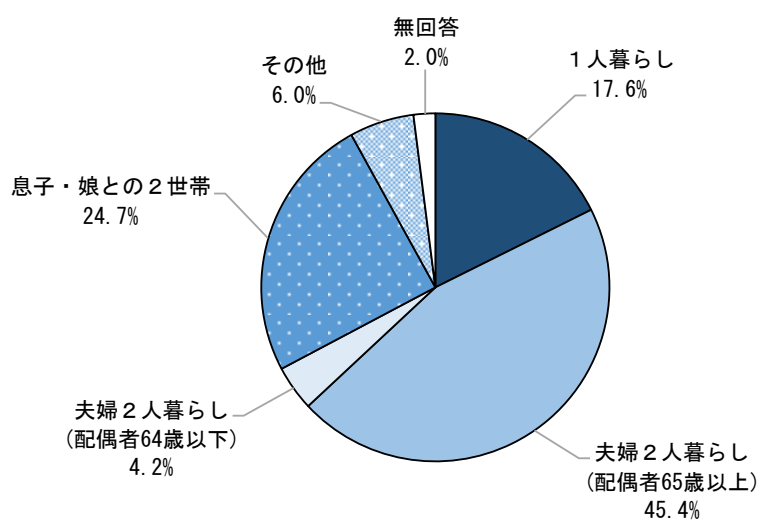


(4) 家族構成

問 1	Q 4	家族構成を教えてください。	○は1つ
-----	-----	---------------	------

家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が24.7%、「1人暮らし」が17.6%となっています。

(n=2,284)



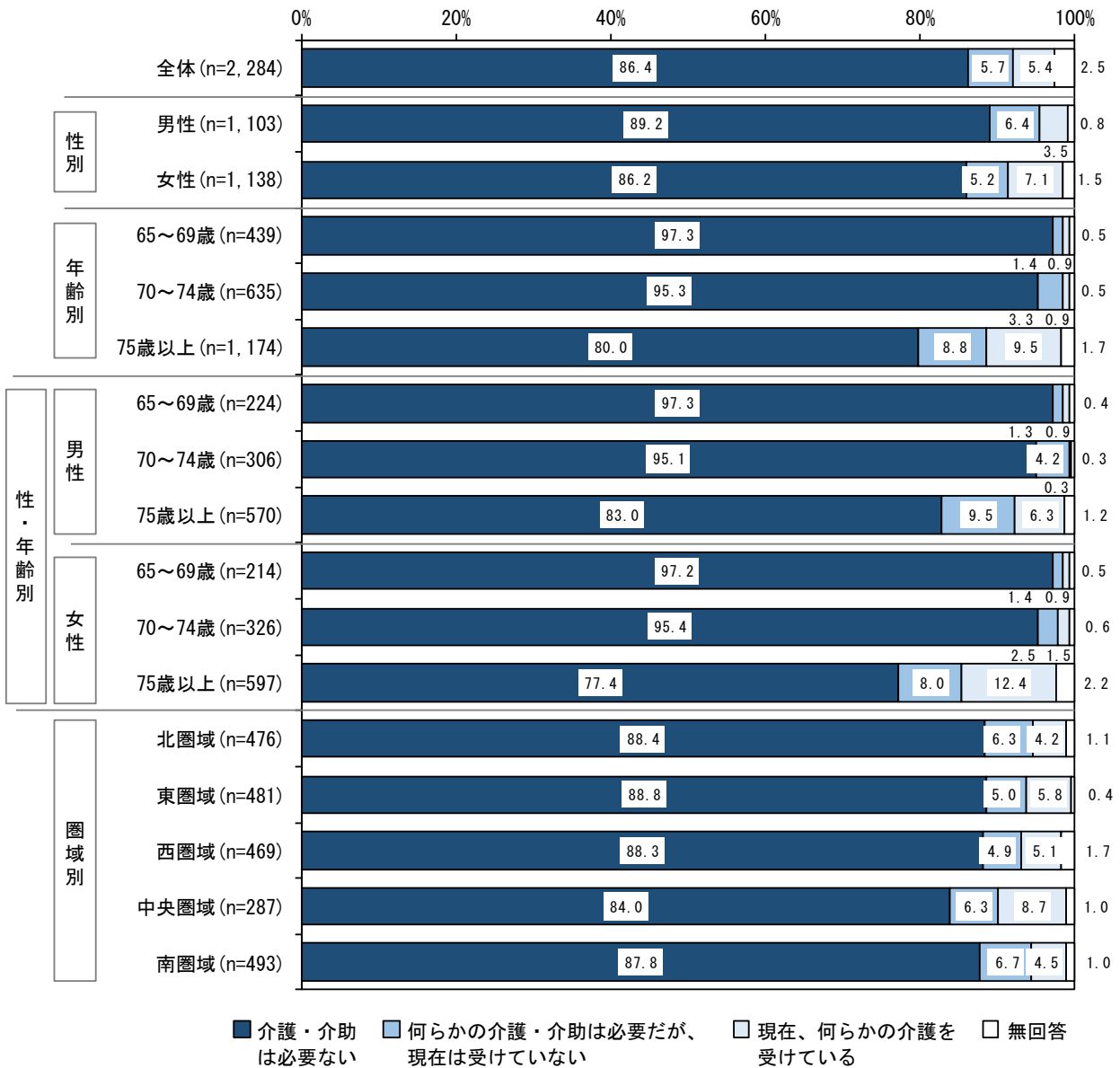
2 介護・介助の状況について

(1) 介護・介助の必要性

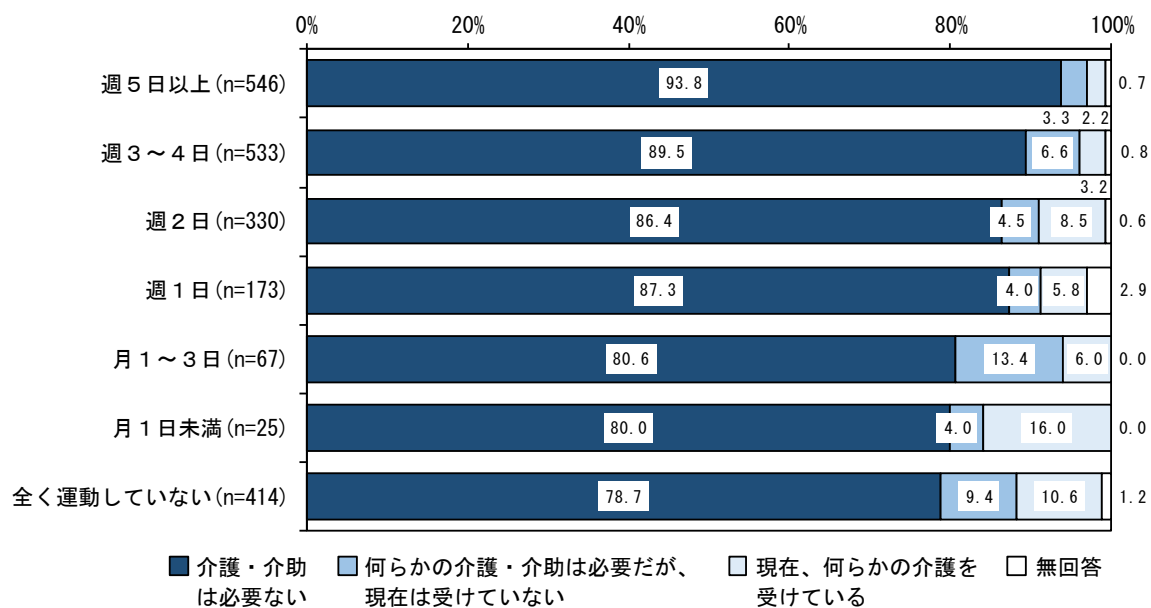
問1	Q5	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	○は1つ
----	----	------------------------------	------

普段の生活における介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が86.4%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.4%となっています。

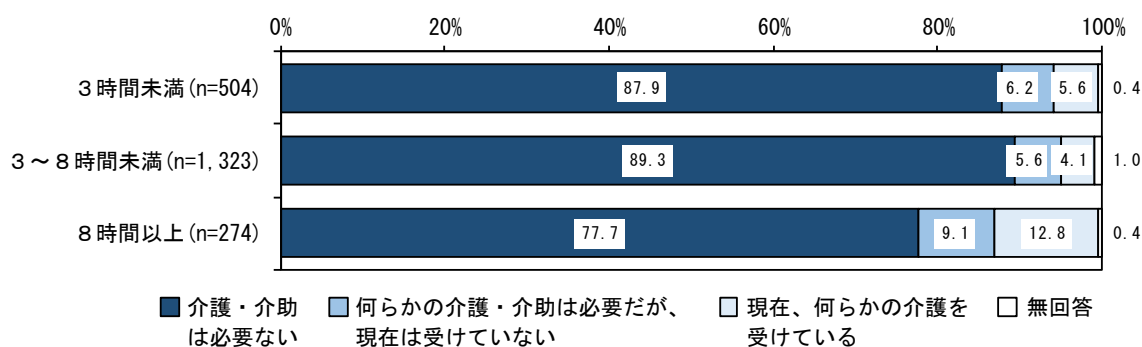
また、性別で見ると、「現在、何らかの介護を受けている」では「男性」が3.5%、「女性」が7.1%で、「女性」のほうが3.6ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が9.5%で最も多く、次いで「65～69歳」「70～74歳」が0.9%となっています。



運動の頻度別で見ると、「介護・介助は必要ない」では運動の頻度が上がるほど割合が高くなっており、「週5日以上」が93.8%で最も多く、次いで「週3～4日」が89.5%、「週2日」が86.4%となっています。



1日の座位時間別で見ると、「介護・介助は必要ない」では、「3～8時間未満」が89.3%で最も多く、次いで「3時間未満」が87.9%、「8時間以上」が77.7%となっています。



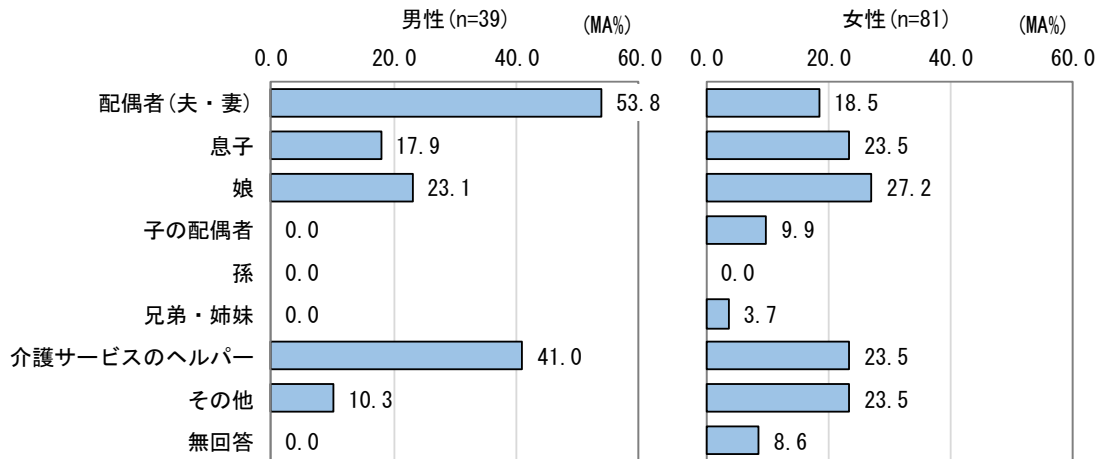
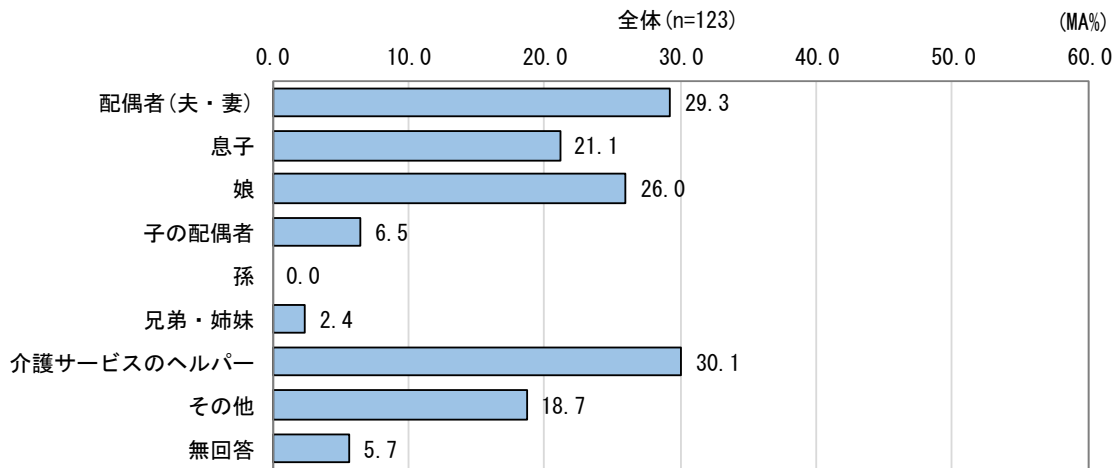
(2) 主な介護・介助者

【Q5で「現在、何らかの介護を受けている」を回答した人のみ】

問1	Q5-1	主にどなたの介護、介助を受けていますか。	○はいくつでも
----	------	----------------------	---------

現在、何らかの介護を受けている人に、主な介護・介助者について聞いたところ、「介護サービスのヘルパー」が30.1%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が29.3%、「娘」が26.0%となっています。

また、性別で見ると、「男性」では「配偶者（夫・妻）」が53.8%で最も多く、「女性」では「娘」が27.2%で最も多くなっています。

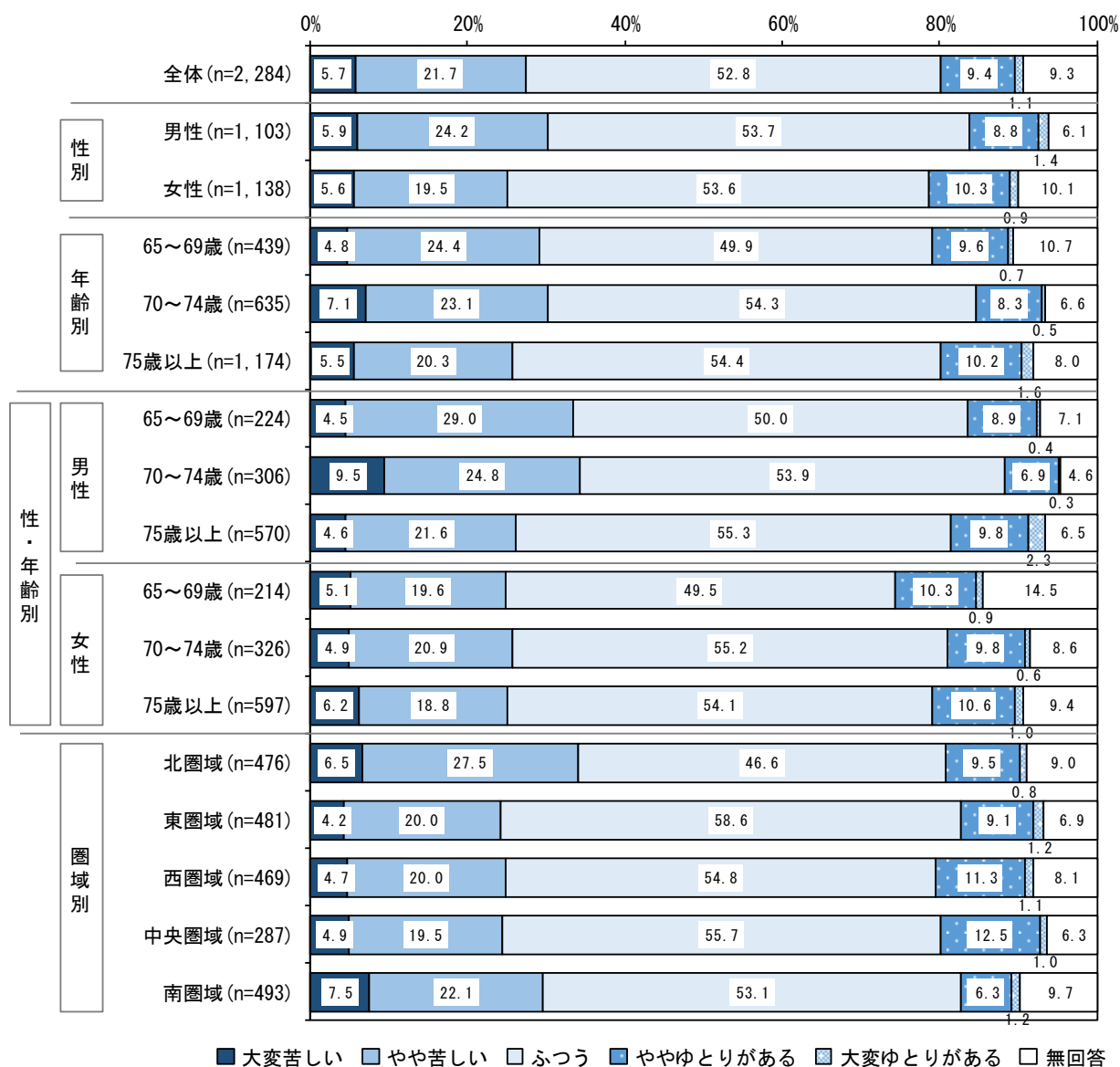


(3) 経済的な現在の暮らしの状況

問1	Q6	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	○は1つ
----	----	----------------------------	------

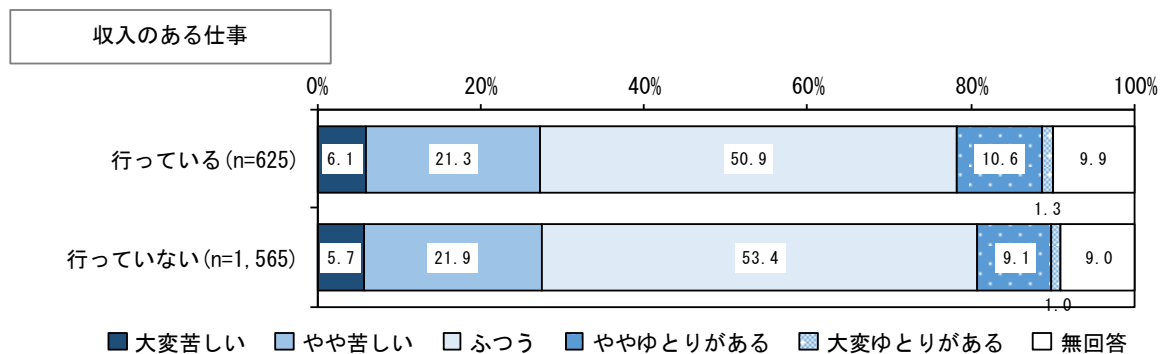
経済的な現在の暮らしの状況について、「ふつう」が52.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が21.7%、「ややゆとりがある」が9.4%となっています。

また、性別でみると、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）では「男性」が30.1%、「女性」が25.1%で、「男性」のほうが5.0ポイント多くなっており、年齢別でみると、「70～74歳」が30.2%で最も多く、次いで「65～69歳」が29.2%、「75歳以上」が25.8%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

「収入のある仕事」の有無別でみると、『苦しい』では「行っている」が27.4%、「行っていない」が27.6%で、「行っていない」のほうが0.2ポイント多くなっています。



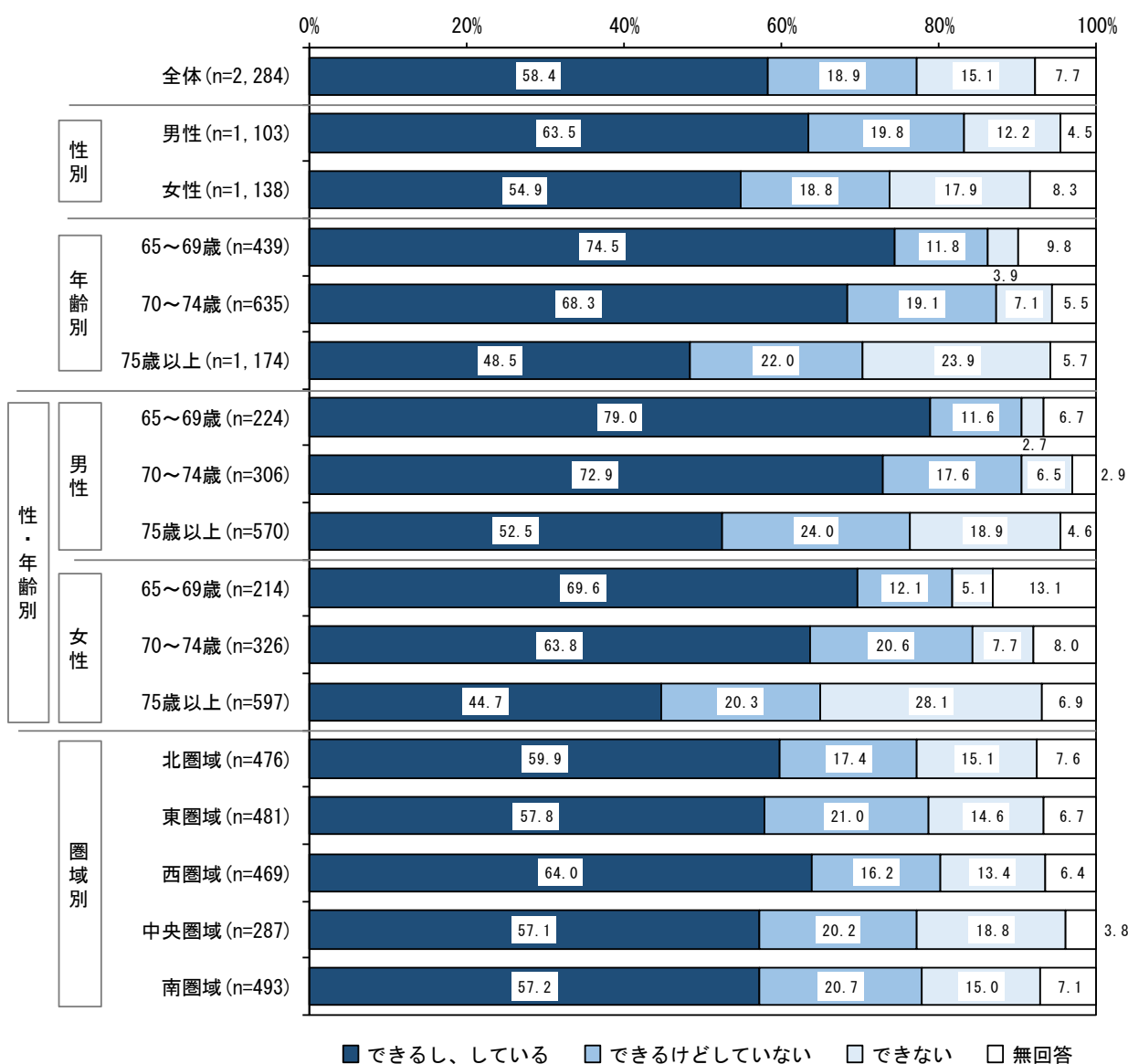
3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

問2	Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	○は1つ
----	----	------------------------	------

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「できるし、している」が58.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.9%、「できない」が15.1%となっています。

また、性別でみると、「できない」では「男性」が12.2%、「女性」が17.9%で、「女性」のほうが5.7ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が23.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が7.1%、「65～69歳」が3.9%となっています。

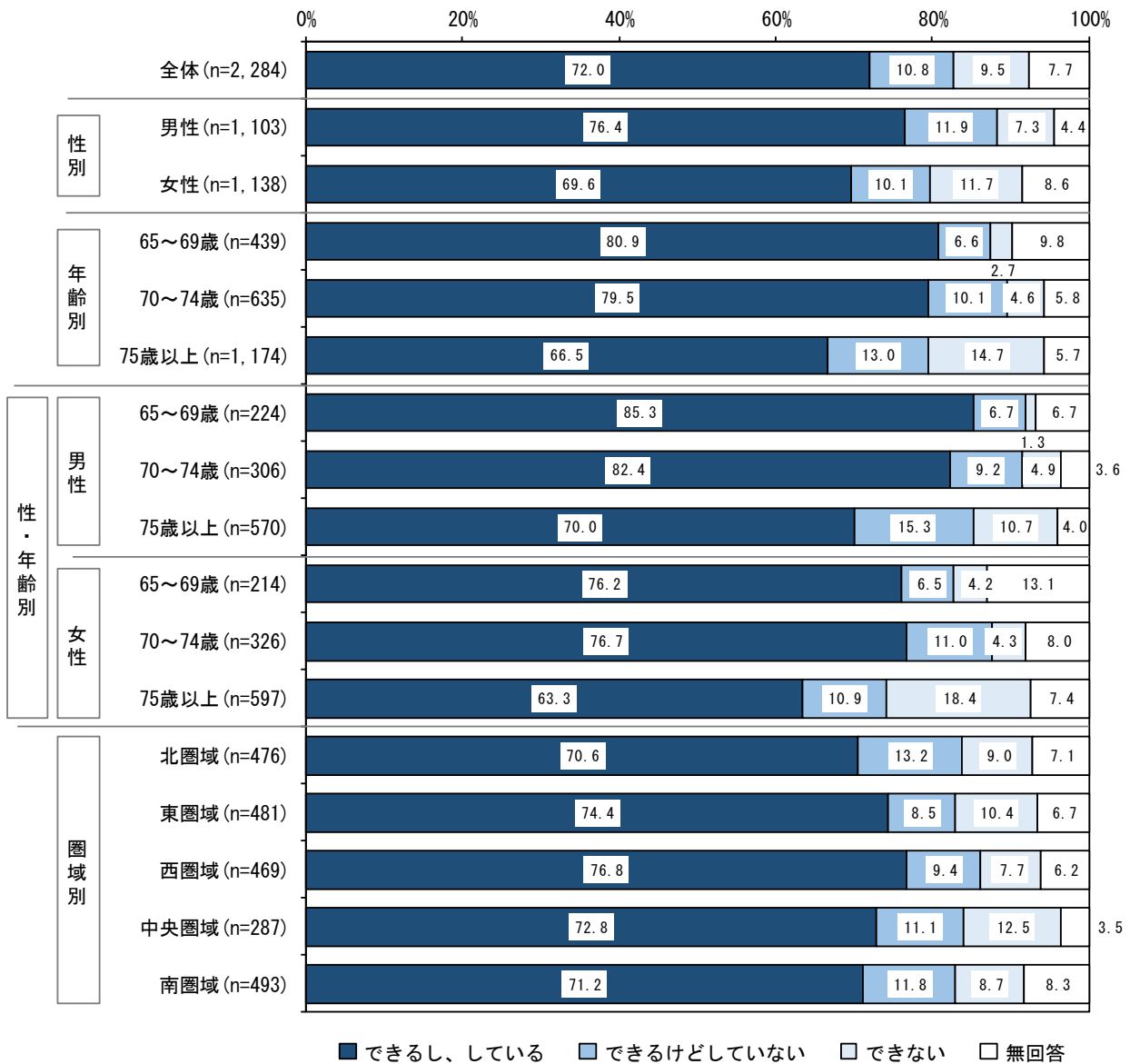


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

問2	Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	○は1つ
----	----	-------------------------------	------

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについて、「できるし、している」が72.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.8%、「できない」が9.5%となっています。

また、性別でみると、「できない」では「男性」が7.3%、「女性」が11.7%で、「女性」のほうが4.4ポイント多くっており、年齢別でみると、「75歳以上」が14.7%で最も多く、次いで「70～74歳」が4.6%、「65～69歳」が2.7%となっています。

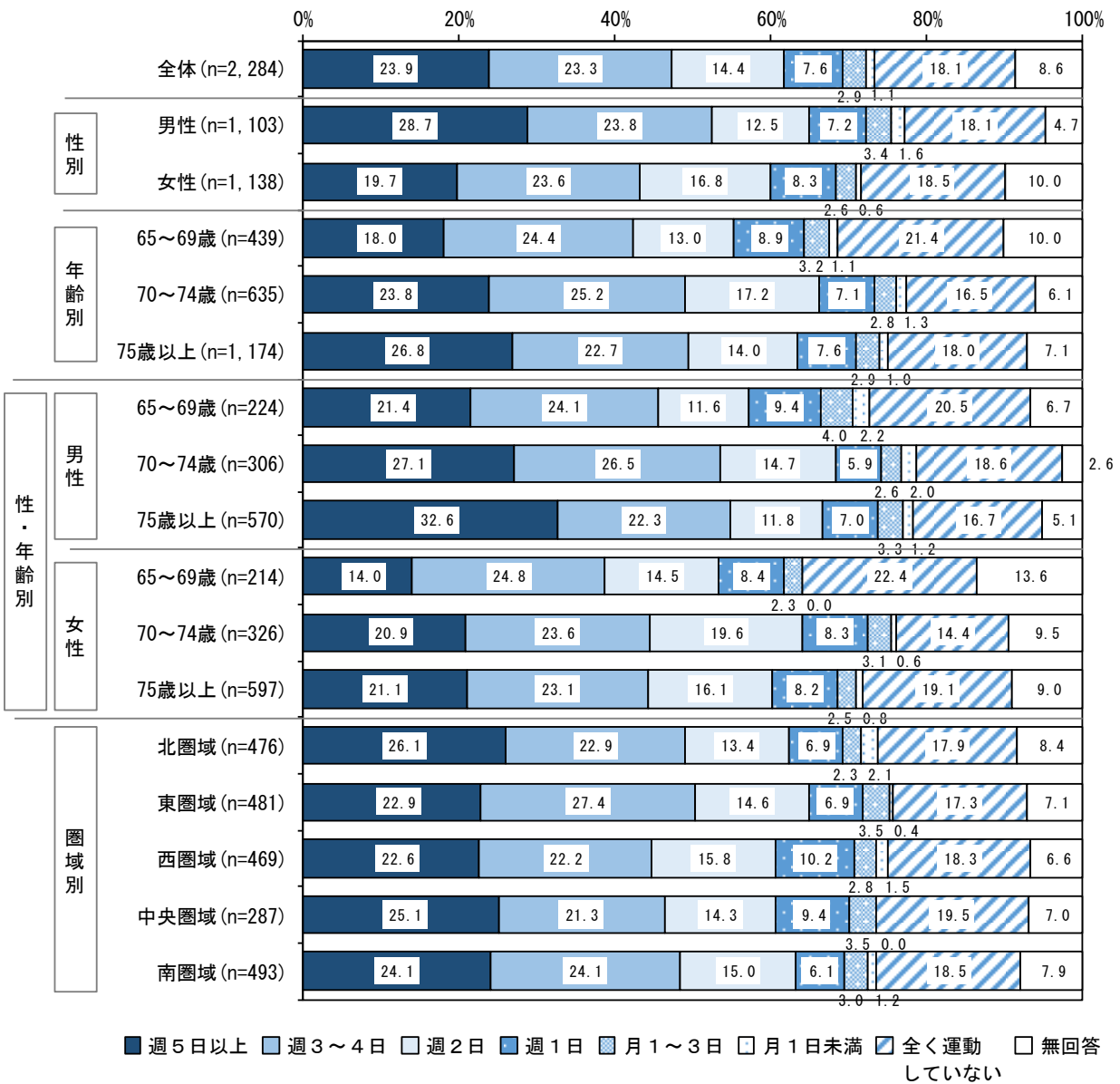


(4) 運動の頻度

問2	Q4	現在、あなたはどのくらいの頻度で運動をしていますか。	○は1つ
----	----	----------------------------	------

運動の頻度について、「週5日以上」が23.9%で最も多く、次いで「週3～4日」が23.3%、「全く運動していない」が18.1%となっています。

また、性別でみると、「全く運動していない」では「男性」が18.1%、「女性」が18.5%で、「女性」のほうが0.4ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が21.4%で最も多く、次いで「75歳以上」が18.0%、「70～74歳」が16.5%となっています。

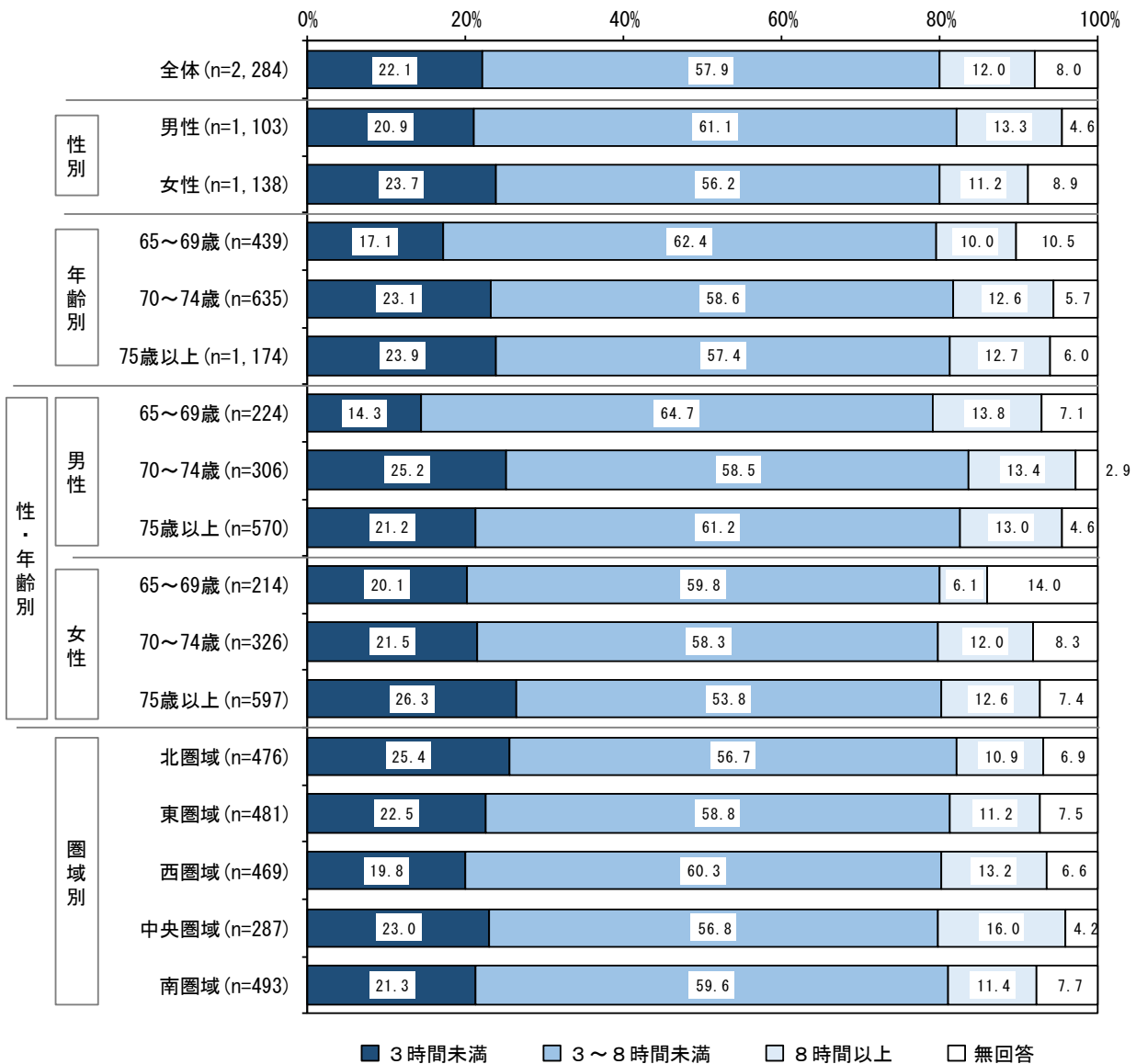


(5) 1日の座位時間

問2	Q5	普段、1日に「座っている」(仕事を含めて)時間はどれくらいですか。	○は1つ
----	----	-----------------------------------	------

1日の座位時間について、「3～8時間未満」が57.9%で最も多く、次いで「3時間未満」が22.1%、「8時間以上」が12.0%となっています。

また、性別で見ると、「8時間以上」では「男性」が13.3%、「女性」が11.2%で、「男性」のほうが2.1ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が12.7%で最も多く、次いで「70～74歳」が12.6%、「65～69歳」が10.0%となっています。

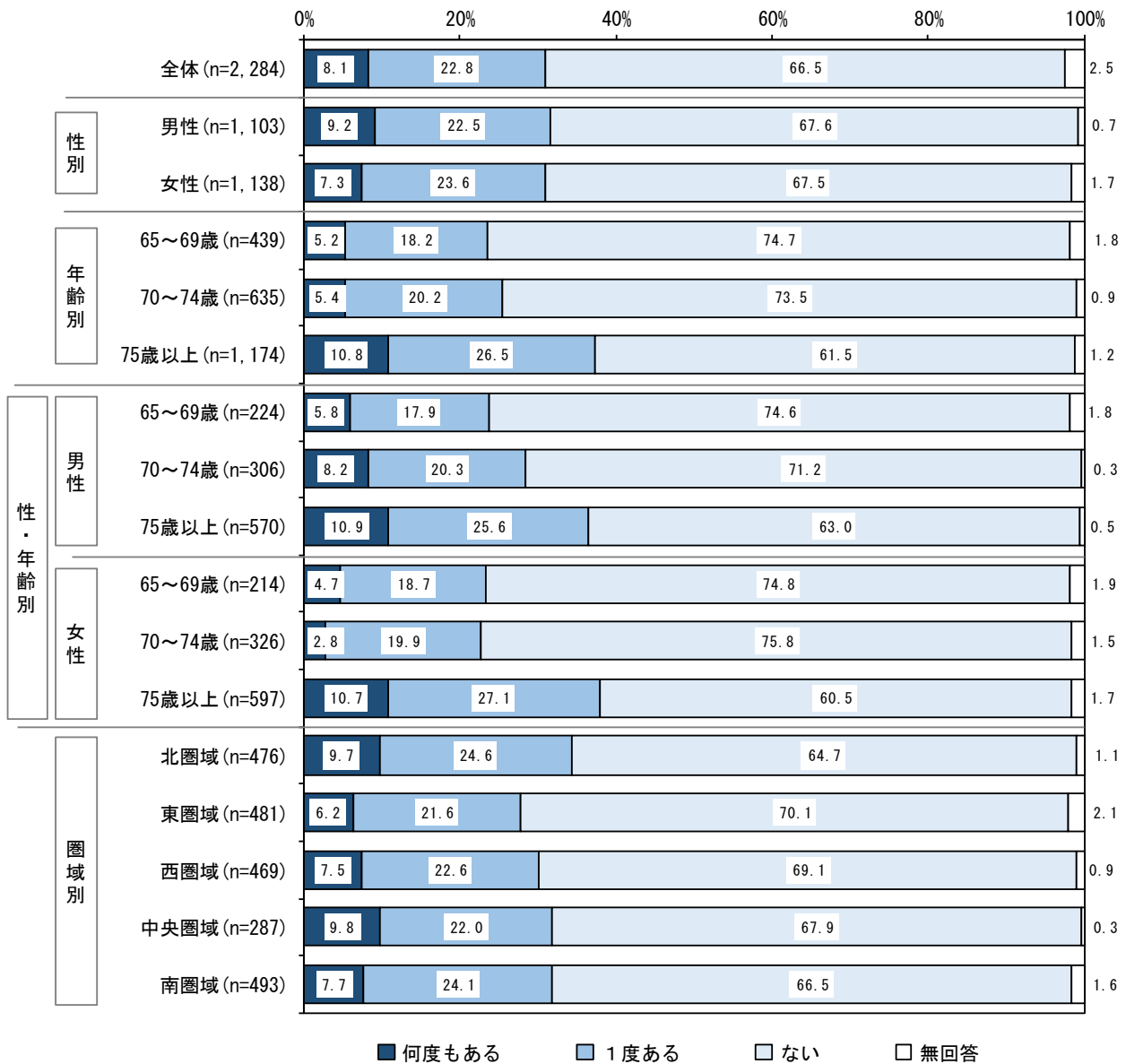


(6) 過去1年間に転んだ経験

問2	Q6	過去1年間に転んだ経験がありますか。	○は1つ
----	----	--------------------	------

過去1年間に転んだ経験について、「ない」が66.5%で最も多く、次いで「1度ある」が22.8%、「何度もある」が8.1%となっています。

また、性別でみると、『ある』（「何度もある」と「1度ある」の合計）では「男性」が31.7%、「女性」が30.9%で、「男性」のほうが0.8ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が37.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が25.6%、「65～69歳」が23.4%となっています。

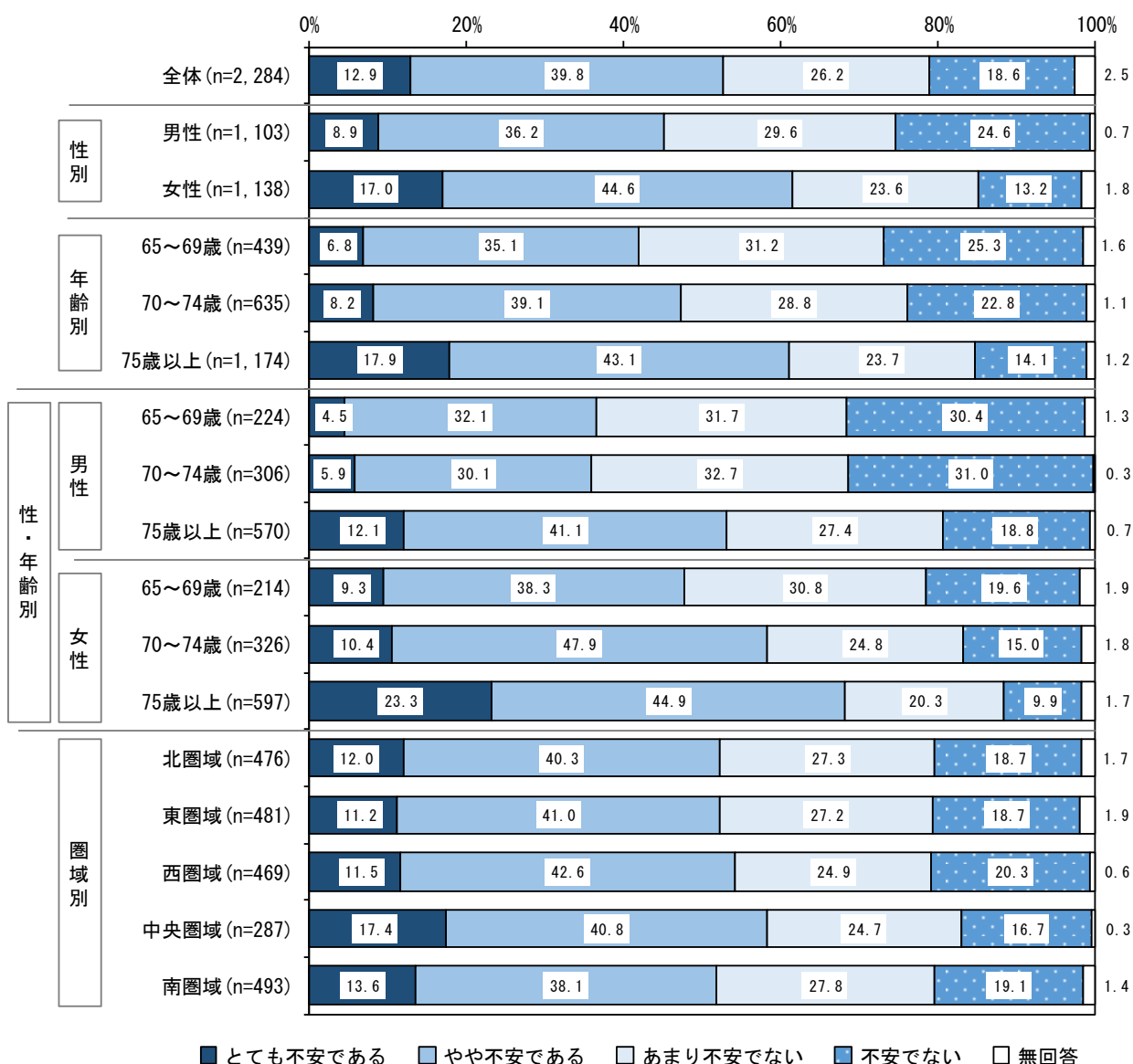


(7) 転倒に対する不安

問2	Q7	転倒に対する不安は大きいですか。	○は1つ
----	----	------------------	------

転倒に対する不安について、「やや不安である」が39.8%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が26.2%、「不安でない」が18.6%となっています。

また、性別でみると、『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）では「男性」が45.1%、「女性」が61.6%で、「女性」のほうが16.5ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が61.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が47.3%、「65～69歳」が41.9%となっています。

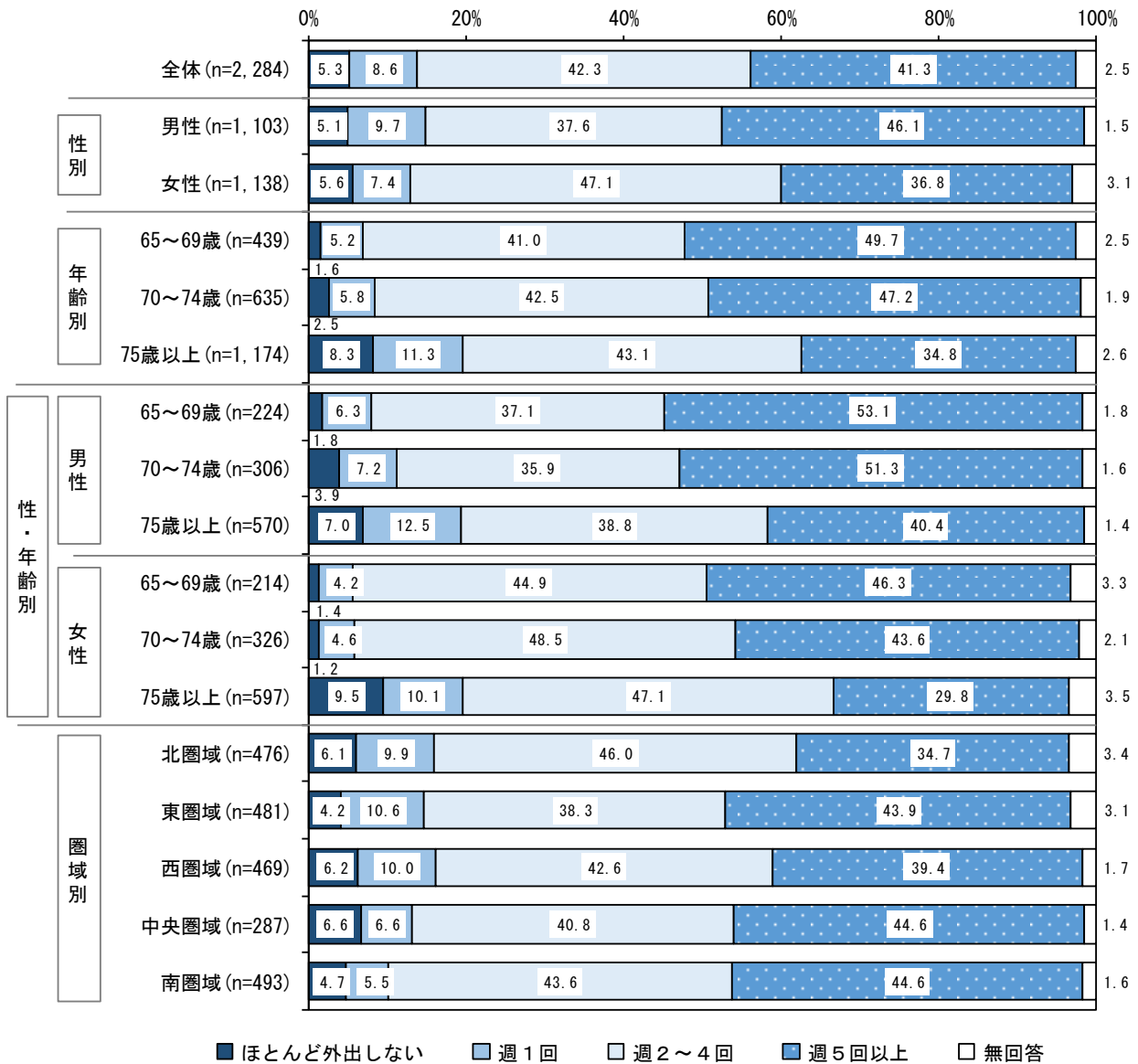


(8) 週あたりの外出頻度

問2	Q8	週に1回以上は外出していますか。	○は1つ
----	----	------------------	------

週あたりの外出頻度について、「週2～4回」が42.3%で最も多く、次いで「週5回以上」が41.3%、「週1回」が8.6%となっています。

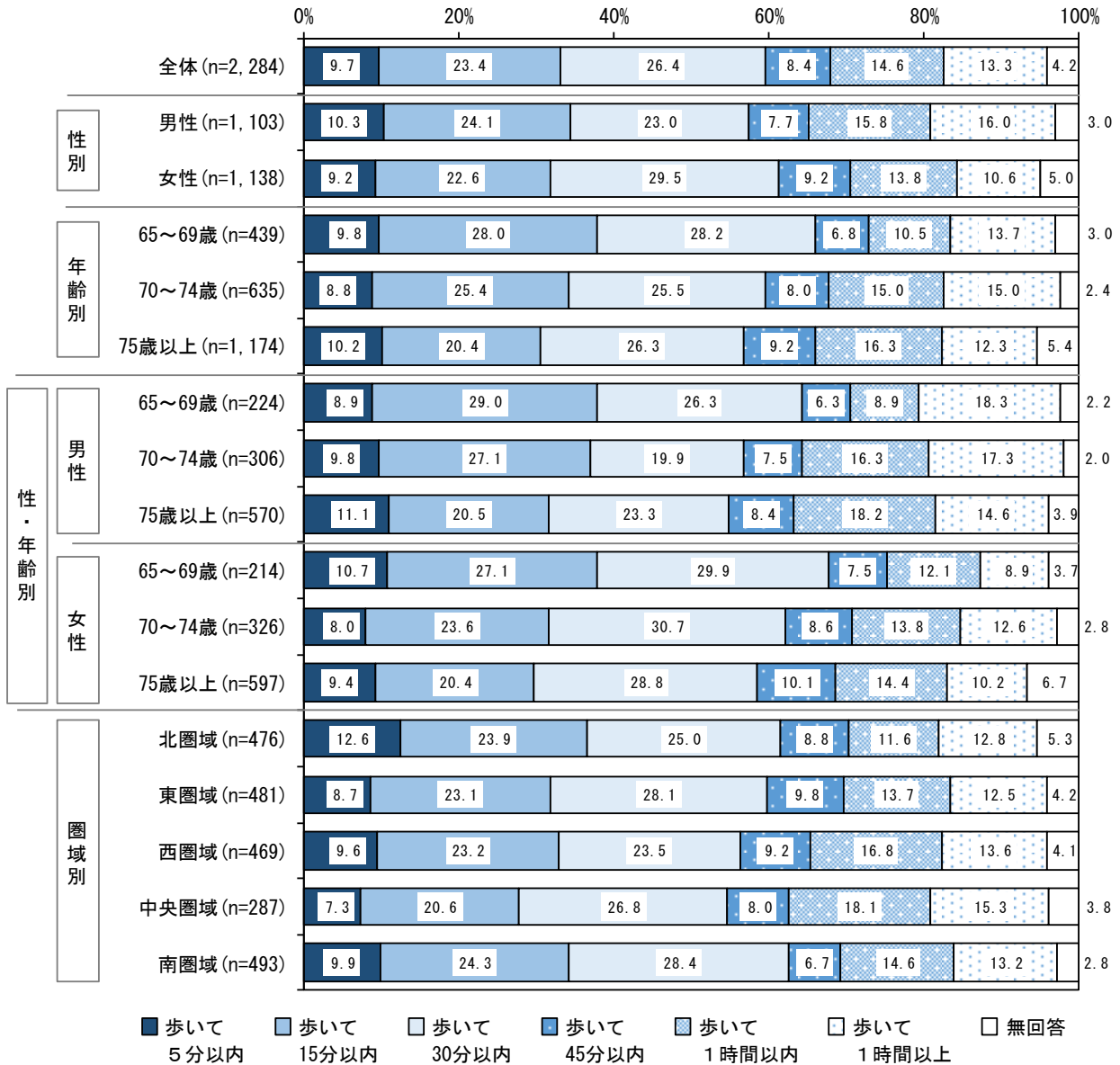
また、性別でみると、「ほとんど外出していない」では「男性」が5.1%、「女性」が5.6%で、「女性」のほうが0.5ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が8.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が2.5%、「65～69歳」が1.6%となっています。



(9) 徒歩で出かける範囲

問2	Q9	あなたは普段どれくらいの範囲まで歩いて出かけますか。	○は1つ
----	----	----------------------------	------

徒歩で出かける範囲について、「歩いて30分以内」が26.4%で最も多く、次いで「歩いて15分以内」が23.4%、「歩いて1時間以内」が14.6%となっています。

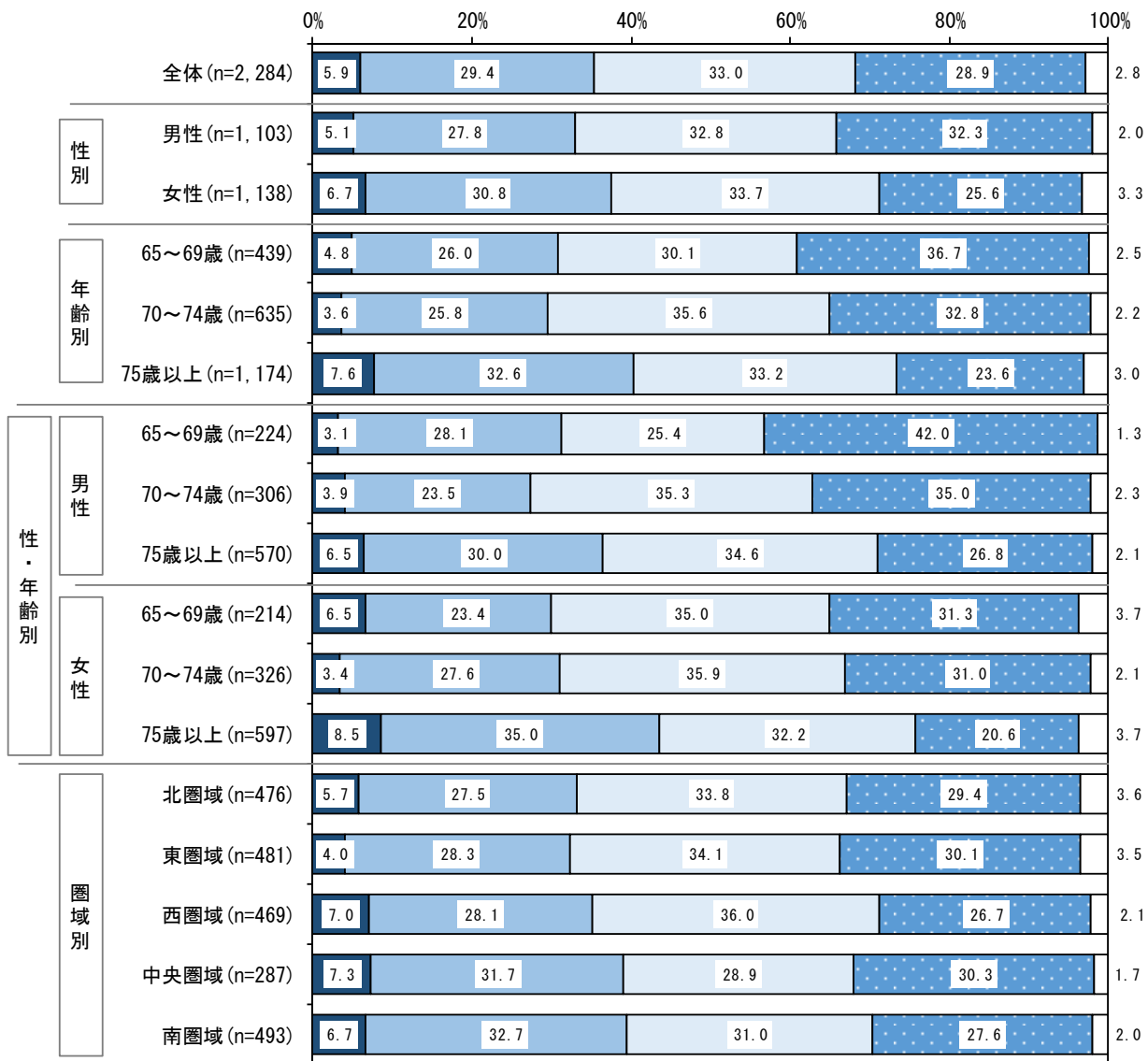


(10) 昨年と比べた外出の回数

問2	Q10	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	○は1つ
----	-----	----------------------	------

昨年と比べた外出の回数について、「あまり減っていない」が33.0%で最も多く、次いで「減っている」が29.4%、「減っていない」が28.9%となっています。

また、性別でみると、『減っている』（「とても減っている」と「減っている」の合計）では「男性」が32.9%、「女性」が37.5%で、「女性」のほうが4.6ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が40.2%で最も多く、次いで「65～69歳」が30.8%、「70～74歳」が29.4%となっています。



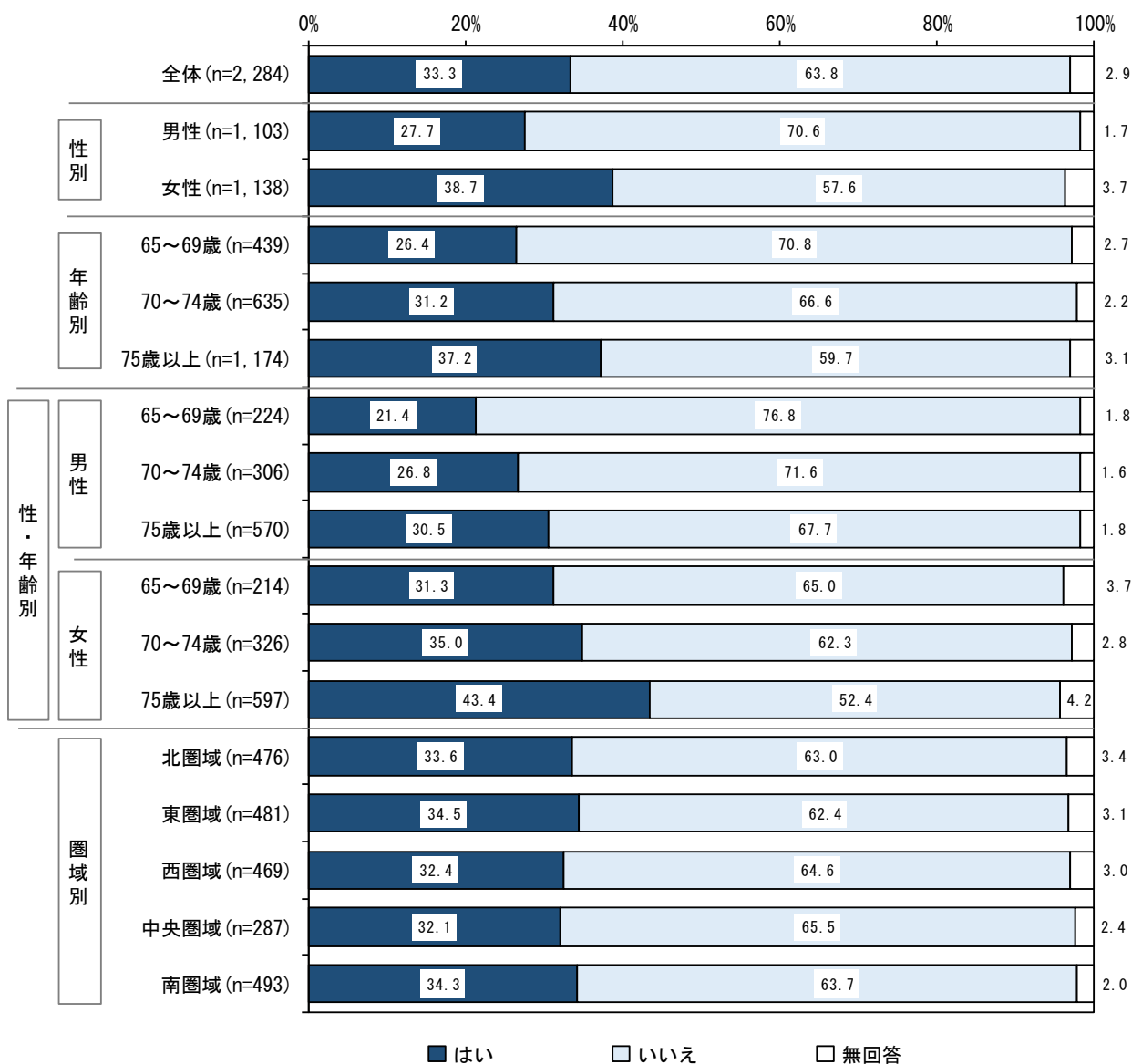
■ とても減っている ■ 減っている □ あまり減っていない ■ 減っていない □ 無回答

(11) 外出の控え

問2	Q11	外出を控えていますか。	○は1つ
----	-----	-------------	------

外出を控えているかについて、「はい」が33.3%、「いいえ」が63.8%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が27.7%、「女性」が38.7%で、「女性」のほうが11.0ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が37.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が31.2%、「65～69歳」が26.4%となっています。



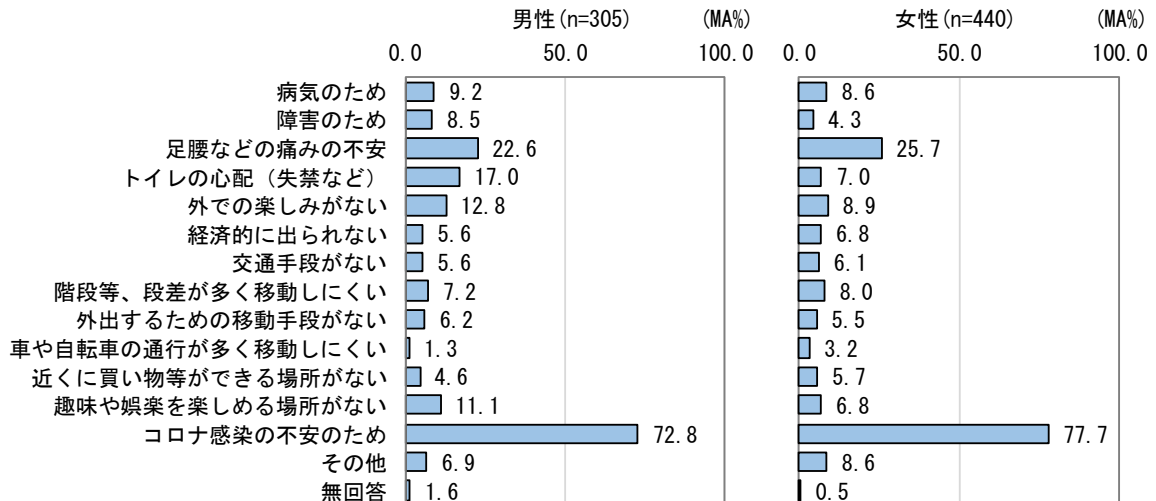
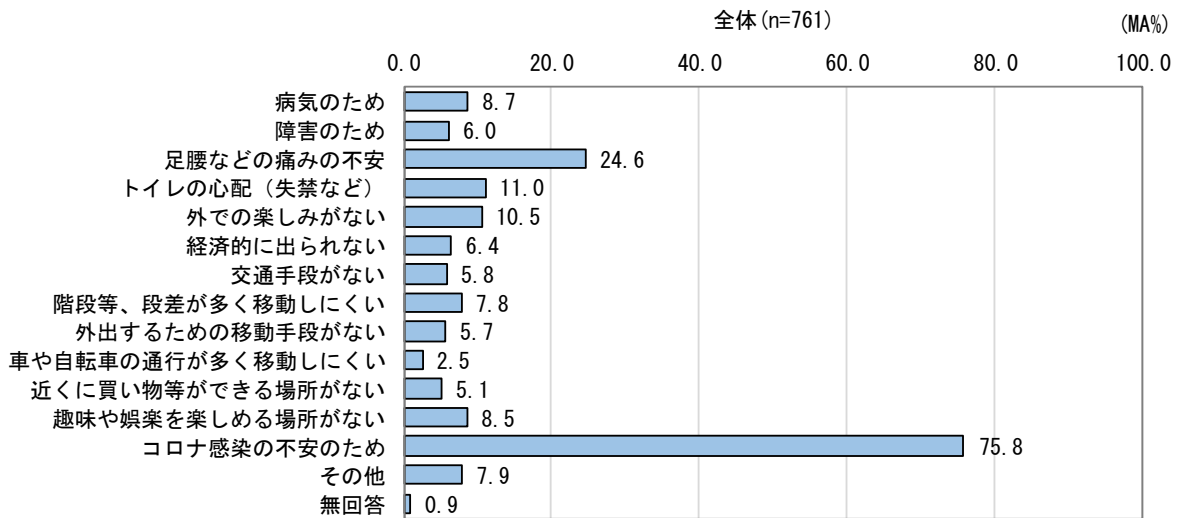
(12) 外出を控えている理由

【Q11で「はい」(外出を控えている)を回答した人のみ】

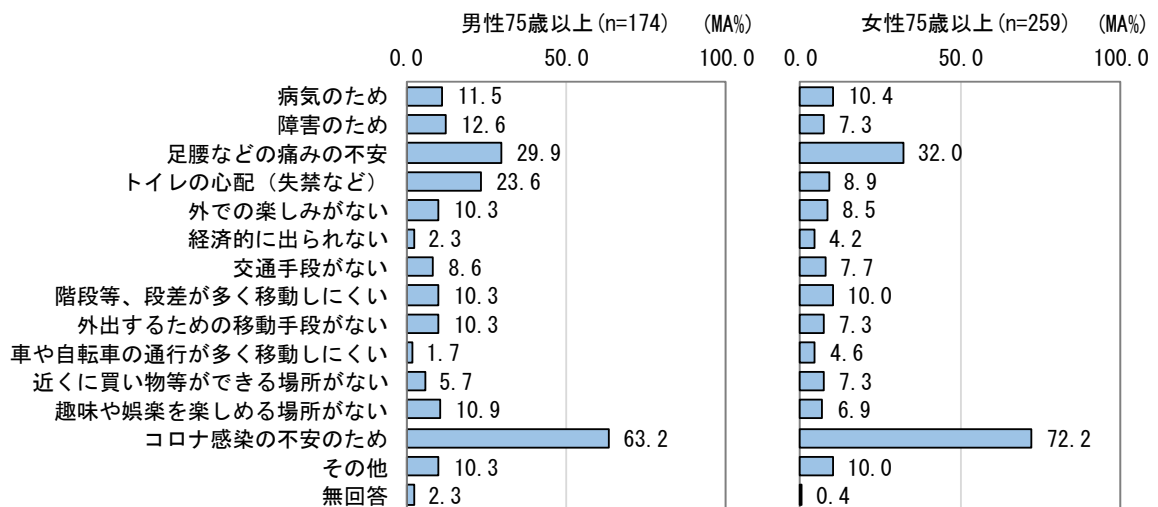
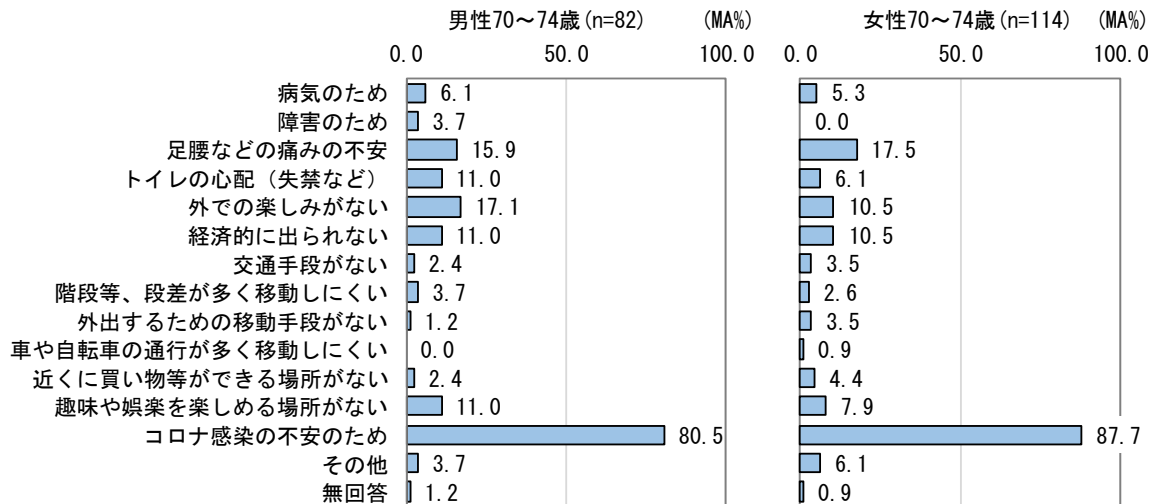
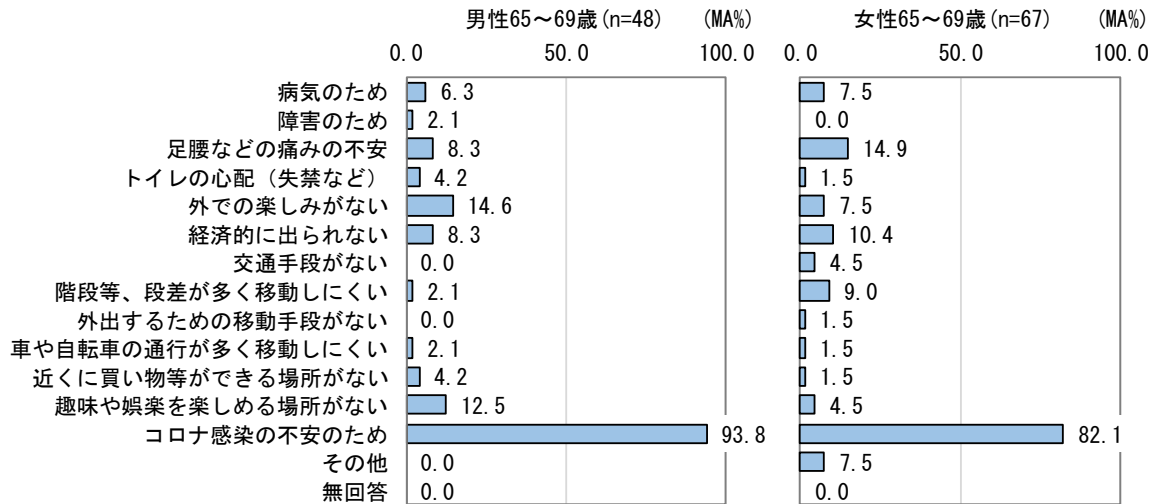
問2	Q11-1	外出を控えている理由は、次のどれですか。	○はいくつでも
----	-------	----------------------	---------

外出を控えている人に、その理由について聞いたところ、「コロナ感染の不安のため」が75.8%で最も多く、次いで「足腰などの痛みの不安」が24.6%、「トイレの心配(失禁など)」が11.0%となっています。

また、性別で見ると、男女とも「コロナ感染の不安のため」が最も多く、「男性」が72.8%、「女性」が77.7%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果

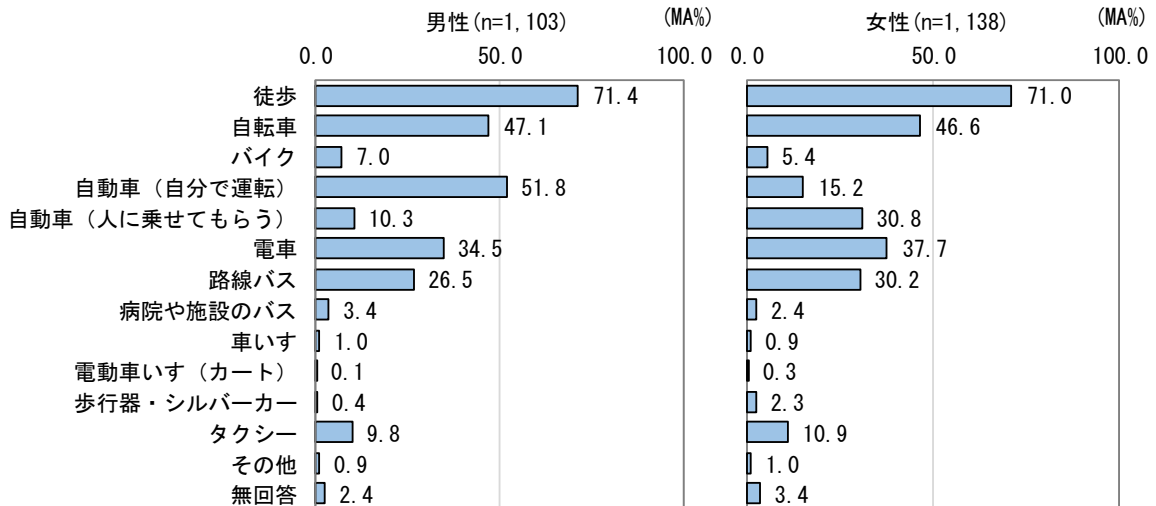
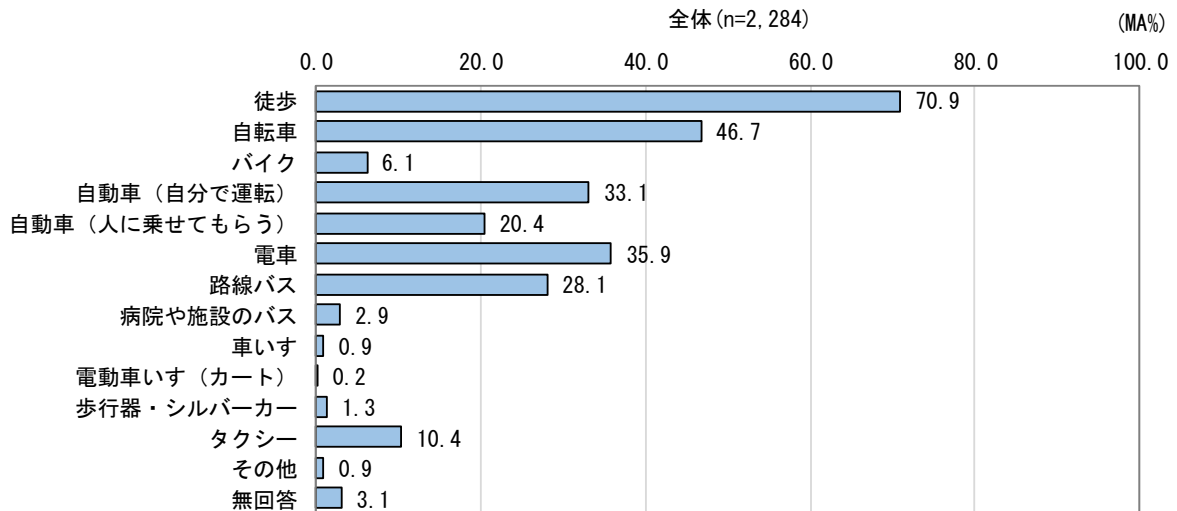


(13) 外出時の移動手段

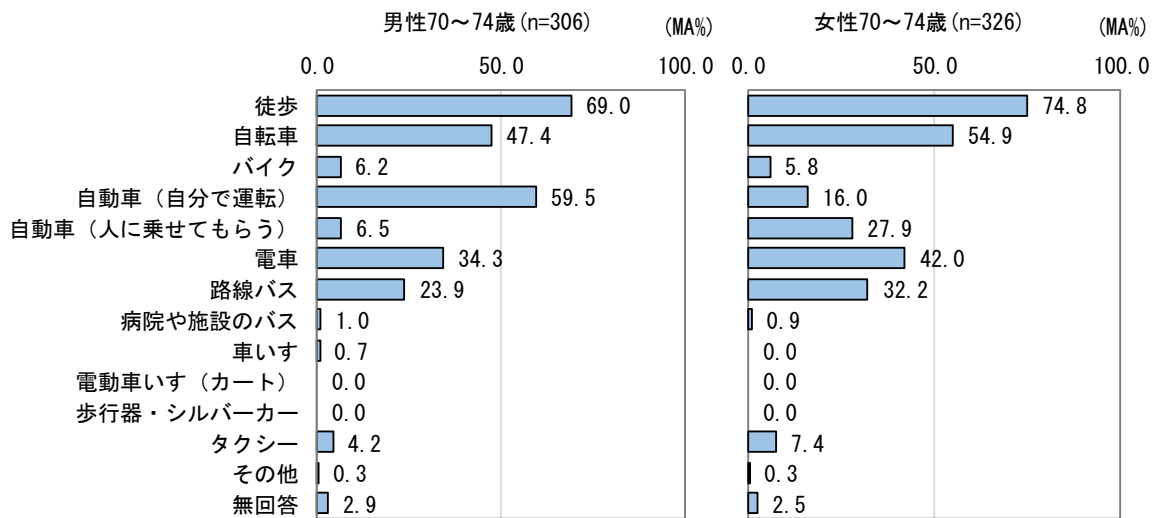
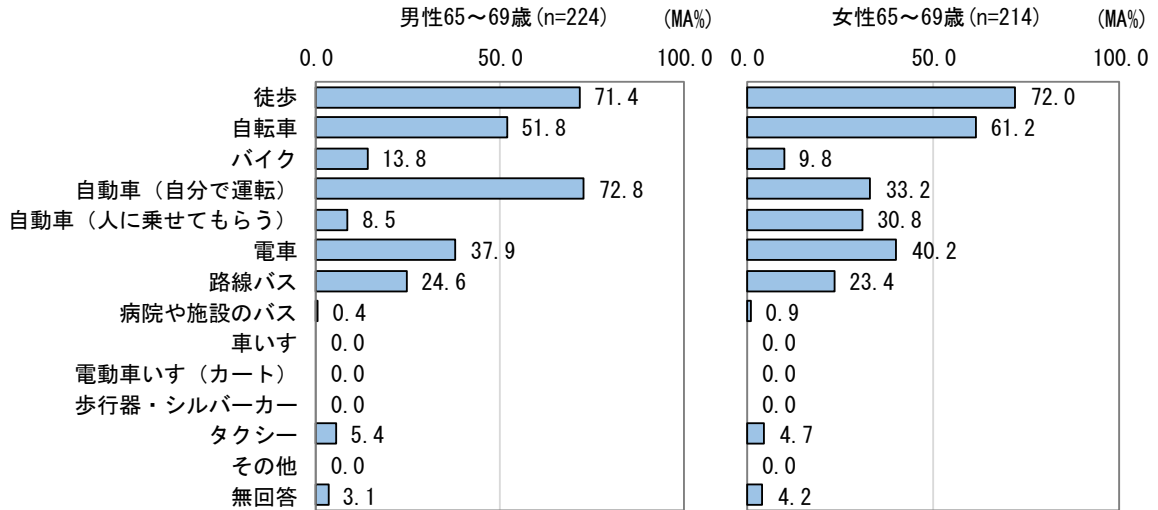
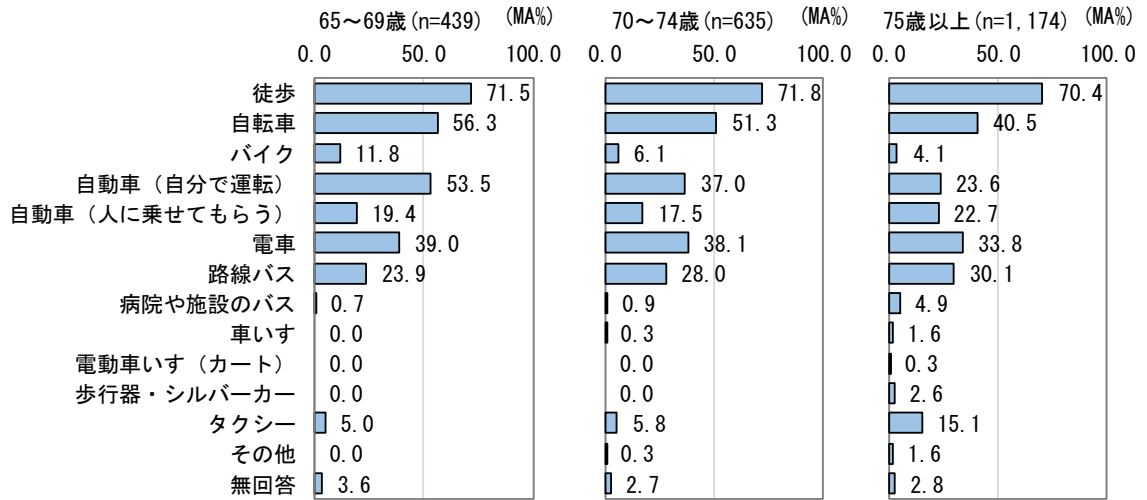
問2	Q12	外出する際の移動手段は何ですか。	○はいくつでも
----	-----	------------------	---------

外出時の移動手段について、「徒歩」が70.9%で最も多く、次いで「自転車」が46.7%、「電車」が35.9%となっています。

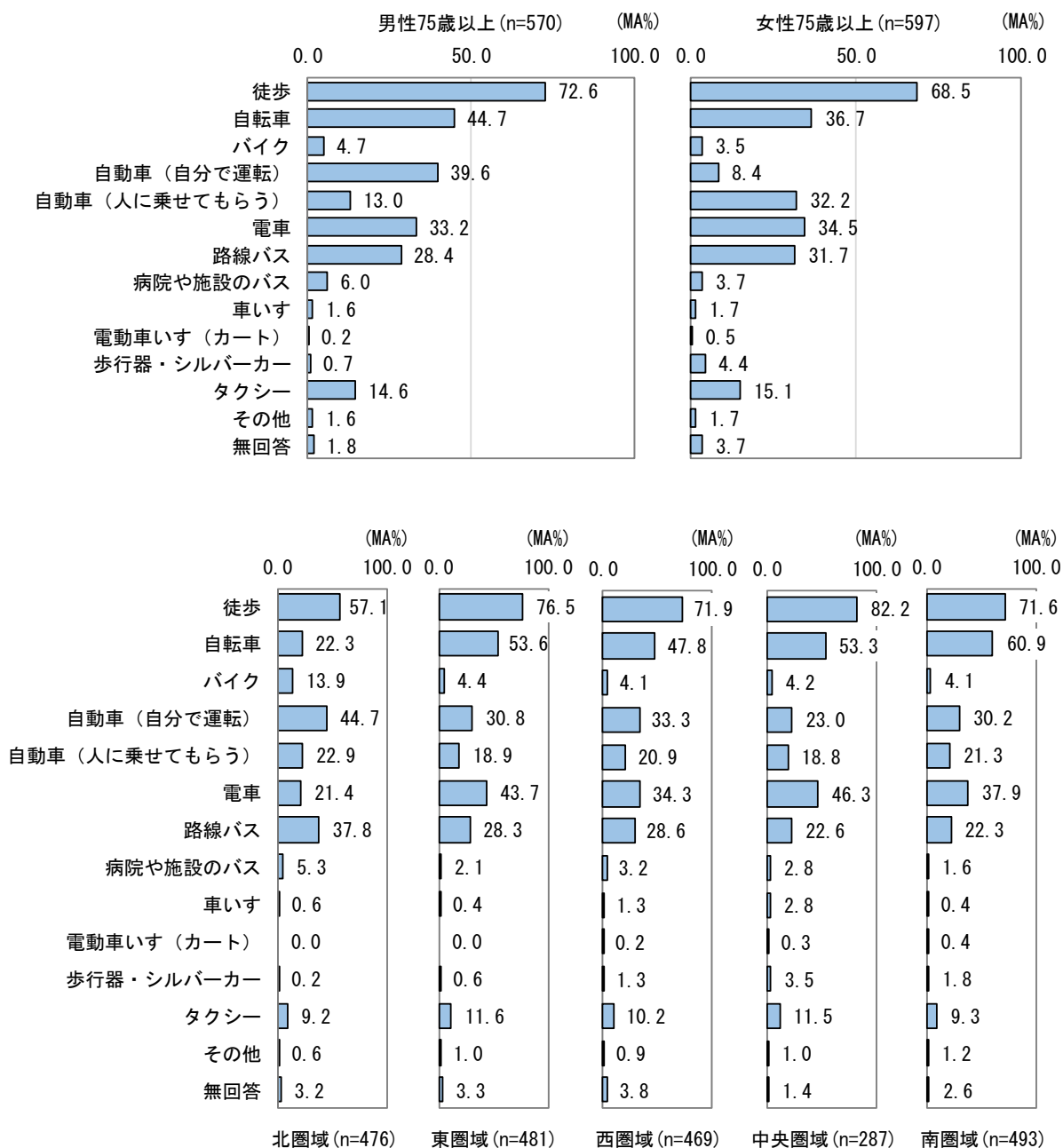
また、性別で見ると、男女とも「徒歩」が最も多く、「男性」が71.4%、「女性」が71.0%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



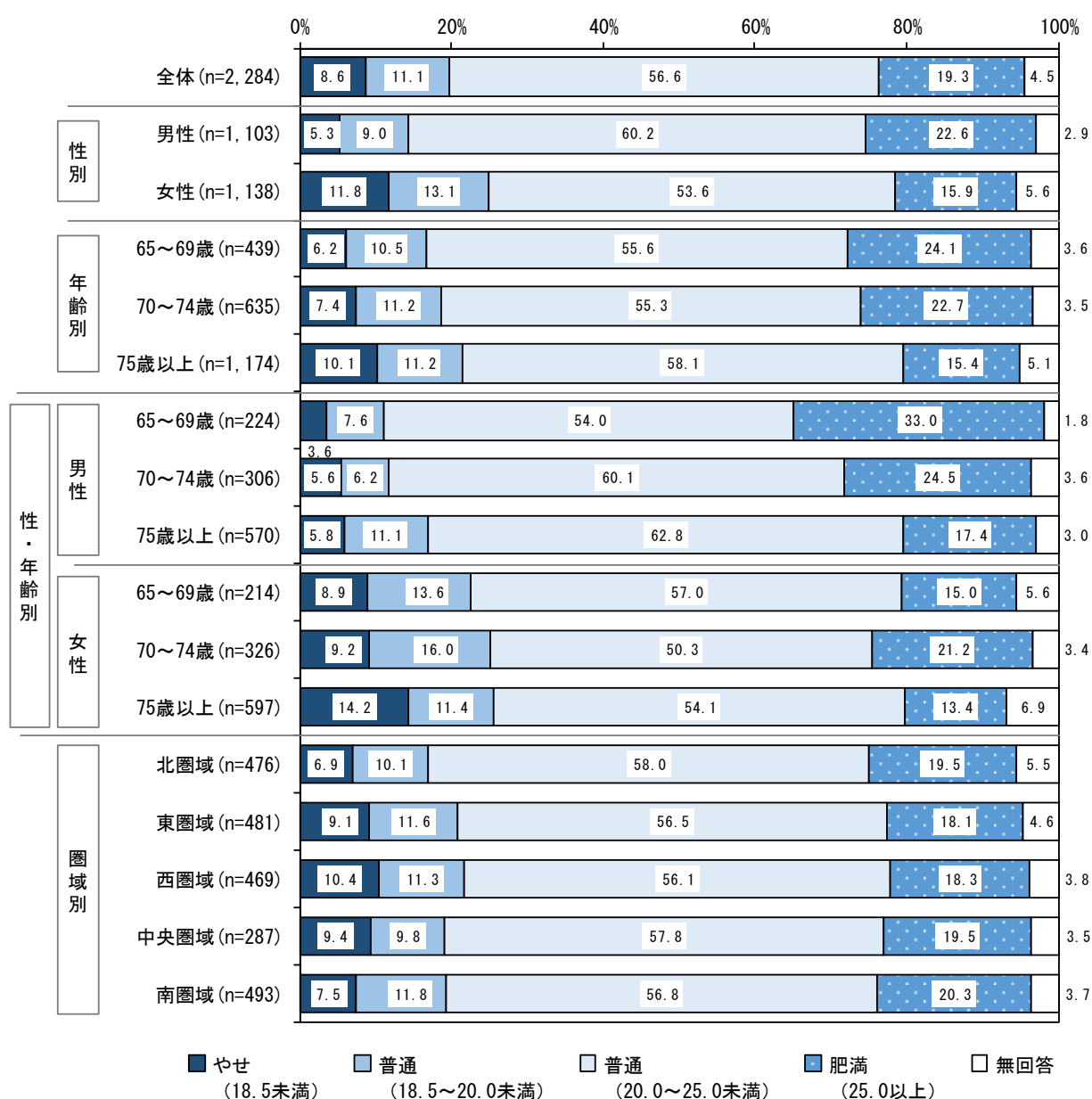
4 食べることについて

(1) 身長と体重

問3	Q1	身長と体重を教えてください。	数値記入
----	----	----------------	------

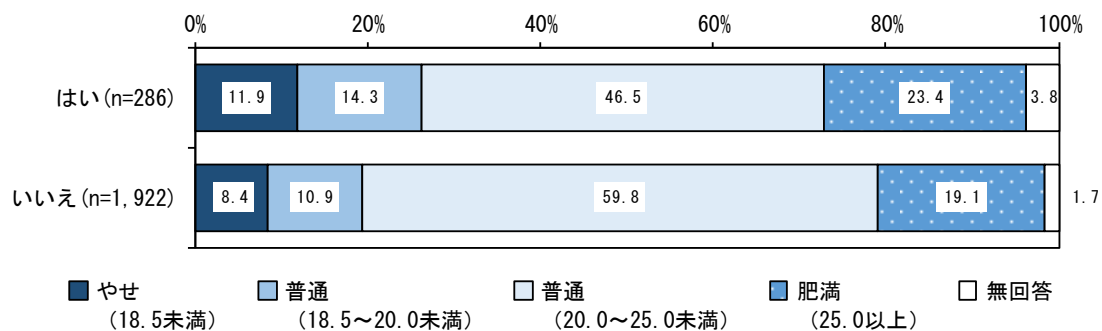
身長と体重から算出されたBMI指標について、「普通（20.0～25.0未満）」が56.6%で最も多く、次いで「肥満（25.0以上）」が19.3%、「普通（18.5～20.0未満）」が11.1%となっています。

また、性別でみると、「やせ（18.5未満）」では「男性」が5.3%、「女性」が11.8%で、「女性」のほうが6.5ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が10.1%で最も多く、次いで「70～74歳」が7.4%、「65～69歳」が6.2%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

さらに、6か月間での体重減少別で見ると、「やせ（18.5未満）」では「はい」が11.9%、「いいえ」が8.4%で、「はい」のほうが3.5ポイント多く、「普通（18.5～20.0未満）」では「はい」が14.3%、「いいえ」が10.9%で、「はい」のほうが3.4ポイント多く、「普通（20.0～25.0未満）」では「はい」が46.5%、「いいえ」が59.8%で、「いいえ」のほうが13.3ポイント多く、「肥満（25.0以上）」では「はい」が23.4%、「いいえ」が19.1%で、「はい」のほうが4.3ポイント多くなっています。

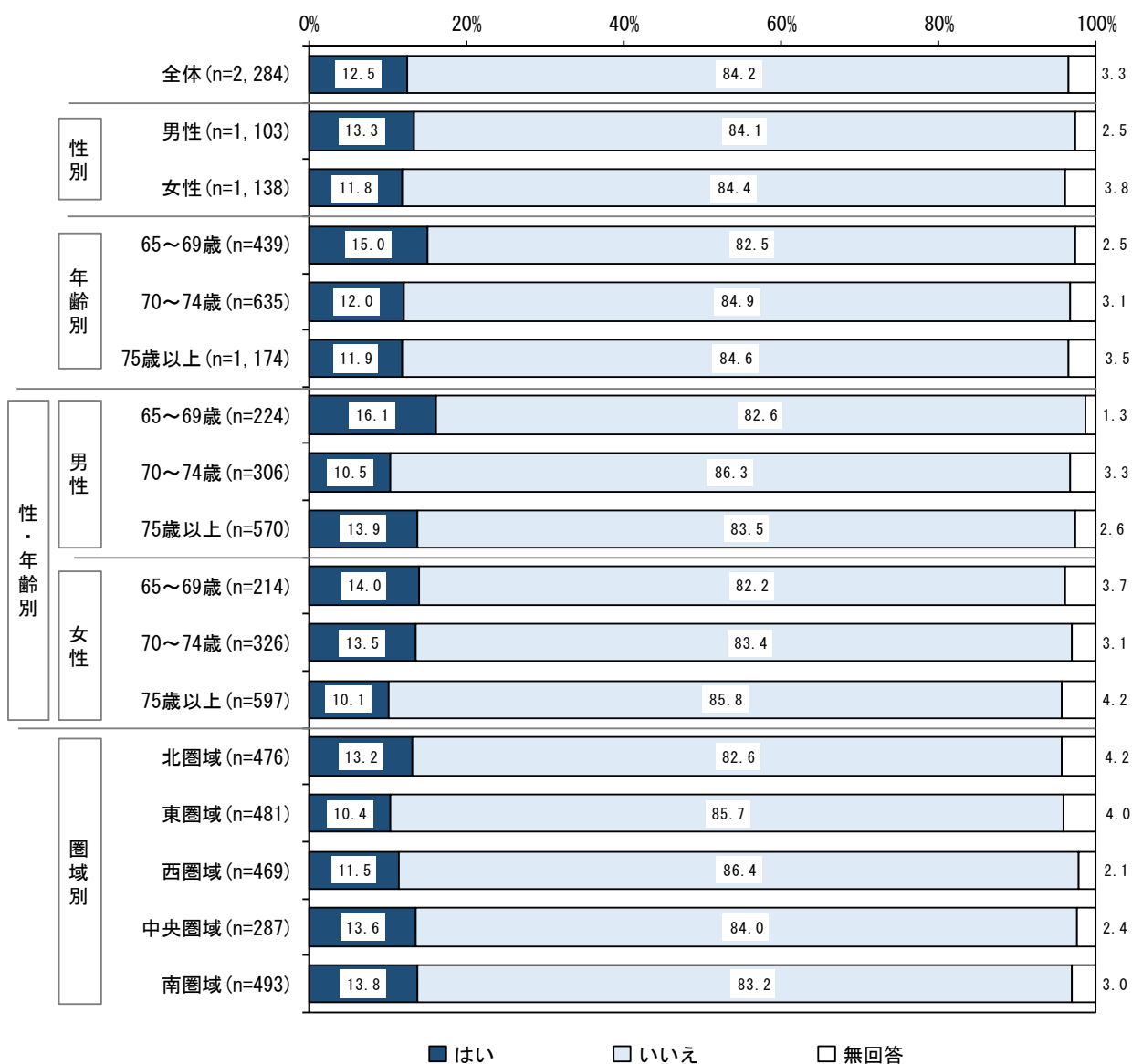


(2) 6か月間での体重減少

問3	Q2	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	○は1つ
----	----	---------------------------	------

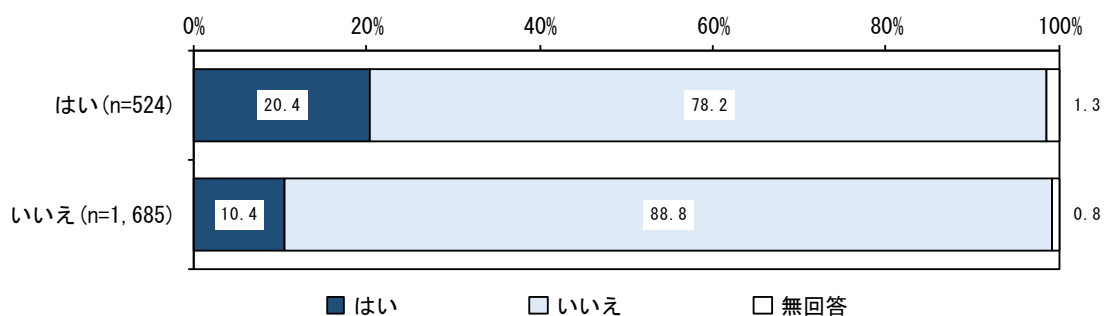
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が12.5%、「いいえ」が84.2%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が13.3%、「女性」が11.8%で、「男性」のほうが1.5ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が15.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が12.0%、「75歳以上」が11.9%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

さらに、半年前に比べて固いものが食べにくくなること別でみると、「はい（体重減少があった）」では「はい（固いものが食べにくい）」が20.4%、「いいえ（固いものが食べにくい）」が10.4%で、「はい（体重減少があった）」のほうが10.0ポイント多くなっています。

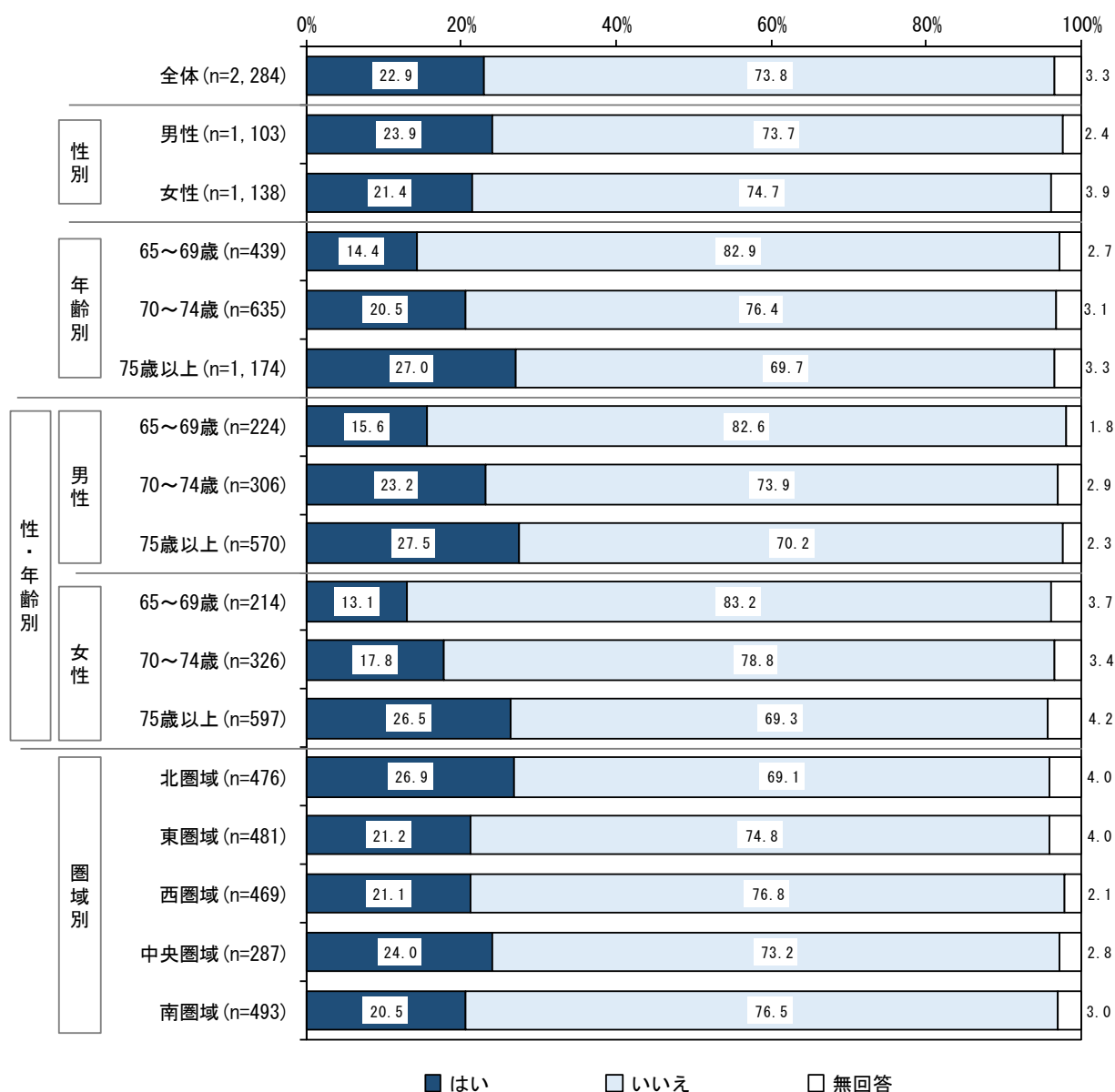


(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなること

問3	Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	○は1つ
----	----	--------------------------	------

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が22.9%、「いいえ」が73.8%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が23.9%、「女性」が21.4%で、「男性」のほうが2.5ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が27.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が20.5%、「65～69歳」が14.4%となっています。

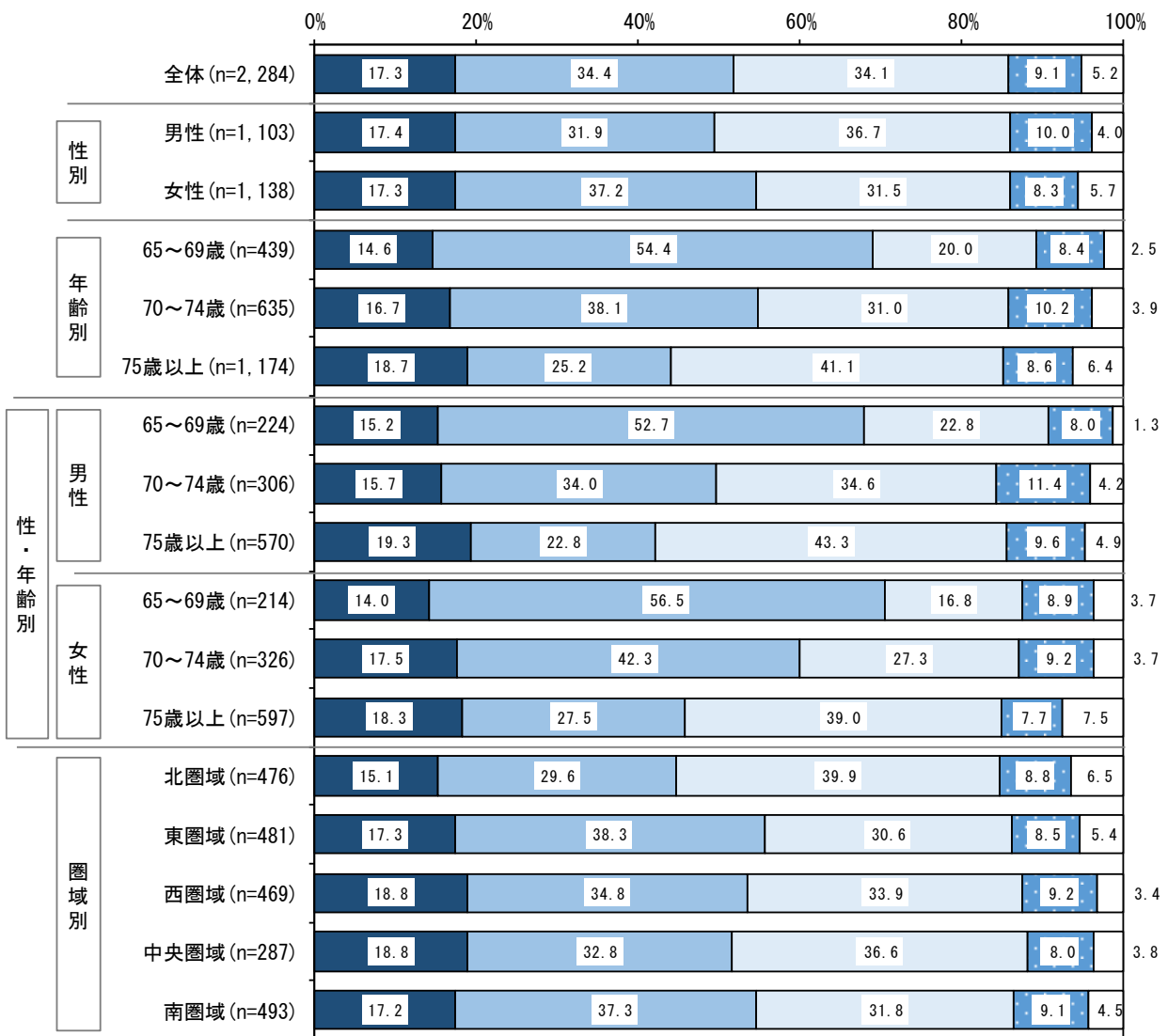


(4) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3	Q4	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	○は1つ
----	----	---	------

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.4%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.3%となっています。

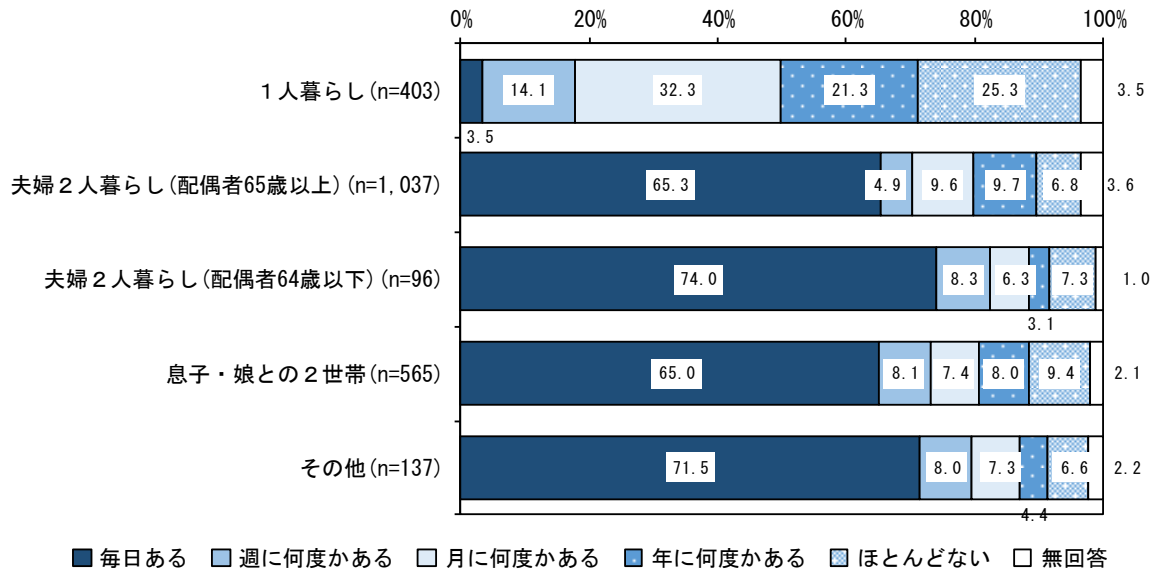
また、性別でみると、『入れ歯を利用』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の合計）では「男性」が54.1%、「女性」が48.8%で、「男性」のほうが5.3ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が59.8%で最も多く、次いで「70～74歳」が47.7%、「65～69歳」が34.6%となっています。



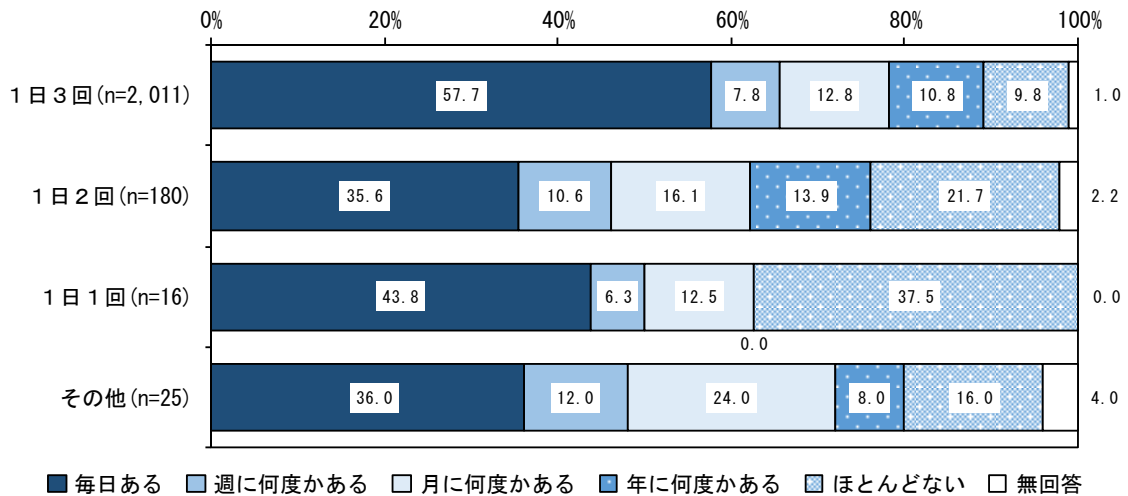
■ 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ■ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし □ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 ■ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし □ 無回答

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

家族構成別でみると、「ほとんどない」では「1人暮らし」が25.3%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が9.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が7.3%となっています。



1日の食事回数別でみると、「ほとんどない」では「1日1回」が37.5%で最も多く、次いで「1日2回」が21.7%、「その他」が16.0%となっています。

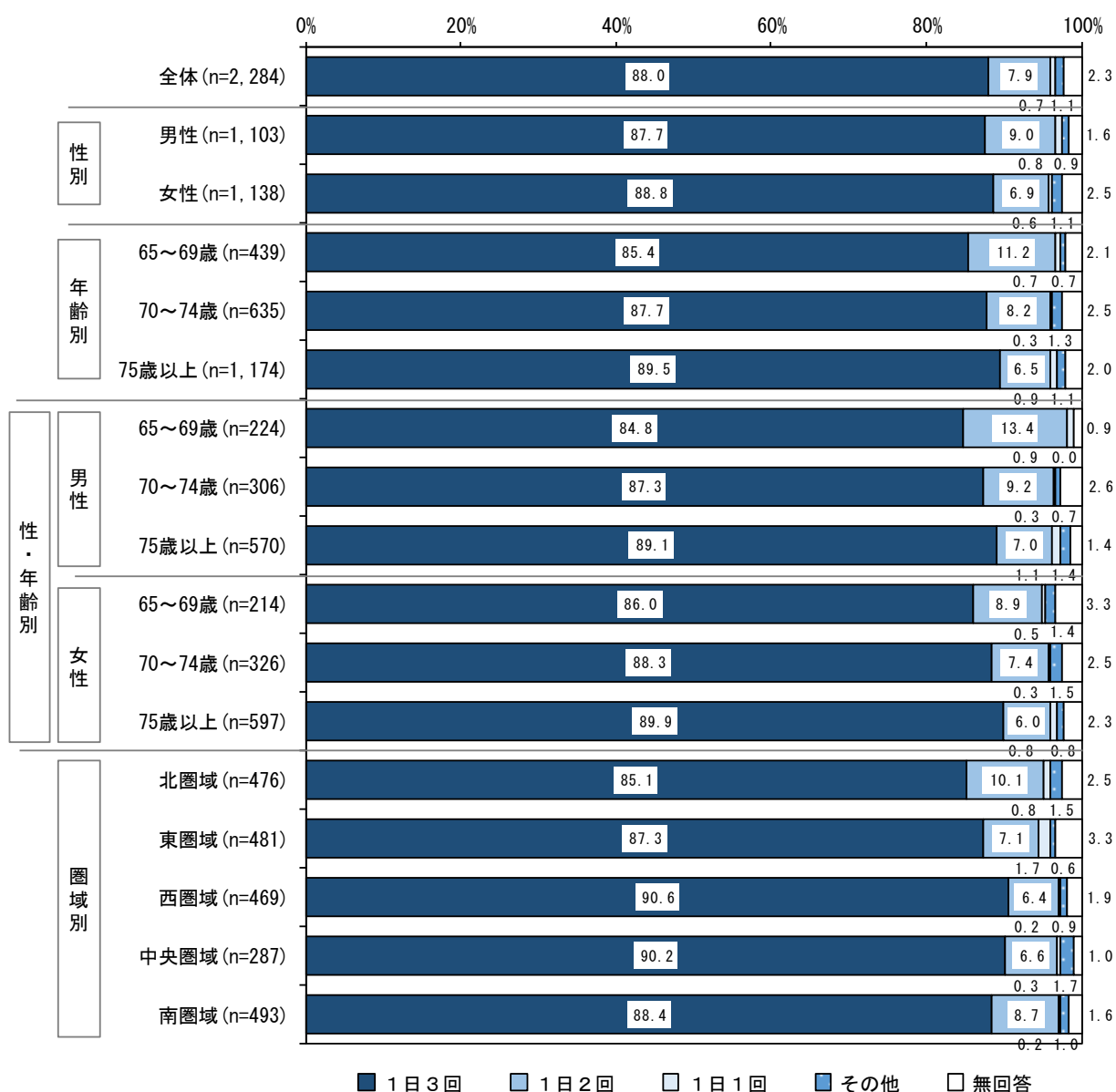


(6) 1日の食事回数

問3	Q6	1日の食事回数は何回ですか。	○は1つ
----	----	----------------	------

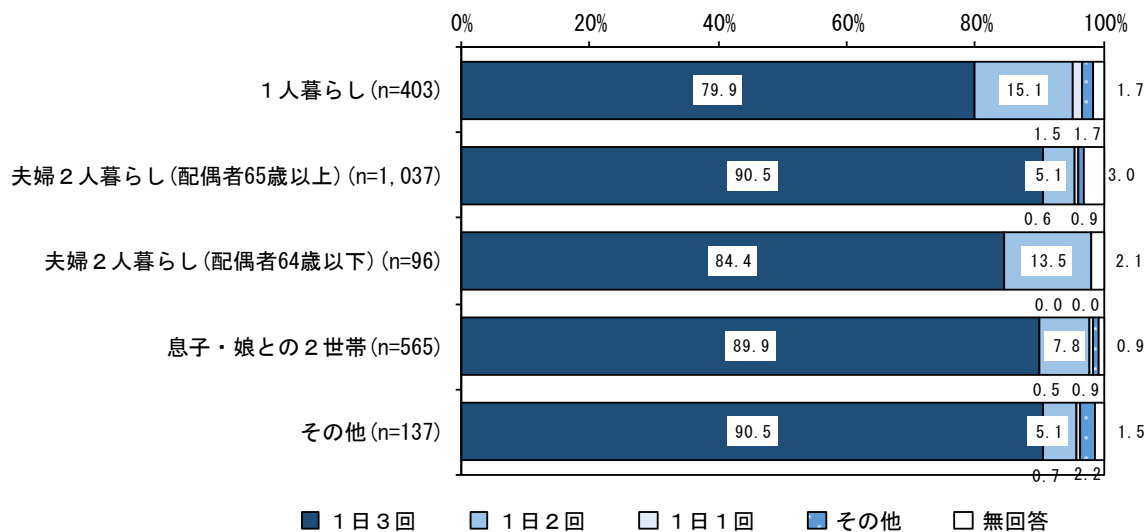
1日の食事回数について、「1日3回」が88.0%で最も多く、次いで「1日2回」が7.9%、「その他」が1.1%となっています。

また、性別で見ると、『1日2回以下』（「1日2回」と「1日1回」の合計）では「男性」が9.8%、「女性」が7.5%で、「男性」のほうが2.3ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が11.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が8.5%、「75歳以上」が7.4%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

さらに、家族構成別でみると、『1日2回以下』では「1人暮らし」が16.6%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が13.5%、「息子・娘との2世帯」が8.3%となっています。

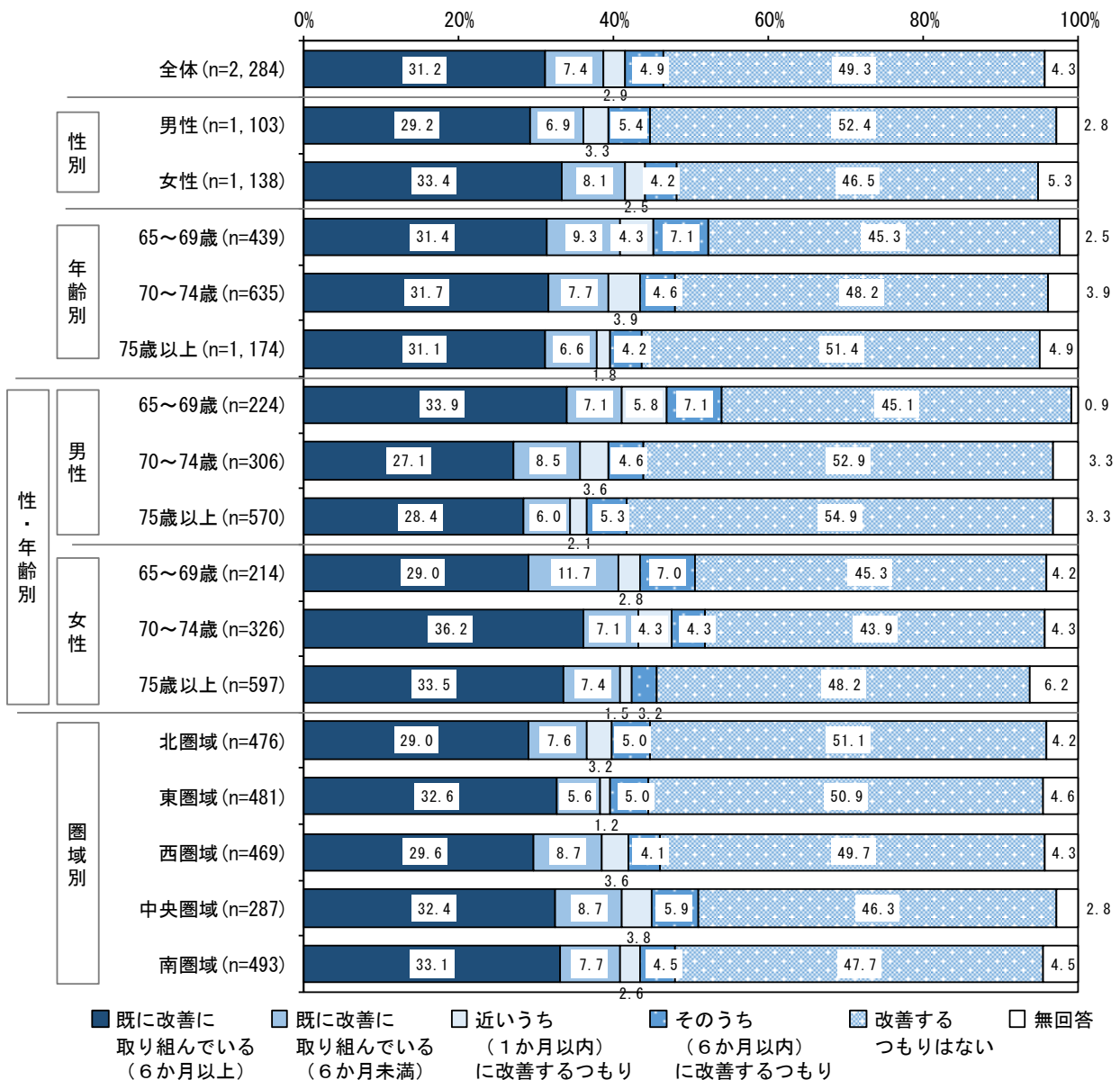


(7) 食生活改善の意向

問3	Q7	食生活を改善してみようと思いますか。	○は1つ
----	----	--------------------	------

食生活改善の意向について、「改善するつもりはない」が49.3%で最も多く、次いで「既に改善に取り組んでいる（6か月以上）」が31.2%、「既に改善に取り組んでいる（6か月未満）」が7.4%となっています。

また、性別で見ると、「改善するつもりはない」では「男性」が52.4%、「女性」が46.5%で、「男性」のほうが5.9ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が51.4%で最も多く、次いで「70～74歳」が48.2%、「65～69歳」が45.3%となっています。



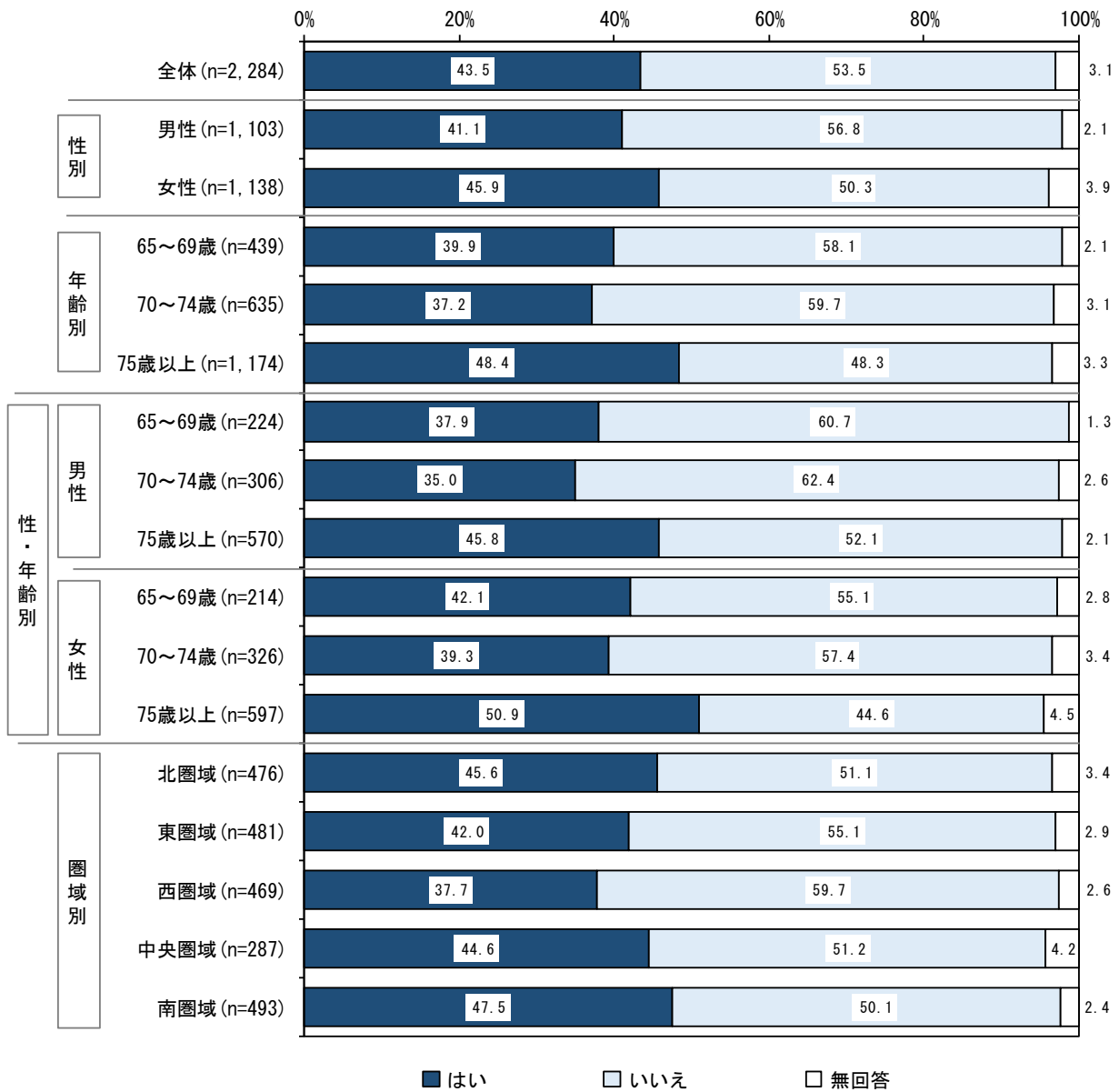
5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じること

問4	Q1	物忘れが多いと感じますか。	○は1つ
----	----	---------------	------

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が43.5%、「いいえ」が53.5%となっています。

また、性別でみると、「はい」では「男性」が41.1%、「女性」が45.9%で、「女性」のほうが4.8ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が48.4%で最も多く、次いで「65～69歳」が39.9%、「70～74歳」が37.2%となっています。

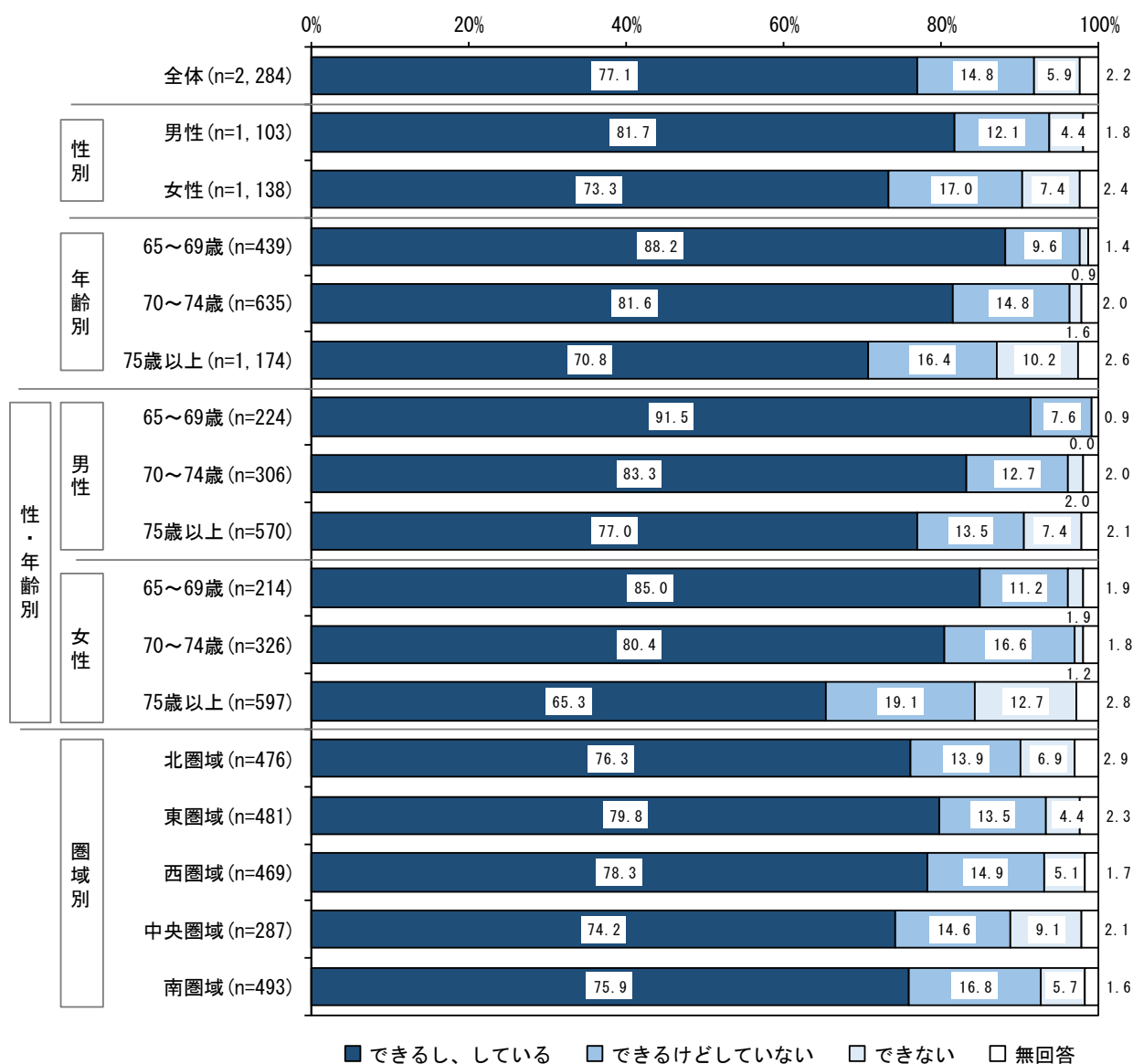


(2) バスや電車を利用した一人での外出

問4	Q2	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	○は1つ
----	----	--------------------------------	------

バスや電車を利用した一人での外出について、「できるし、している」が77.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.8%、「できない」が5.9%となっています。

また、性別で見ると、「できない」では「男性」が4.4%、「女性」が7.4%で、「女性」のほうが3.0ポイント多くっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が10.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が1.6%、「65～69歳」が0.9%となっています。

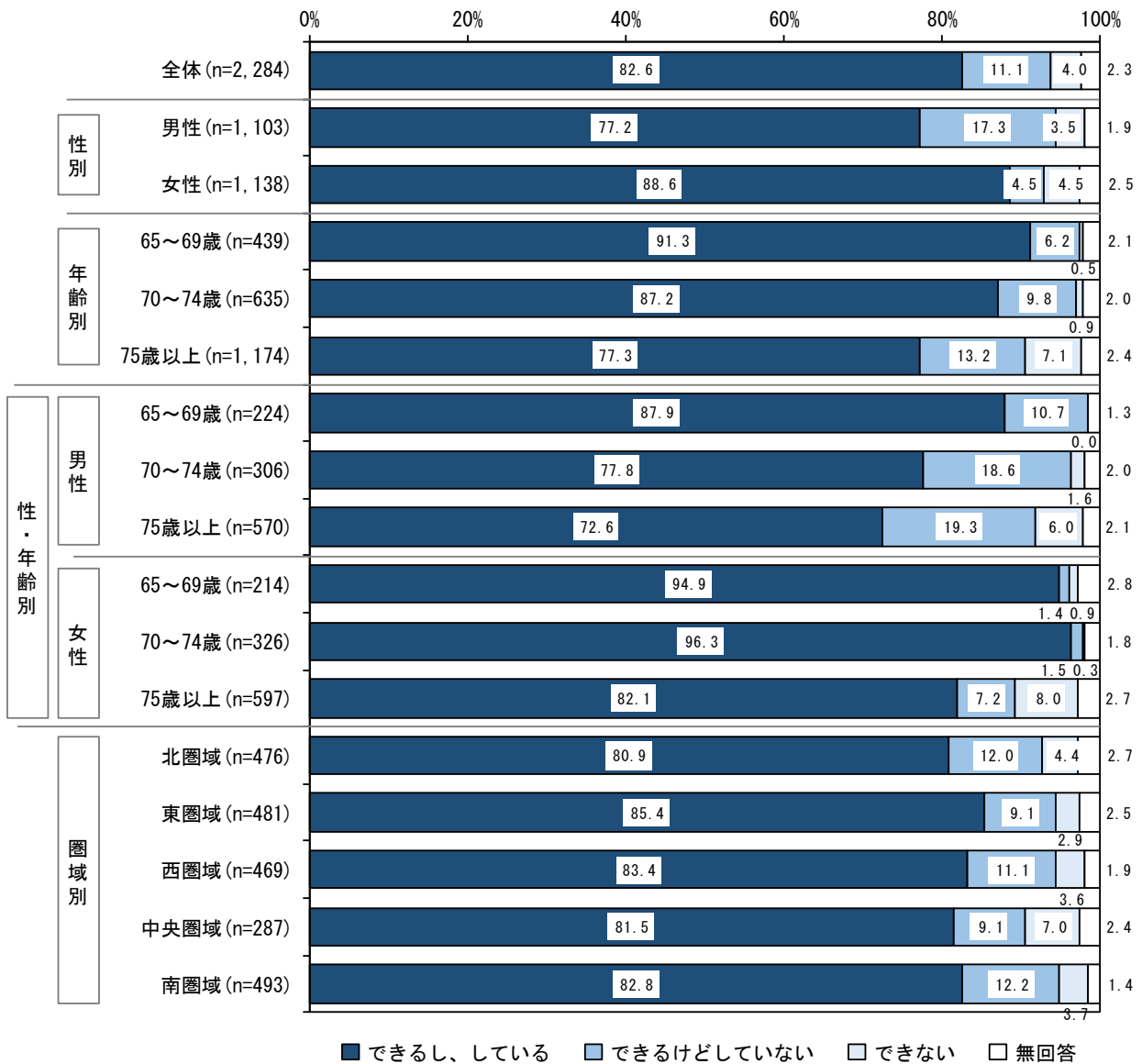


(3) 自分で食品・日用品の買物をする事

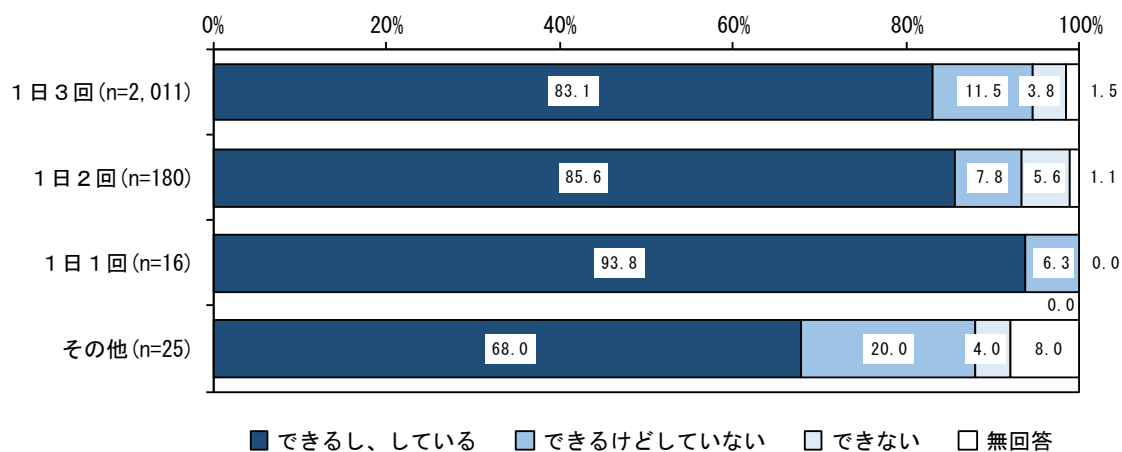
問4	Q3	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	○は1つ
----	----	----------------------	------

自分で食品・日用品の買物をする事について、「できるし、している」が82.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が4.0%となっています。

また、性別で見ると、「できない」では「男性」が3.5%、「女性」が4.5%で、「女性」のほうが1.0ポイント多くっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が7.1%で最も多く、次いで「70～74歳」が0.9%、「65～69歳」が0.5%となっています。



さらに、1日の食事回数別で見ると、「できない」では「1日2回」が5.6%で最も多く、次いで「その他」が4.0%、「1日3回」が3.8%となっています。

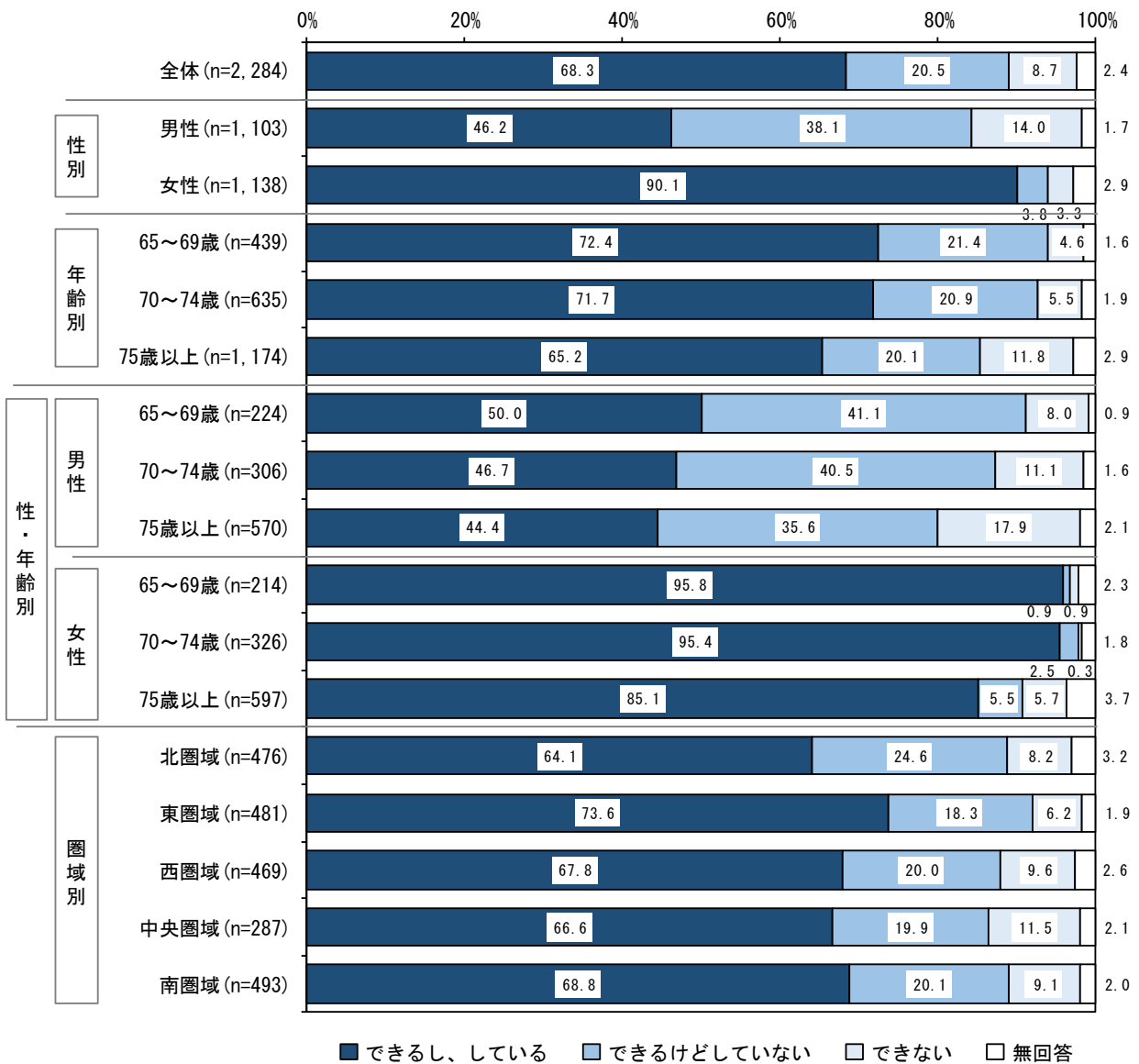


(4) 自分で食事の用意をすること

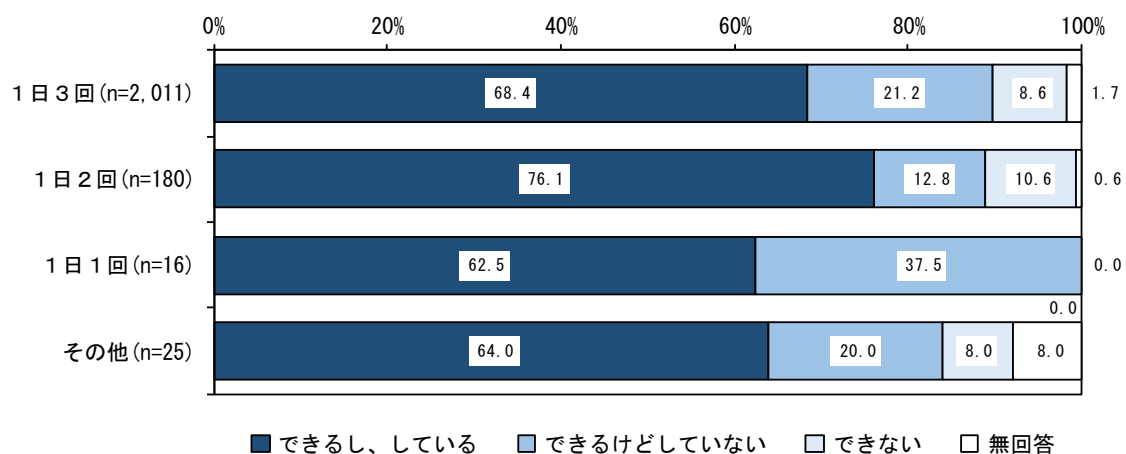
問4	Q4	自分で食事の用意をしていますか。	○は1つ
----	----	------------------	------

自分で食事の用意をすることについて、「できるし、している」が68.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.5%、「できない」が8.7%となっています。

また、性別で見ると、「できない」では「男性」が14.0%、「女性」が3.3%で、「男性」のほうが10.7ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が11.8%で最も多く、次いで「70～74歳」が5.5%、「65～69歳」が4.6%となっています。



さらに、1日の食事回数別で見ると、「できない」では「1日2回」が10.6%で最も多く、次いで「1日3回」が8.6%、「その他」が8.0%となっています。



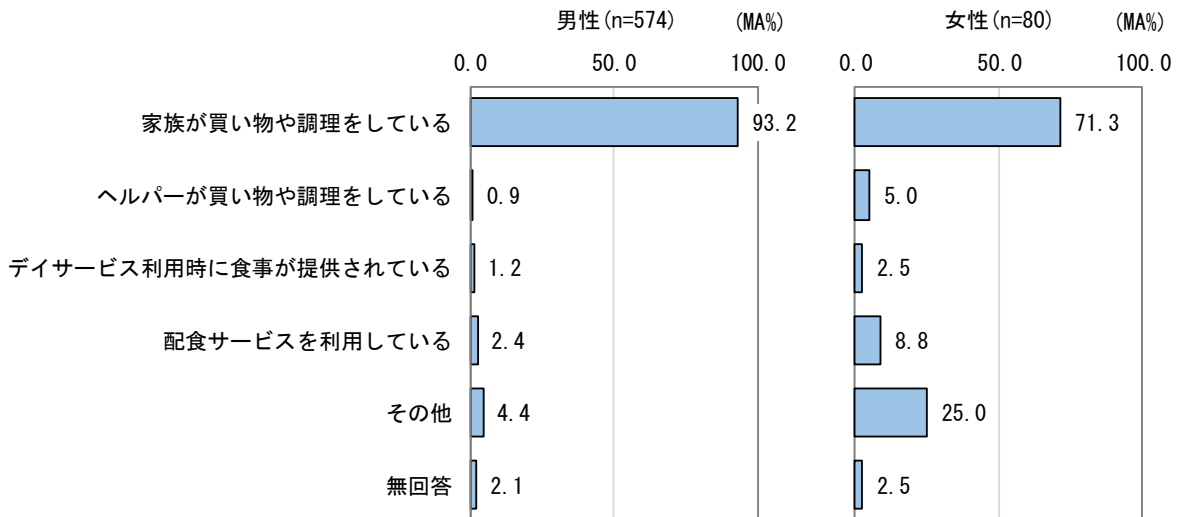
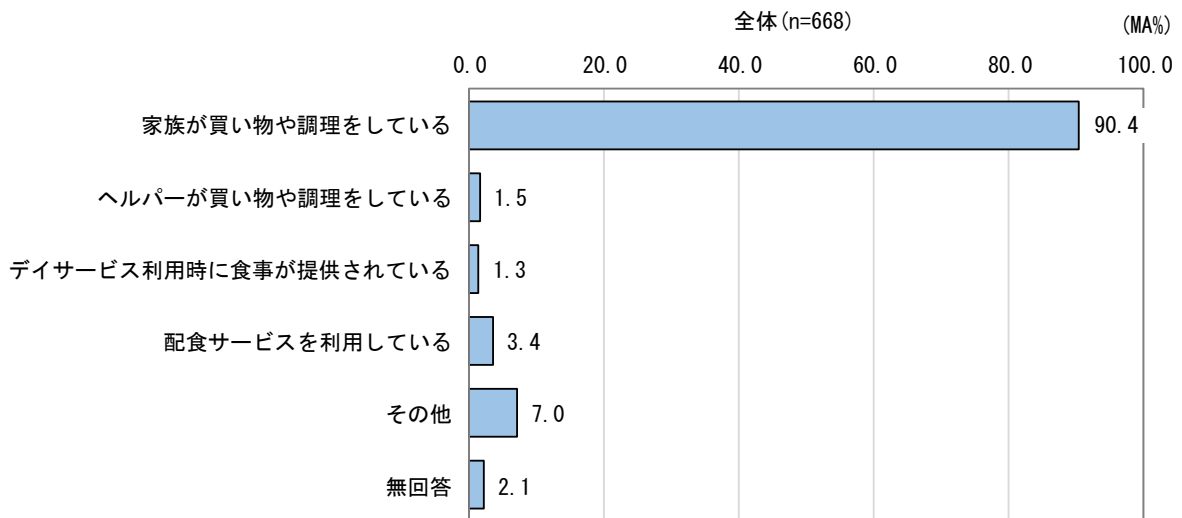
(5) 食事の確保

【Q4で「できるけどしていない」「できない」を回答した人のみ】

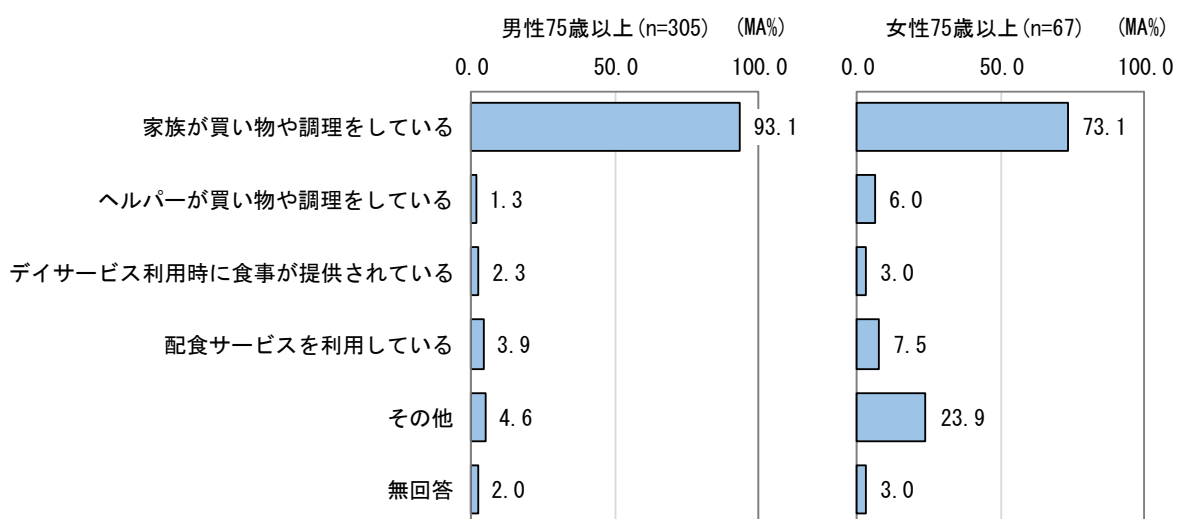
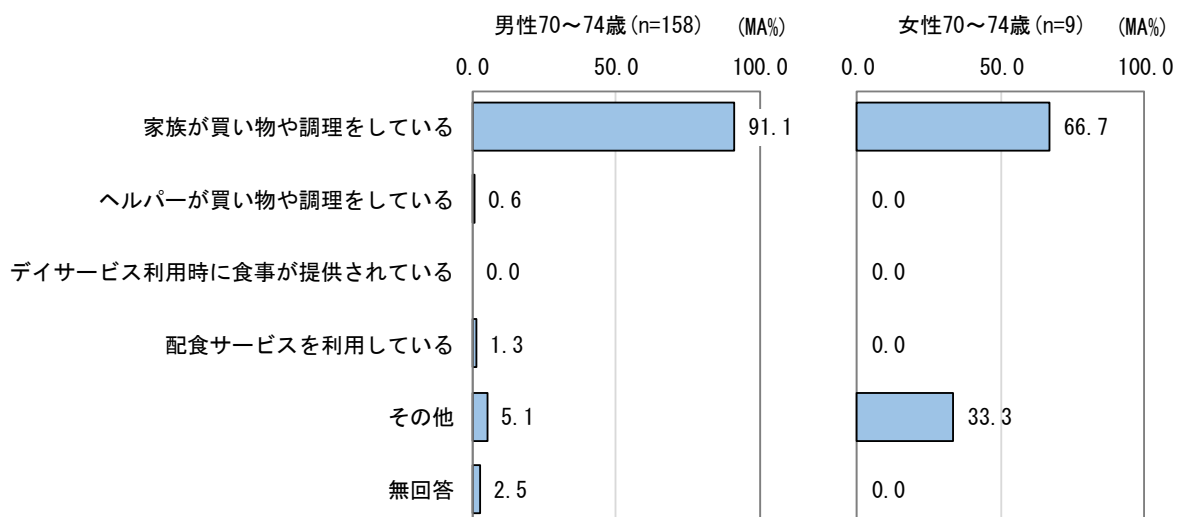
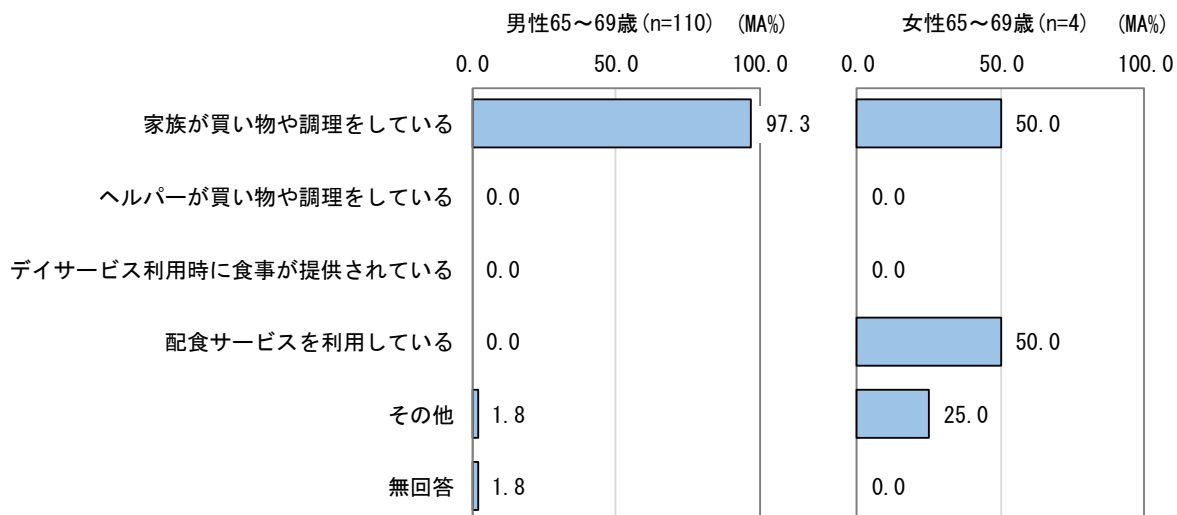
問4	Q4-1	食事の確保はどのようにしていますか。	○はいくつでも
----	------	--------------------	---------

自分で食事の用意をしていない(できない)人に、どのように食事の確保をしているかについて聞いたところ、「家族が買い物や調理をしている」が90.4%で最も多く、次いで「その他」が7.0%、「配食サービスを利用している」が3.4%となっています。

また、性別で見ると、男女とも「家族が買い物や調理をしている」が最も多く、「男性」が93.2%、「女性」が71.3%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果

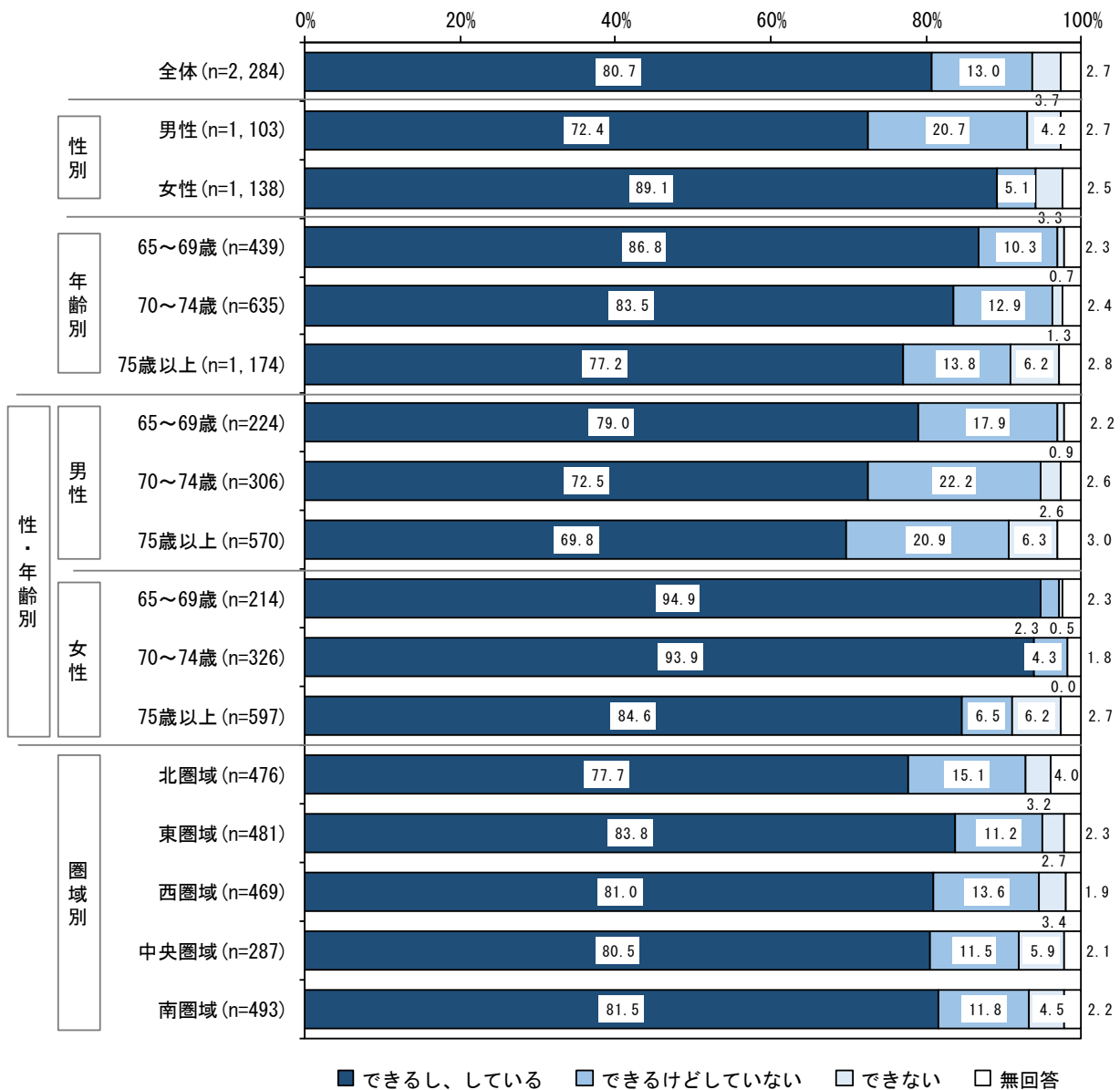


(6) 自分で請求書の支払いをすること

問4	Q5	自分で請求書の支払いをしていますか。	○は1つ
----	----	--------------------	------

自分で請求書の支払いをすることについて、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が3.7%となっています。

また、性別でみると、「できない」では「男性」が4.2%、「女性」が3.3%で、「男性」のほうが0.9ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が6.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が1.3%、「65～69歳」が0.7%となっています。

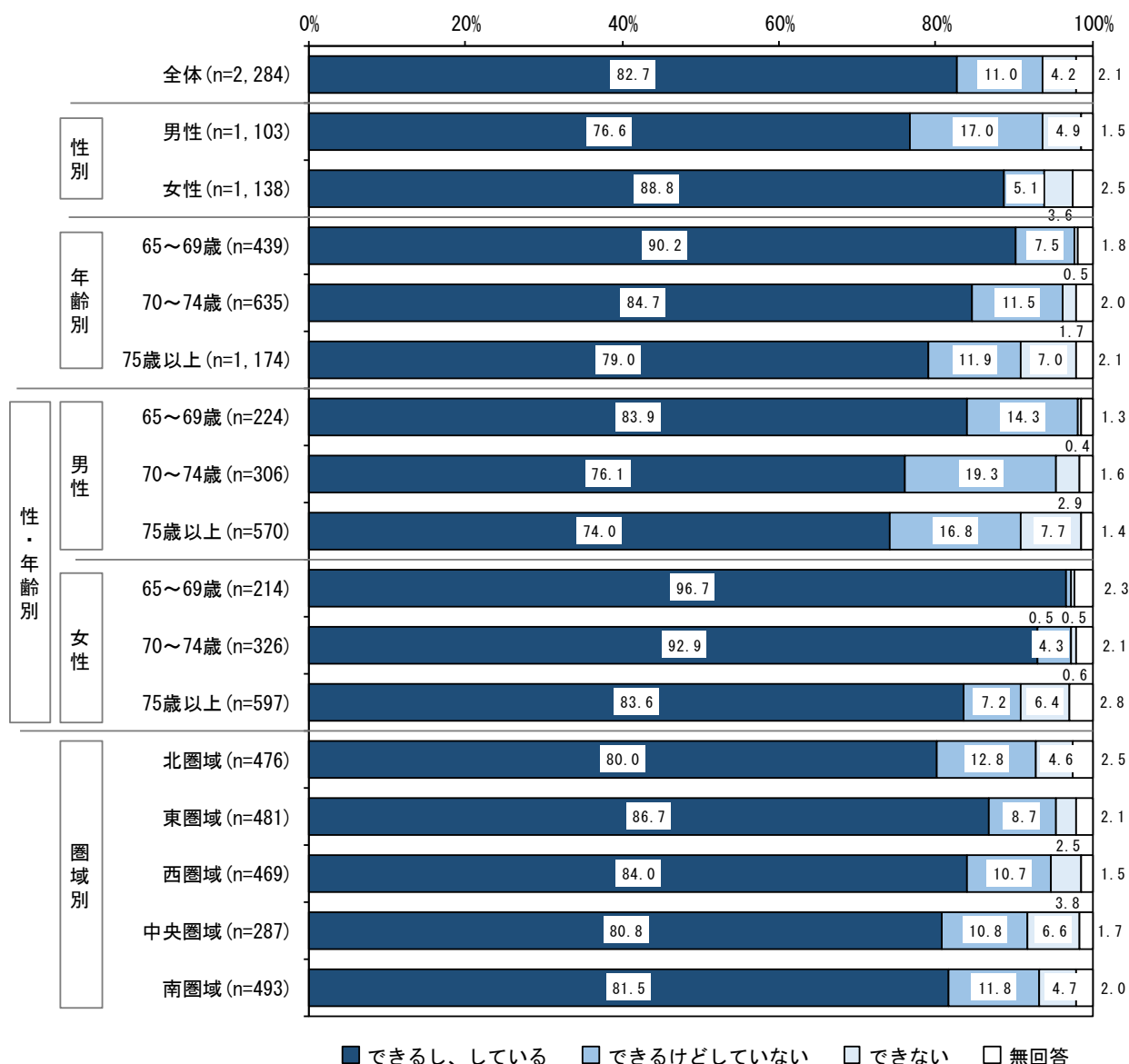


(7) 自分で預貯金の出し入れをすること

問4	Q6	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	○は1つ
----	----	---------------------	------

自分で預貯金の出し入れをすることについて、「できるし、している」が82.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が4.2%となっています。

また、性別で見ると、「できない」では「男性」が4.9%、「女性」が3.6%で、「男性」のほうが1.3ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が7.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が1.7%、「65～69歳」が0.5%となっています。

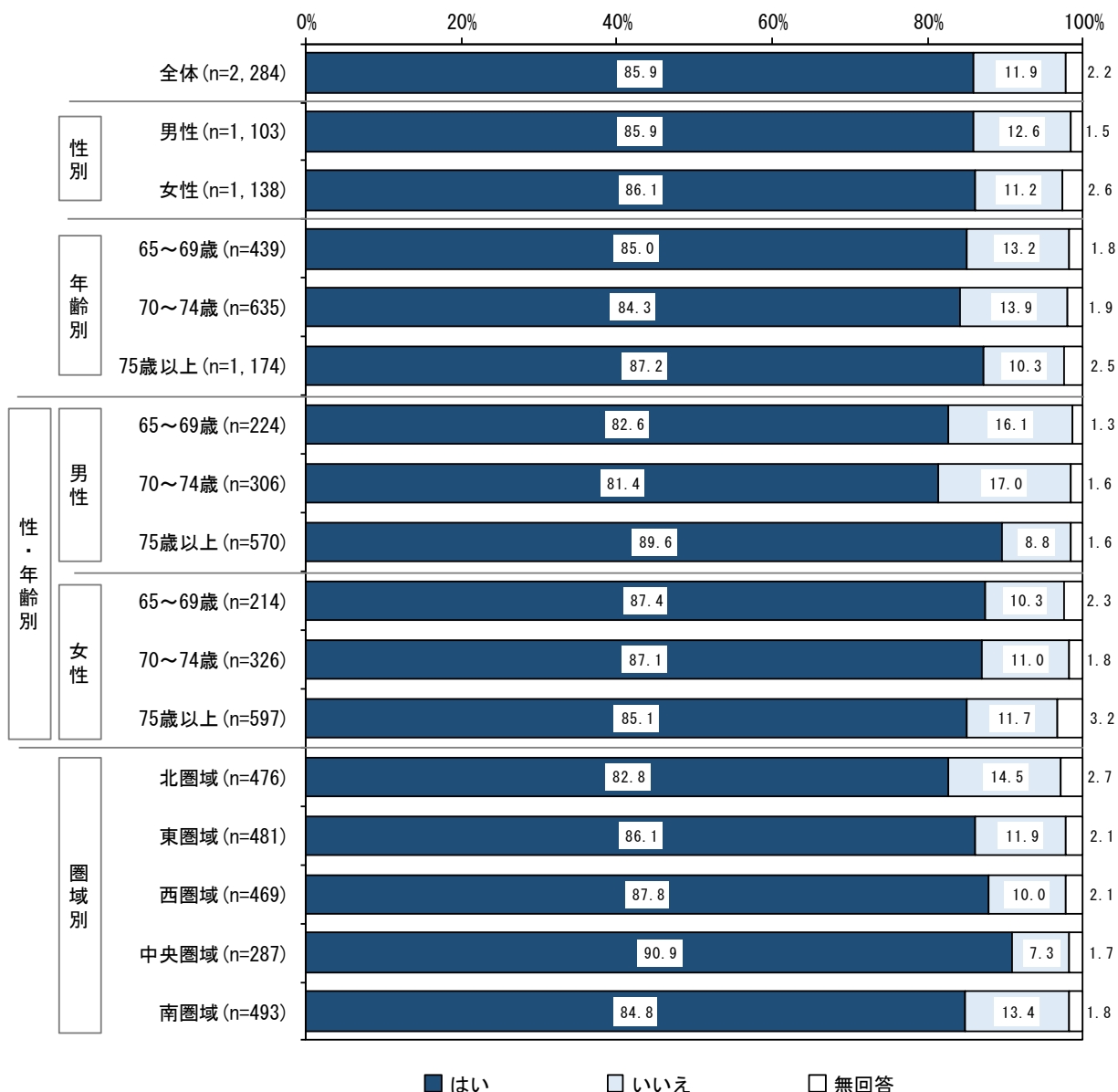


(8) 新聞、本、雑誌を読むこと

問4	Q7	新聞、本、雑誌を読んでいますか。	○は1つ
----	----	------------------	------

新聞、本、雑誌を読んでいるかについて、「はい」が85.9%、「いいえ」が11.9%となっています。

また、性別で見ると、「いいえ」では「男性」が12.6%、「女性」が11.2%で、「男性」のほうが1.4ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が13.9%で最も多く、次いで「65～69歳」が13.2%、「75歳以上」が10.3%となっています。

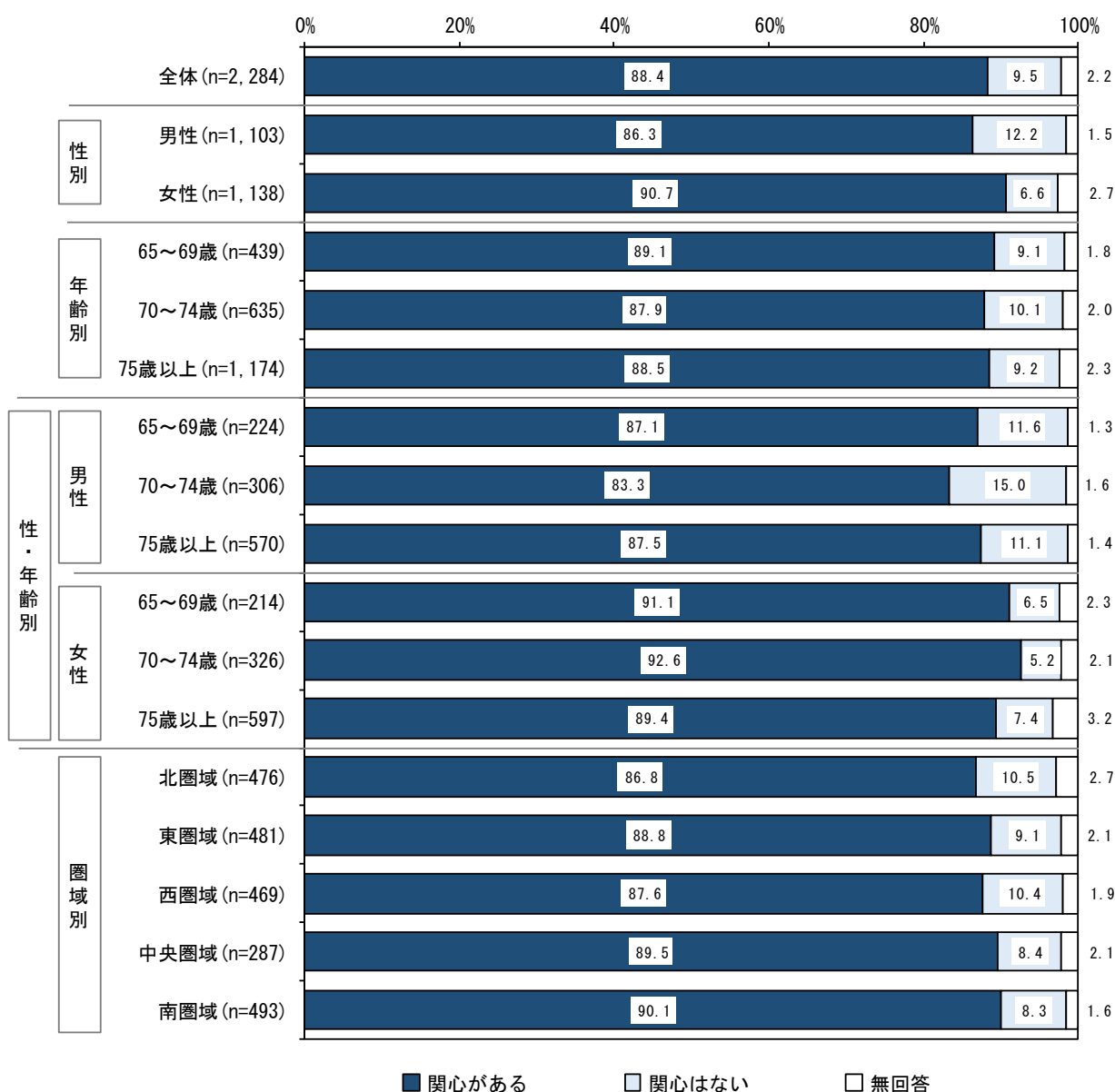


(9) 健康についての記事や番組への関心

問4	Q8	健康についての記事や番組に関心がありますか。	○は1つ
----	----	------------------------	------

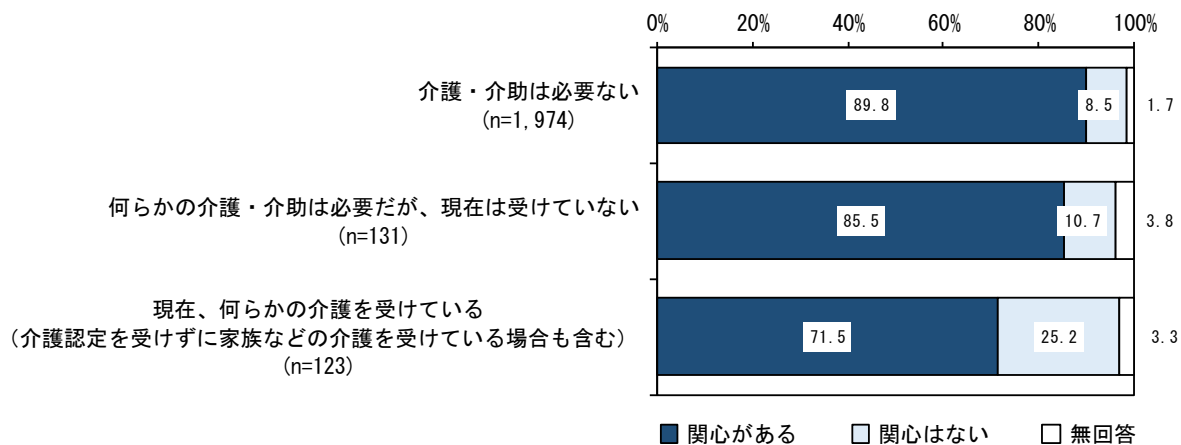
健康についての記事や番組への関心について、「関心がある」が88.4%、「関心はない」が9.5%となっています。

また、性別で見ると、「関心はない」では「男性」が12.2%、「女性」が6.6%で、「男性」のほうが5.6ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が10.1%で最も多く、次いで「75歳以上」が9.2%、「65～69歳」が9.1%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

さらに、介護・介助の必要性別でみると、「関心はない」では「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が25.2%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.7%、「介護・介助は必要ない」が8.5%となっています。

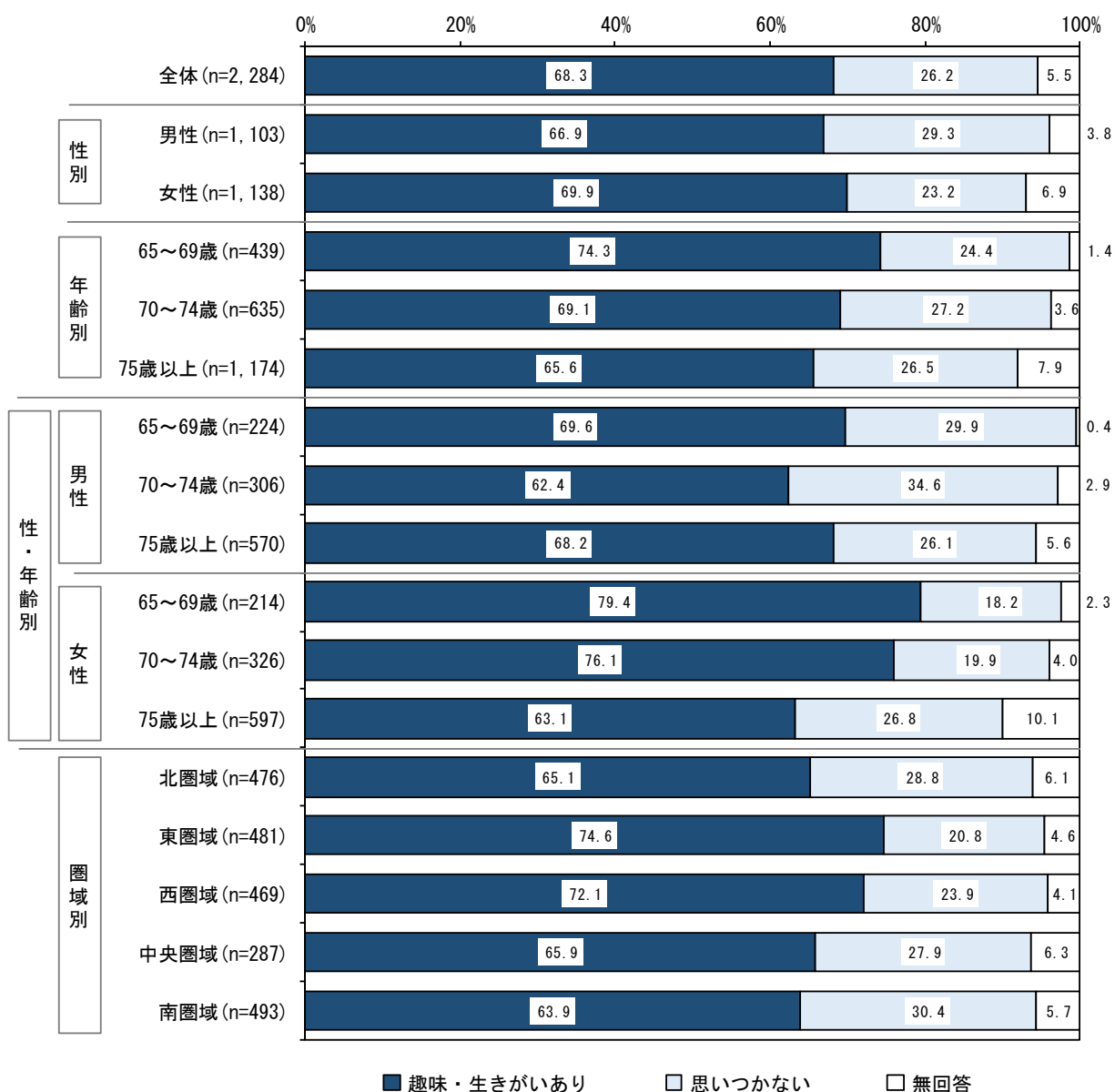


(10) 趣味・生きがい

問4	Q9	趣味・生きがいはありますか。	○は1つ
----	----	----------------	------

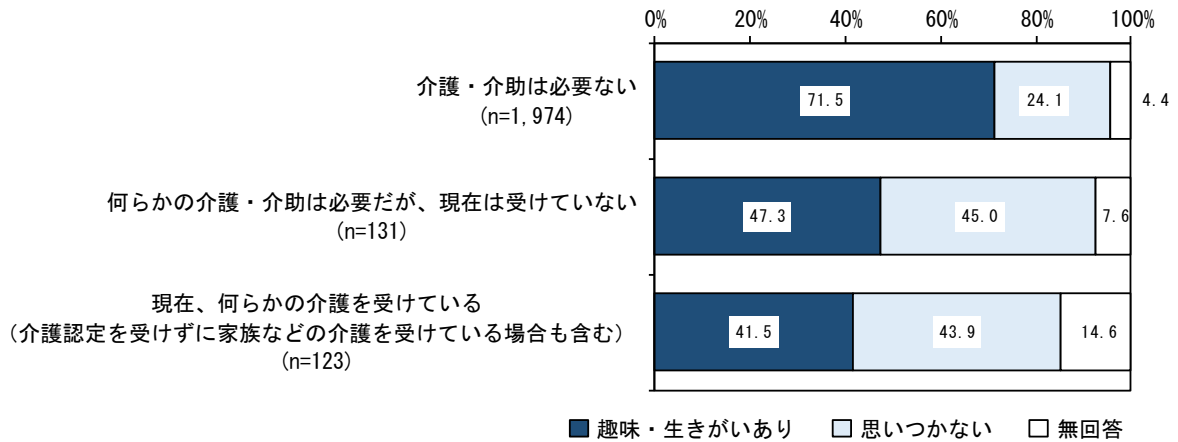
趣味・生きがいについて、「趣味・生きがいあり」が68.3%、「思いつかない」が26.2%となっています。

また、性別で見ると、「思いつかない」では「男性」が29.3%、「女性」が23.2%で、「男性」のほうが6.1ポイント多くっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が27.2%で最も多く、次いで「75歳以上」が26.5%、「65～69歳」が24.4%となっています。

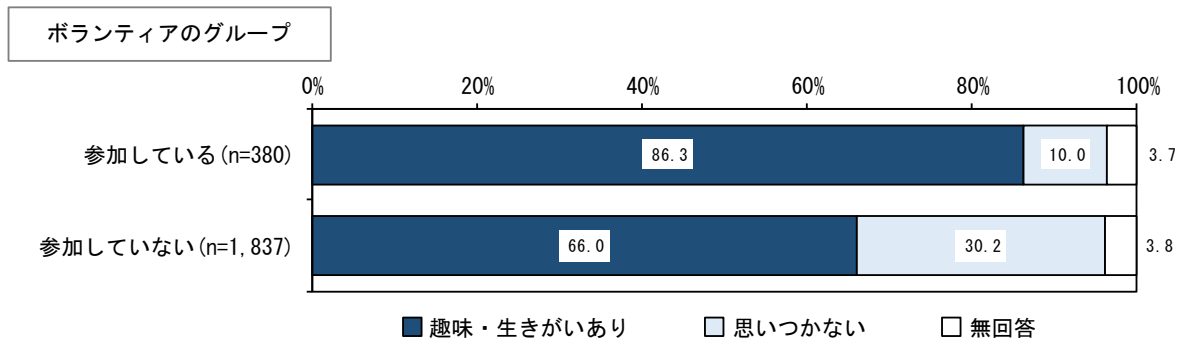


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

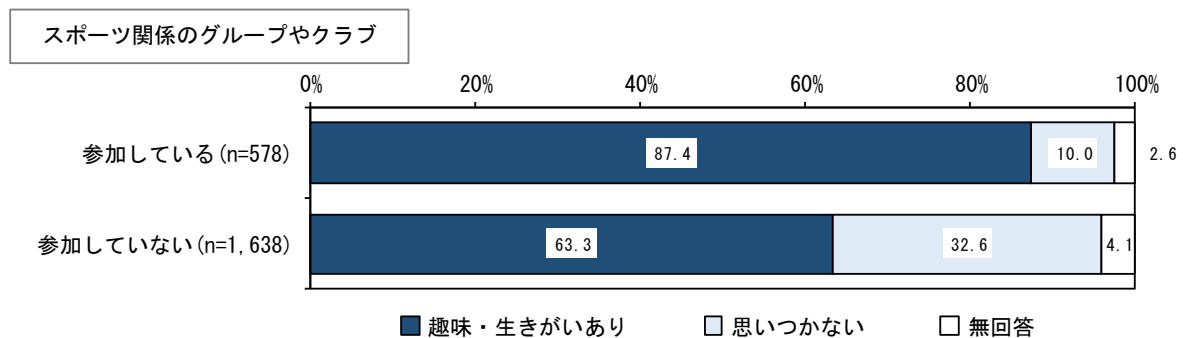
介護・介助の必要性別でみると、「思いつかない」では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が45.0%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が43.9%、「介護・介助は必要ない」が24.1%となっています。



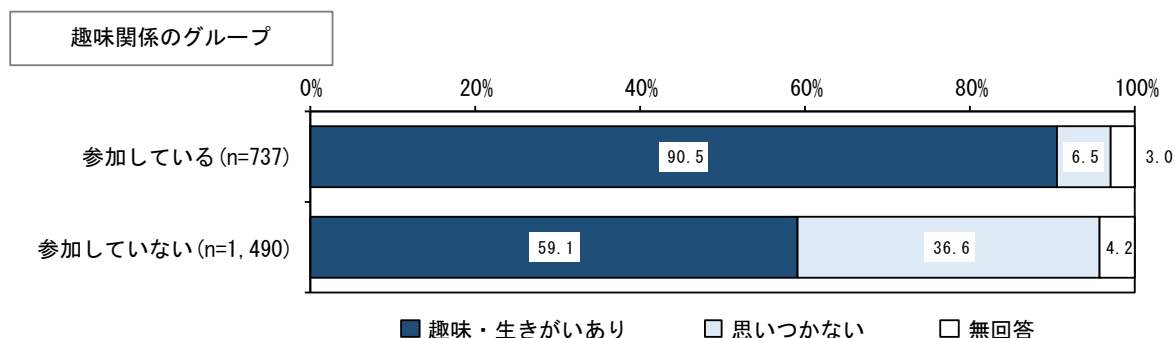
「ボランティアグループ」への参加の有無別でみると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が86.3%、「参加していない」が66.0%で、「参加している」のほうが20.3ポイント多くなっています。



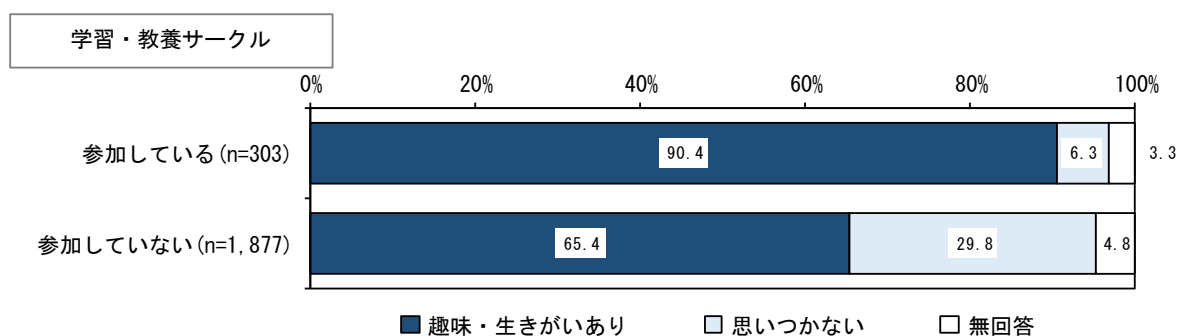
「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別でみると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が87.4%、「参加していない」が63.3%で、「参加している」のほうが24.1ポイント多くなっています。



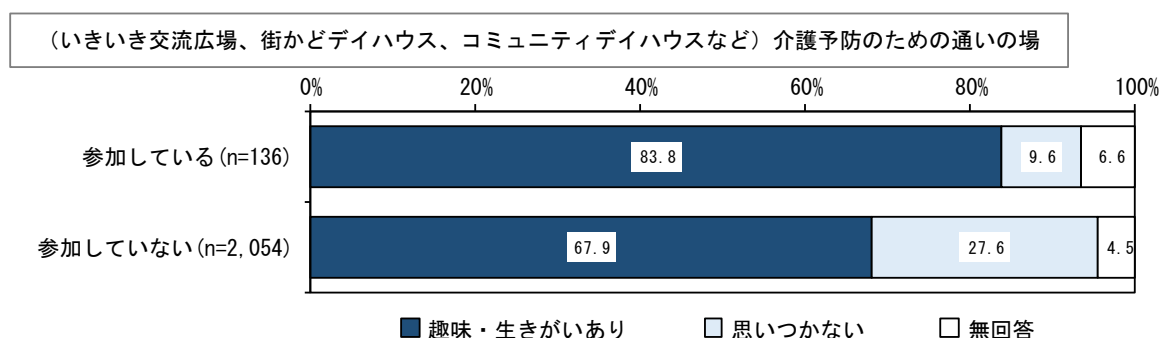
「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が90.5%、「参加していない」が59.1%で、「参加している」のほうが31.4ポイント多くなっています。



「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が90.4%、「参加していない」が65.4%で、「参加している」のほうが25.0ポイント多くなっています。

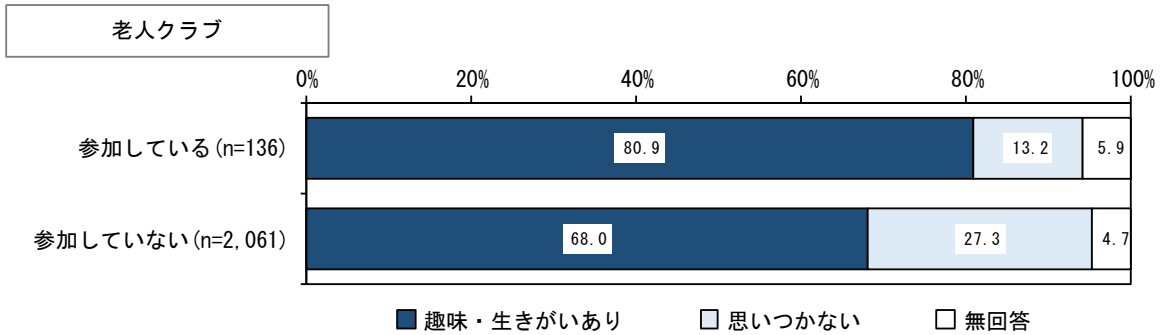


「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が83.8%、「参加していない」が67.9%で、「参加している」のほうが15.9ポイント多くなっています。

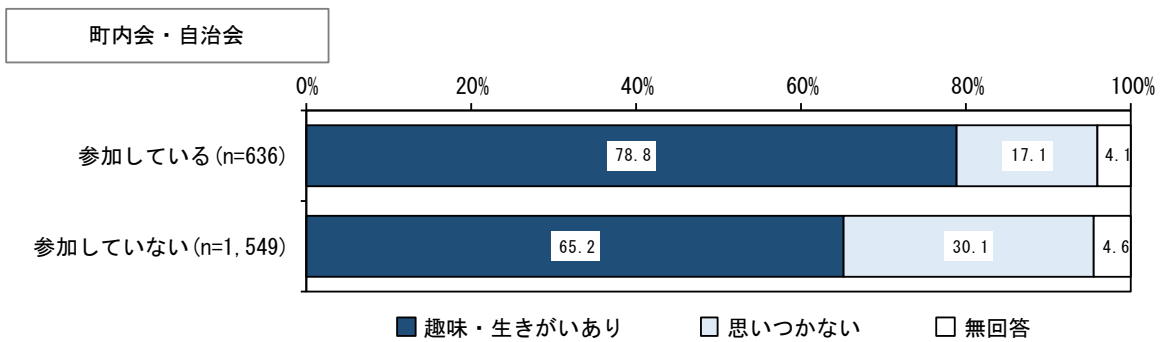


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

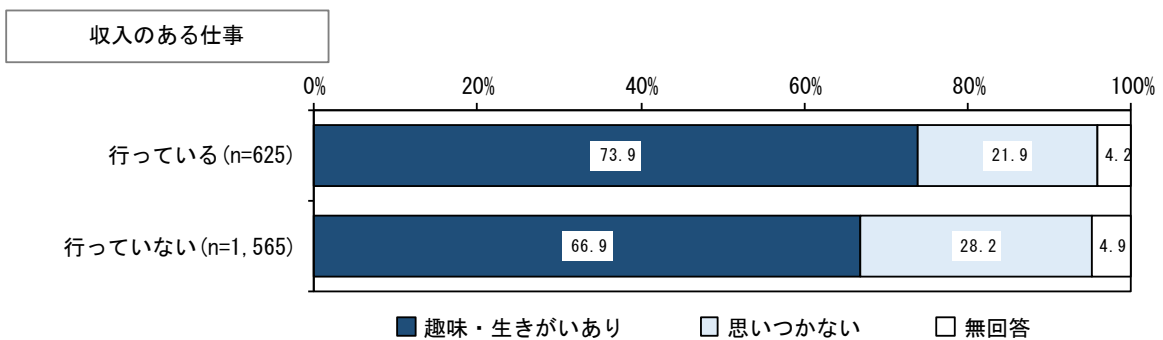
「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が80.9%、「参加していない」が68.0%で、「参加している」のほうが12.9ポイント多くなっています。



「町内会・自治会」への参加の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「参加している」が78.8%、「参加していない」が65.2%で、「参加している」のほうが13.6ポイント多くなっています。



「収入のある仕事」の有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「行っている」が73.9%、「行っていない」が66.9%で、「行っている」のほうが7.0ポイント多くなっています。

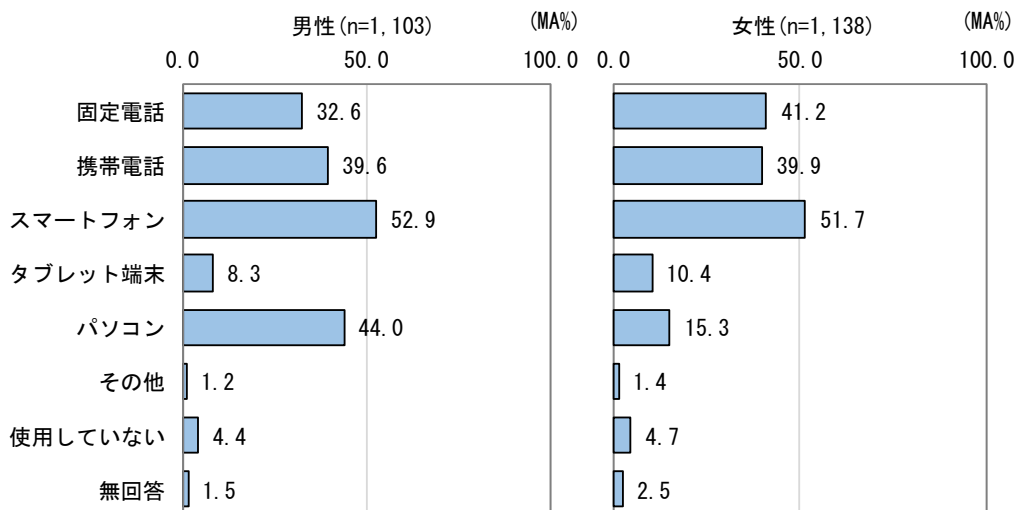
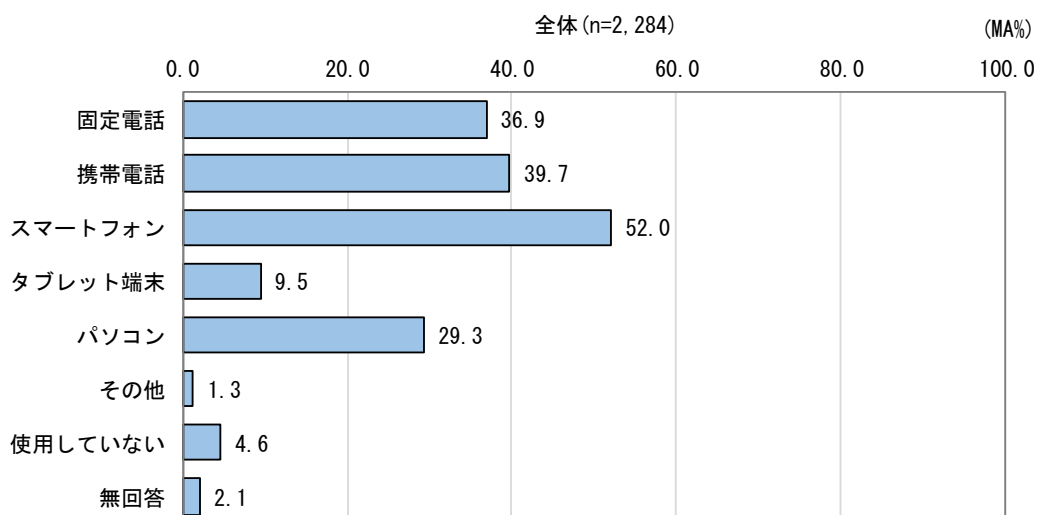


(11) 日常生活で使用している情報通信機器

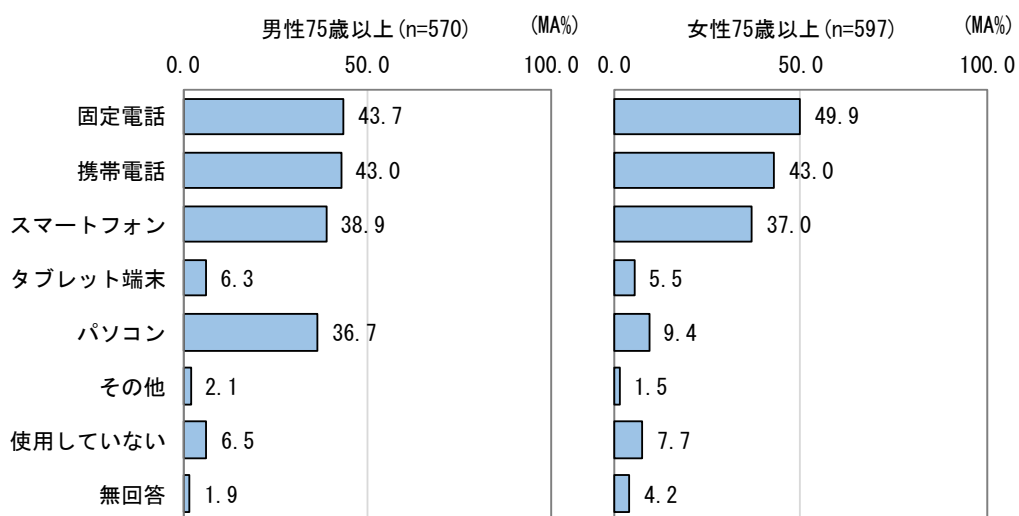
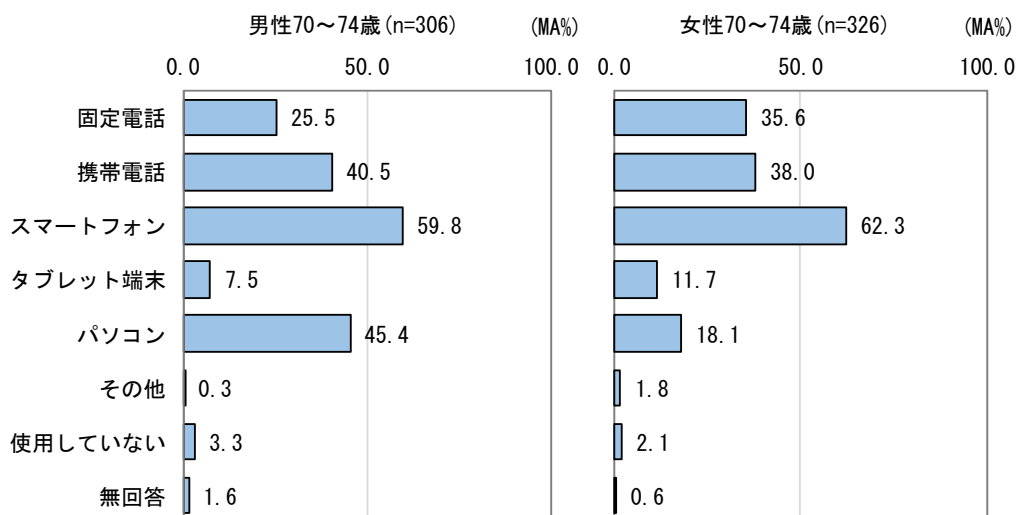
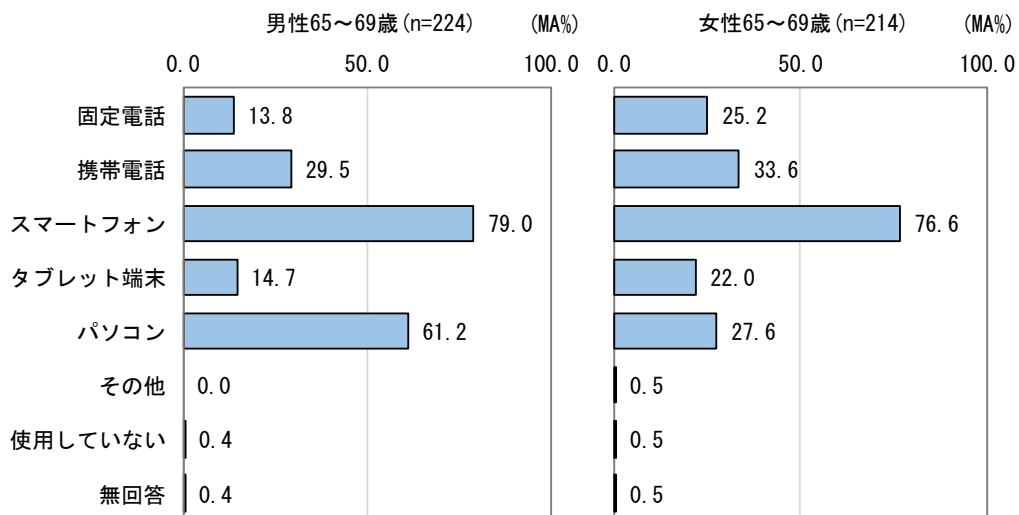
問4	Q10	次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはありますか。	○はいくつでも
----	-----	-----------------------------------	---------

日常生活でよく使用している情報通信機器について、「スマートフォン」が52.0%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.7%、「固定電話」が36.9%となっています。

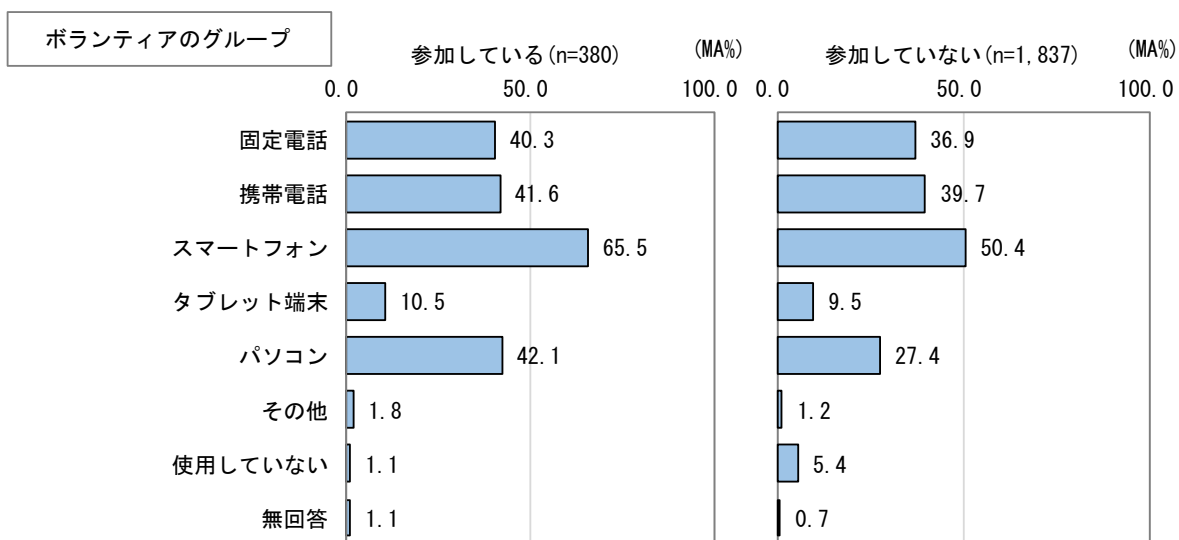
また、男女とも「スマートフォン」が最も多く、「男性」が52.9%、「女性」が51.7%となっています。



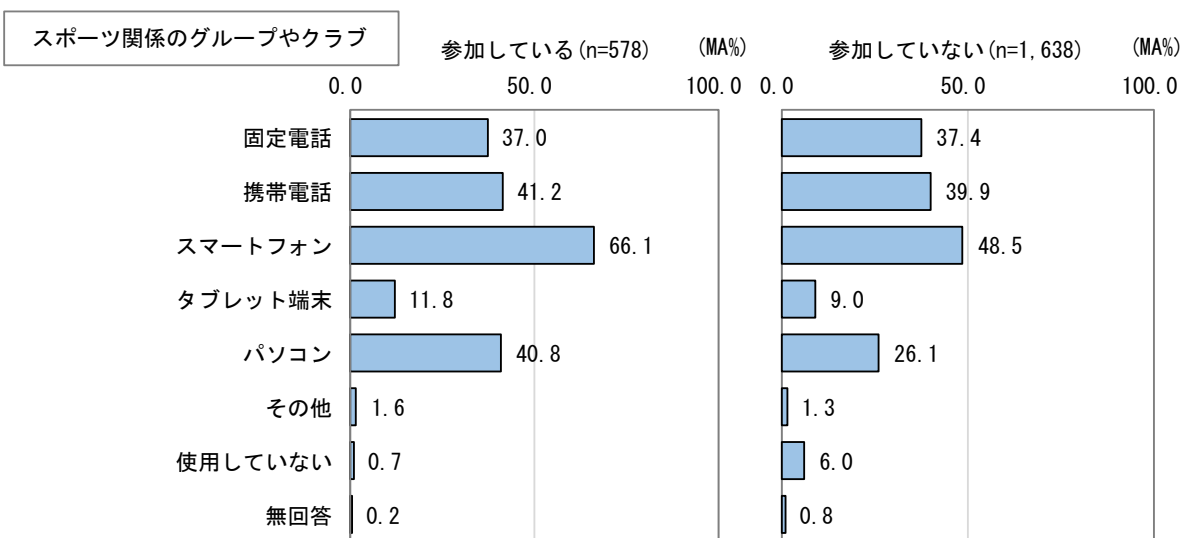
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



「ボランティアグループ」への参加の有無別でみると、「参加している」では「スマートフォン」が65.5%で最も多く、次いで「パソコン」が42.1%、「携帯電話」が41.6%、「参加していない」では「スマートフォン」が50.4%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.7%、「固定電話」が36.9%となっています。

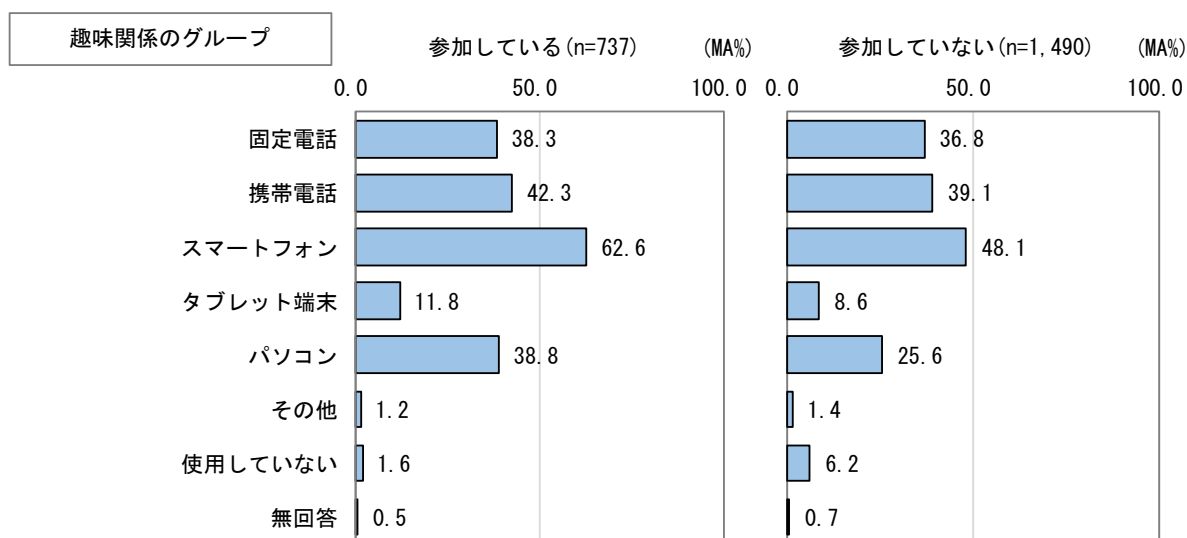


「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別でみると、「参加している」では「スマートフォン」が66.1%で最も多く、次いで「携帯電話」が41.2%、「パソコン」が40.8%、「参加していない」では「スマートフォン」が48.5%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.9%、「固定電話」が37.4%となっています。

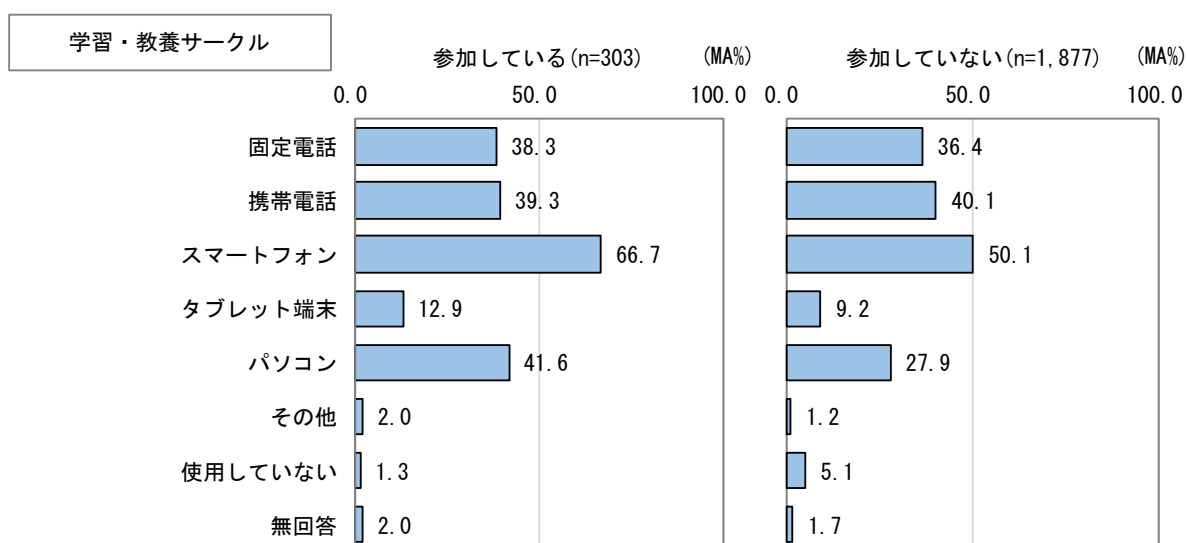


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「スマートフォン」が62.6%で最も多く、次いで「携帯電話」が42.3%、「パソコン」が38.8%、「参加していない」では「スマートフォン」が48.1%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.1%、「固定電話」が36.8%となっています。

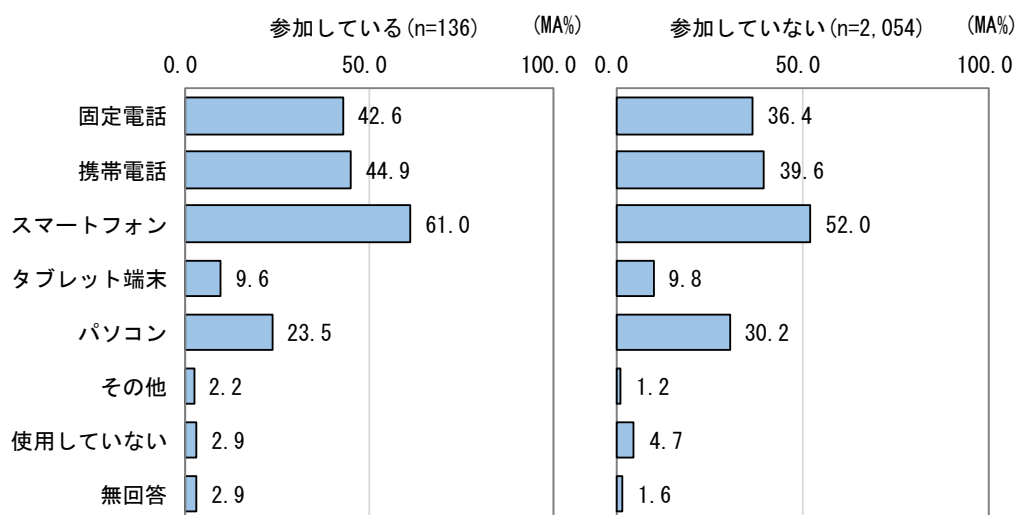


「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「スマートフォン」が66.7%で最も多く、次いで「パソコン」が41.6%、「携帯電話」が39.3%、「参加していない」では「スマートフォン」が50.1%で最も多く、次いで「携帯電話」が40.1%、「固定電話」が36.4%となっています。



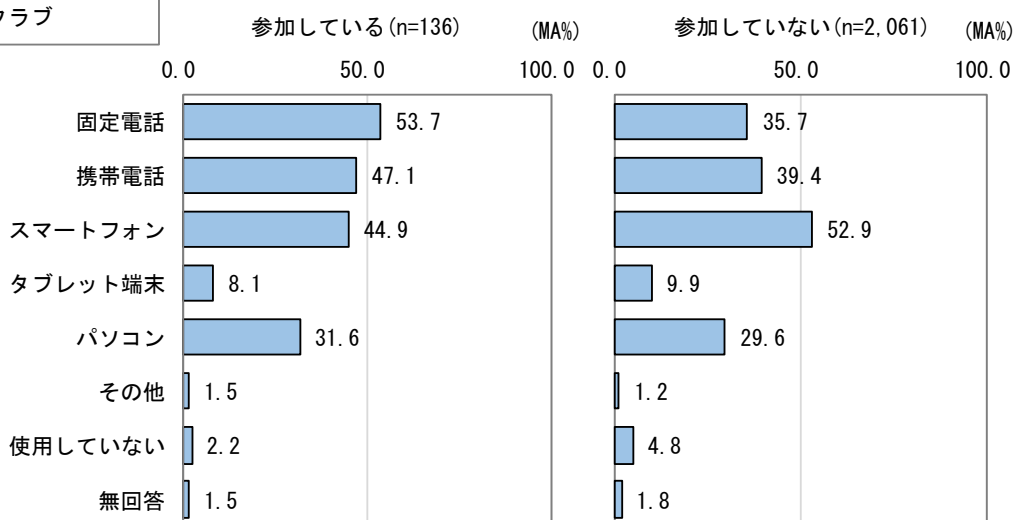
「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「スマートフォン」が61.0%で最も多く、次いで「携帯電話」が44.9%、「固定電話」が42.6%、「参加していない」では「スマートフォン」が52.0%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.6%、「固定電話」が36.4%となっています。

(いきいき交流広場、街かどデイハウス、コミュニティデイハウスなど) 介護予防のための通いの場



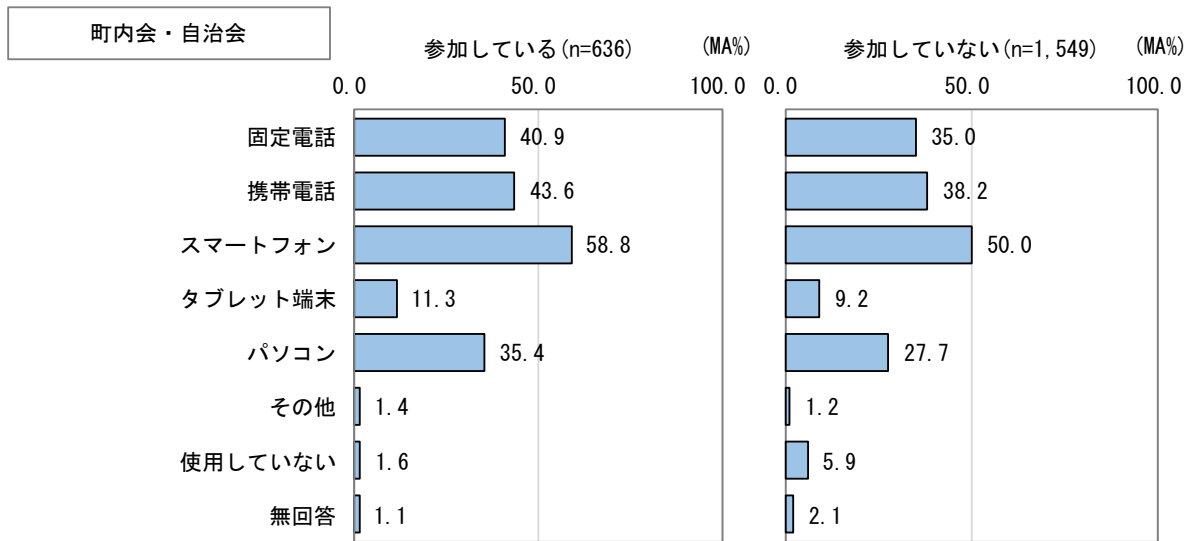
「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「固定電話」が53.7%で最も多く、次いで「携帯電話」が47.1%、「スマートフォン」が44.9%、「参加していない」では「スマートフォン」が52.9%で最も多く、次いで「携帯電話」が39.4%、「固定電話」が35.7%となっています。

老人クラブ

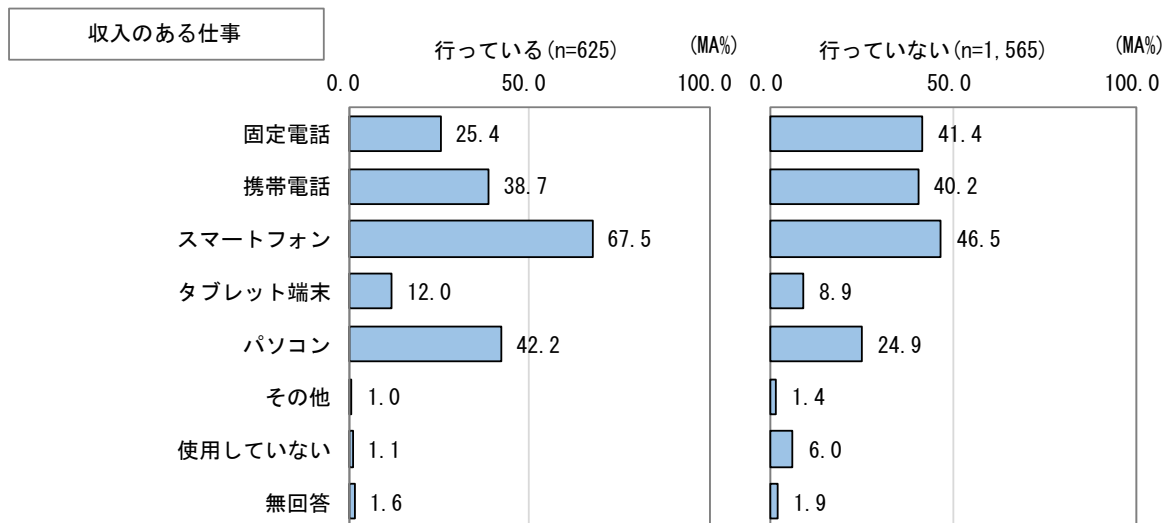


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

「町内会・自治会」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「スマートフォン」が58.8%で最も多く、次いで「携帯電話」が43.6%、「固定電話」が40.9%、「参加していない」では「スマートフォン」が50.0%で最も多く、次いで「携帯電話」が38.2%、「固定電話」が35.0%となっています。



「収入のある仕事」の有無別で見ると、「行っている」では「スマートフォン」が67.5%で最も多く、次いで「パソコン」が42.2%、「携帯電話」が38.7%、「行っていない」では「スマートフォン」が46.5%で最も多く、次いで「固定電話」が41.4%、「携帯電話」が40.2%となっています。

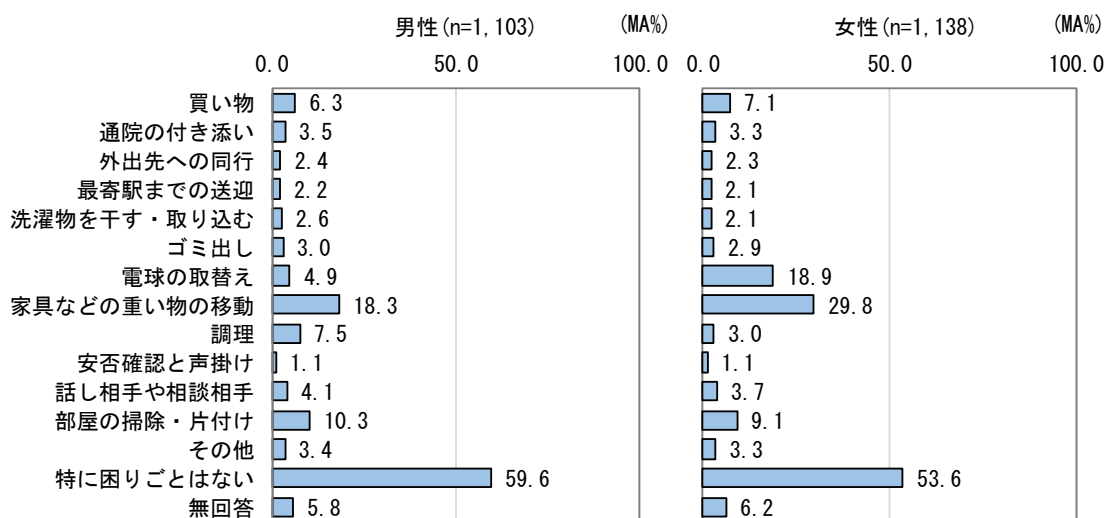
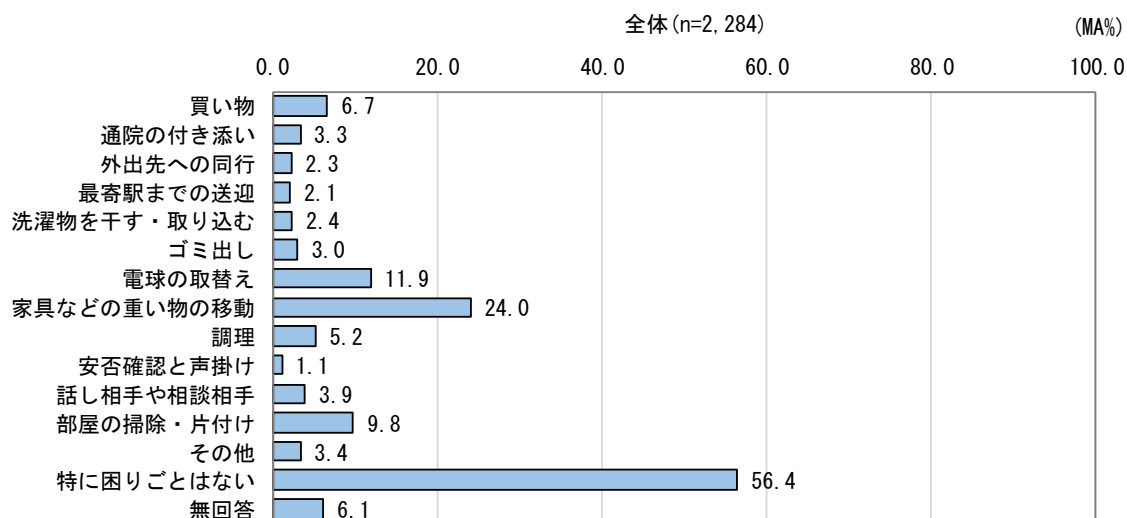


(12) 日常生活での困りごと

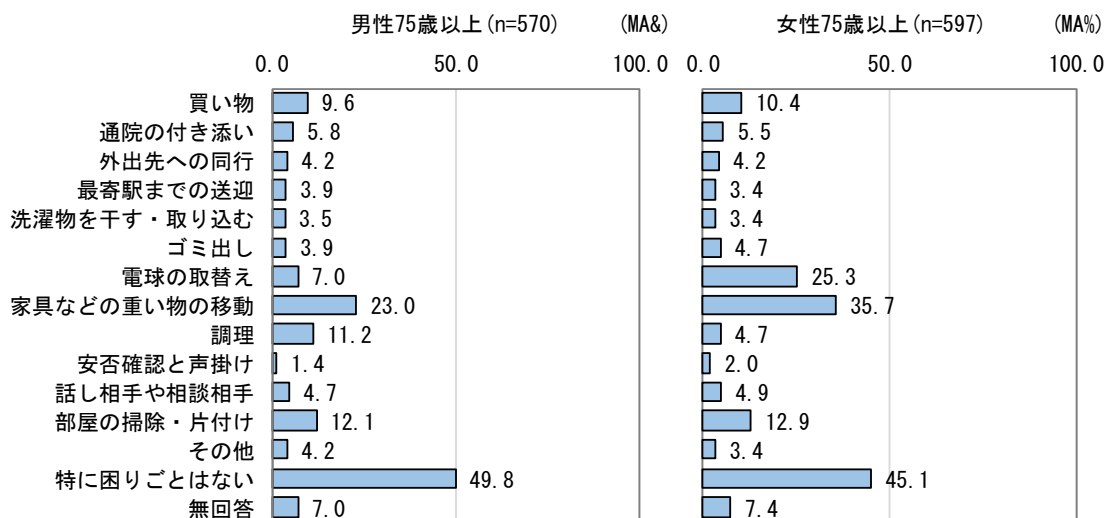
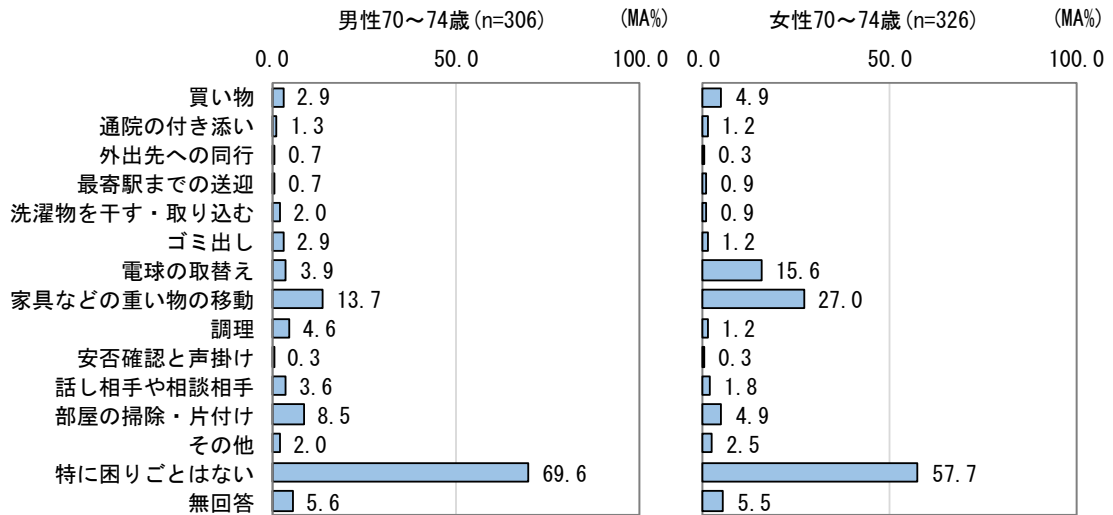
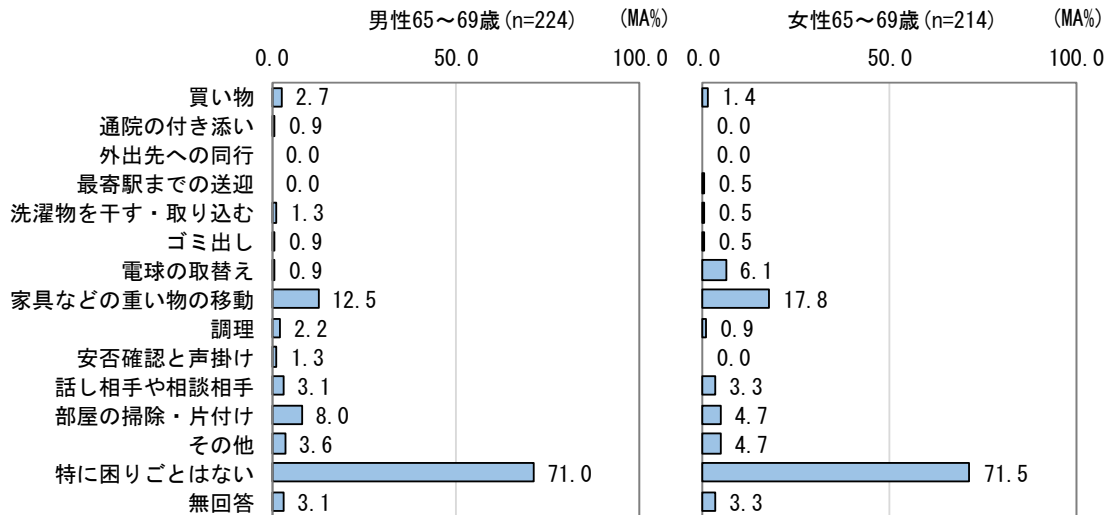
問4	Q11	日常生活で困りごとはありますか。	○はいくつでも
----	-----	------------------	---------

日常生活での困りごとについて、「特に困りごとはない」が56.4%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が24.0%、「電球の取替え」が11.9%となっています。

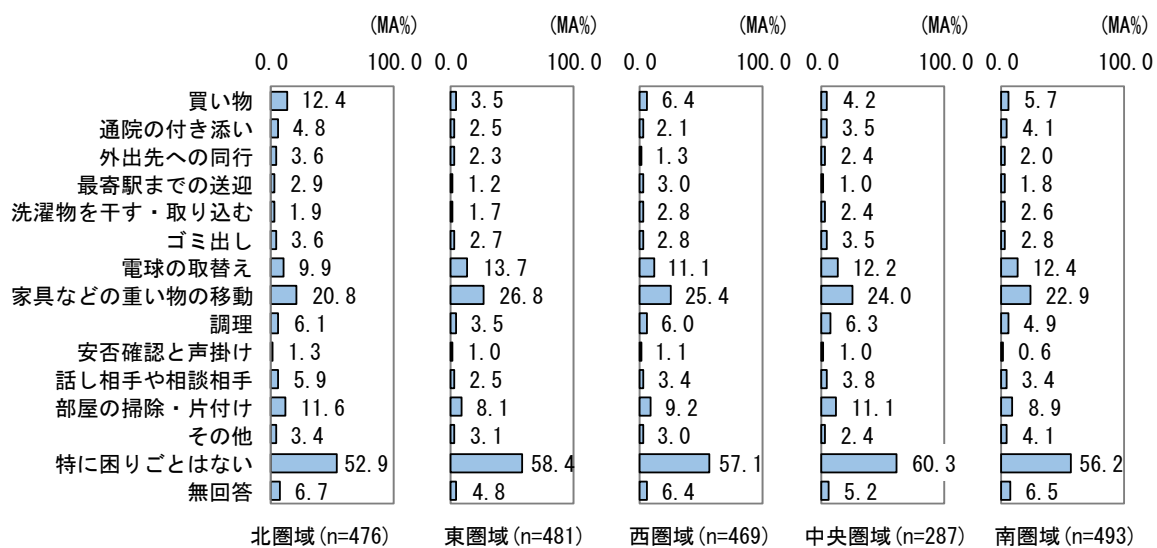
また、性別で見ると、男女とも「特に困りごとはない」が最も多く、「男性」が59.6%、「女性」が53.6%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



6 地域での活動について

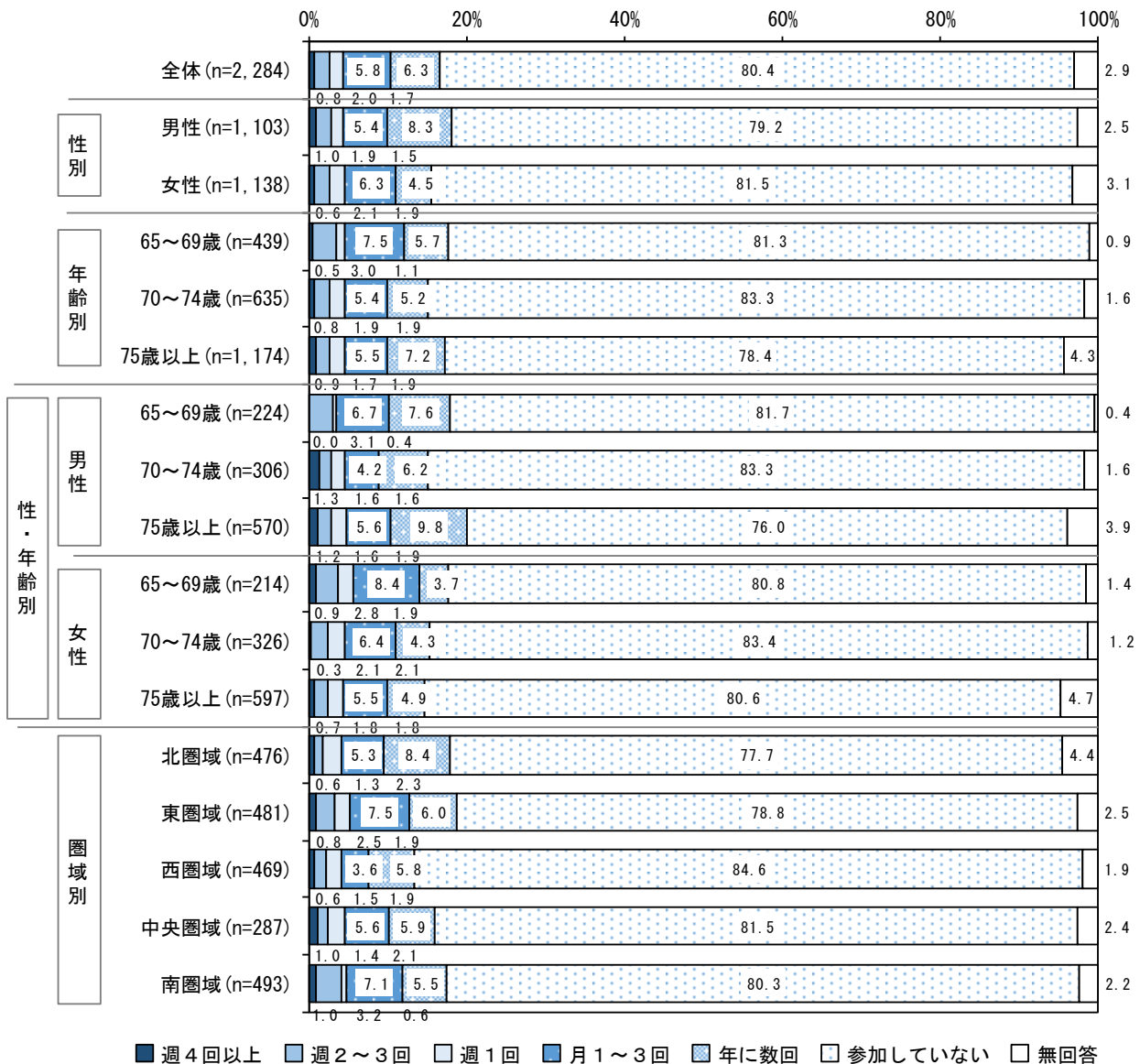
(1) 地域活動の参加頻度

問5	Q1	①～⑧について、どのくらいの頻度で参加して（行って）いますか。	○は1つ
----	----	---------------------------------	------

①ボランティアのグループ

「ボランティアグループ」の参加頻度について、「参加していない」が80.4%で最も多く、次いで「年に数回」が6.3%、「月1～3回」が5.8%となっています。

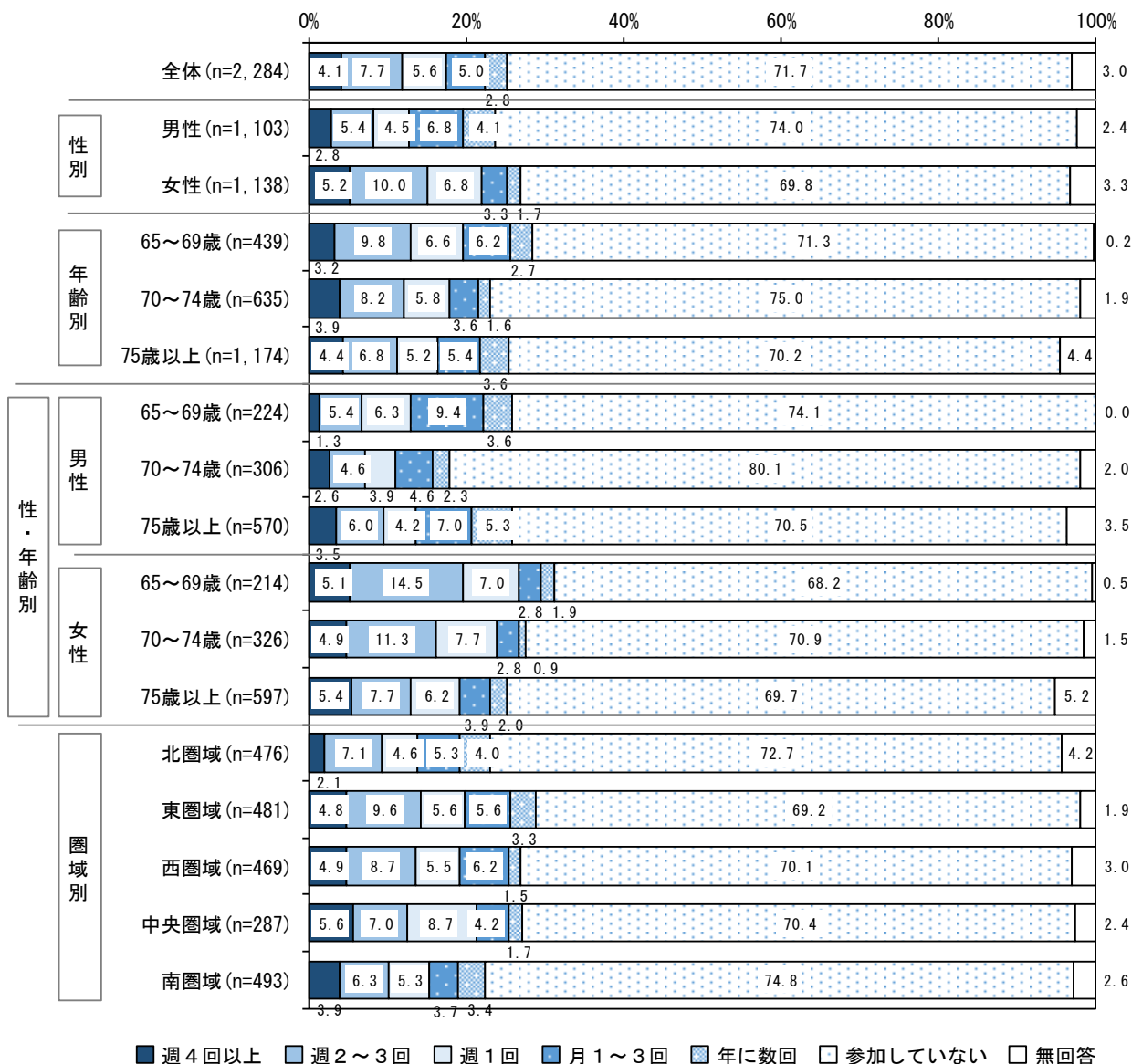
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が18.1%、「女性」が15.4%で、「男性」のほうが2.7ポイント多くっており、年齢別でみると、「65～69歳」が17.8%で最も多く、次いで「75歳以上」が17.2%、「70～74歳」が15.2%となっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

「スポーツ関係のグループやクラブ」の参加頻度について、「参加していない」が71.7%で最も多く、次いで「週2～3回」が7.7%、「週1回」が5.6%となっています。

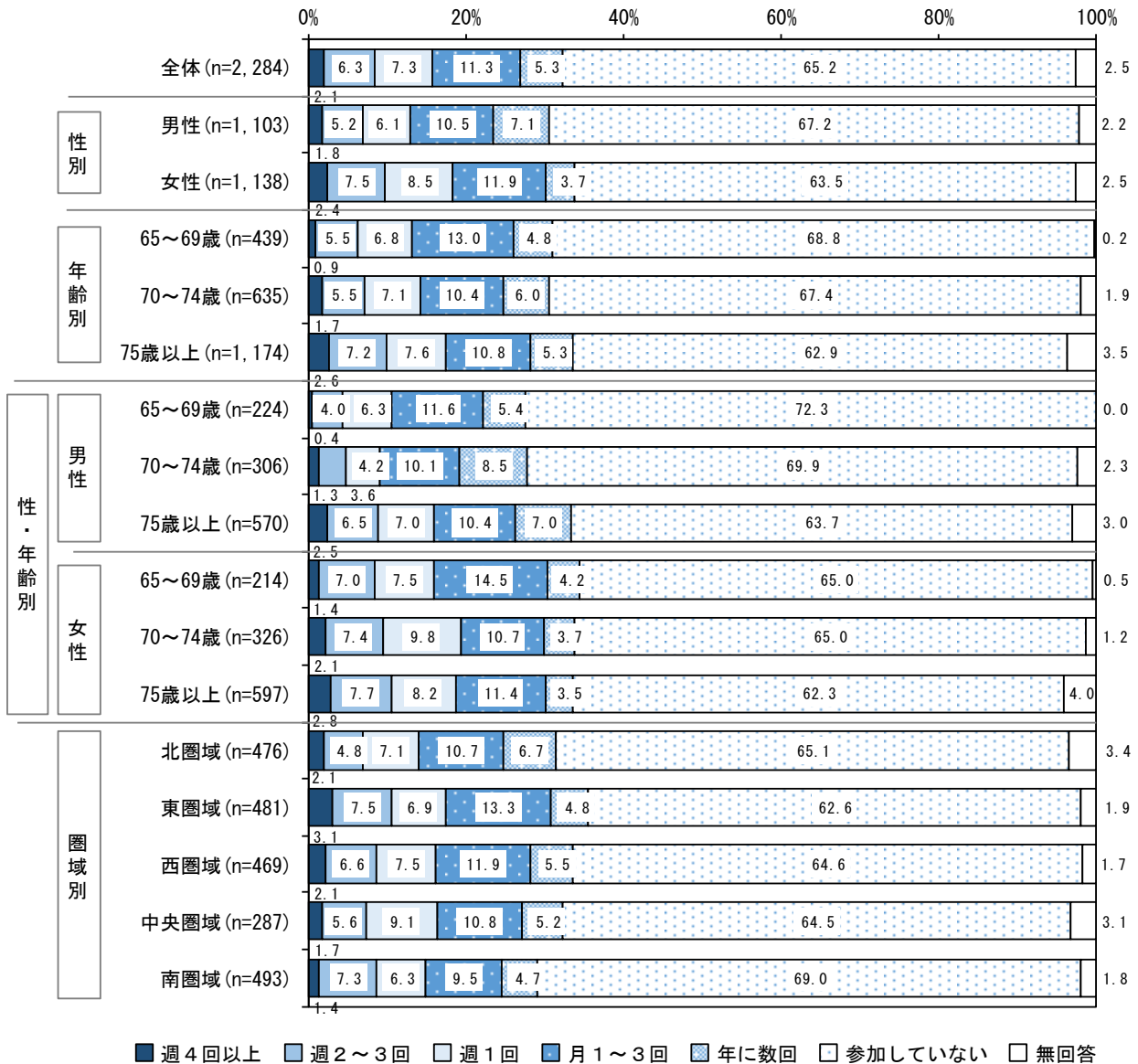
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が23.6%、「女性」が27.0%で、「女性」のほうが3.4ポイント多くっており、年齢別でみると、「65～69歳」が28.5%で最も多く、次いで「75歳以上」が25.4%、「70～74歳」が23.1%となっています。



③趣味関係のグループ

「趣味関係のグループ」の参加頻度について、「参加していない」が65.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が11.3%、「週1回」が7.3%となっています。

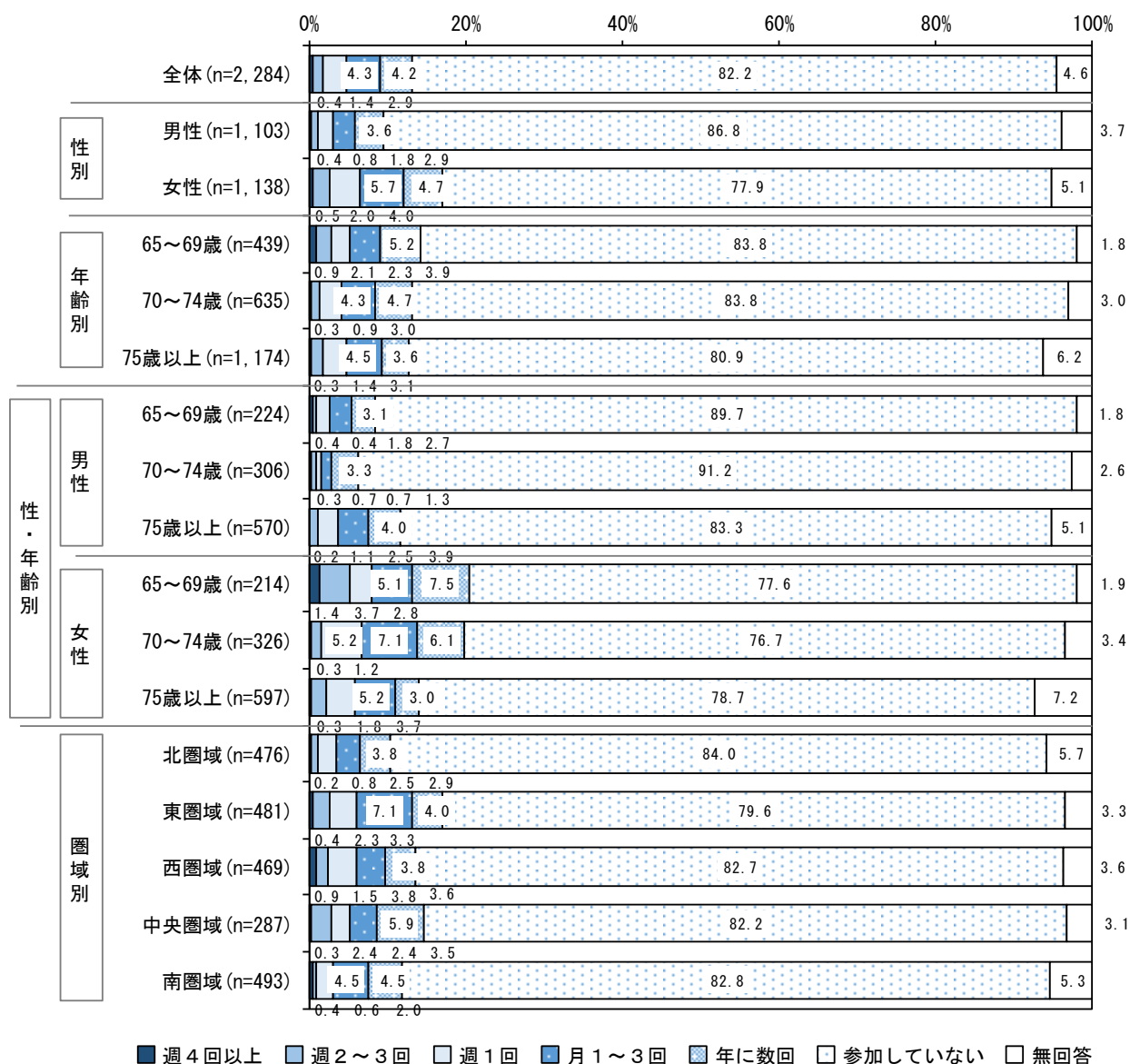
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が30.7%、「女性」が34.0%で、「女性」のほうが3.3ポイント多くっており、年齢別でみると、「75歳以上」が33.5%で最も多く、次いで「65～69歳」が31.0%、「70～74歳」が30.7%となっています。



④学習・教養サークル

「学習・教養サークル」の参加頻度について、「参加していない」が82.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.3%、「年に数回」が4.2%となっています。

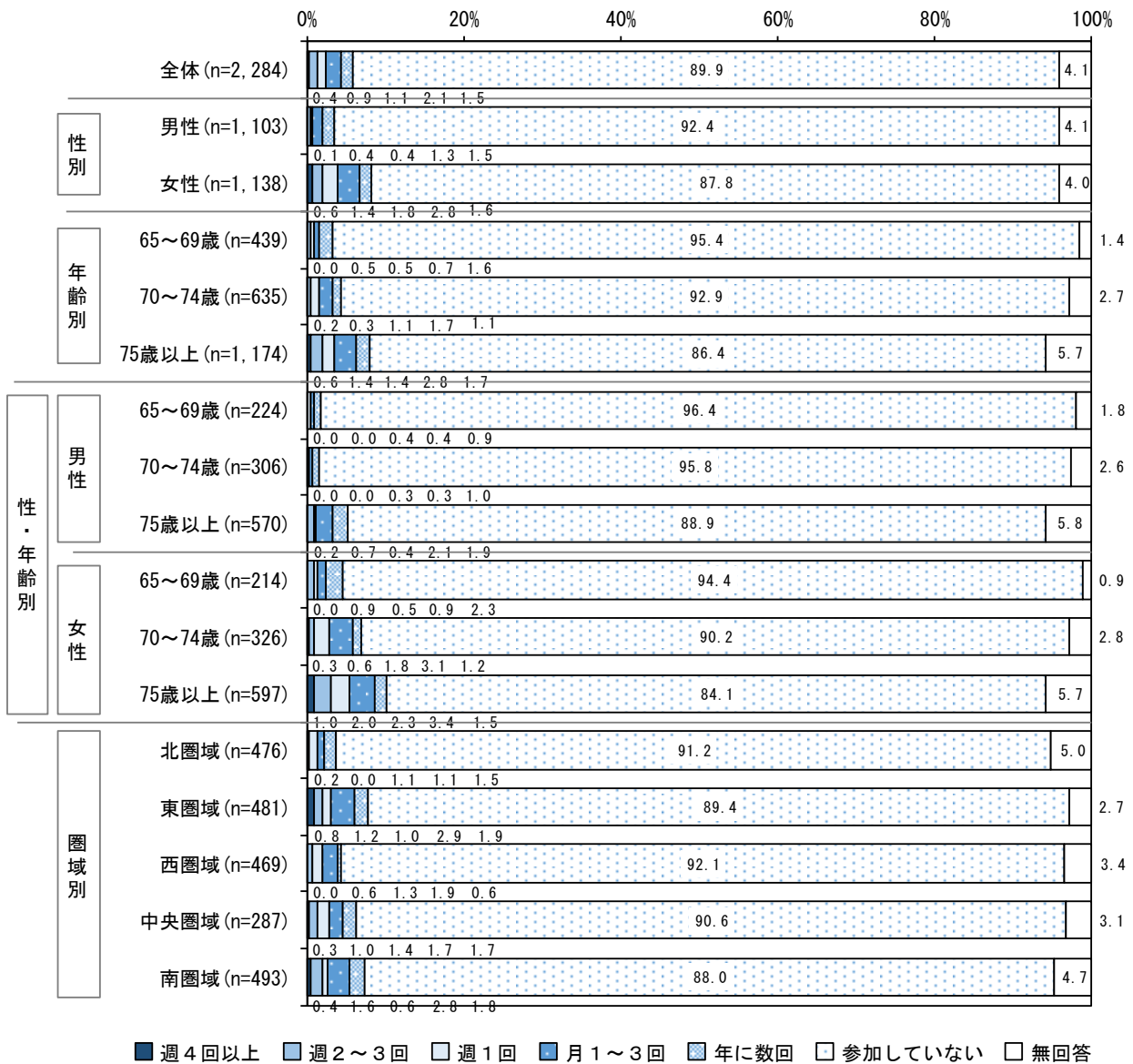
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が9.5%、「女性」が16.9%で、「女性」のほうが7.4ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が14.4%で最も多く、次いで「70～74歳」が13.2%、「75歳以上」が12.9%となっています。



⑤ (いきいき交流広場、街かどデイハウス、コミュニティデイハウスなど) 介護予防のための通いの場

「(いきいき交流広場、街かどデイハウス、コミュニティデイハウスなど) 介護予防のための通いの場」の参加頻度について、「参加していない」が89.9%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.1%、「年に数回」が1.5%となっています。

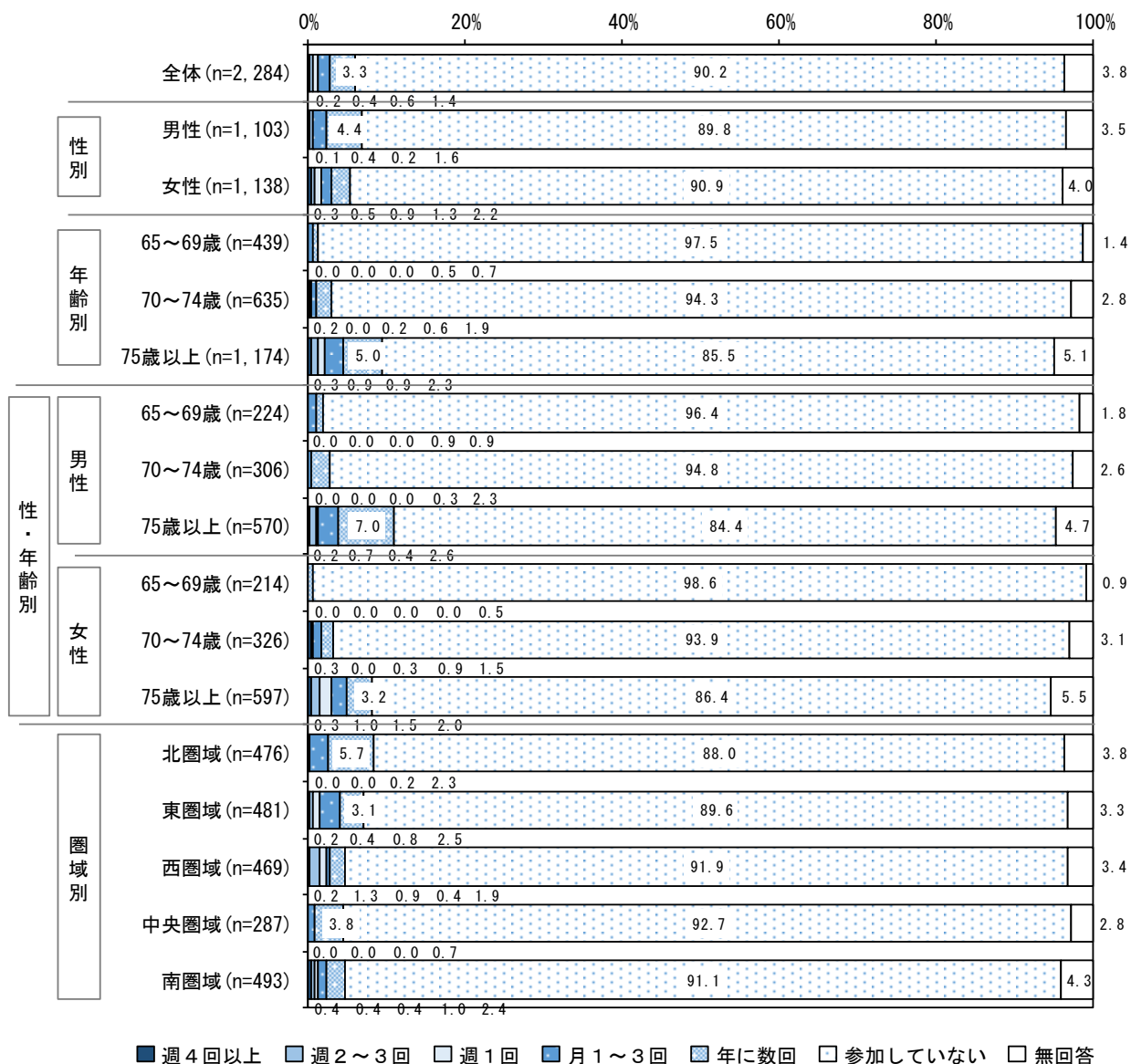
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が3.7%、「女性」が8.2%で、「女性」のほうが4.5ポイント多くっており、年齢別でみると、「75歳以上」が7.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が4.4%、「65～69歳」が3.3%となっています。



⑥老人クラブ

「老人クラブ」の参加頻度について、「参加していない」が90.2%で最も多く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が1.4%となっています。

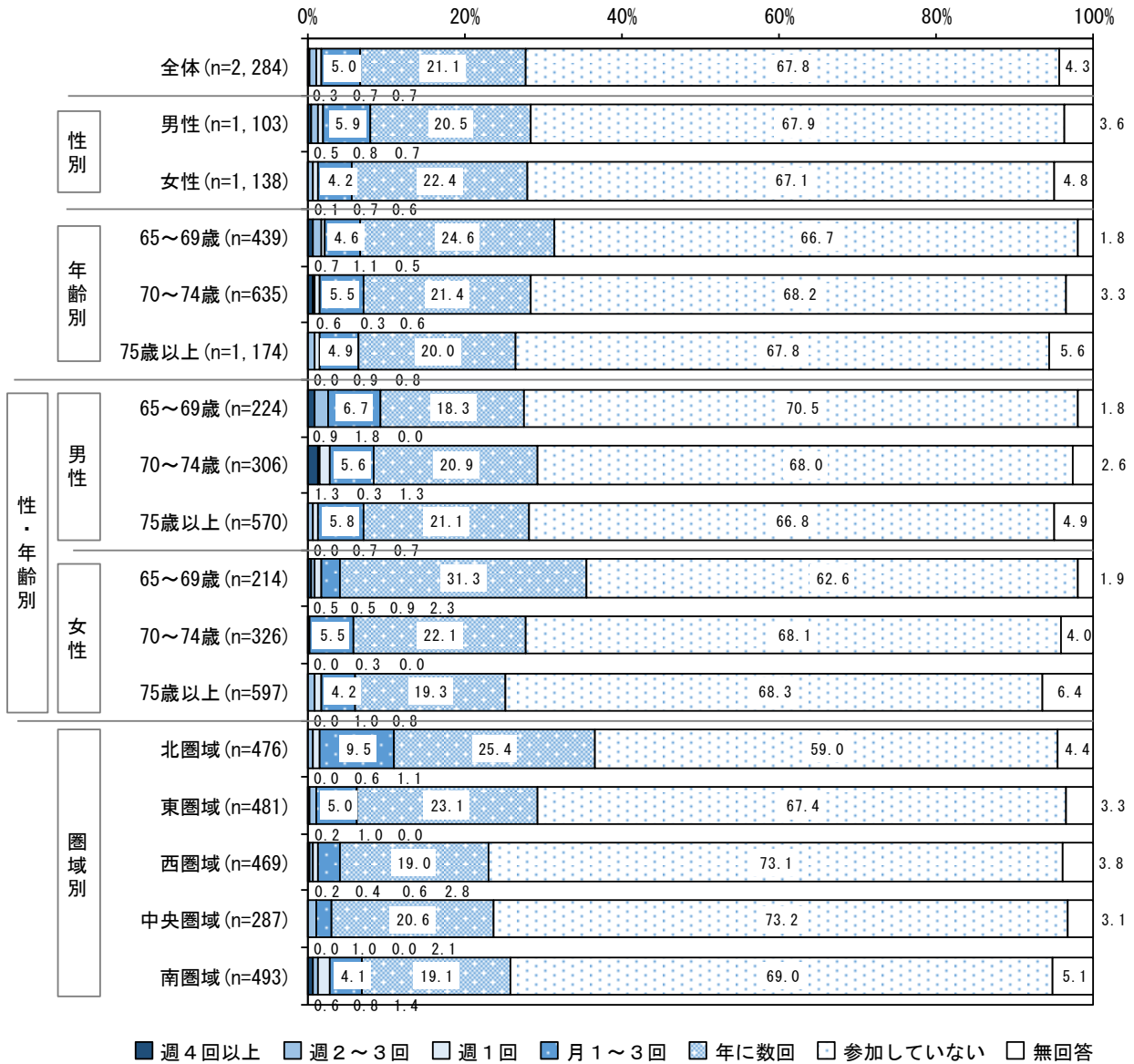
また、性別で見ると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が6.7%、「女性」が5.2%で、「男性」のほうが1.5ポイント多くっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が9.4%で最も多く、次いで「70～74歳」が2.9%、「65～69歳」が1.2%となっています。



⑦町内会・自治会

「町内会・自治会」の参加頻度について、「参加していない」が67.8%で最も多く、次いで「年に数回」が21.1%、「月1～3回」が5.0%となっています。

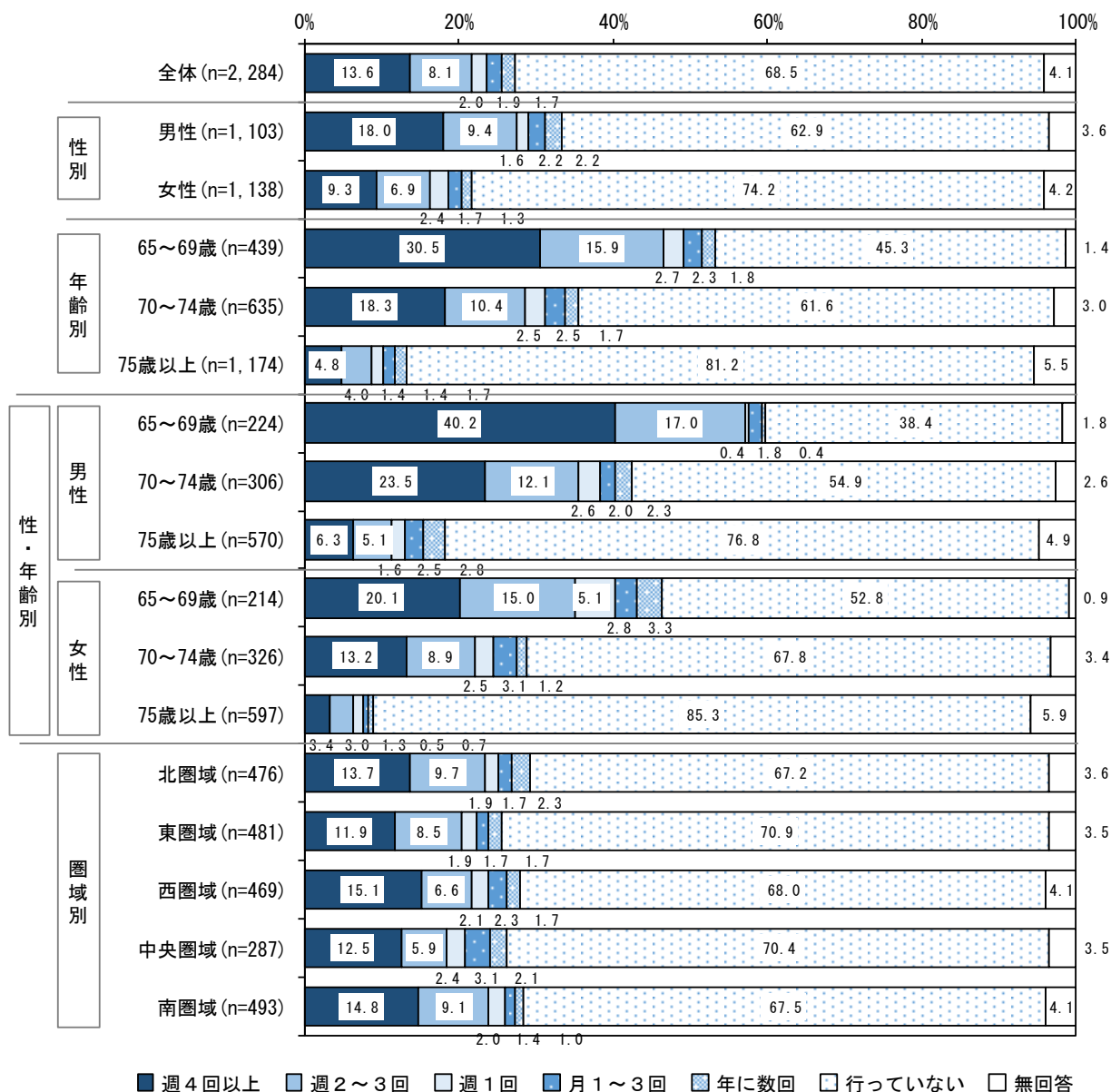
また、性別でみると、『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が28.4%、「女性」が28.0%で、「男性」のほうが0.4ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が31.5%で最も多く、次いで「70～74歳」が28.4%、「75歳以上」が26.6%となっています。



⑧収入のある仕事

「収入のある仕事」に行く頻度について、「行っていない」が68.5%で最も多く、次いで「週4回以上」が13.6%、「週2～3回」が8.1%となっています。

また、性別で見ると、『行っている』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）では「男性」が33.4%、「女性」が21.6%で、「男性」のほうが11.8ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が53.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が35.4%、「75歳以上」が13.3%となっています。

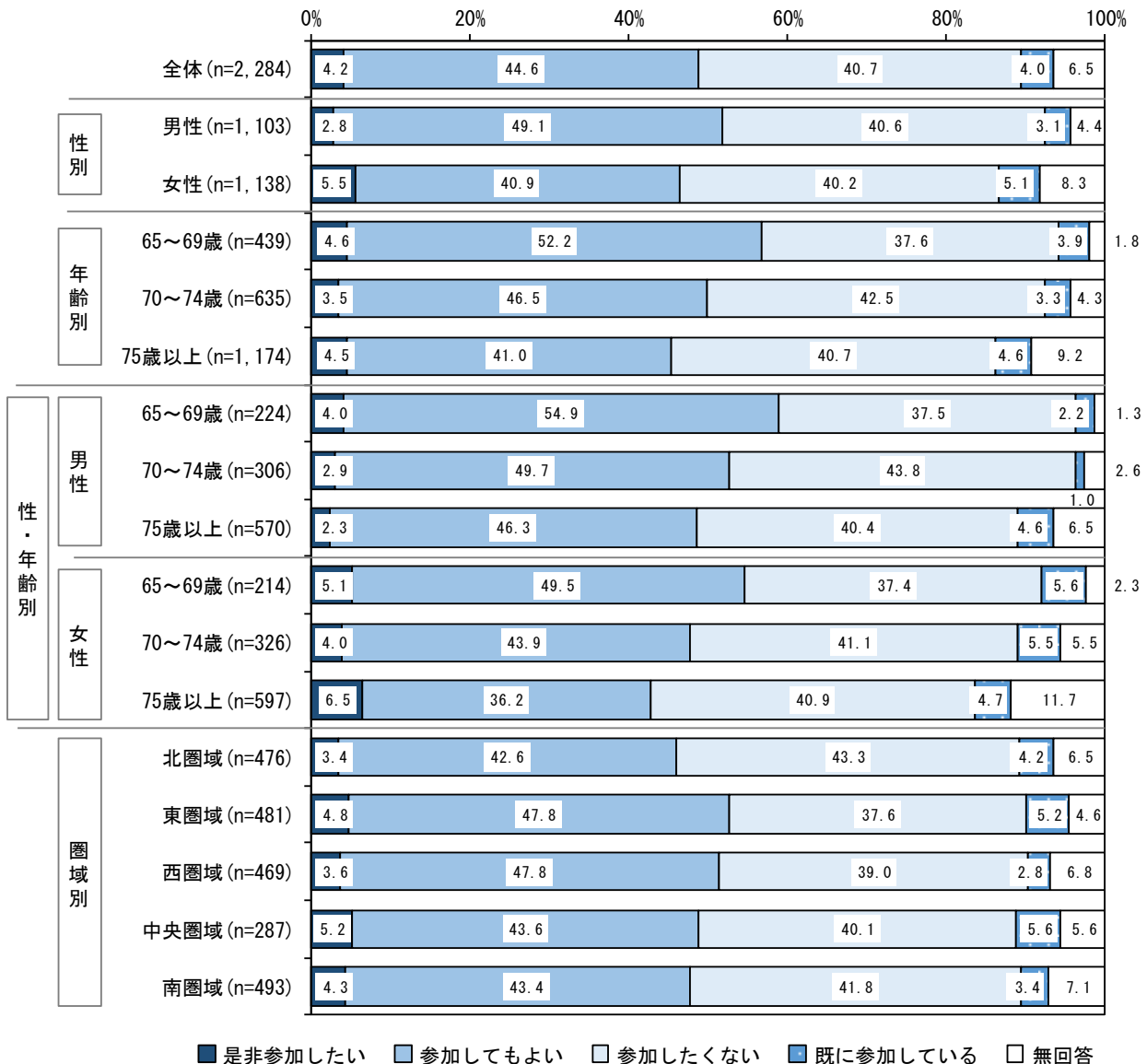


(2) 地域活動に参加者としての参加意向

問5	Q2	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	○は1つ
----	----	--	------

地域活動に参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が44.6%で最も多く、次いで「参加したくない」が40.7%、「是非参加したい」が4.2%となっています。

また、性別でみると、『参加してみたい』（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）では「男性」が51.9%、「女性」が46.4%で、「男性」のほうが5.5ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が56.8%で最も多く、次いで「70～74歳」が50.0%、「75歳以上」が45.5%となっています。

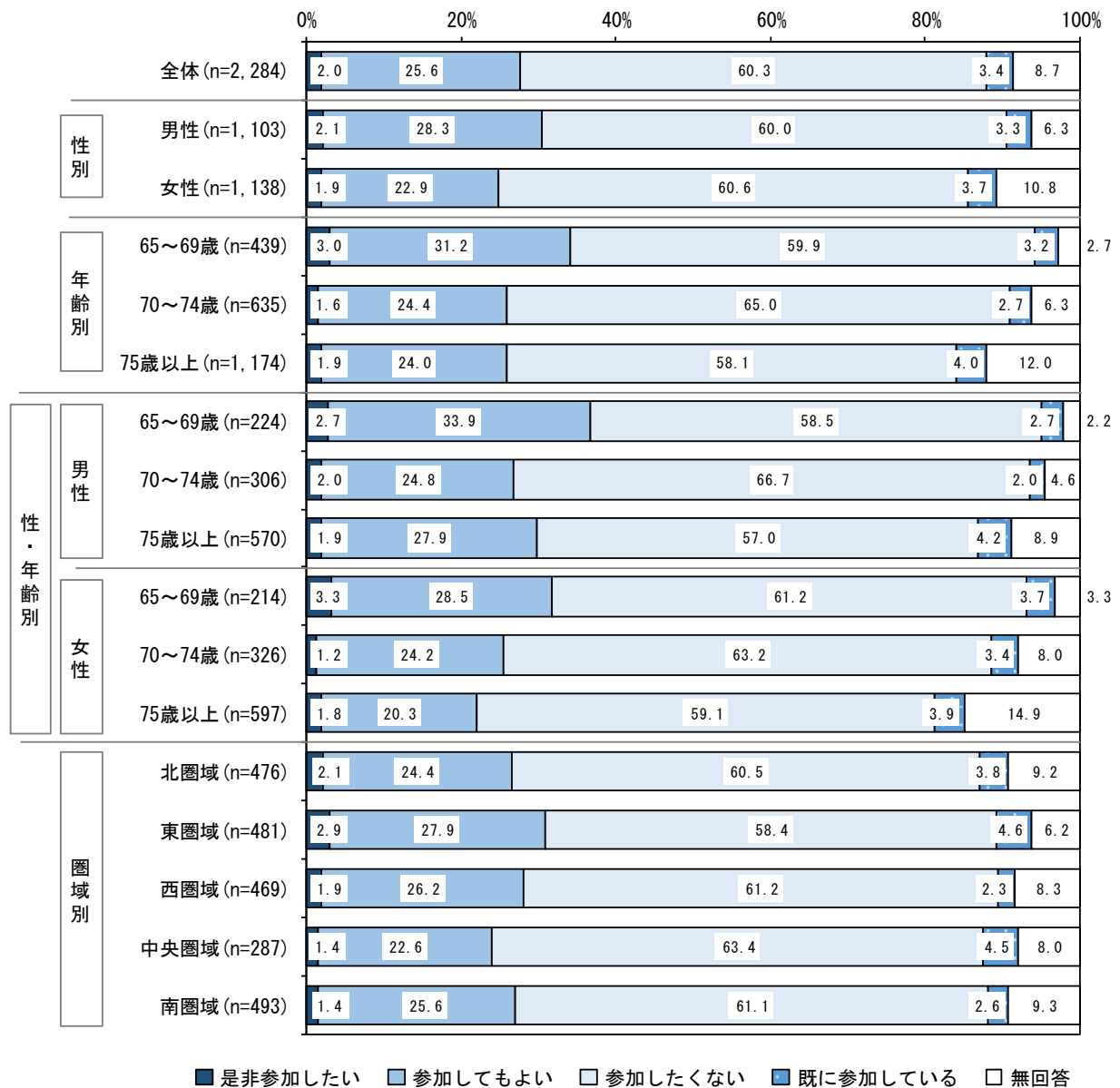


(3) 地域活動に企画・運営としての参加意向

問5	Q3	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	○は1つ
----	----	--	------

地域活動に企画・運営としての参加意向について、「参加したくない」が60.3%で最も多く、次いで「参加しても良い」が25.6%、「既に参加している」が3.4%となっています。

また、性別でみると、『参加してみたい』（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）では「男性」が30.4%、「女性」が24.8%で、「男性」のほうが5.6ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が34.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が26.0%、「75歳以上」が25.9%となっています。



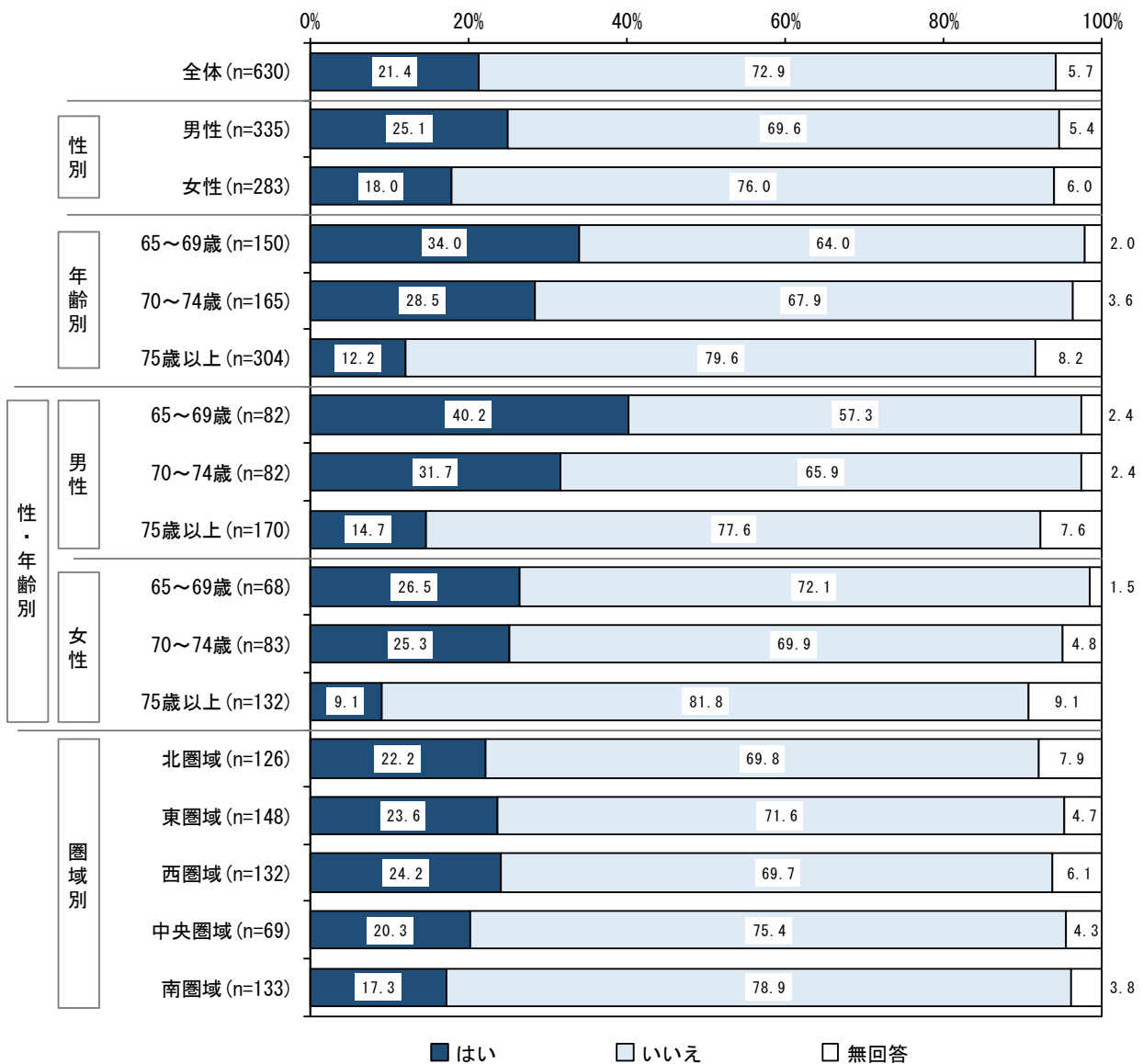
(4) 地域活動に企画・運営として参加する際の報酬の必要性

【Q3で「是非参加したい」「参加してもよい」を回答した人のみ】

問5	Q3-1	地域づくりの活動に参加した際、報酬は必要だと思いますか。	○は1つ
----	------	------------------------------	------

地域活動に企画・運営としての参加意向がある人に、地域づくりの活動に参加した際の報酬は必要だと思うかについて聞いたところ、「はい」が21.4%、「いいえ」が72.9%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が25.1%、「女性」が18.0%で、「男性」のほうが7.1ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が34.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が28.5%、「75歳以上」が12.2%となっています。

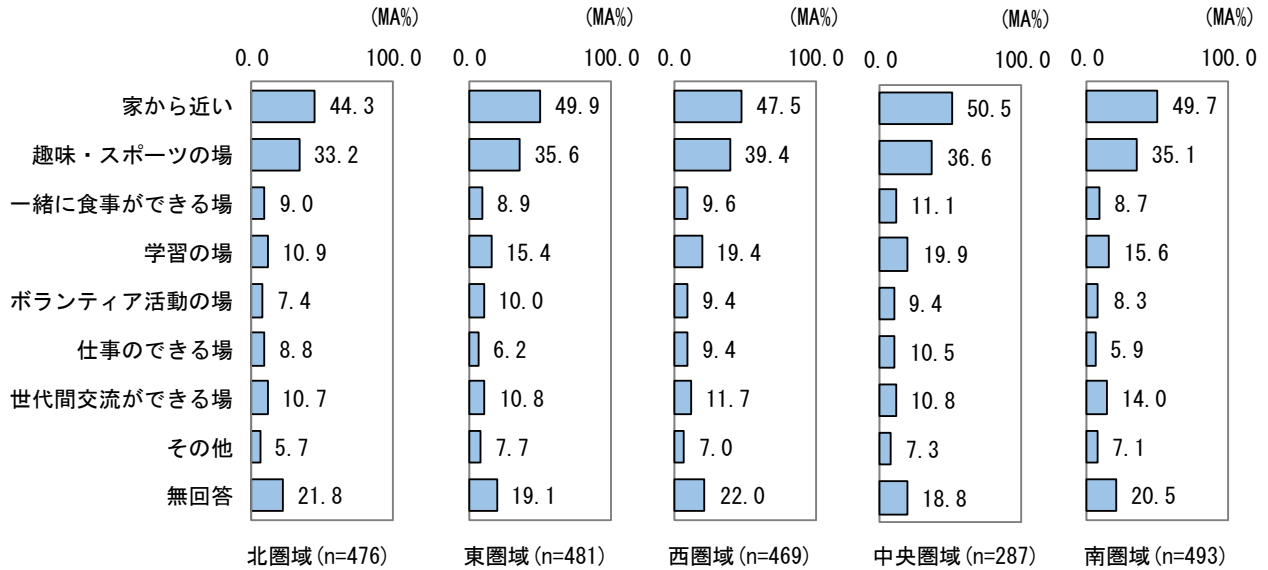
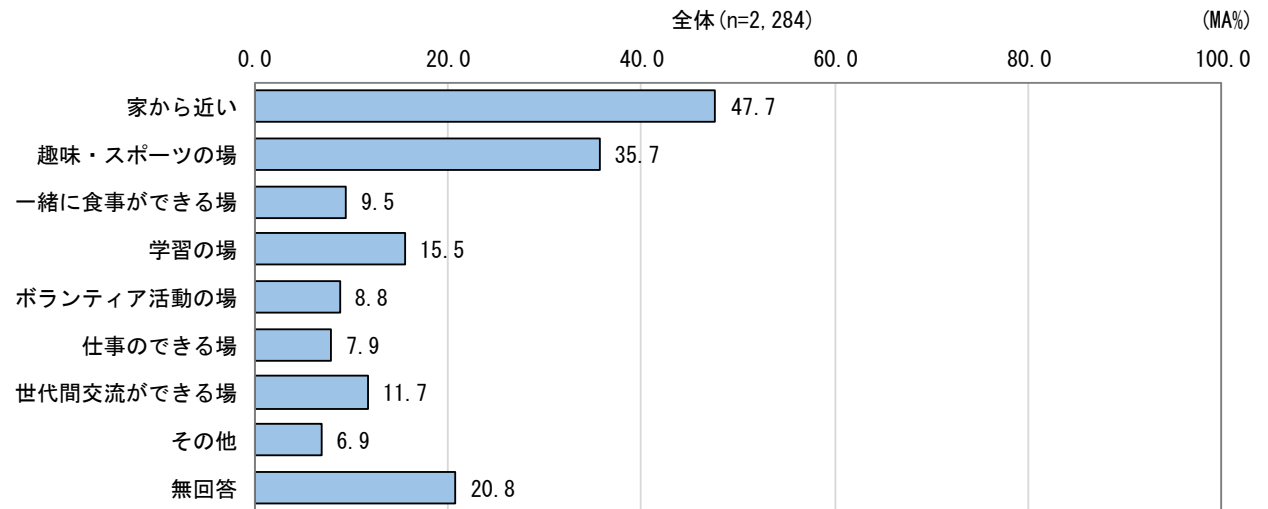


(5) 利用したいと思う居場所

問5	Q4	どのような居場所があれば利用しようと思いますか。	○はいくつでも
----	----	--------------------------	---------

どのような居場所があれば利用しようと思うかについて、「家から近い」が47.7%で最も多く、次いで「趣味・スポーツの場」が35.7%、「学習の場」が15.5%となっています。

また、圏域別でみると、すべての圏域で「家から近い」が最も多くなっています。



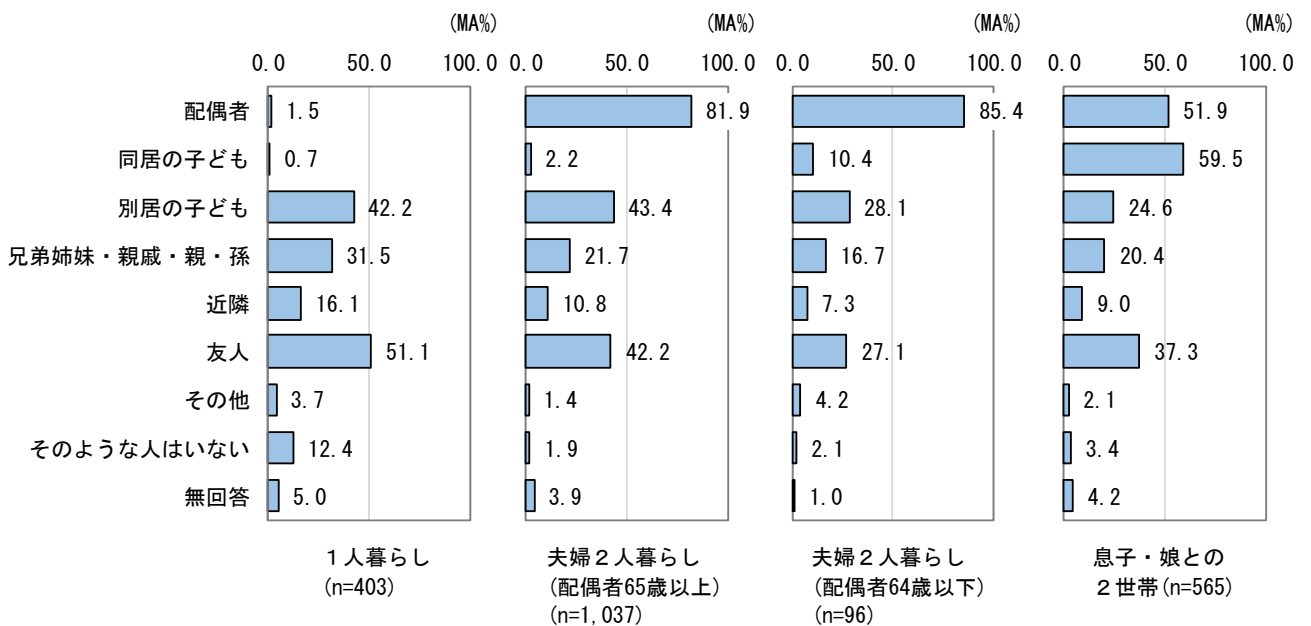
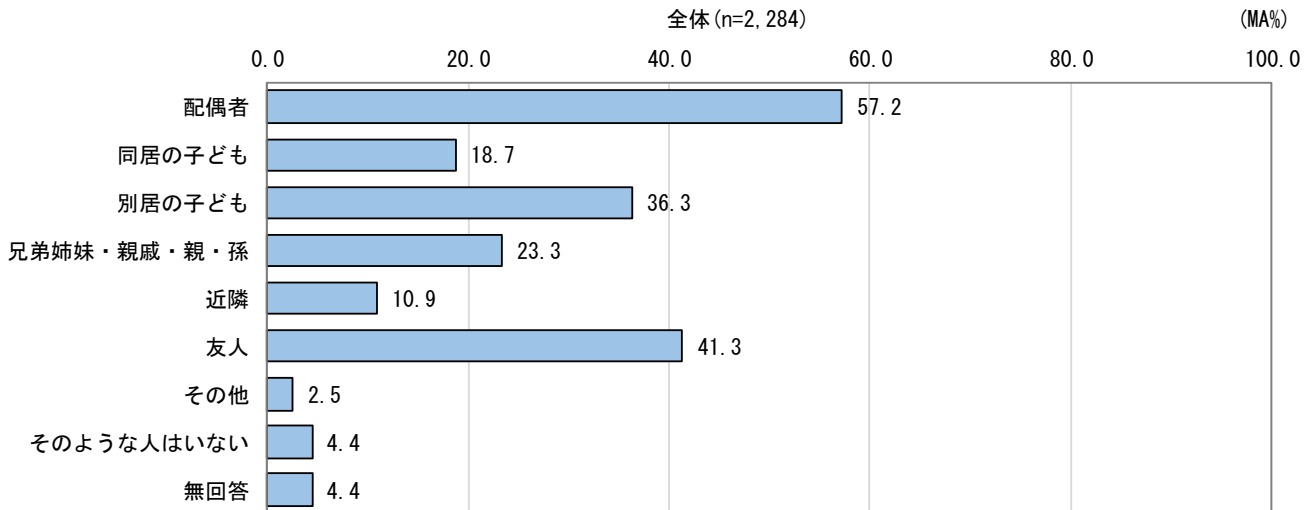
7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6	Q1	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。	○はいくつでも
----	----	------------------------------	---------

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が57.2%で最も多く、次いで「友人」が41.3%、「別居の子ども」が36.3%となっています。

また、家族構成別で見ると、「1人暮らし」では「友人」が51.1%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「配偶者」が81.9%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「配偶者」が85.4%で最も多く、「息子・娘との2世帯」では「同居の子ども」が59.5%で最も多くなっています。

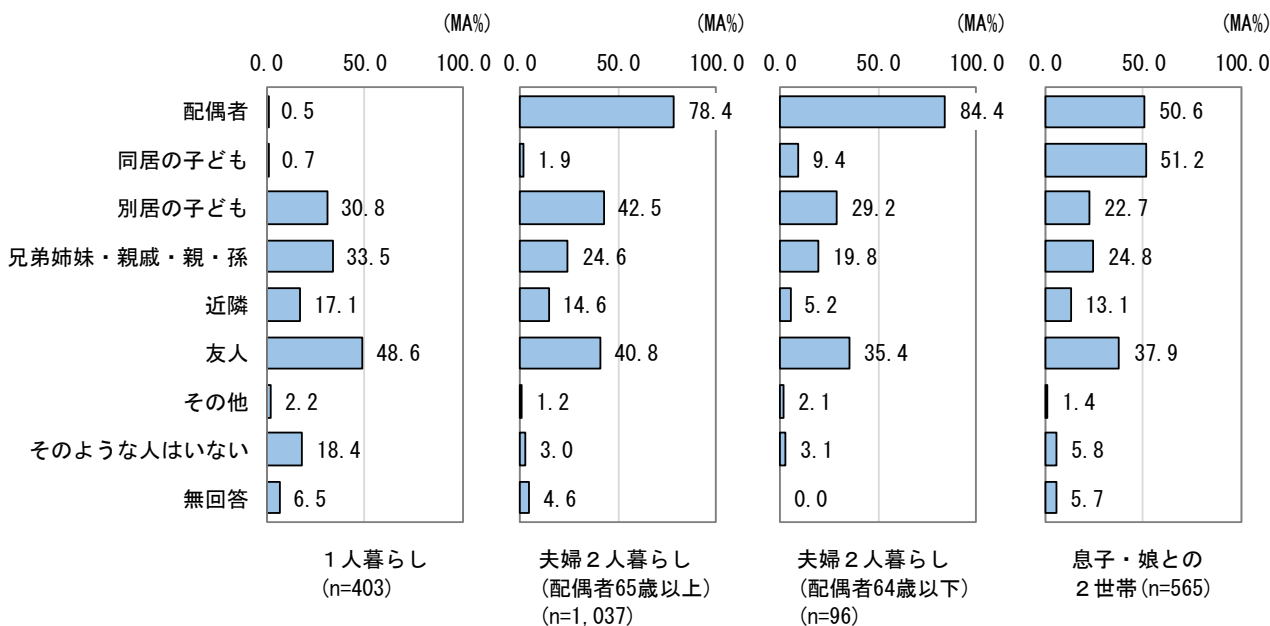
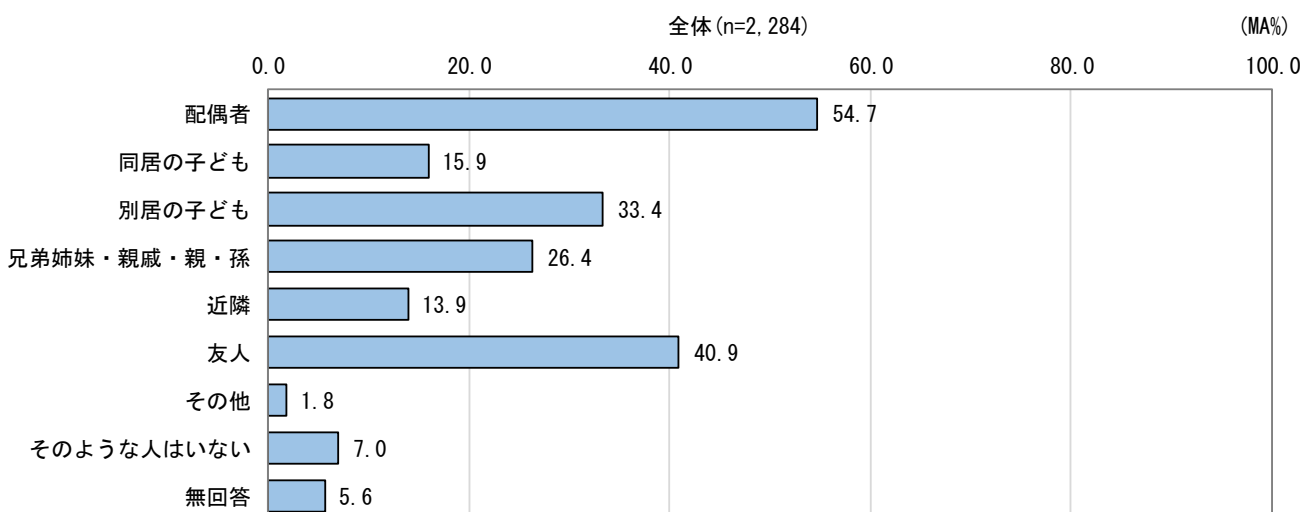


(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6	Q2	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。	○はいくつでも
----	----	----------------------------------	---------

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が54.7%で最も多く、次いで「友人」が40.9%、「別居の子ども」が33.4%となっています。

また、家族構成別で見ると、「1人暮らし」では「友人」が48.6%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「配偶者」が78.4%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「配偶者」が84.4%で最も多く、「息子・娘との2世帯」では「同居の子ども」が51.2%で最も多くなっています。

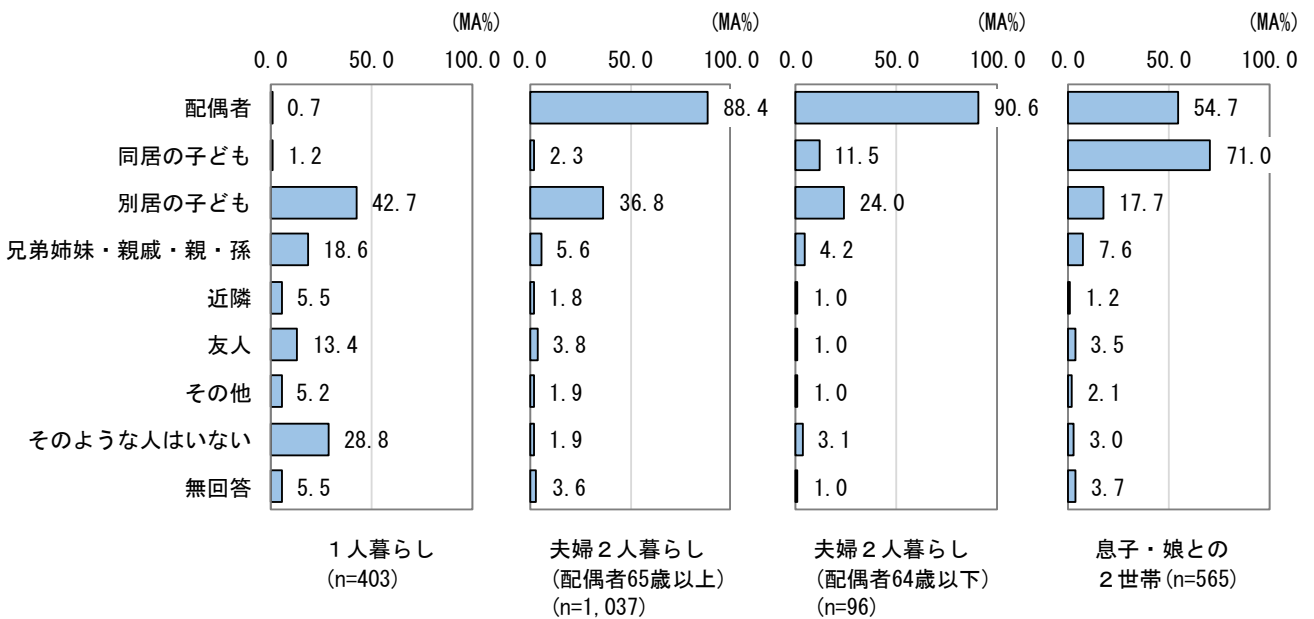
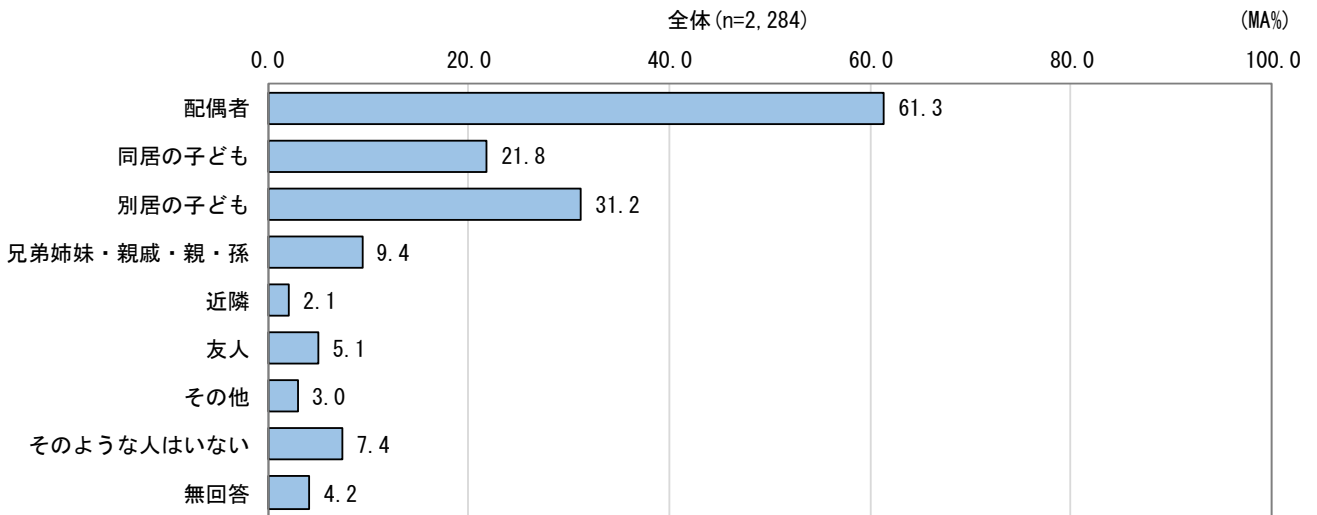


(3) 看病や世話をしてくれる人

問6	Q3	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。	○はいくつでも
----	----	--------------------------------------	---------

病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が61.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」が31.2%、「同居の子ども」が21.8%となっています。

また、家族構成別でみると、「1人暮らし」では「別居の子ども」が42.7%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「配偶者」が88.4%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「配偶者」が90.6%で最も多く、「息子・娘との2世帯」では「同居の子ども」が71.0%で最も多くなっています。

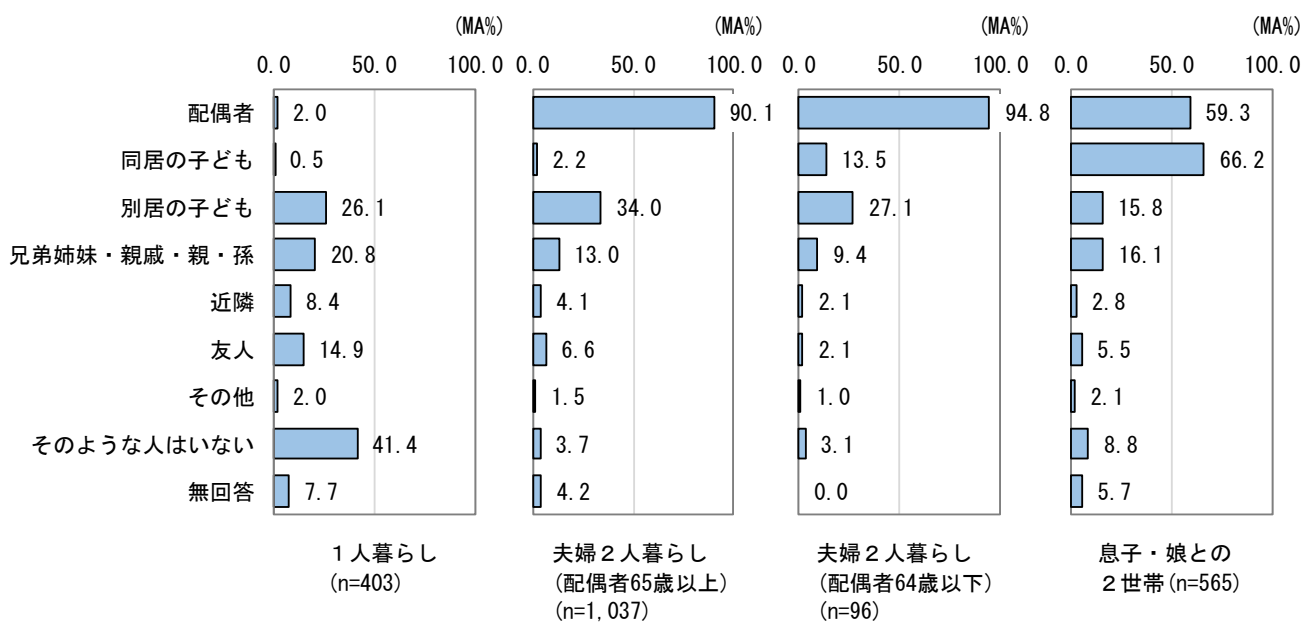
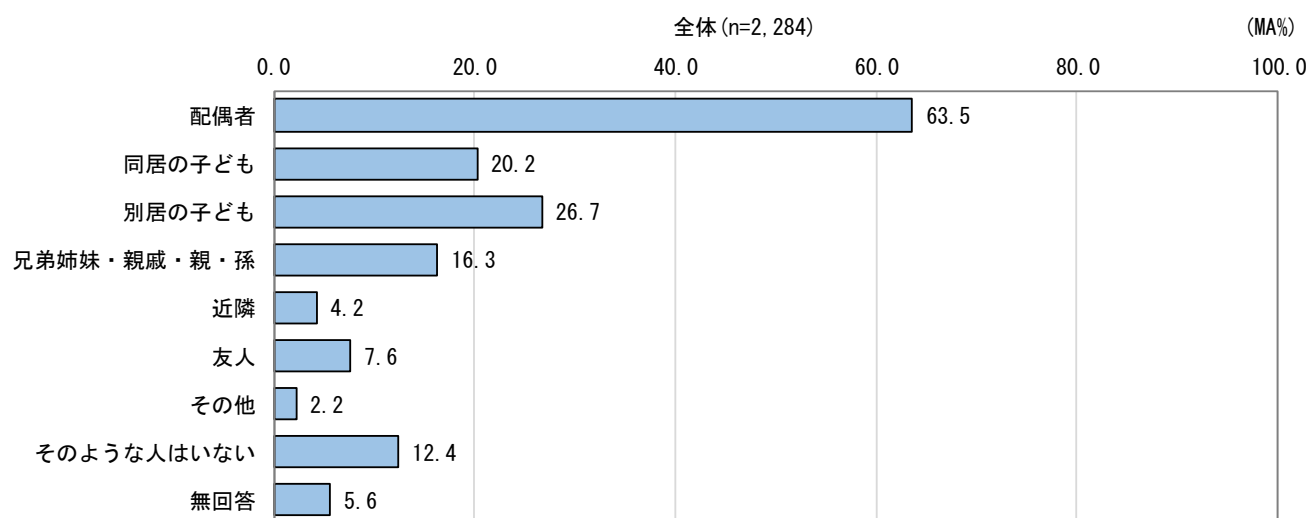


(4) 看病や世話をしている人

問6	Q4	反対に、看病や世話をしている人はいますか。	○はいくつでも
----	----	-----------------------	---------

看病や世話をしている人について、「配偶者」が63.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が26.7%、「同居の子ども」が20.2%となっています。

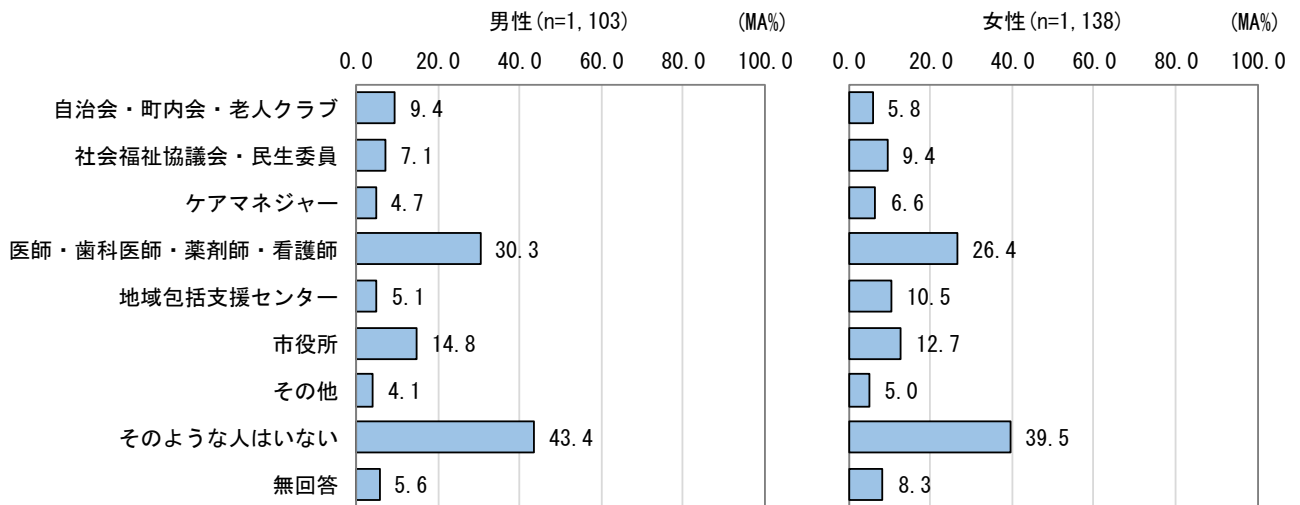
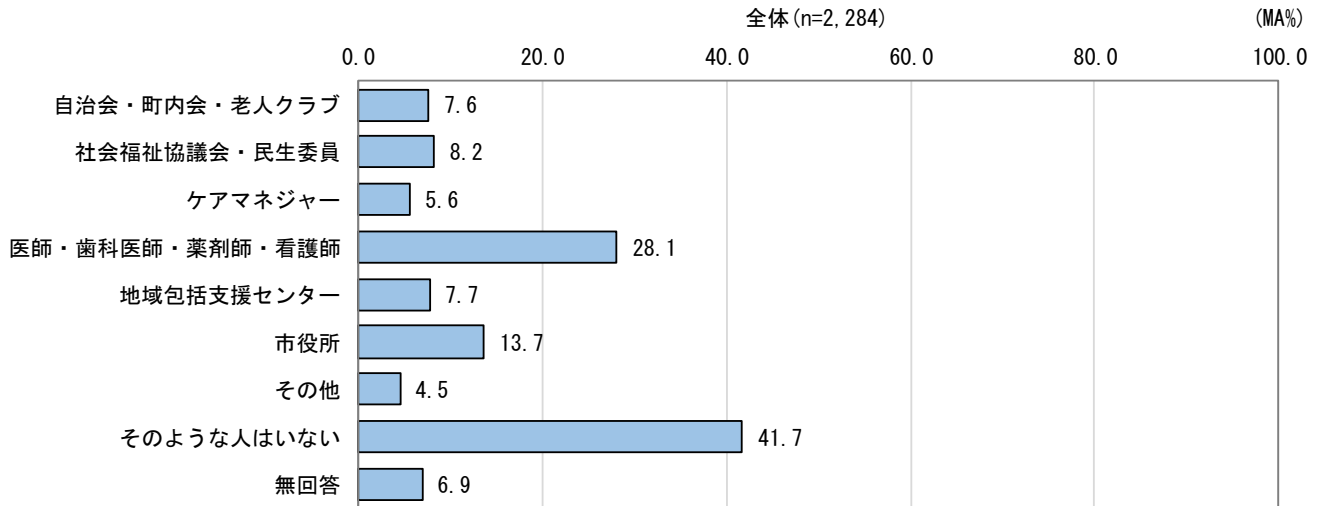
また、家族構成別で見ると、「1人暮らし」では「そのような人はいない」が41.4%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「配偶者」が90.1%で最も多く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「配偶者」が94.8%で最も多く、「息子・娘との2世帯」では「同居の子ども」が66.2%で最も多くなっています。



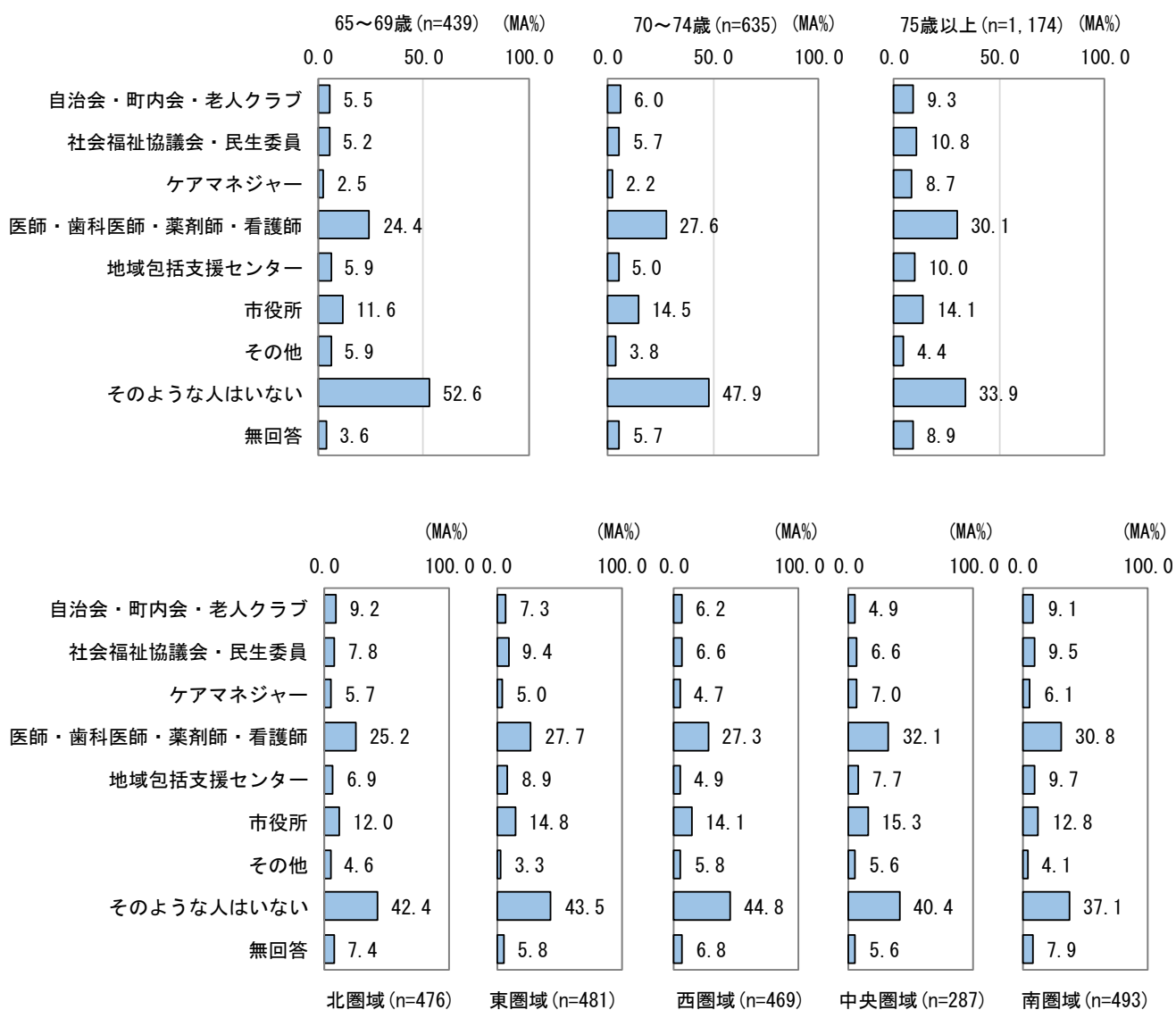
(5) 相談相手 (家族・友人・知人以外)

問6	Q5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	○はいくつでも
-----------	-----------	-------------------------------------	---------

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「そのような人はいない」が41.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が28.1%、「市役所」が13.7%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果

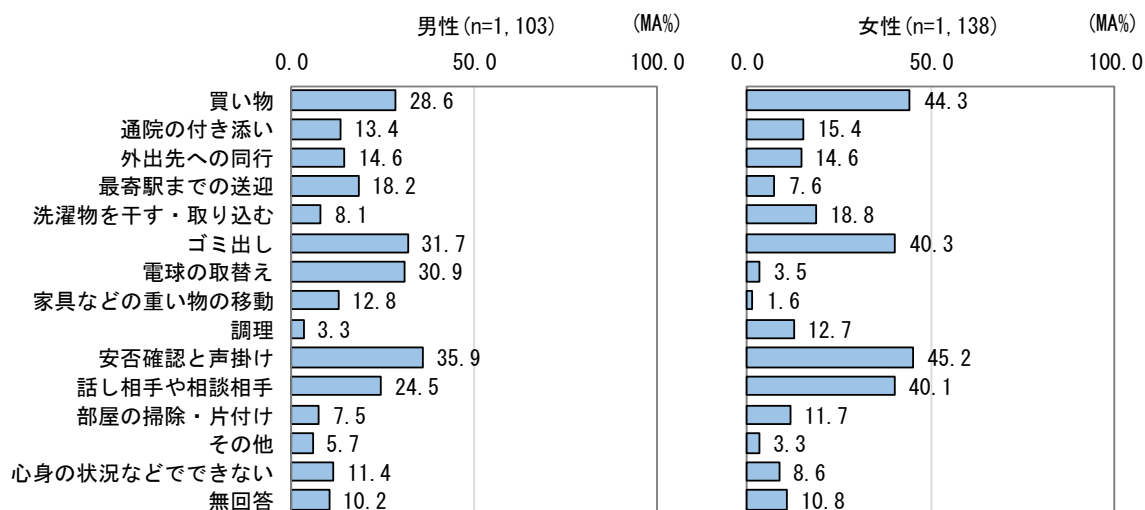
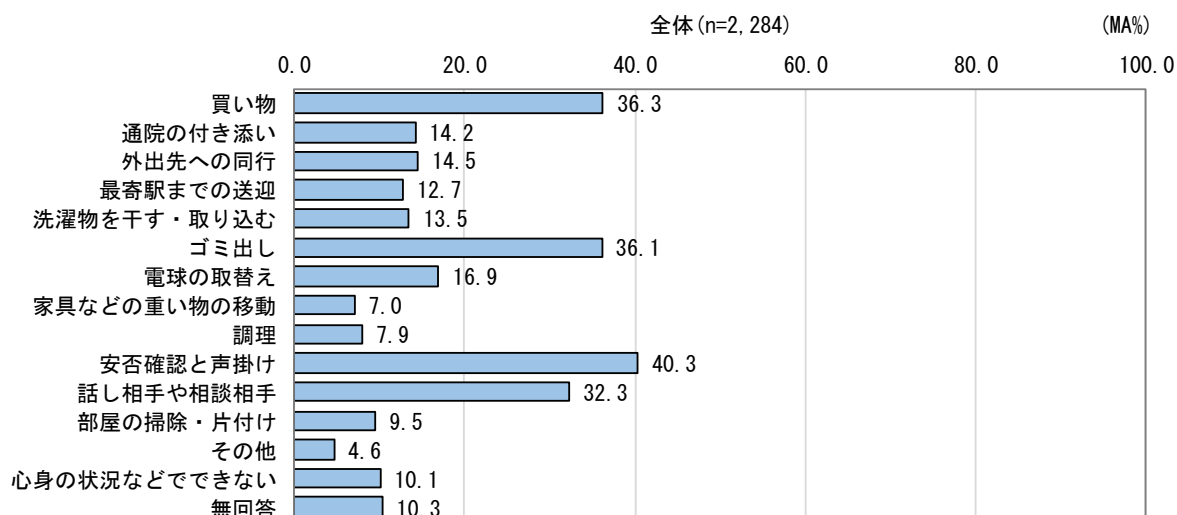


(6) 手助けできること

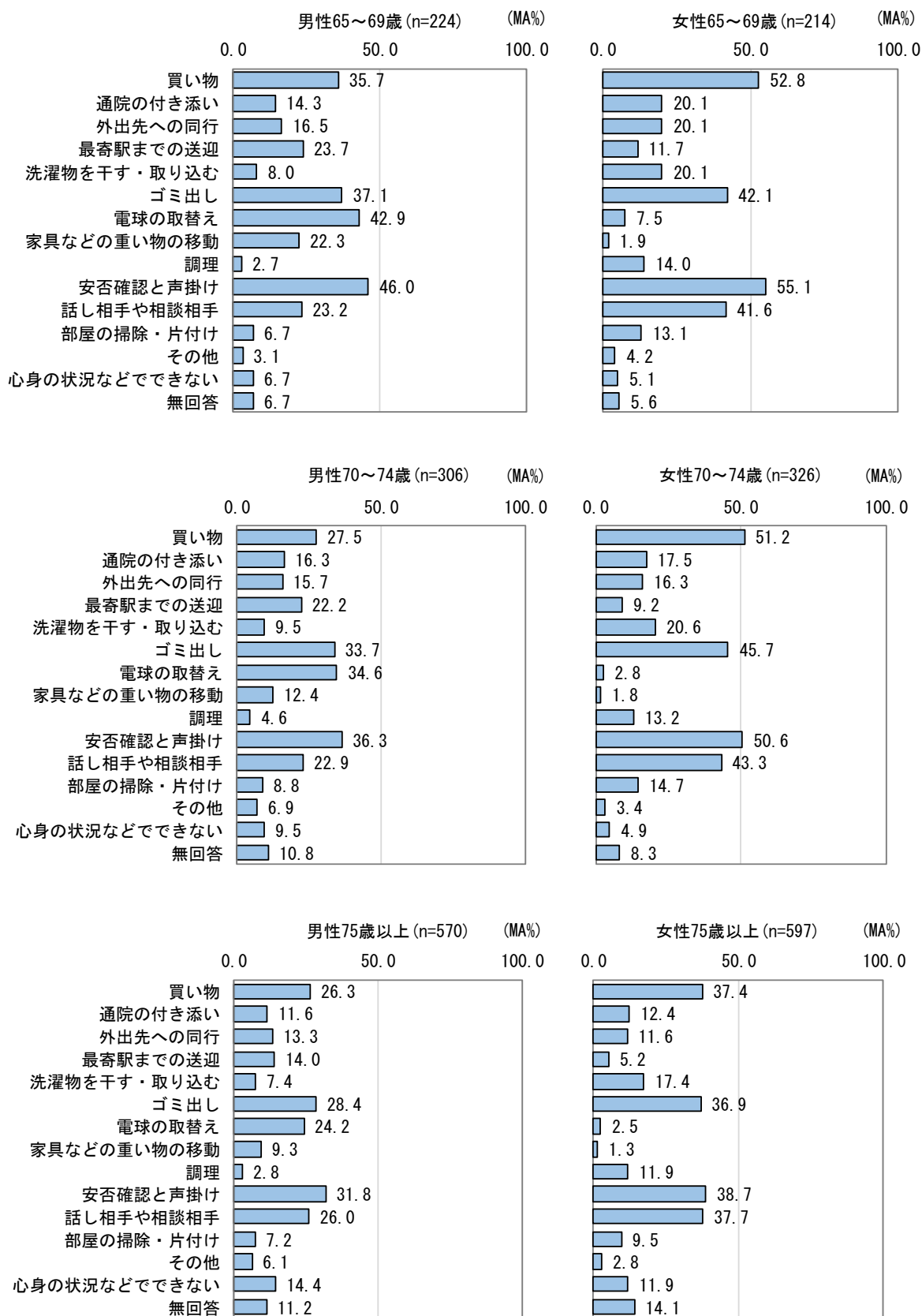
問6	Q6	もしご近所に手助けを必要とする人がいる場合に、あなたはどんな手助けができますか。	○はいくつでも
----	----	--	---------

近所に手助けを必要とする人がいる場合にできる手助けについて、「安否確認と声掛け」が40.3%で最も多く、次いで「買い物」が36.3%、「ゴミ出し」が36.1%となっています。

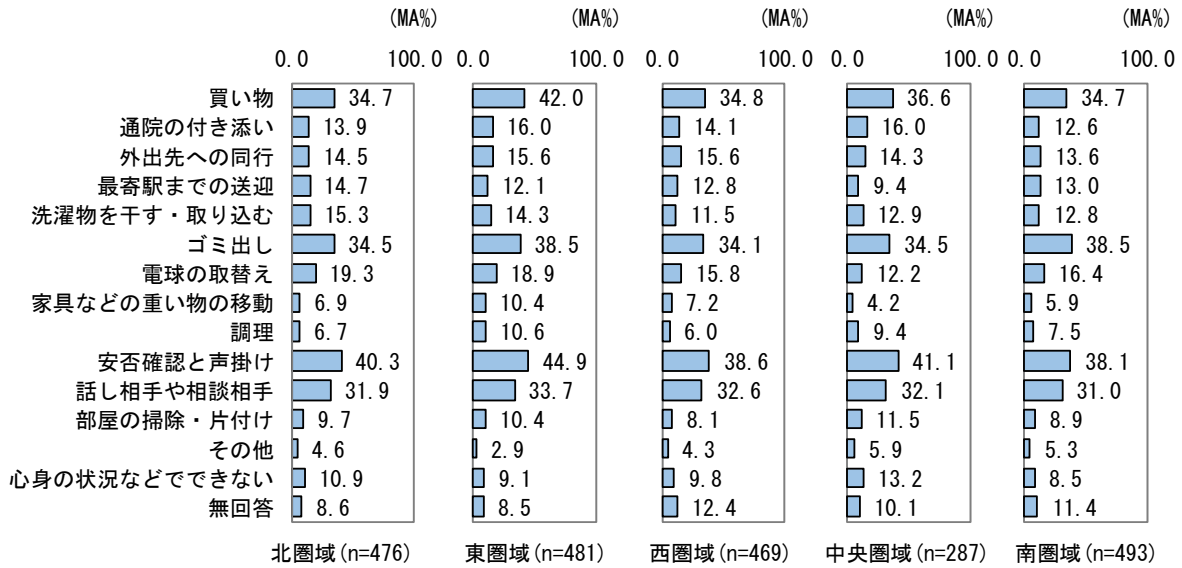
また、「その他」として「近所づきあいがないのでわからない」「仕事しているのでできない」「頼まれて自分が出来ればする」などがありました。



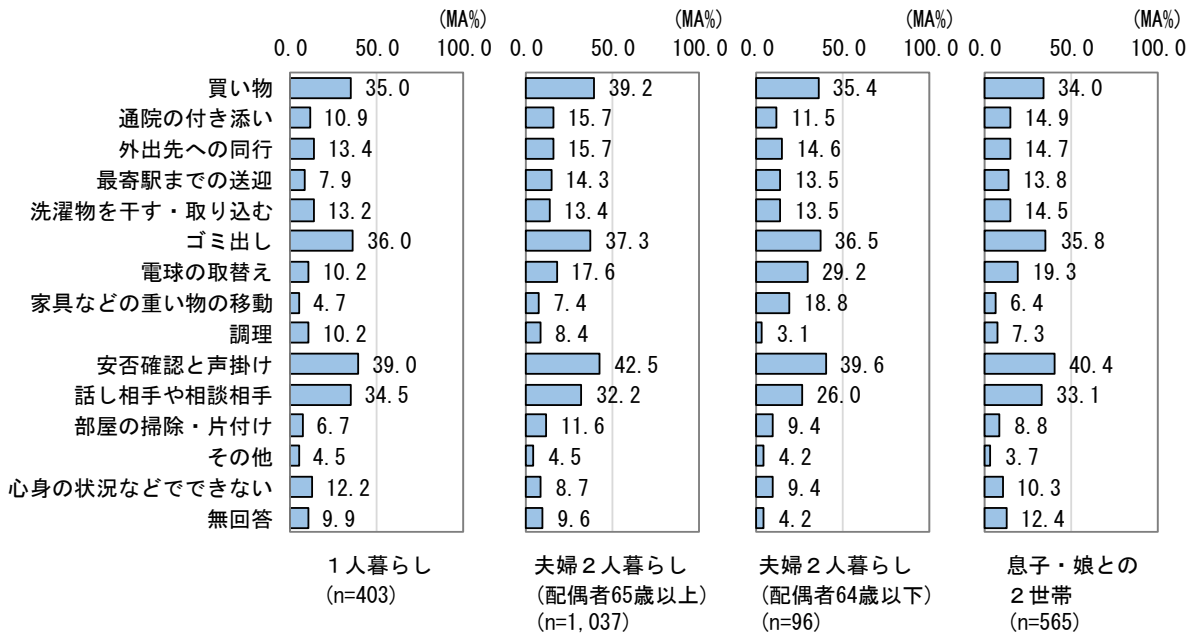
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



家族構成別で見ると、「1人暮らし」では「安否確認と声掛け」が39.0%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が36.0%、「買い物」が35.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「安否確認と声掛け」が42.5%で最も多く、次いで「買い物」が39.2%、「ゴミ出し」が37.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「安否確認と声掛け」が39.6%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が36.5%、「買い物」が35.4%、「息子・娘との2世帯」では「安否確認と声掛け」が40.4%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が35.8%、「買い物」が34.0%となっています。

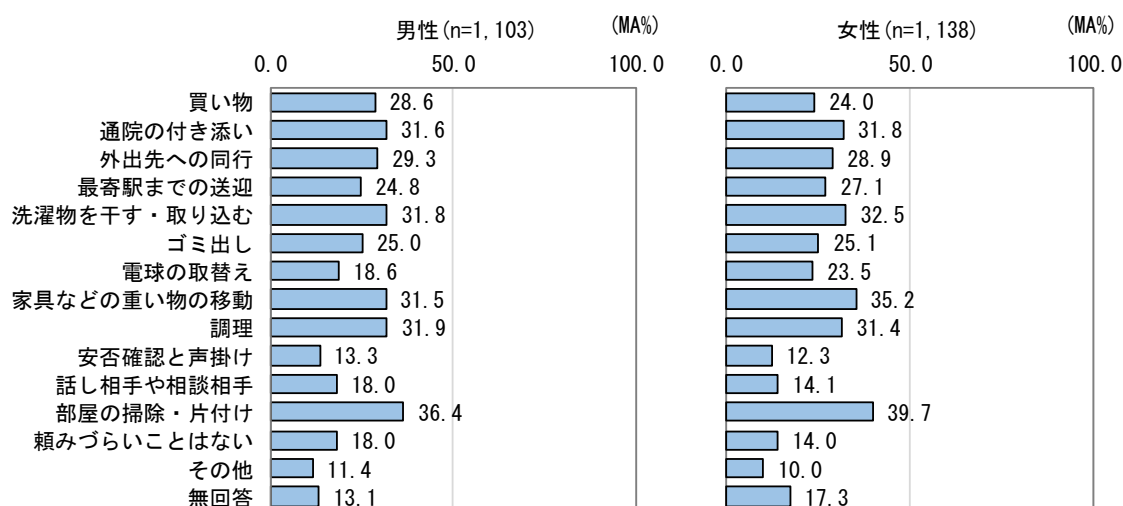
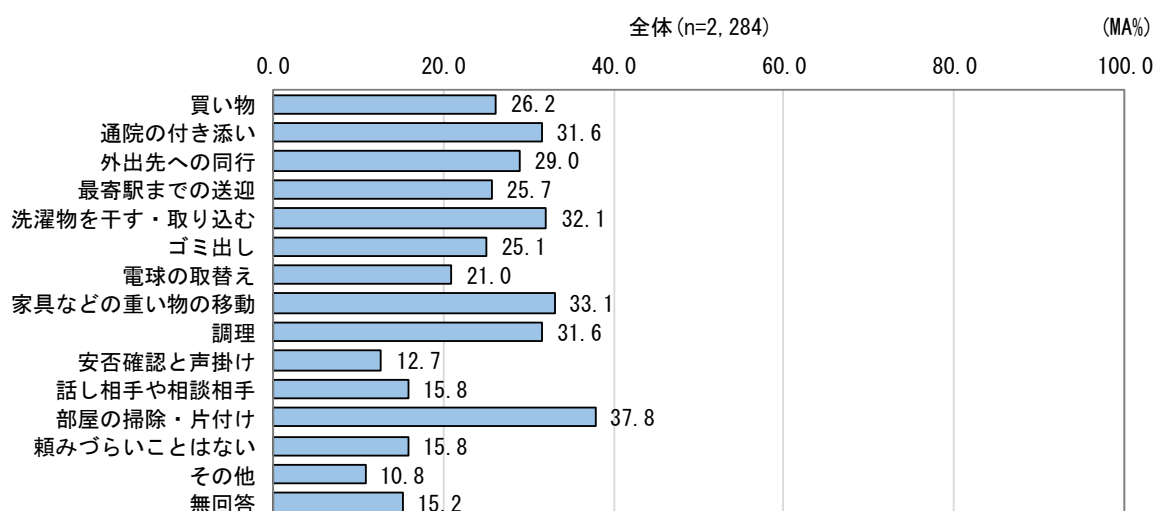


(7) 近所や地域の人に頼みづらいこと

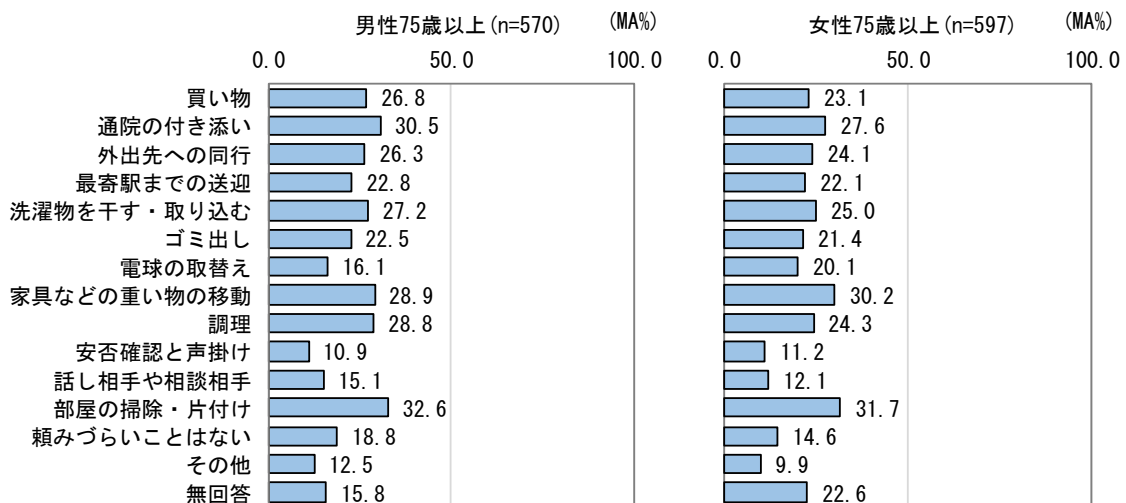
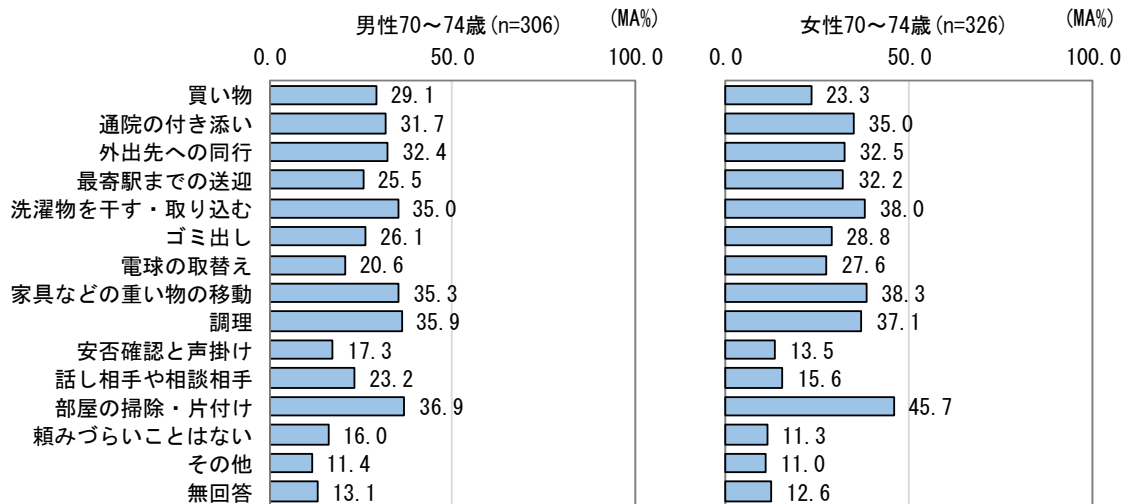
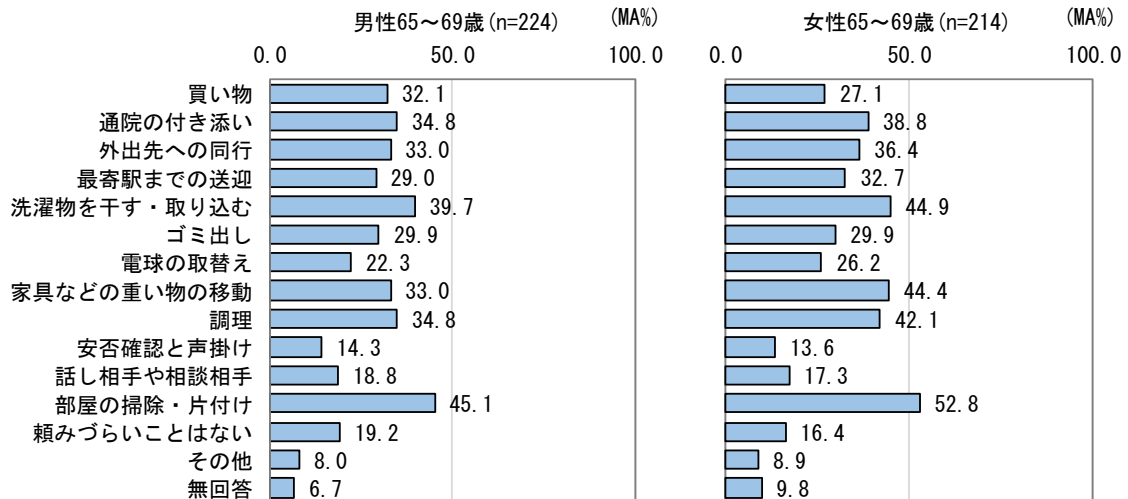
問6	Q7	もし生活に困りごとができた場合に、近所や地域の人に頼みづらいことは何ですか。	○はいくつでも
----	----	--	---------

生活に困りごとができた場合に、近所や地域の人に頼みづらいことについて、「部屋の掃除・片付け」が37.8%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が33.1%、「洗濯物を干す・取り込む」が32.1%となっています。

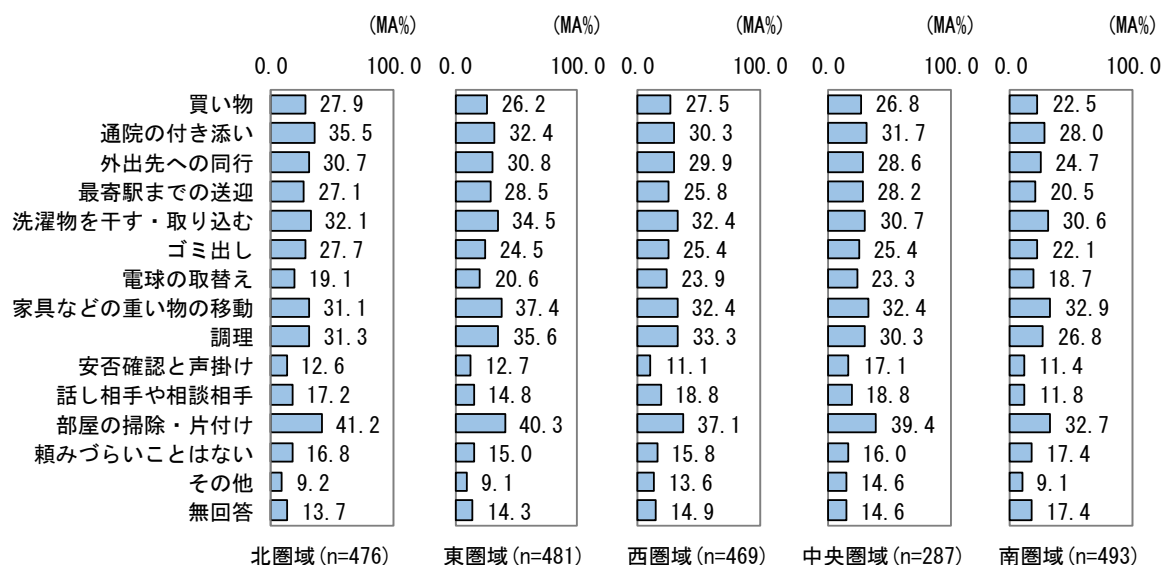
また、「その他」として「考えたことがない」「近所や地域の人に頼みたくない」「すべて頼みづらい」などがありました。



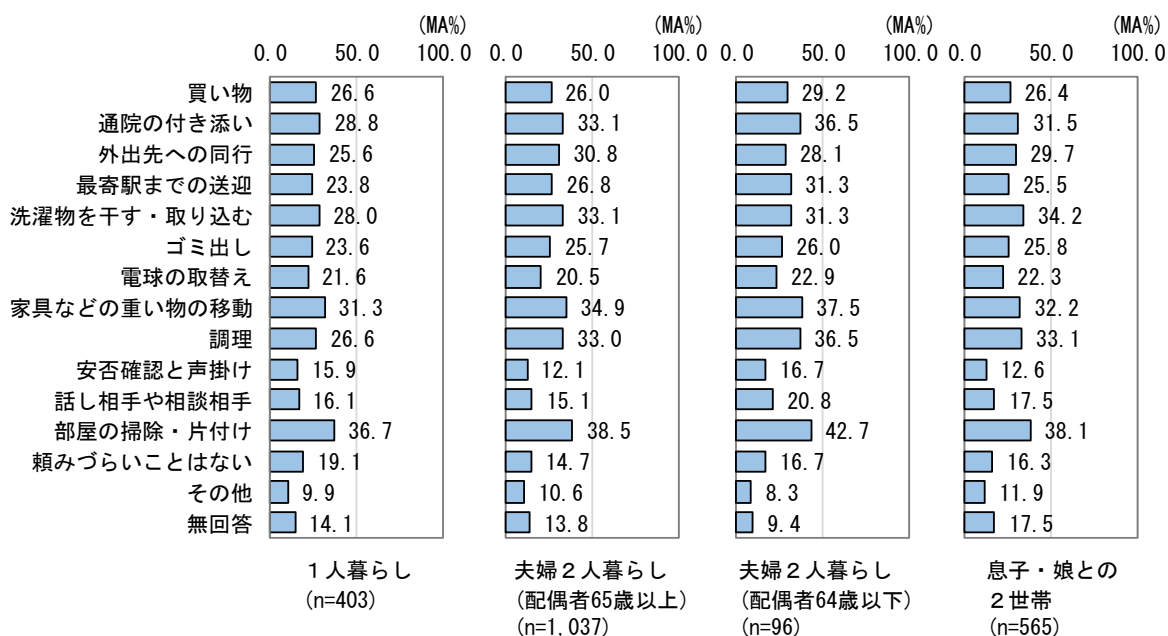
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



家族構成別で見ると、「1人暮らし」では「部屋の掃除・片付け」が36.7%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が31.3%、「通院の付き添い」が28.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「部屋の掃除・片付け」が38.5%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が34.9%、「通院の付き添い」「洗濯物を干す・取り込む」が33.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「部屋の掃除・片付け」が42.7%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が37.5%、「通院の付き添い」「調理」が36.5%、「息子・娘との2世帯」では「部屋の掃除・片付け」が38.1%で最も多く、次いで「洗濯物を干す・取り込む」が34.2%、「調理」が33.1%となっています。

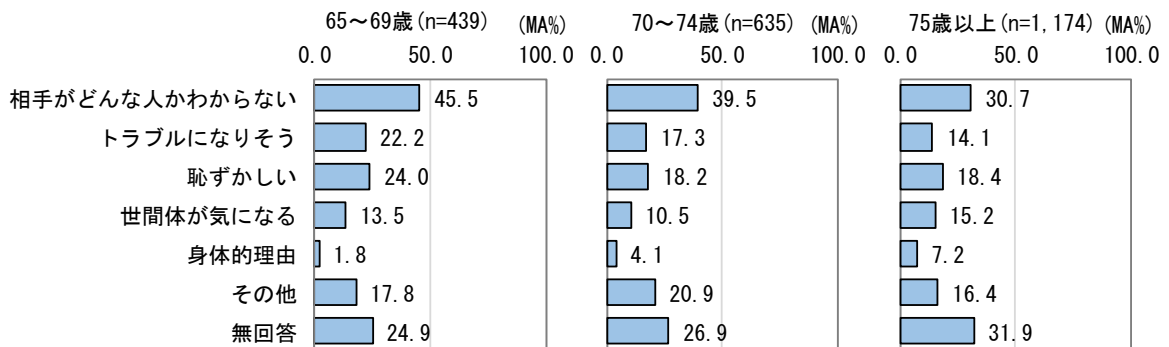
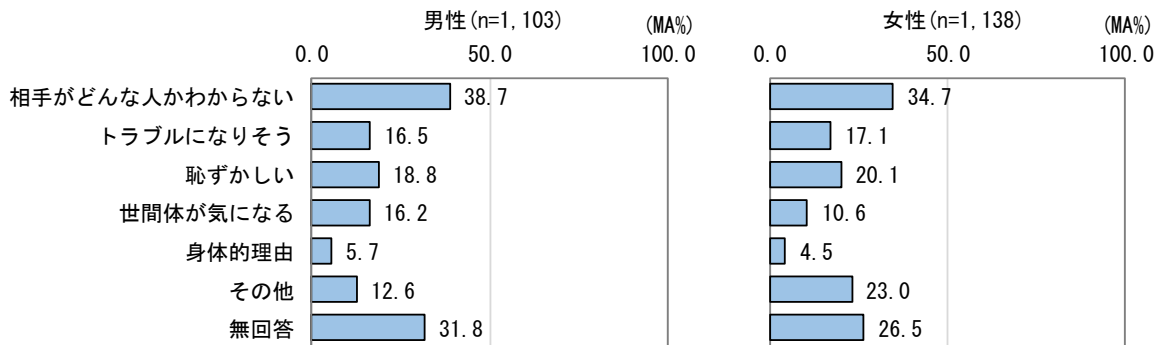
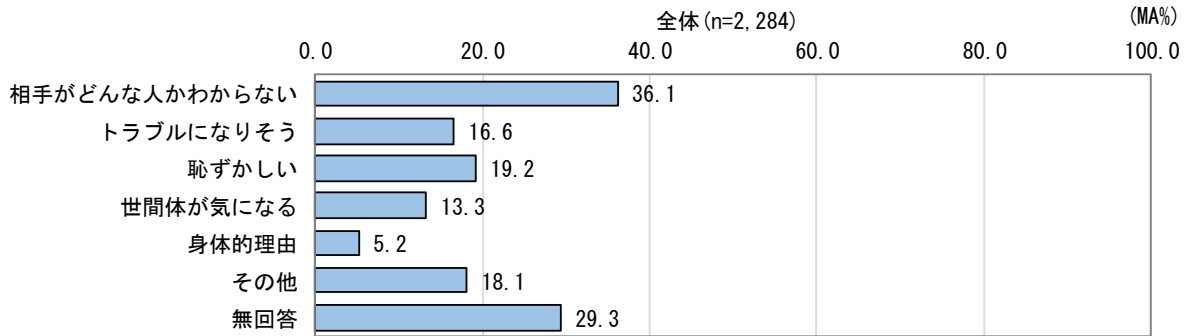


(8) 近所や地域の人に頼みづらい理由

【Q7で「頼みづらいことはない」以外を回答した人のみ】

問6	Q7-1	近所や地域の人に、頼みづらい理由は何ですか。	○はいくつでも
-----------	-------------	------------------------	---------

近所や地域の人に頼みづらいことがある人に、その理由について聞いたところ、「相手がどんな人かわからない」が36.1%で最も多く、次いで「恥ずかしい」が19.2%、「その他」が18.1%となっています。



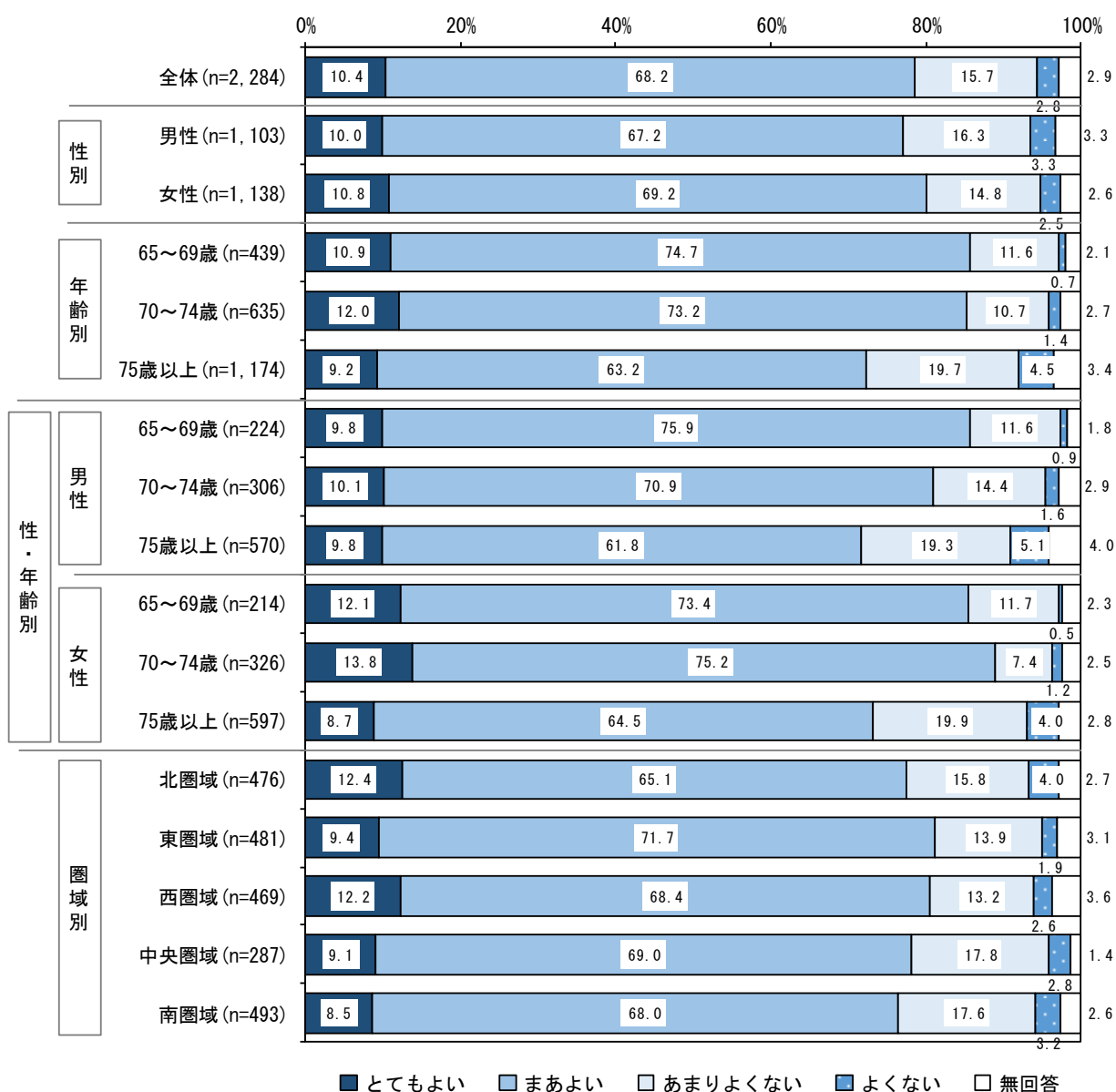
8 健康について

(1) 主観的健康感

問7	Q1	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	○は1つ
----	----	---------------------	------

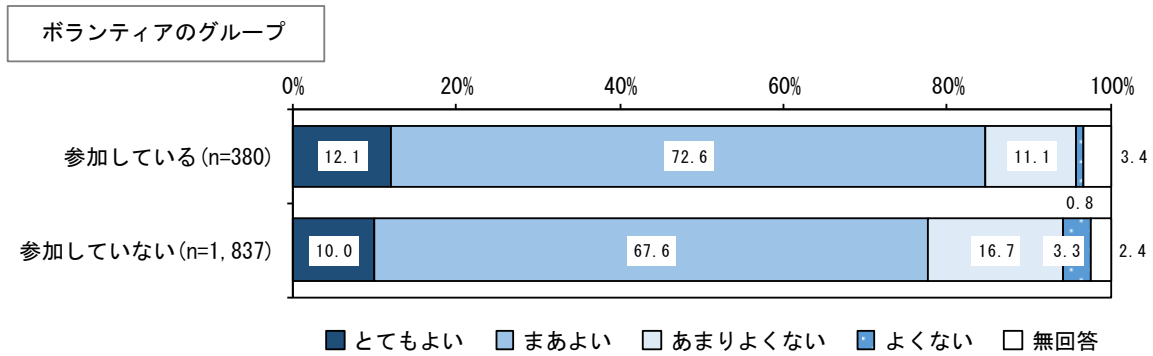
現在の健康状態について、「まあよい」が68.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が15.7%、「とてもよい」が10.4%となっています。

また、性別で見ると、『よい』（「とてもよい」と「まあよい」の合計）では「男性」が77.2%、「女性」が80.0%で、「女性」のほうが2.8ポイント多くっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が85.6%で最も多く、次いで「70～74歳」が85.2%、「75歳以上」が72.4%となっています。

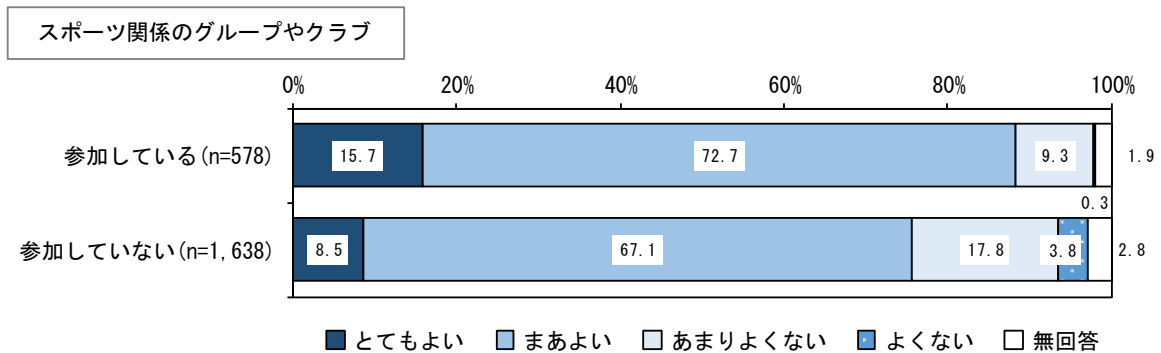


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

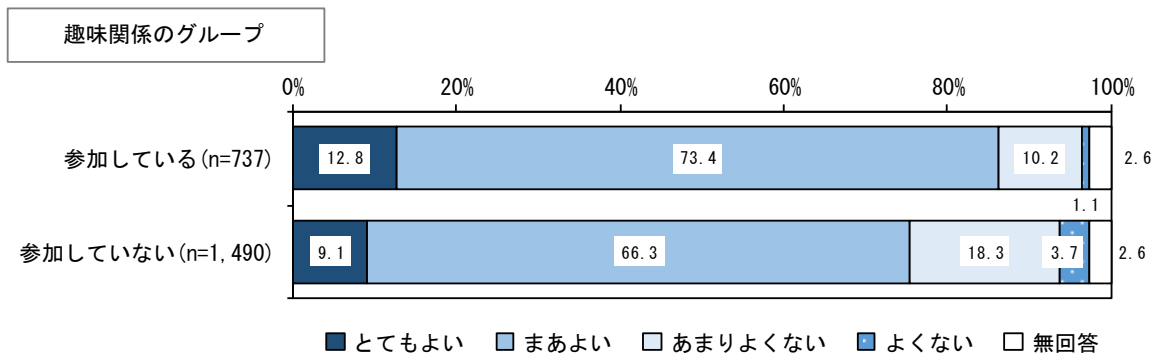
「ボランティアグループ」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が84.7%、「参加していない」が77.6%と、「参加している」のほうが7.1ポイント多くなっています。



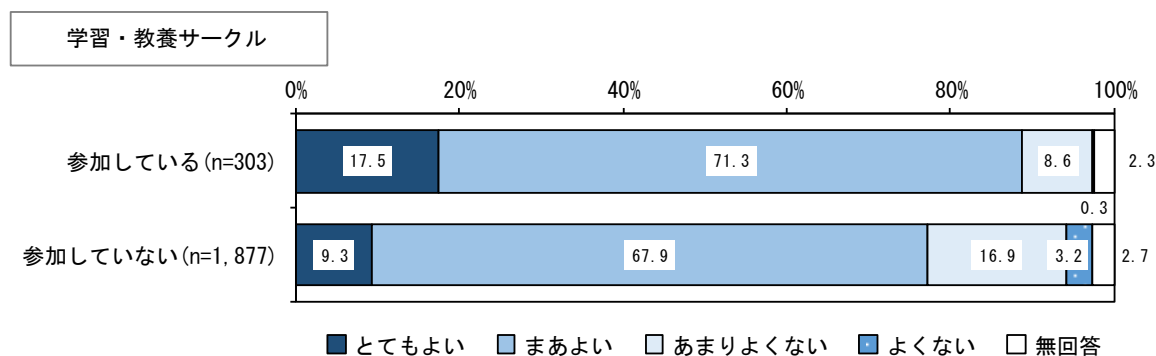
「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が88.4%、「参加していない」が75.6%と、「参加している」のほうが12.8ポイント多くなっています。



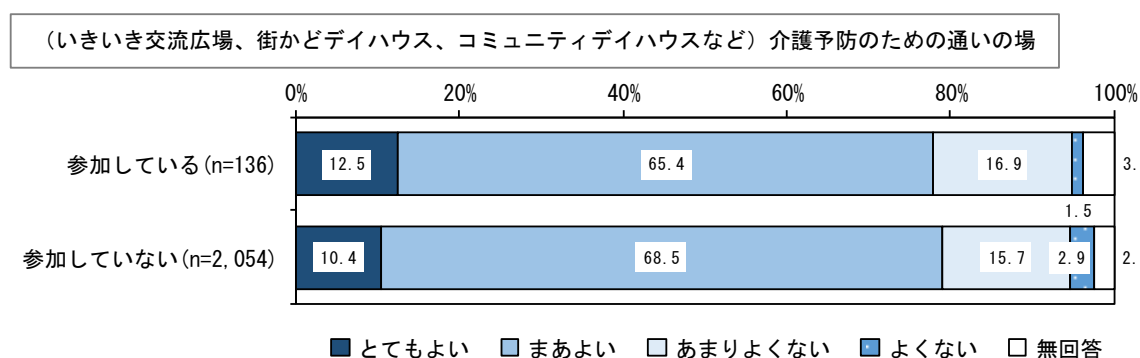
「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が86.2%、「参加していない」が75.4%と、「参加している」のほうが10.8ポイント多くなっています。



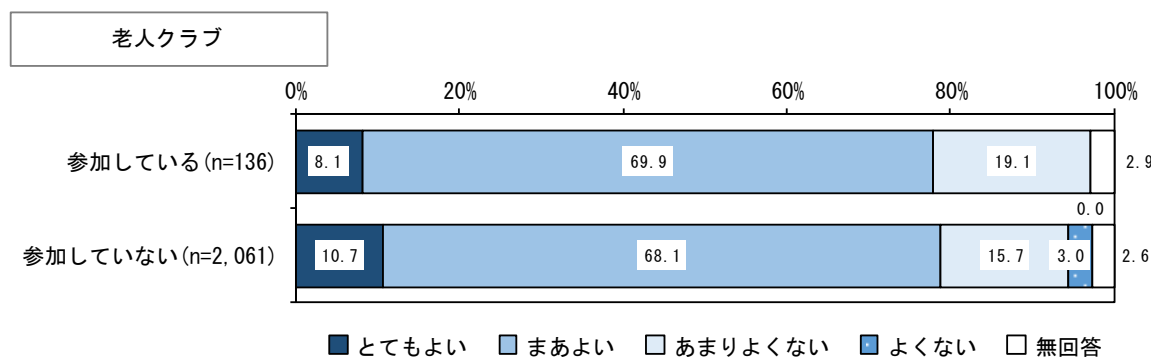
「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が88.8%、「参加していない」が77.2%と、「参加している」のほうが11.6ポイント多くなっています。



「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が77.9%、「参加していない」が78.9%と、「参加していない」のほうが1.0ポイント多くなっています。

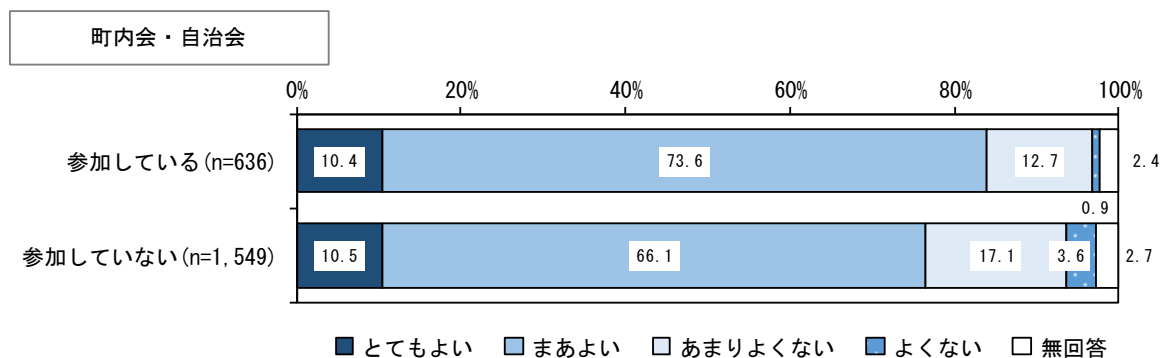


「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が78.0%、「参加していない」が78.8%と、「参加していない」のほうが0.8ポイント多くなっています。

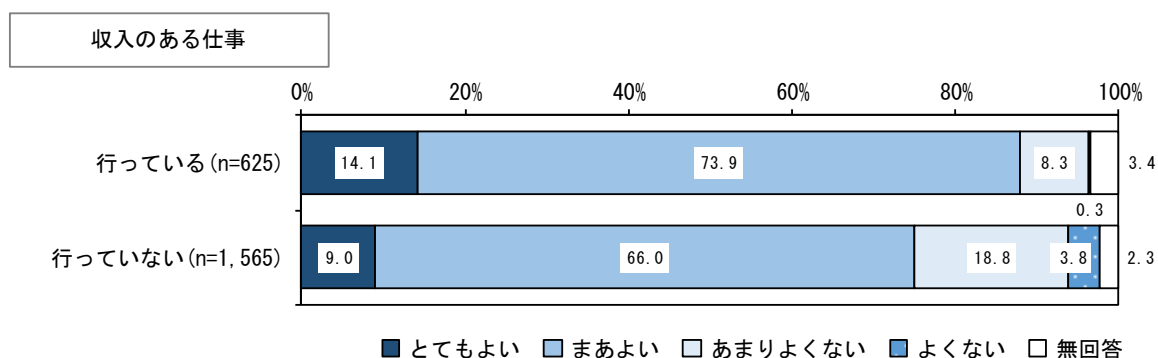


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

「町内会・自治会」への参加の有無別で見ると、『よい』では「参加している」が84.0%、「参加していない」が76.6%と、「参加している」のほうが7.4ポイント多くなっています。



「収入のある仕事」の有無別で見ると、『よい』では「行っている」が88.0%、「行っていない」が75.0%と、「行っている」のほうが13.0ポイント多くなっています。

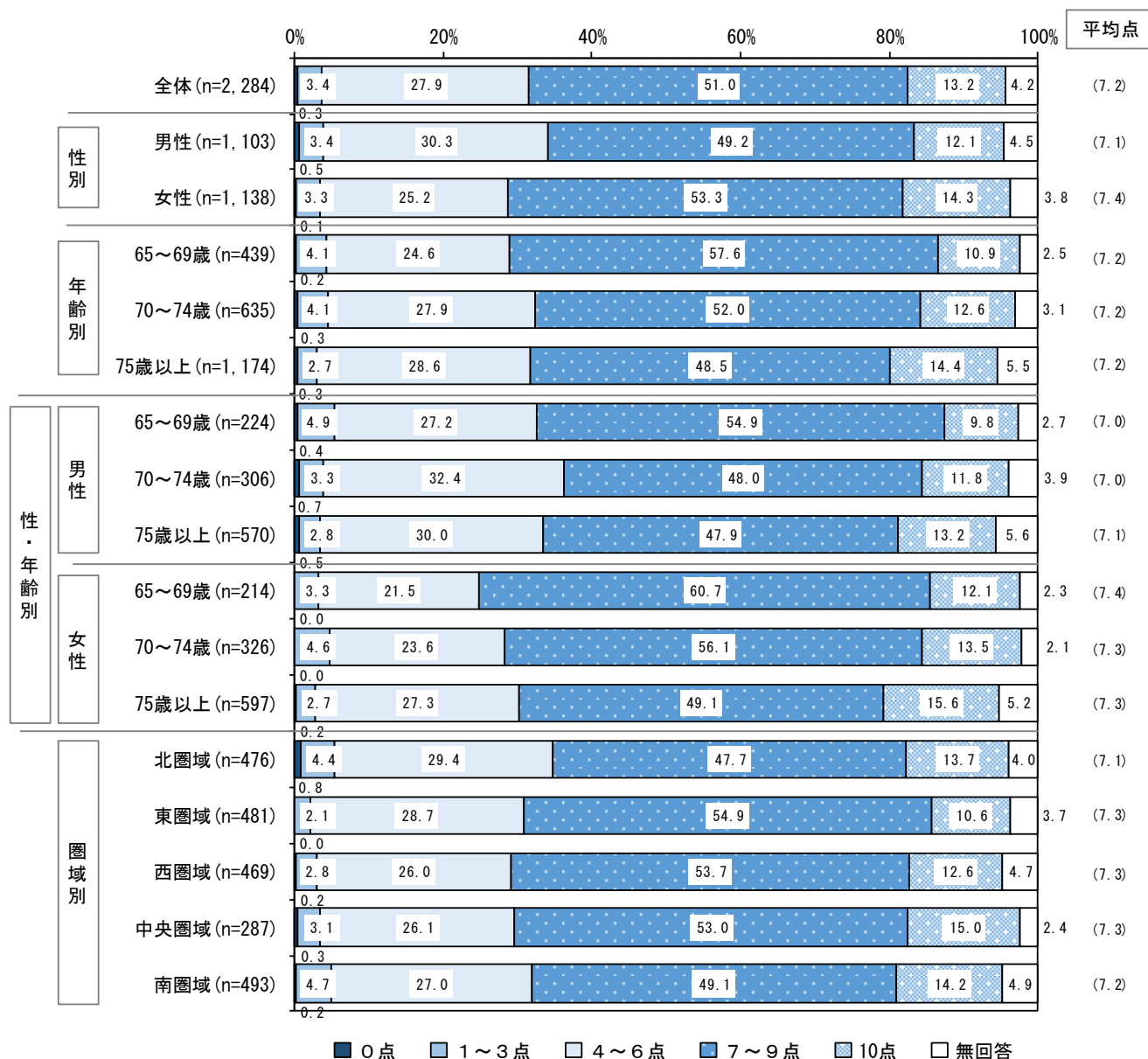
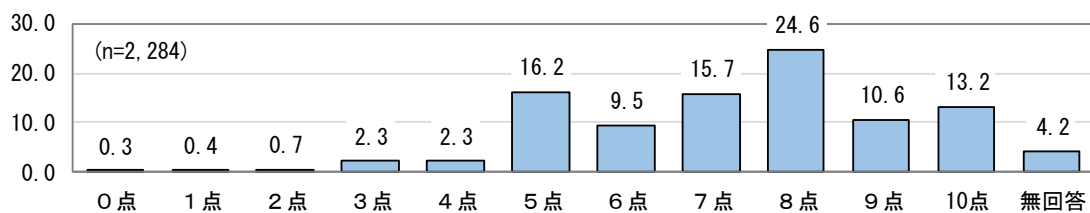


(2) 主観的幸福感

問7	Q2	あなたは、現在どの程度幸せですか。	○は1つ
----	----	-------------------	------

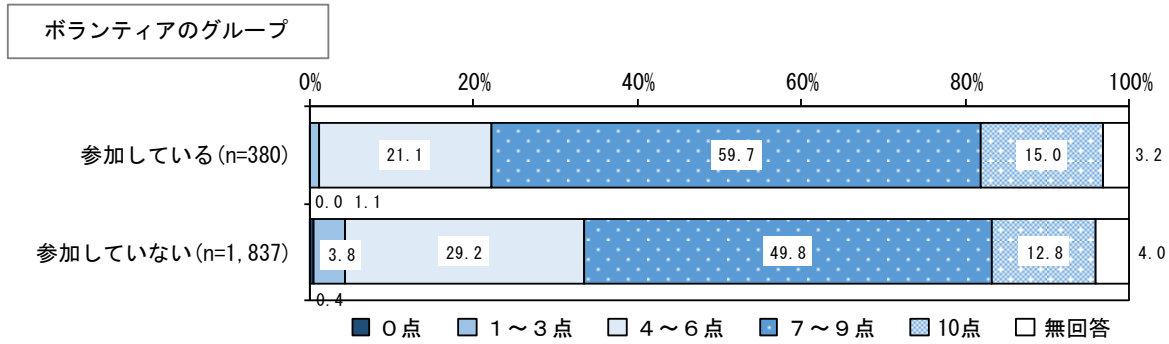
現在の幸福度について、「8点」が24.6%で最も多く、次いで「5点」が16.2%、「7点」が15.7%となっています（平均7.2点）。

また、性別で見ると、平均点は「男性」が7.1点、「女性」が7.4点で、「女性」のほうが0.3点多くなっています。

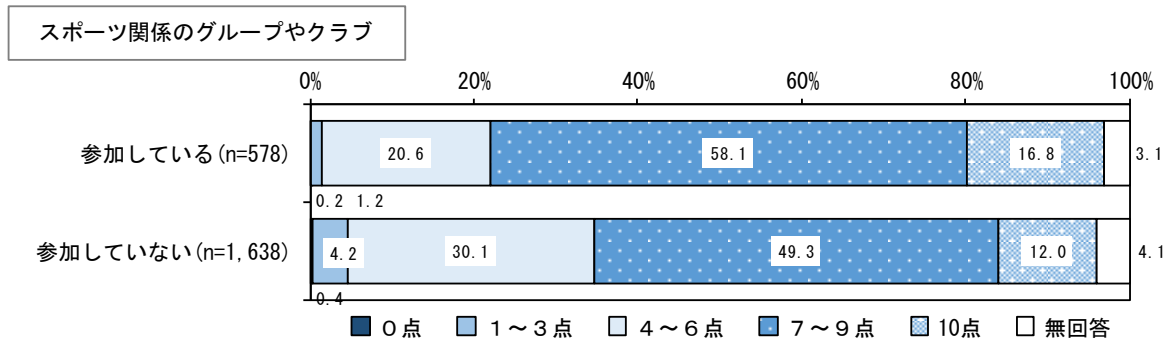


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

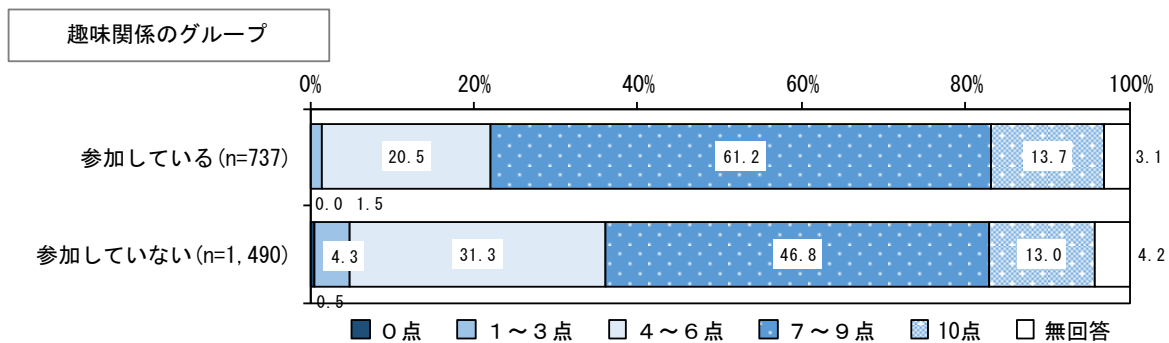
「ボランティアグループ」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が74.7%、「参加していない」が62.6%で、「参加している」のほうが12.1ポイント多くなっています。



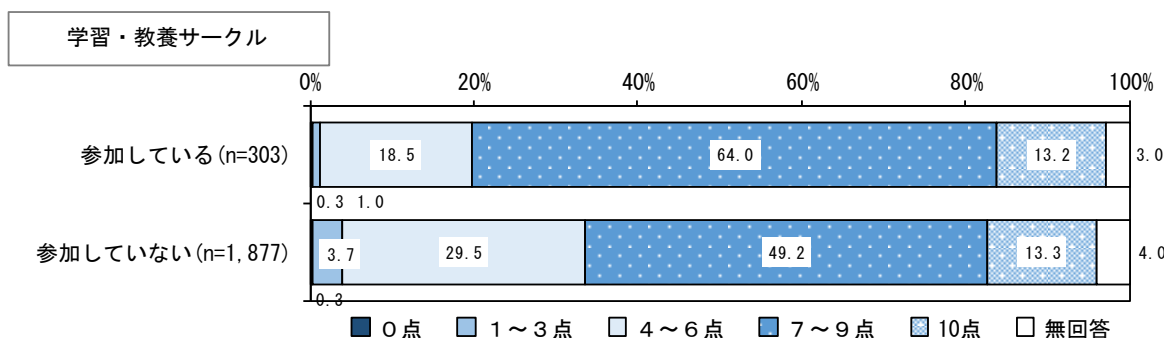
「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が74.9%、「参加していない」が61.3%で、「参加している」のほうが13.6ポイント多くなっています。



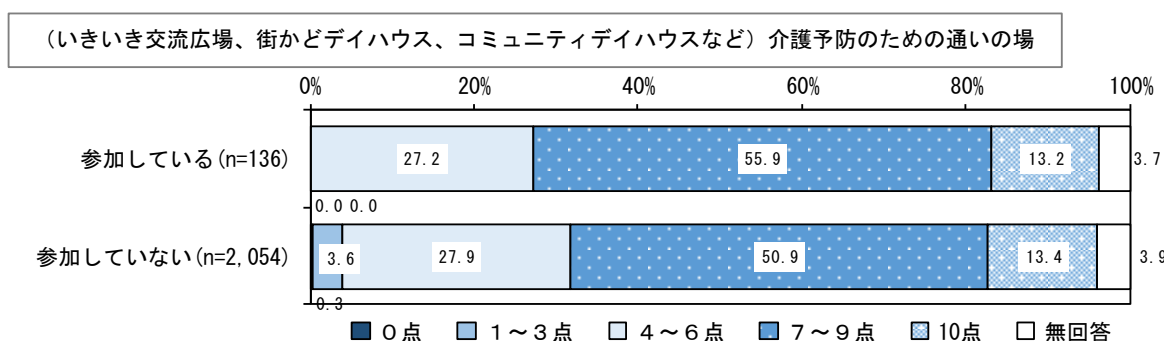
「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が74.9%、「参加していない」が59.8%で、「参加している」のほうが15.1ポイント多くなっています。



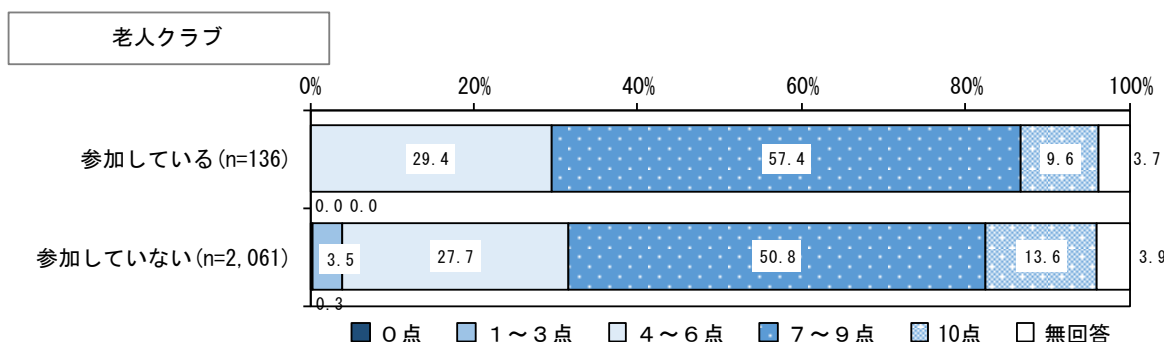
「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が77.2%、「参加していない」が62.5%で、「参加している」のほうが14.7ポイント多くなっています。



「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が69.1%、「参加していない」が64.3%で、「参加している」のほうが4.8ポイント多くなっています。

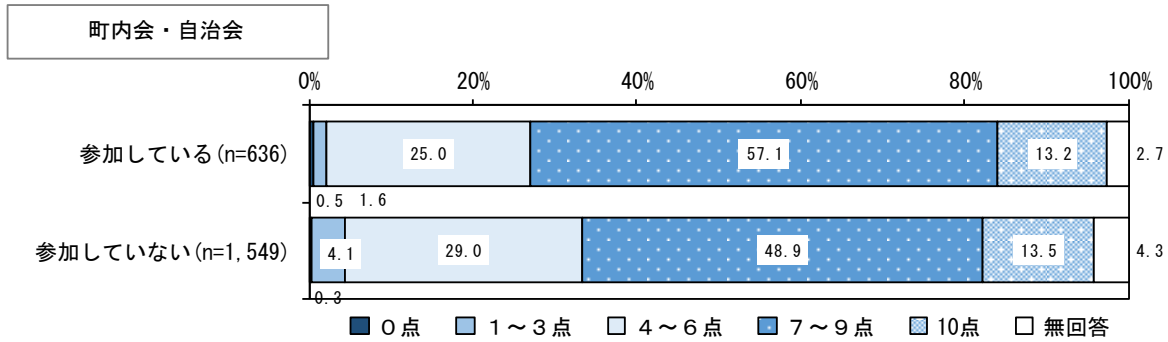


「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「7点以上」では「参加している」が67.0%、「参加していない」が64.4%で、「参加している」のほうが2.6ポイント多くなっています。

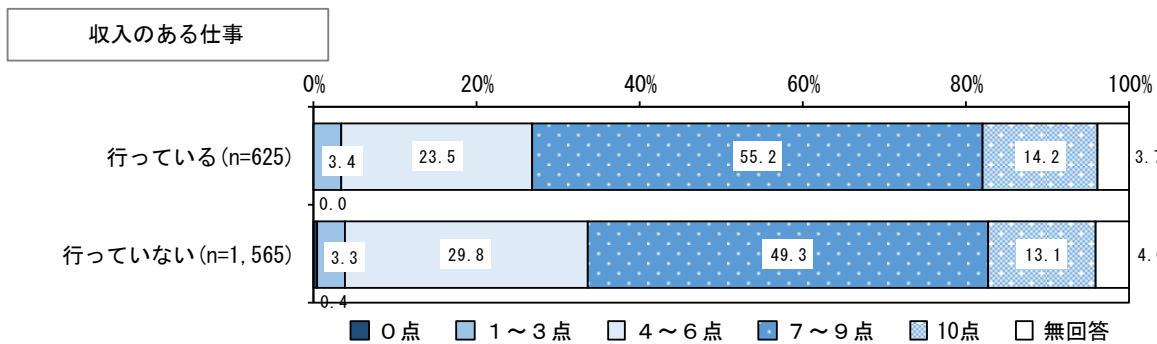


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

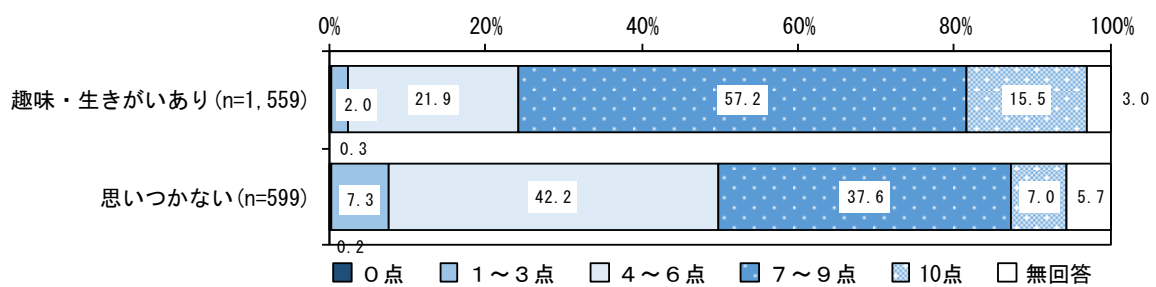
「町内会・自治会」への参加の有無別でみると、「7点以上」では「参加している」が70.3%、「参加していない」が62.4%で、「参加している」のほうが7.9ポイント多くなっています。



「収入のある仕事」の有無別でみると、「7点以上」では「行っている」が69.4%、「行っていない」が62.4%で、「行っている」のほうが7.0ポイント多くなっています。



趣味・生きがいの有無別でみると、「7点以上」では「趣味・生きがいあり」が72.7%、「思いつかない」が44.6%で、「趣味・生きがいあり」のほうが28.1ポイント多くなっています。

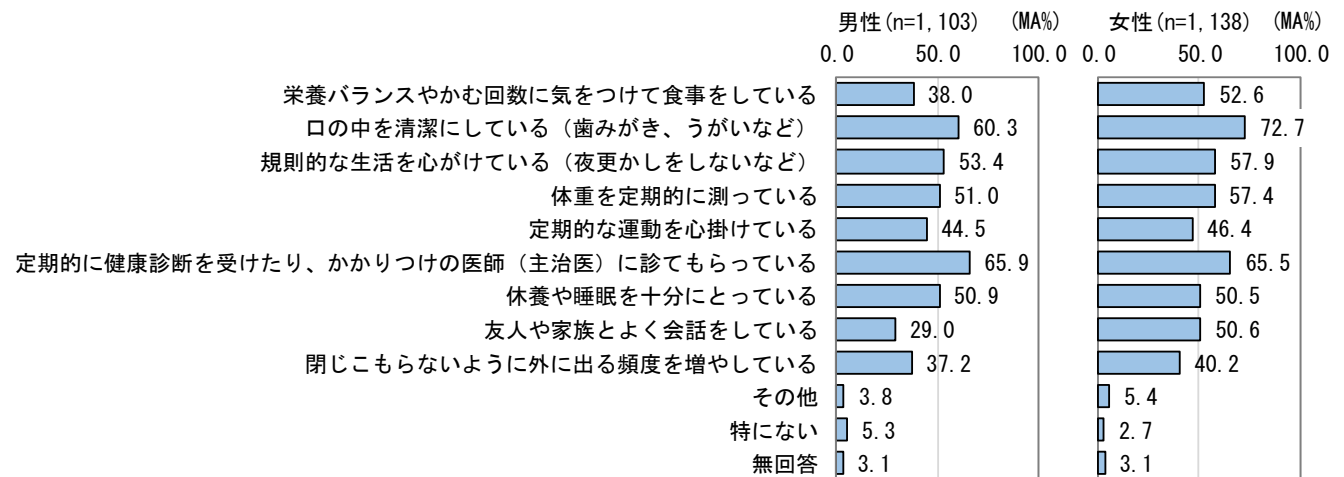
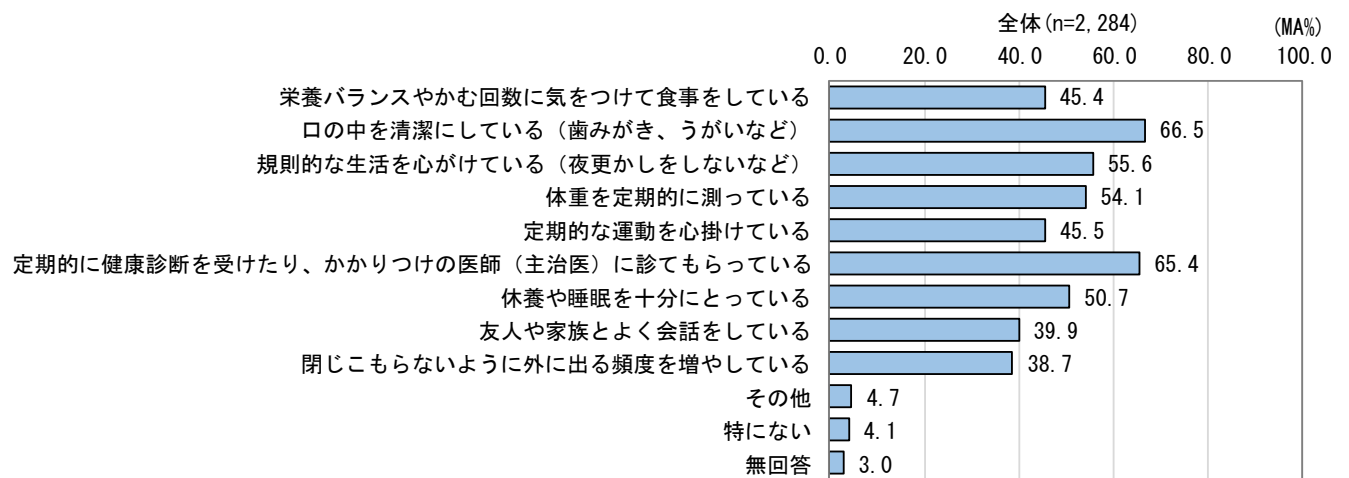


(3) 健康や介護予防、認知症予防のために取り組んでいること

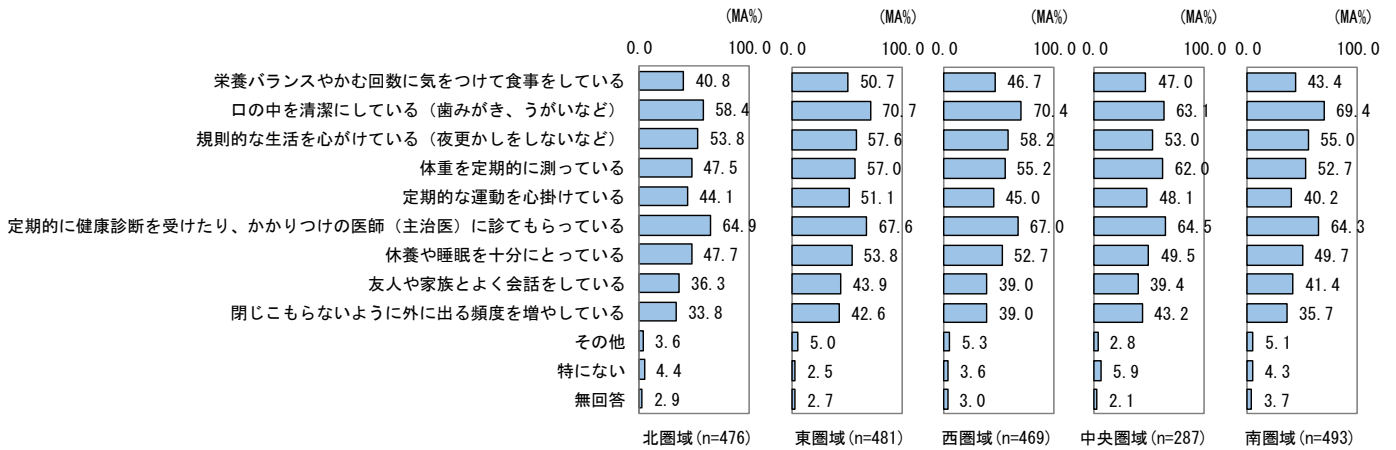
問7	Q3	あなたは、健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることはありますか。	○はいくつでも
----	----	---	---------

健康や介護予防、認知症予防のために普段から取り組んでいることについて、「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が66.5%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が65.4%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が55.6%となっています。

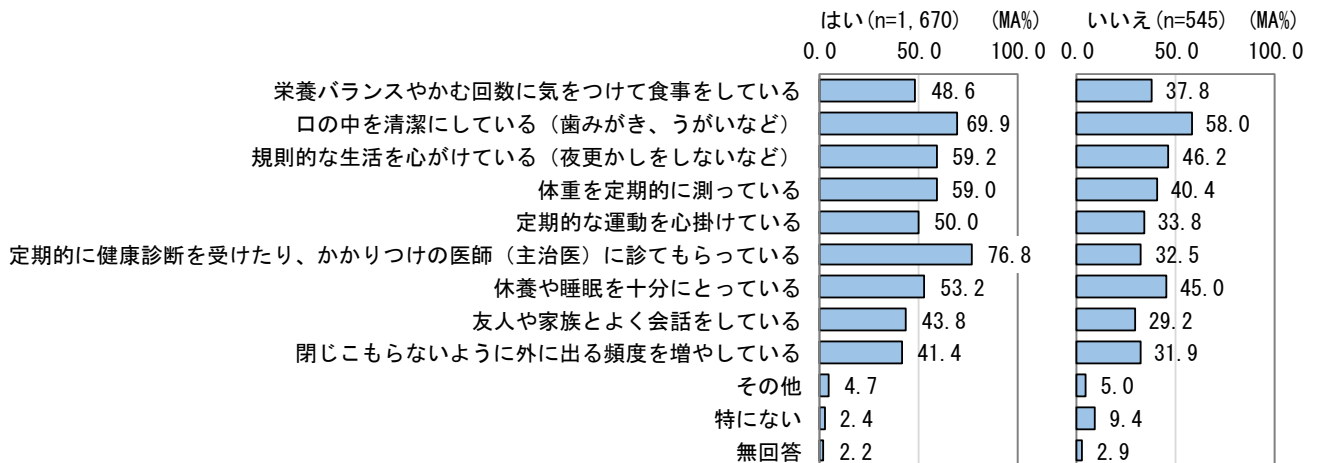
また、性別で見ると、「男性」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が65.9%で最も多く、「女性」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が72.7%で最も多くなっています。



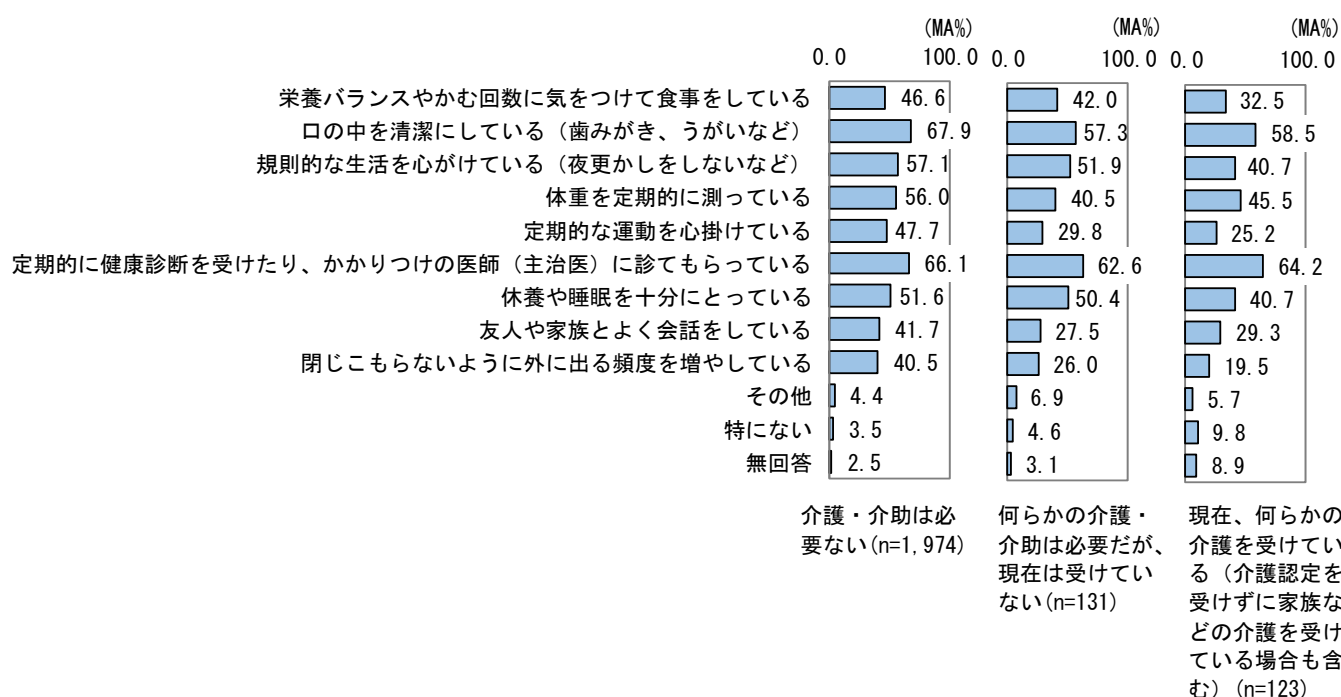
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果



自主的な健康診断の受診状況別でみると、「はい（健康診断を受けている）」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が76.8%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が69.9%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が59.2%、「いいえ（健康診断を受けていない）」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が58.0%で最も多く、次いで「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が46.2%、「休養や睡眠を十分にとっている」が45.0%となっています。

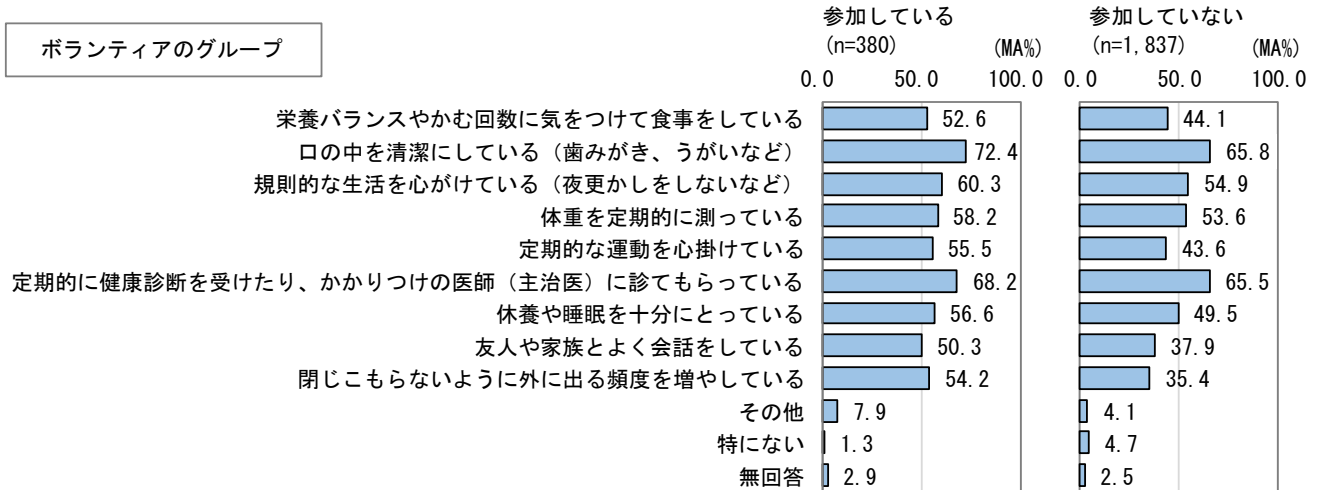


介護・介助の必要性別で見ると、「介護・介助は必要ない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が67.9%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が66.1%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が57.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が62.6%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が57.3%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が51.9%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が64.2%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が58.5%、「体重を定期的に測っている」が45.5%となっています。

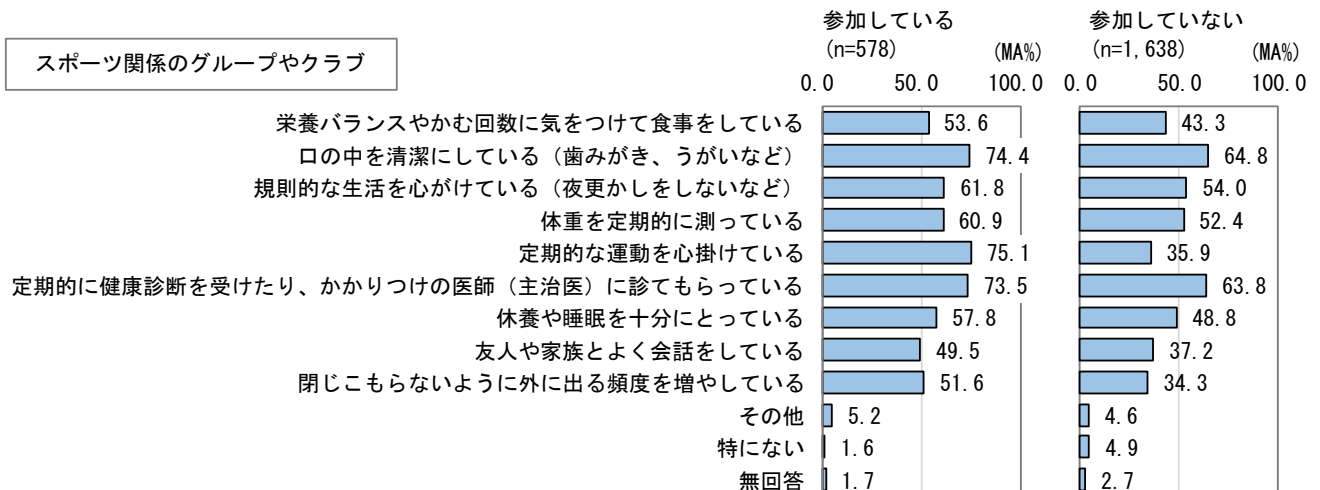


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

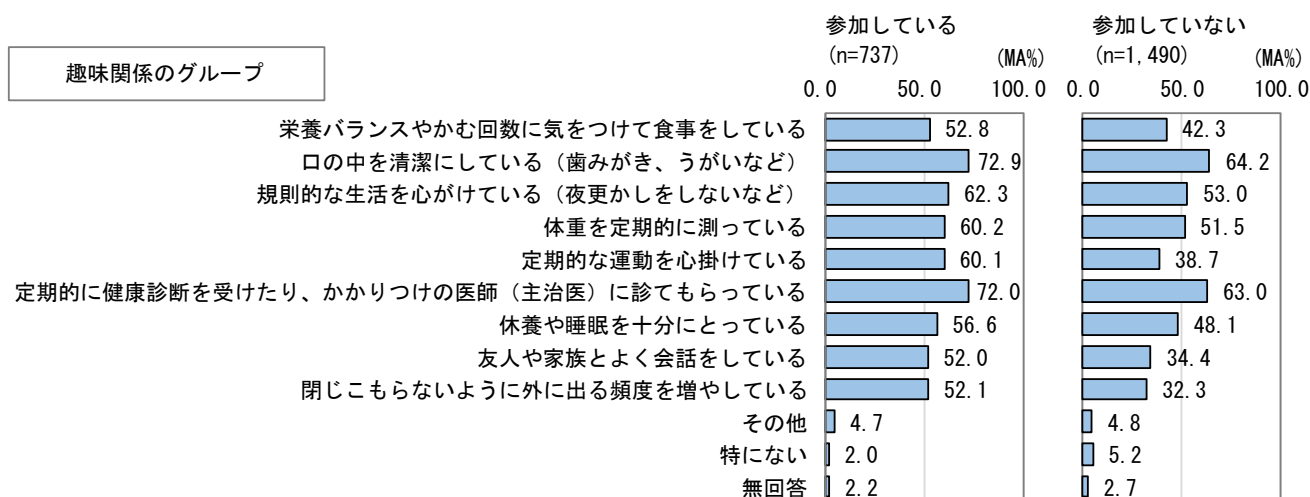
「ボランティアグループ」への参加の有無別でみると、「参加している」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が72.4%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が68.2%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が60.3%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が65.8%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が65.5%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が54.9%となっています。



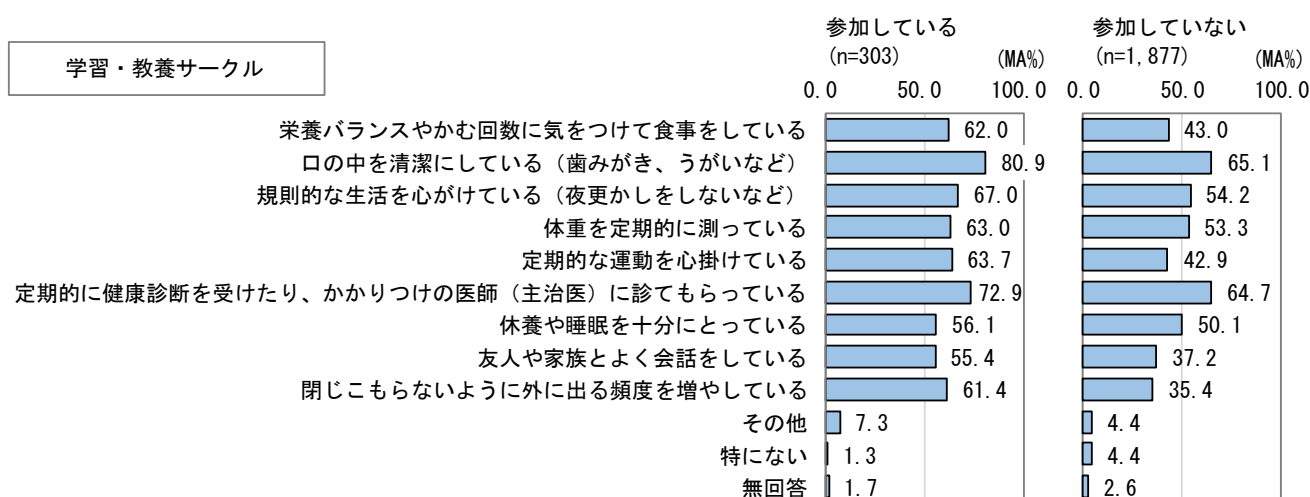
「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別でみると、「参加している」では「定期的な運動を心掛けている」が75.1%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が74.4%、「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が73.5%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が64.8%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が63.8%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が54.0%となっています。



「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が72.9%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が72.0%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が62.3%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が64.2%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が63.0%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が53.0%となっています。

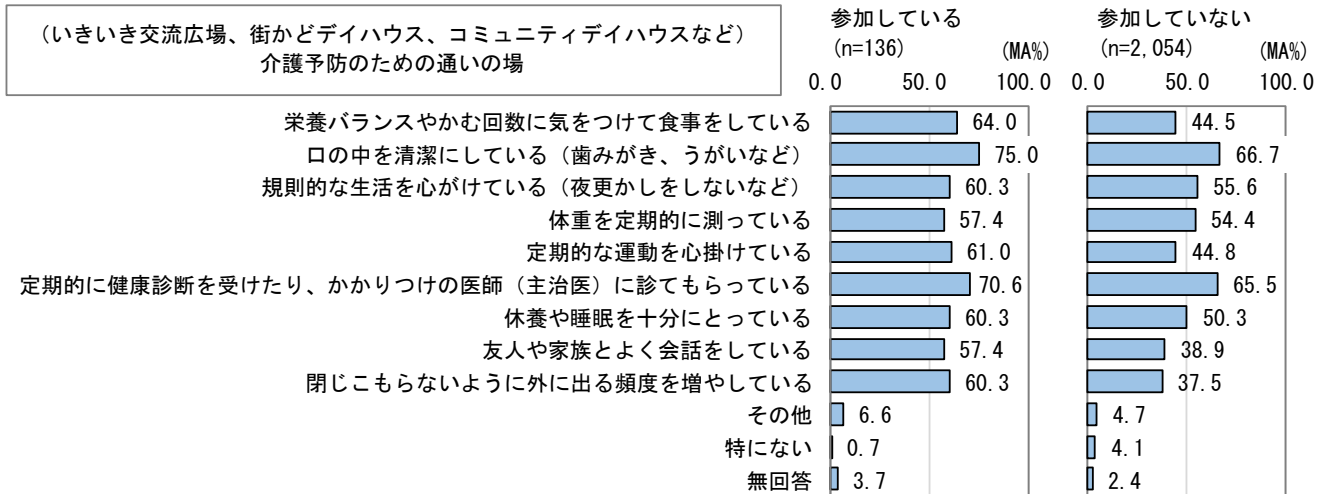


「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が80.9%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が72.9%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が67.0%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が65.1%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が64.7%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が54.2%となっています。

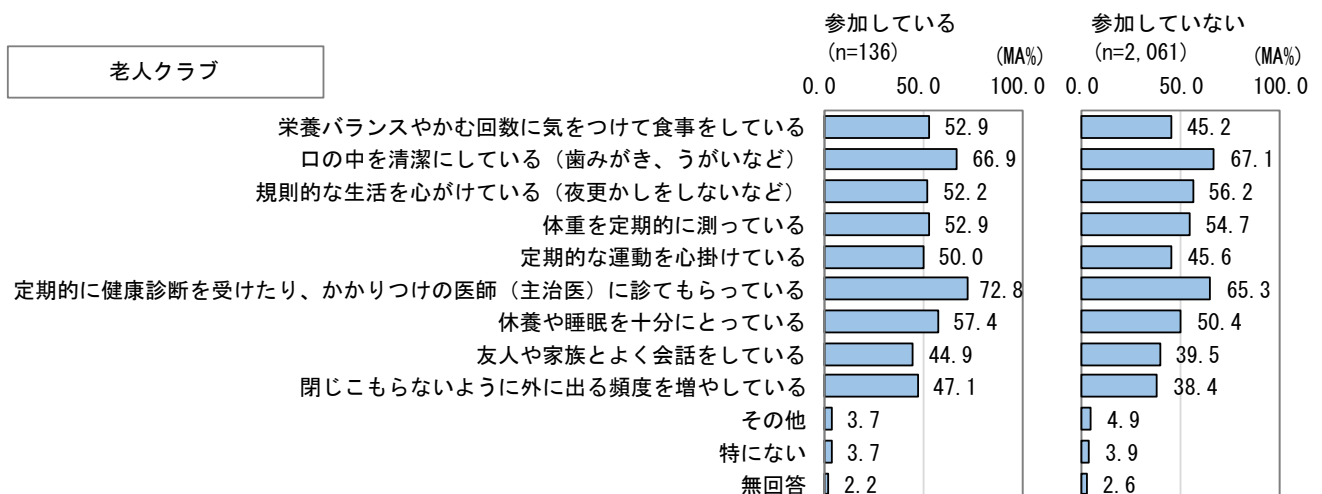


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

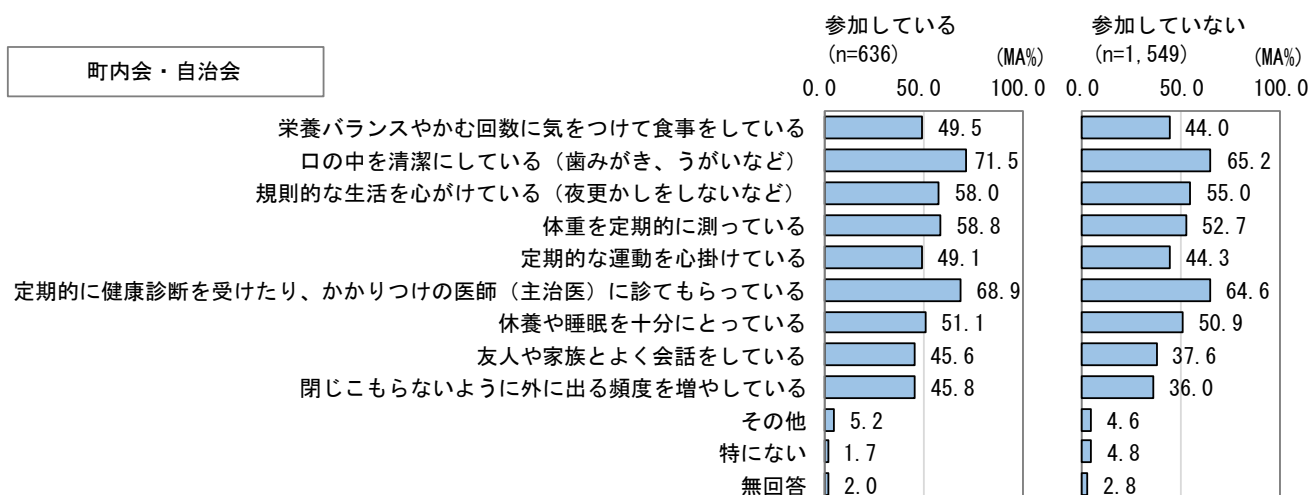
「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が75.0%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が70.6%、「栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている」が64.0%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が66.7%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が65.5%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が55.6%となっています。



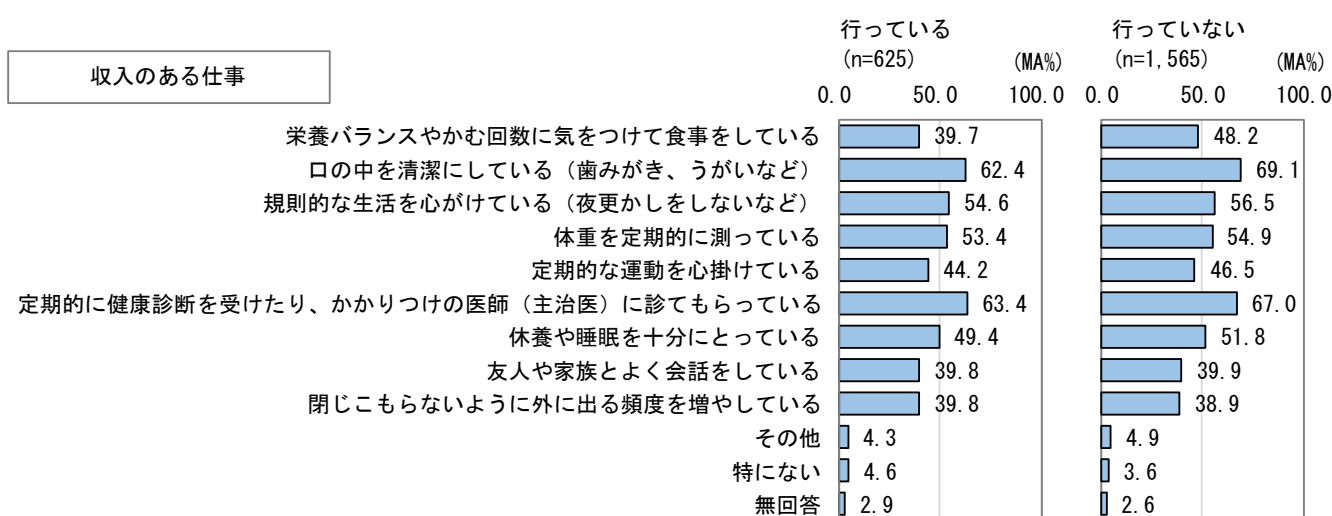
「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が72.8%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が66.9%、「休養や睡眠を十分にとっている」が57.4%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が67.1%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が65.3%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が56.2%となっています。



「町内会・自治会」への参加の有無別でみると、「参加している」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が71.5%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が68.9%、「体重を定期的に測っている」が58.8%、「参加していない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が65.2%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が64.6%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が55.0%となっています。



「収入のある仕事」の有無別でみると、「行っている」では「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が63.4%で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が62.4%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が54.6%、「行っていない」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が69.1%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師（主治医）に診てもらっている」が67.0%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が56.5%となっています。

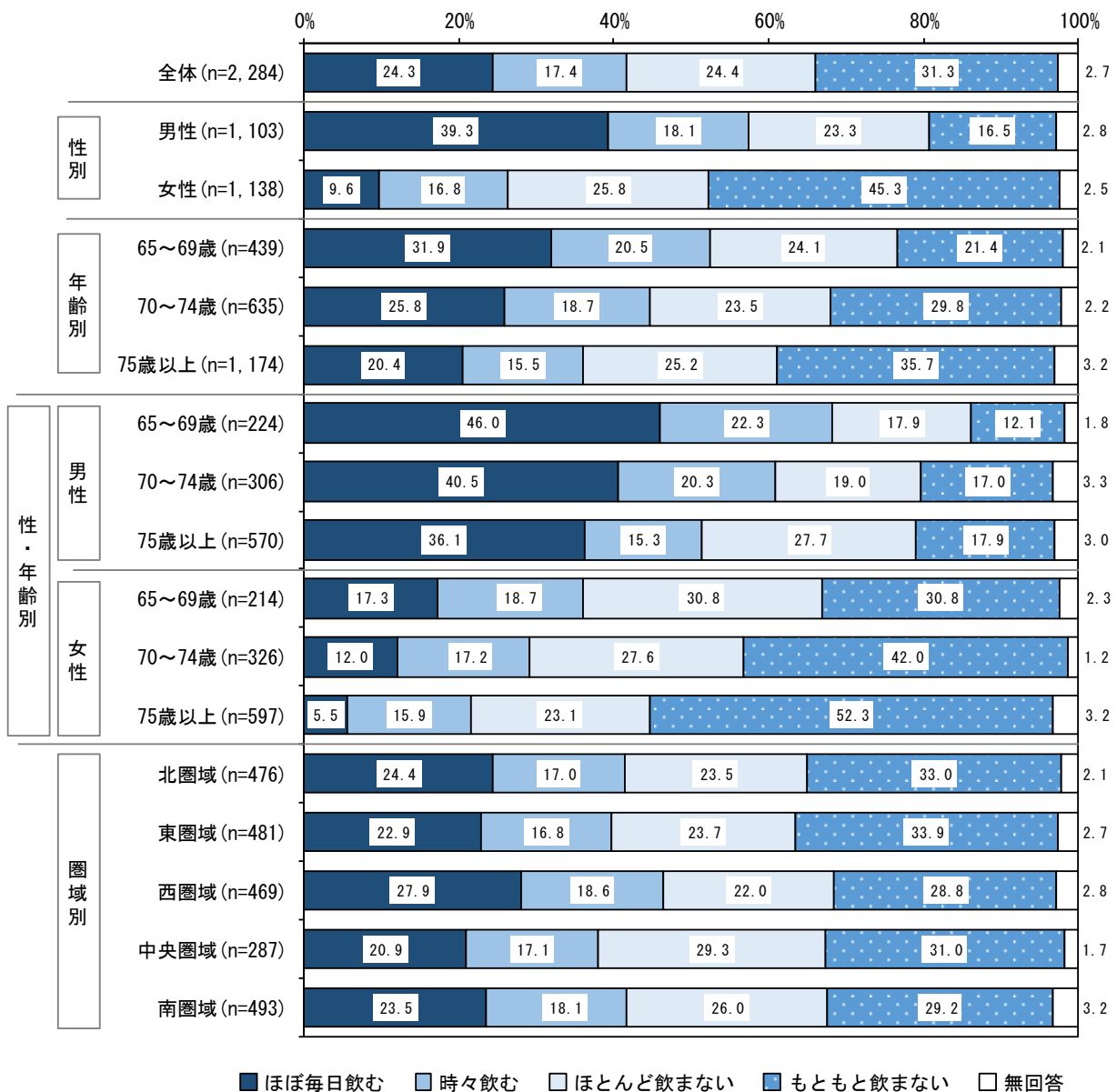


(4) 飲酒の状況

問7	Q4	お酒は飲みますか。	○は1つ
----	----	-----------	------

飲酒の状況について、「もともと飲まない」が31.3%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.4%、「ほぼ毎日飲む」が24.3%となっています。

また、性別で見ると、「ほぼ毎日飲む」では「男性」が39.3%、「女性」が9.6%で、「男性」のほうが29.7ポイント多くっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が31.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が25.8%、「75歳以上」が20.4%となっています。

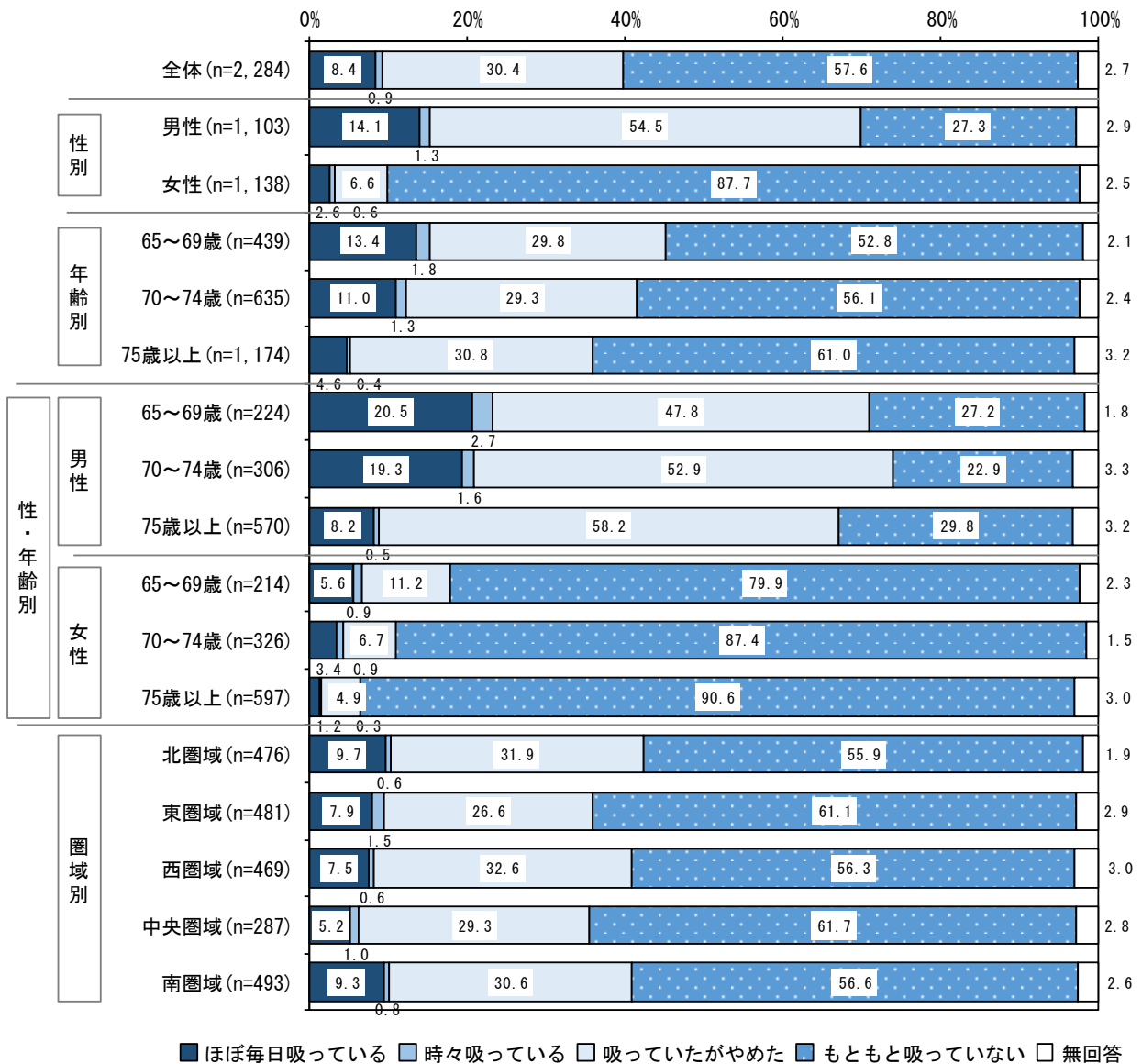


(5) 喫煙の状況

問7	Q5	タバコは吸っていますか。	○は1つ
----	----	--------------	------

喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が57.6%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が30.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.4%となっています。

また、性別でみると、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計）では「男性」が15.4%、「女性」が3.2%で、「男性」のほうが12.2ポイント多くなっており、年齢別でみると、「65～69歳」が15.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が12.3%、「75歳以上」が5.0%となっています。

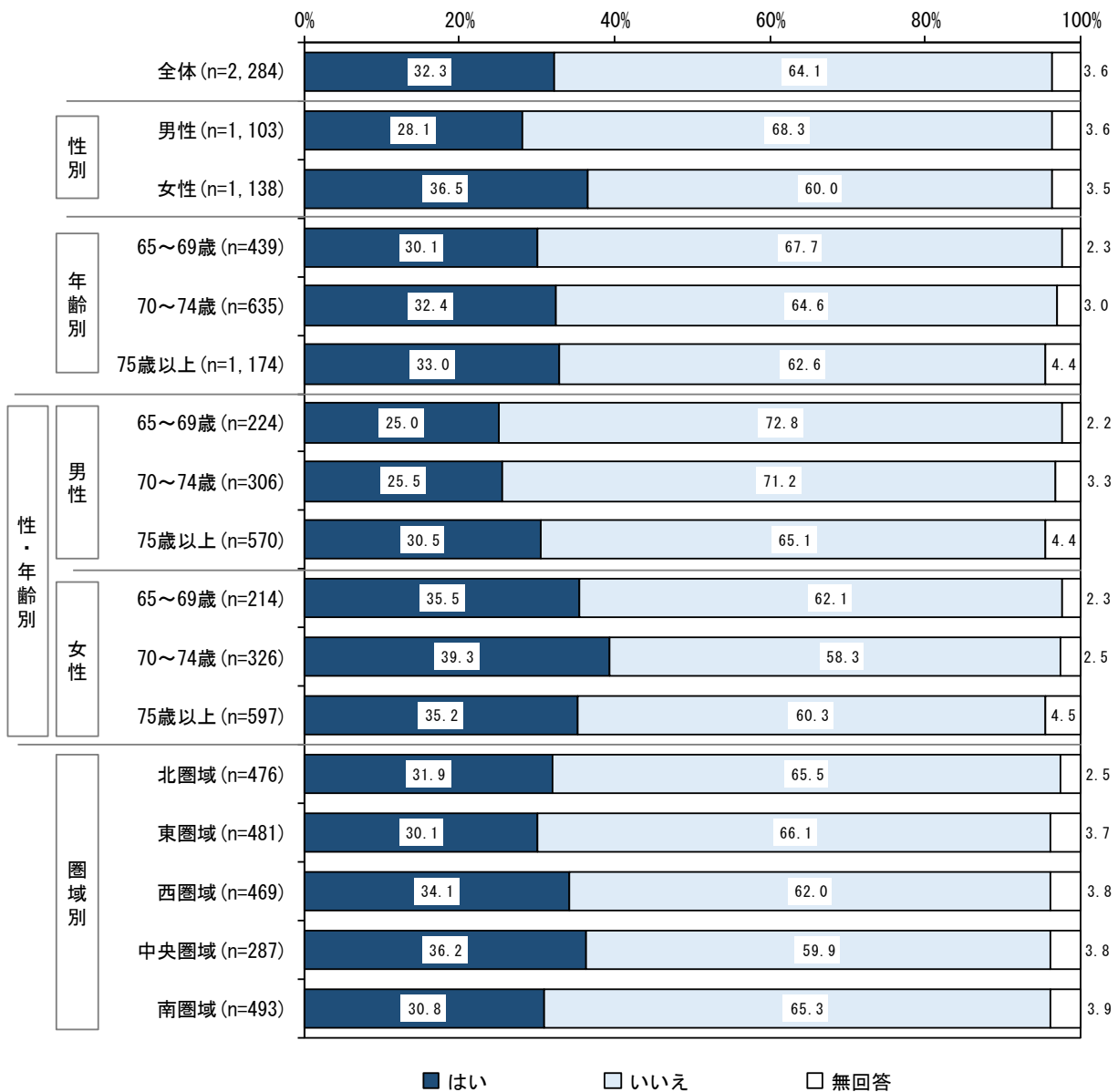


(6) ゆううつな気持ちになったりすること

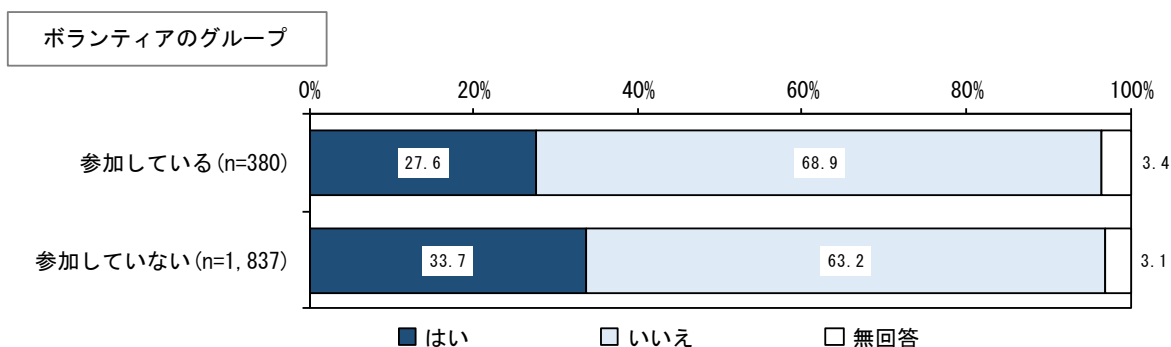
問7	Q6	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	○は1つ
----	----	--	------

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が32.3%、「いいえ」が64.1%となっています。

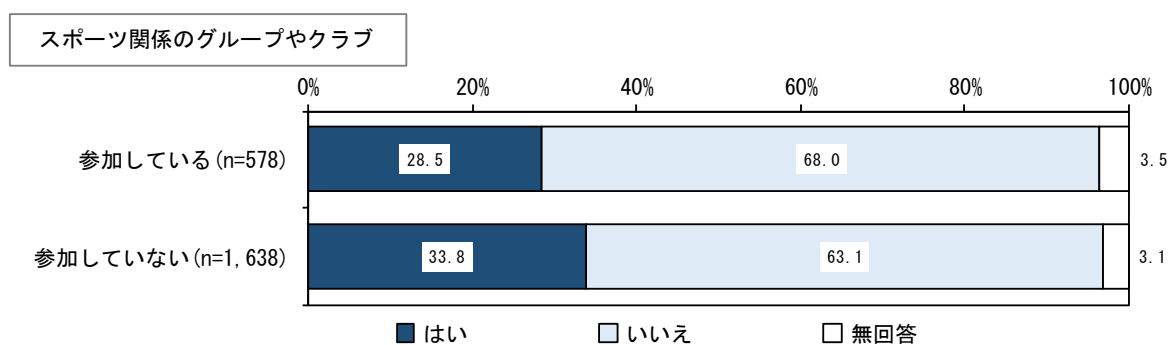
また、性別で見ると、「はい」では「男性」が28.1%、「女性」が36.5%で、「女性」のほうが8.4ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が33.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が32.4%、「65～69歳」が30.1%となっています。



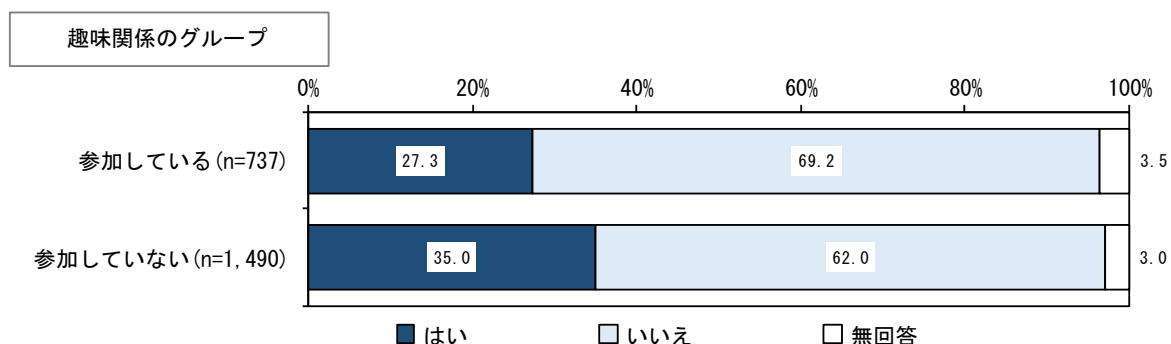
「ボランティアグループ」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が27.6%、「参加していない」が33.7%で、「参加していない」のほうが6.1ポイント多くなっています。



「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が28.5%、「参加していない」が33.8%で、「参加していない」のほうが5.3ポイント多くなっています。

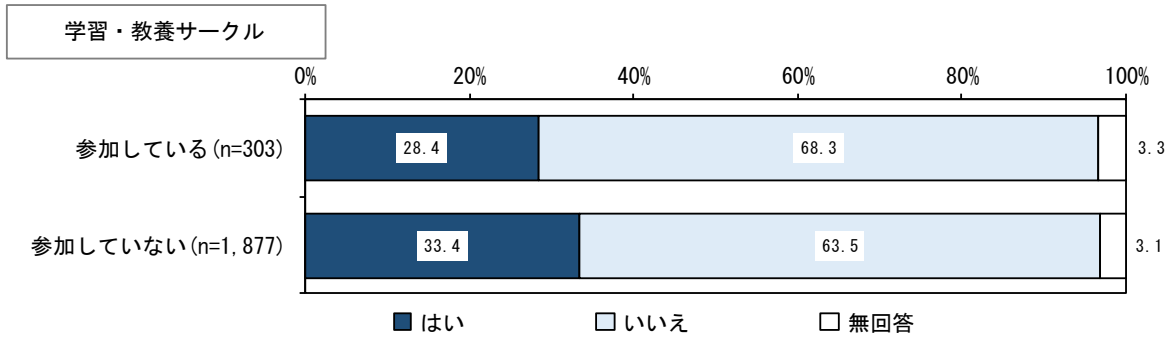


「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が27.3%、「参加していない」が35.0%で、「参加していない」のほうが7.7ポイント多くなっています。

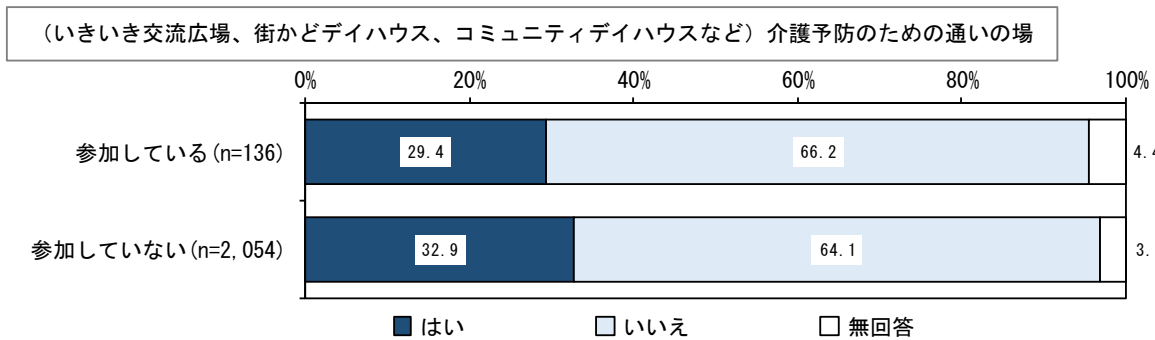


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

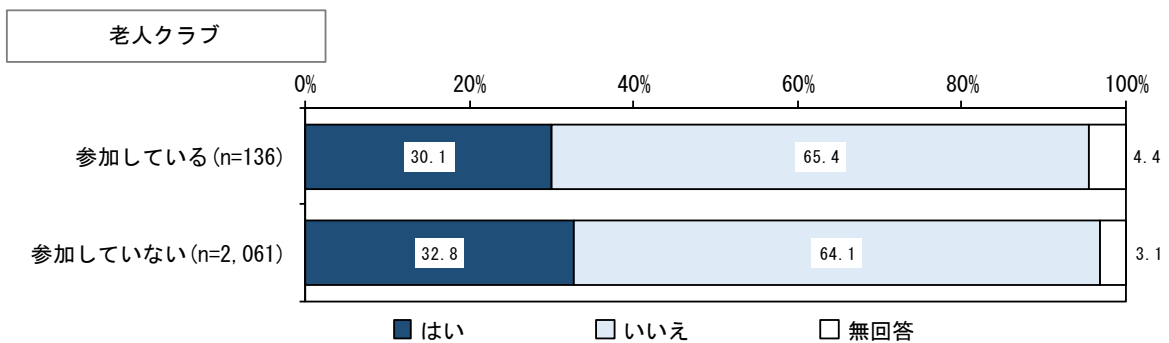
「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が28.4%、「参加していない」が33.4%で、「参加していない」のほうが5.0ポイント多くなっています。



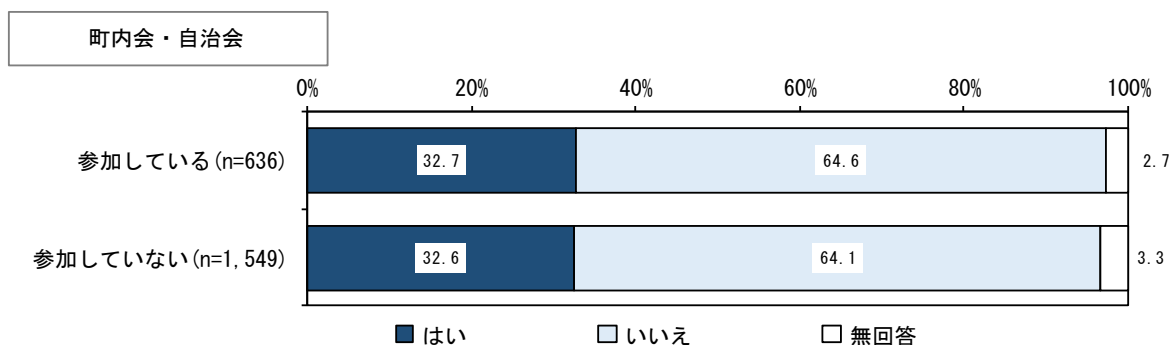
「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が29.4%、「参加していない」が32.9%で、「参加していない」のほうが3.5ポイント多くなっています。



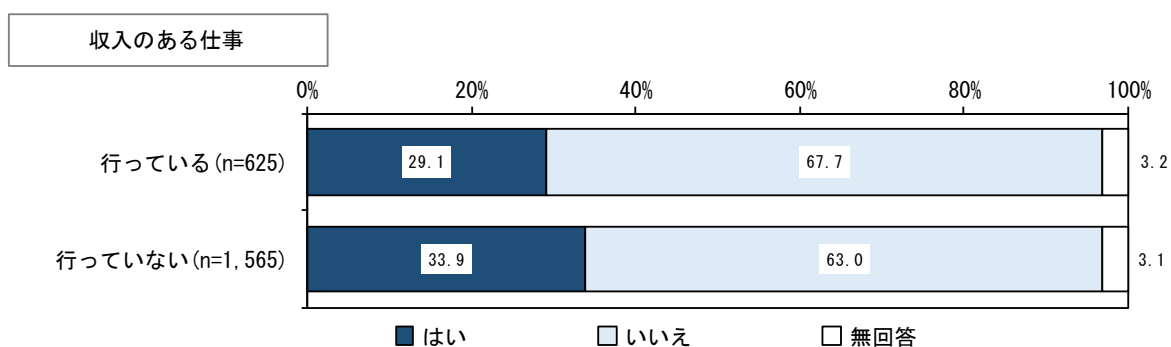
「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が30.1%、「参加していない」が32.8%で、「参加していない」のほうが2.7ポイント多くなっています。



「町内会・自治会」への参加の有無別で見ると、「はい」では「参加している」が32.7%、「参加していない」が32.7%で、「参加している」のほうが0.1ポイント多くなっています。



「収入のある仕事」の有無別で見ると、「はい」では「行っている」が29.1%、「行っていない」が33.9%で、「行っていない」のほうが4.8ポイント多くなっています。

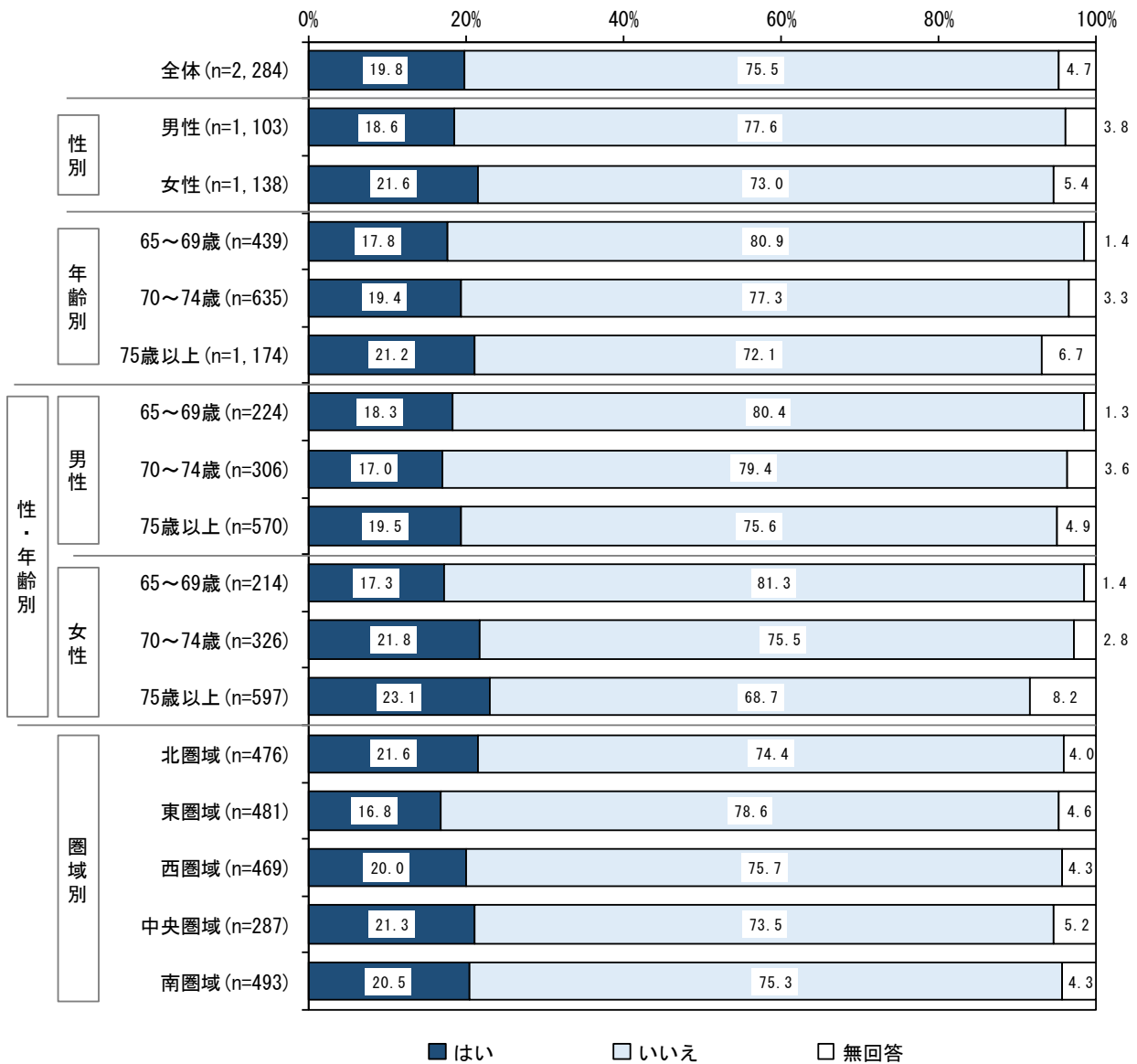


(7) 物事に対して心から楽しめない感じること

問7	Q7	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	○は1つ
-----------	-----------	--	------

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が19.8%、「いいえ」が75.5%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が18.6%、「女性」が21.6%で、「女性」のほうが3.0ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が21.2%で最も多く、次いで「70～74歳」が19.4%、「65～69歳」が17.8%となっています。

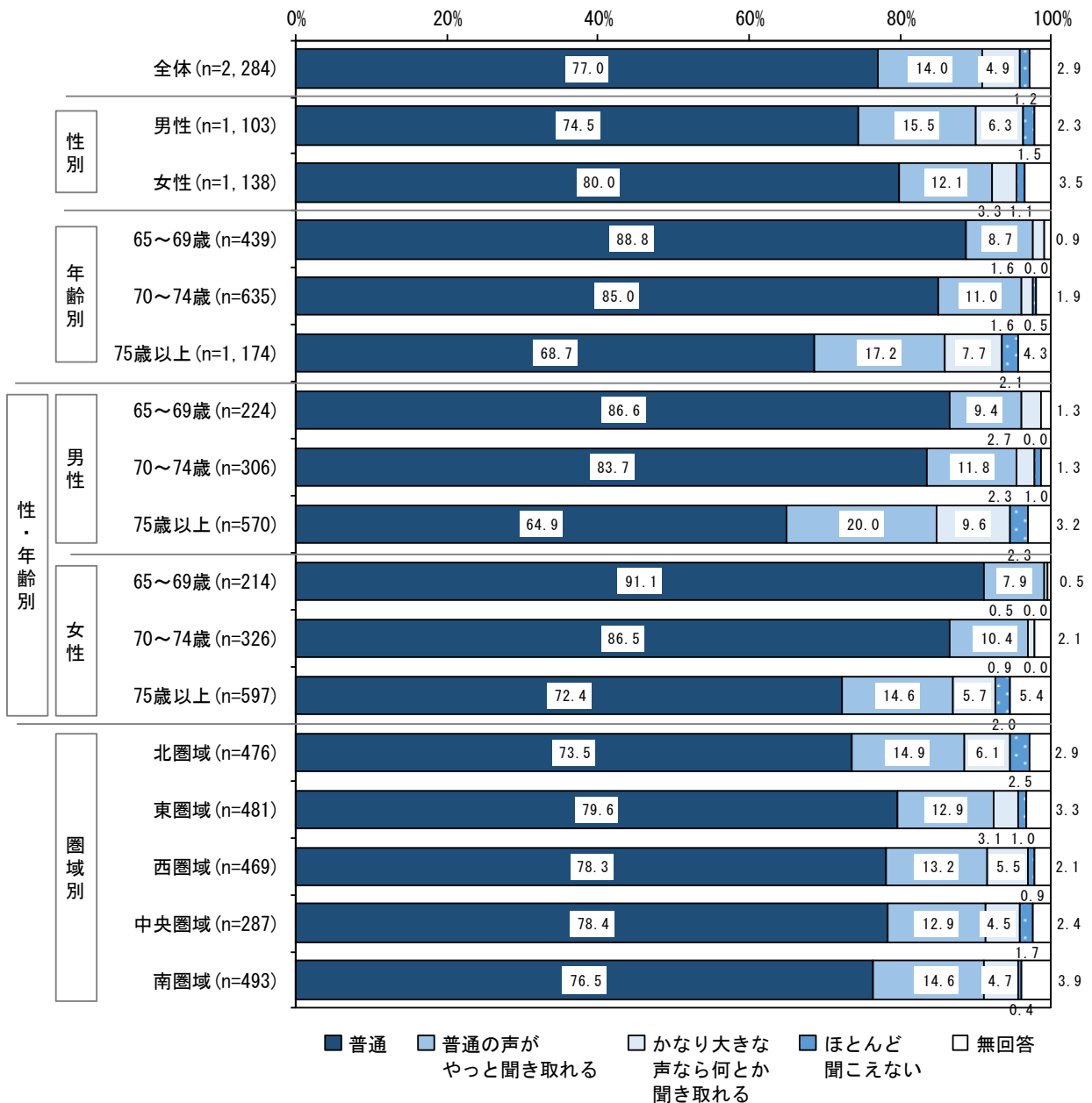


(8) 耳の聞こえの状態

問7	Q8	現在あなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。	○は1つ
----	----	------------------------	------

現在の耳の聞こえの状態について、「普通」が77.0%で最も多く、次いで「普通の声がやっと聞き取れる」が14.0%、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が4.9%となっています。

また、性別でみると、『聞き取りにくい』（「普通の声がやっと聞き取れる」「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」「ほとんど聞こえない」の合計）では「男性」が23.3%、「女性」が16.5%で、「男性」のほうが6.8ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が27.0%で最も多く、次いで「70～74歳」が13.1%、「65～69歳」が10.3%となっています。



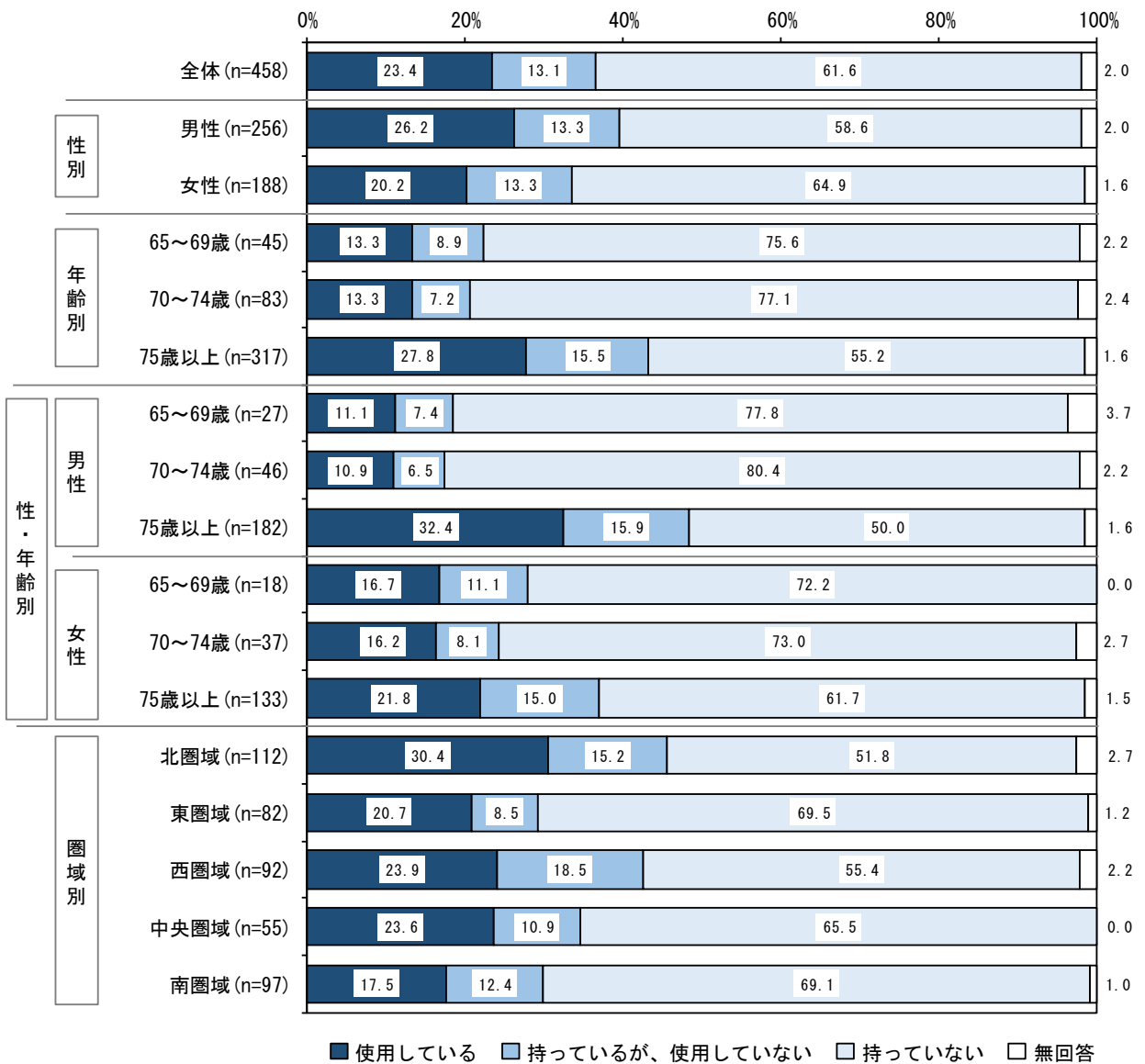
(9) 補聴器の使用

【Q8で「普通」以外を回答した人のみ】

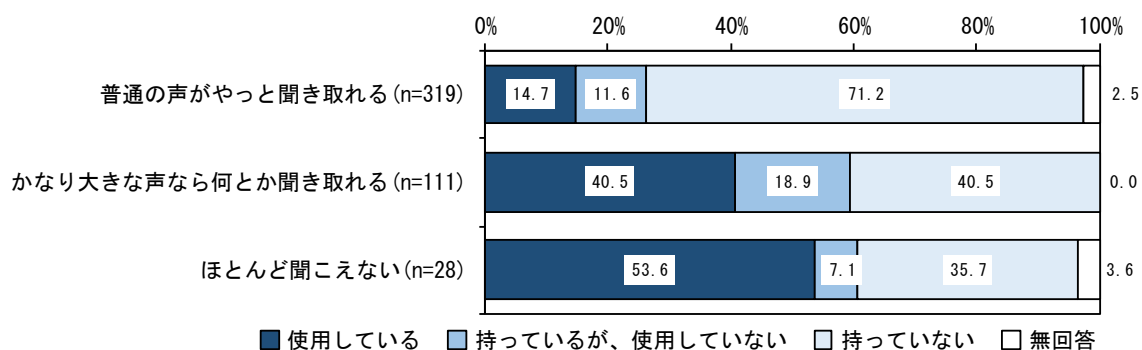
問7	Q8-1	現在、補聴器を使用していますか。	○は1つ
----	------	------------------	------

現在の耳の聞こえの状態がよくない人に、補聴器の使用について聞いたところ、「持っていない」が61.6%で最も多く、次いで「使用している」が23.4%、「持っているが、使用していない」が13.1%となっています。

また、性別で見ると、「使用している」では「男性」が26.2%、「女性」が20.2%で、「男性」のほうが6.0ポイント多くっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が27.8%で最も多く、次いで「70～74歳」「65～69歳」が13.3%となっています。



さらに、耳の聞こえの状態別でみると、「使用している」では「ほとんど聞こえない」が53.6%で最も多く、次いで「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が40.5%、「普通の声がやっと聞き取れる」が14.7%となっています。



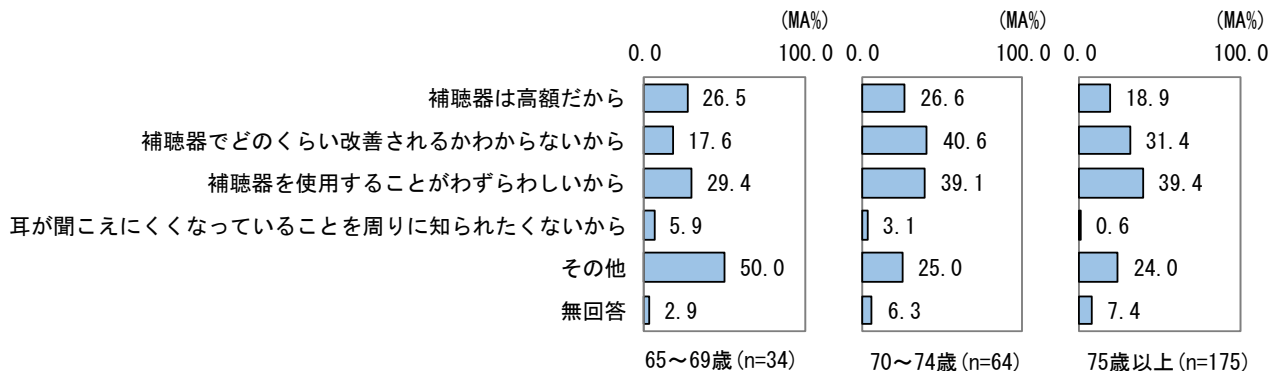
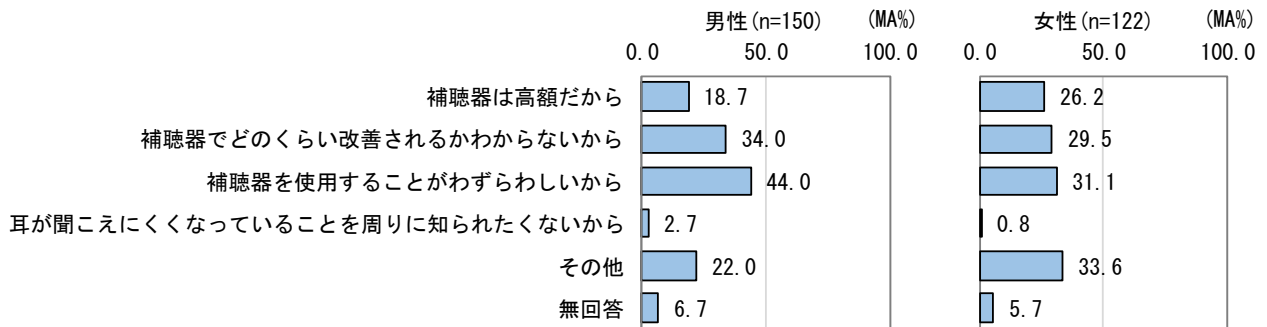
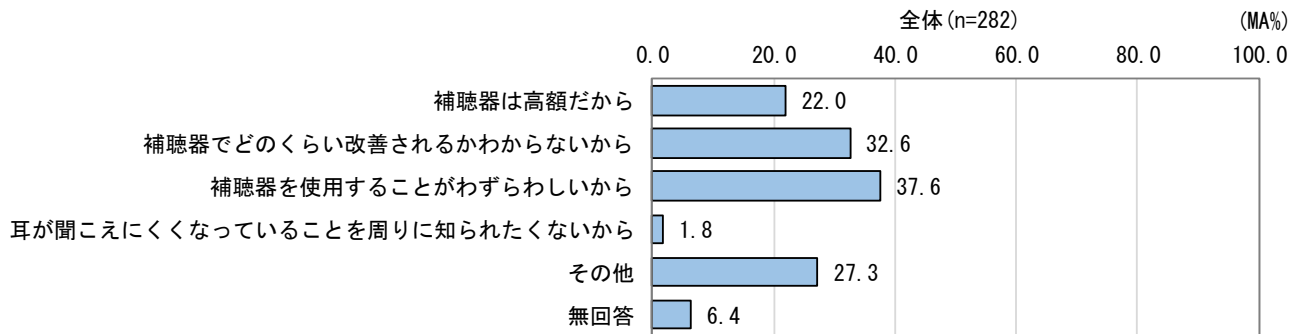
(10) 補聴器を持っていない理由

【Q8-1で「持っていない」を回答した人のみ】

問7	Q8-2	持っていない理由は何ですか。	○はいくつでも
----	------	----------------	---------

現在の耳の聞こえの状態はよくないが、補聴器を使用していない人に、その理由について聞いたところ、「補聴器を使用することがわずらわしいから」が37.6%で最も多く、次いで「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が32.6%、「その他」が27.3%となっています。

また、「その他」の理由として、「何とか聞こえるから」「生活に支障がないから」「まだ必要と思わないから」などがありました。

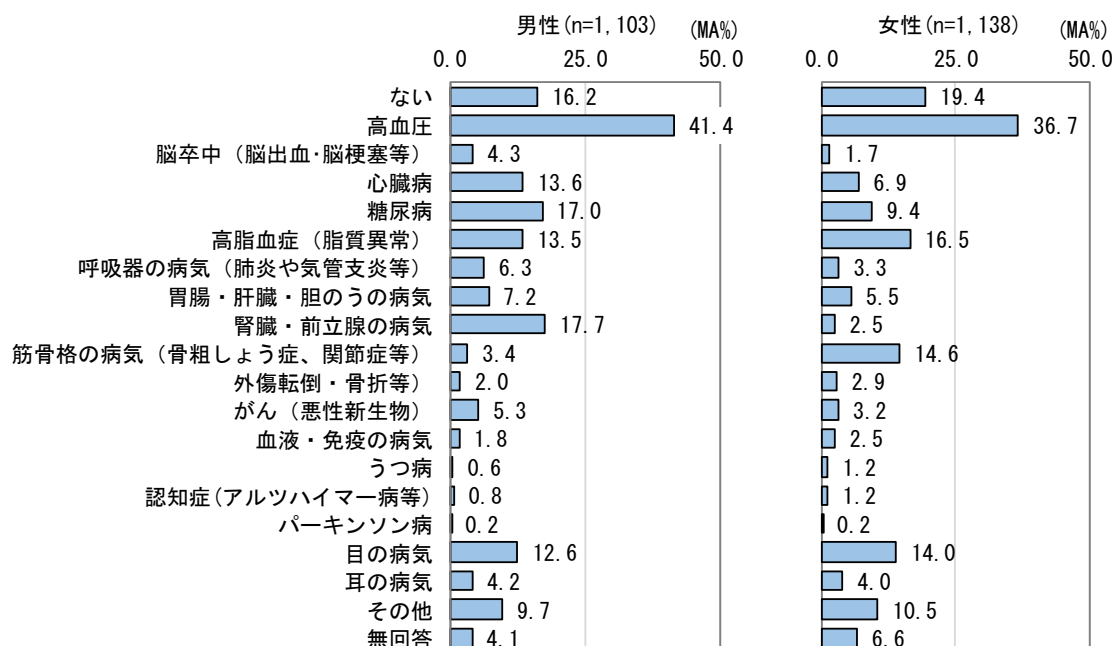
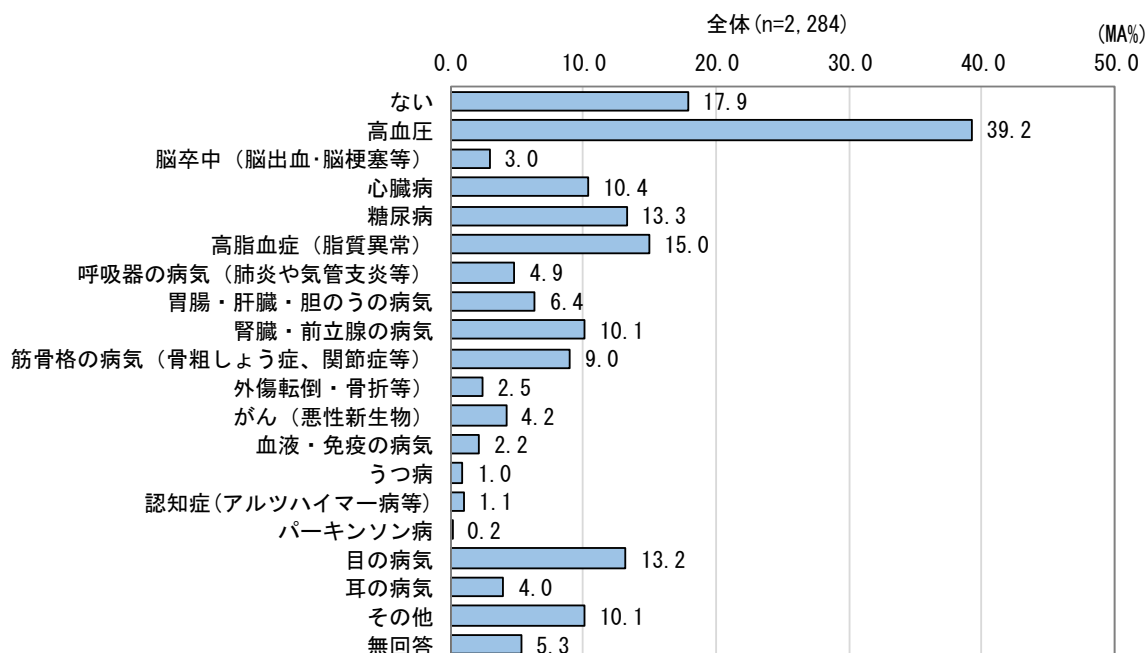


(11) 現在治療中または後遺症のある病気

問7	Q9	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	○はいくつでも
----	----	--------------------------	---------

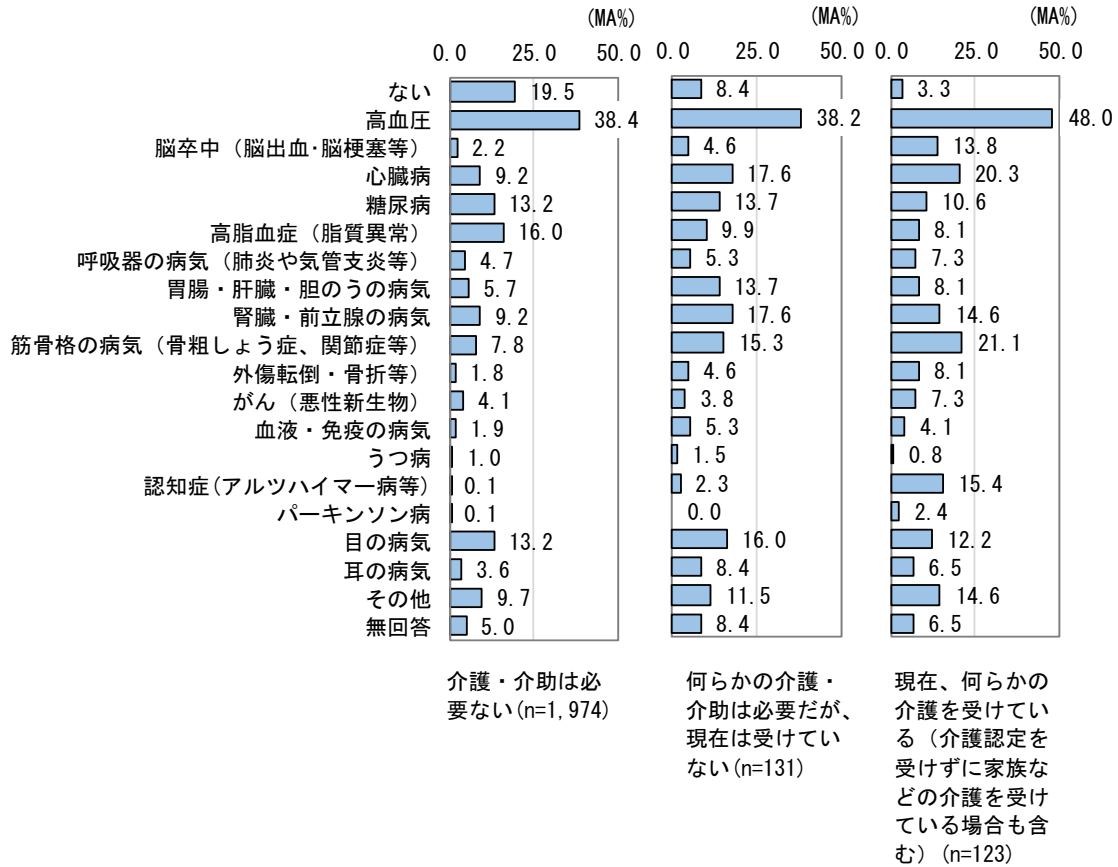
現在治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が39.2%で最も多く、次いで「ない」が17.9%、「高脂血症（脂質異常）」が15.0%となっています。

また、性別で見ると、男女ともに「高血圧」が最も多く、「男性」が41.4%、「女性」が36.7%となっています。

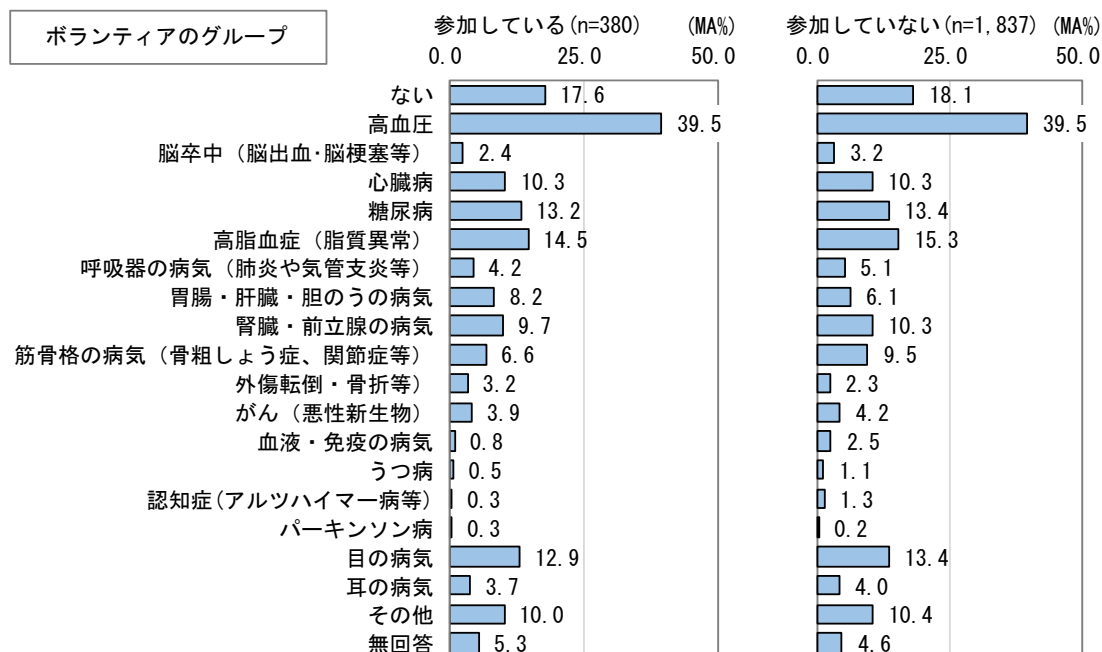


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

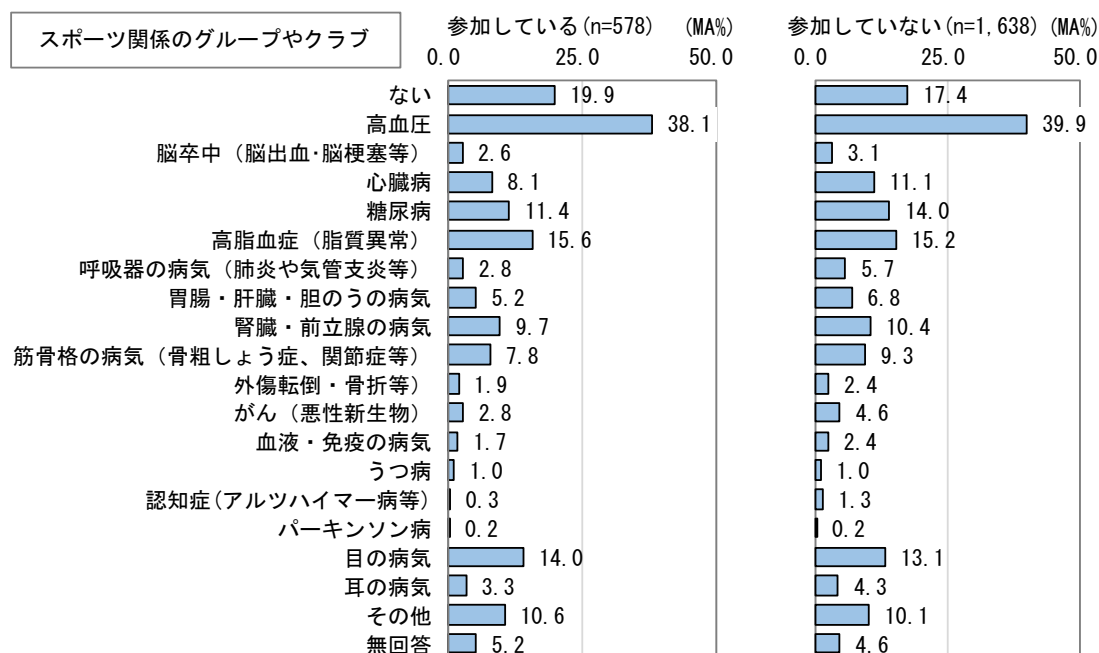
介護・介助の必要性別でみると、「介護・介助は必要ない」では「高血圧」が38.4%で最も多く、次いで「ない」が19.5%、「高脂血症（脂質異常）」が16.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では「高血圧」が38.2%で最も多く、次いで「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」が17.6%、「目の病気」が16.0%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」では「高血圧」が48.0%で最も多く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が21.1%、「心臓病」が20.3%となっています。



「ボランティアグループ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が39.5%で最も多く、次いで「ない」が17.6%、「高脂血症（脂質異常）」が14.5%、「参加していない」では「高血圧」が39.5%で最も多く、次いで「ない」が18.1%、「高脂血症（脂質異常）」が15.3%となっています。

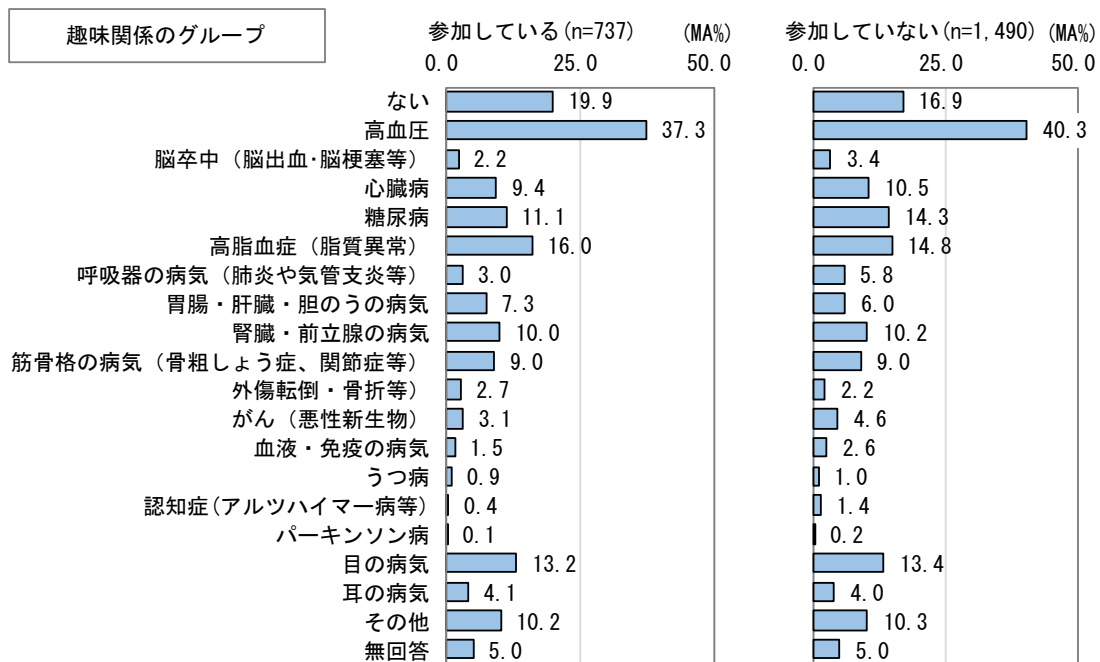


「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が38.1%で最も多く、次いで「ない」が19.9%、「高脂血症（脂質異常）」が15.6%、「参加していない」では「高血圧」が39.9%で最も多く、次いで「ない」が17.4%、「高脂血症（脂質異常）」が15.2%となっています。

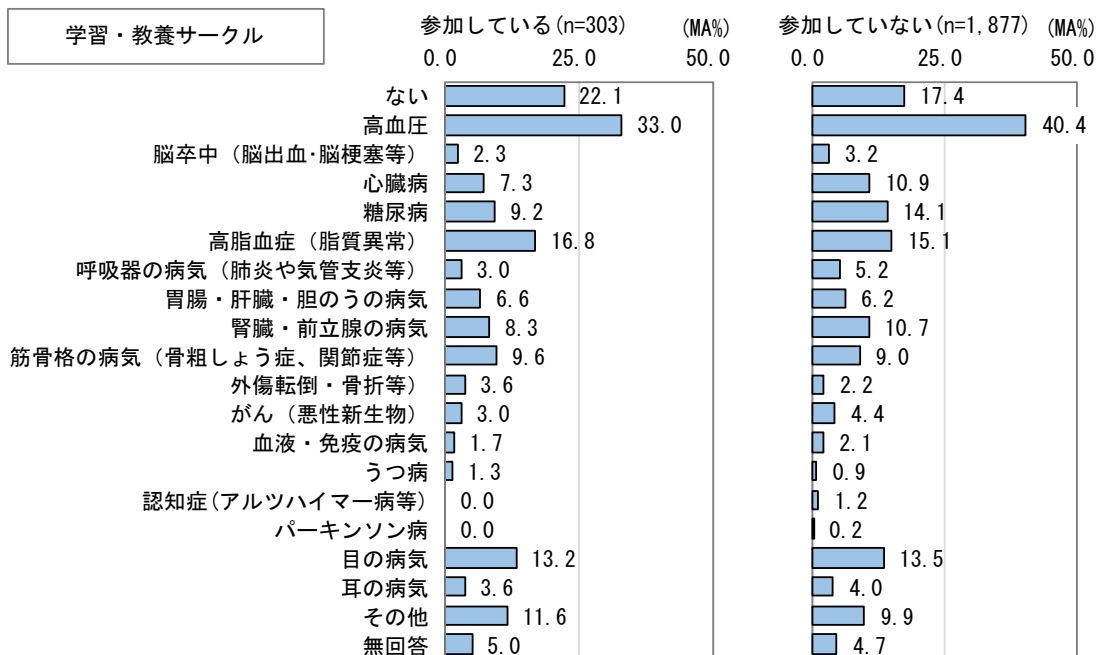


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

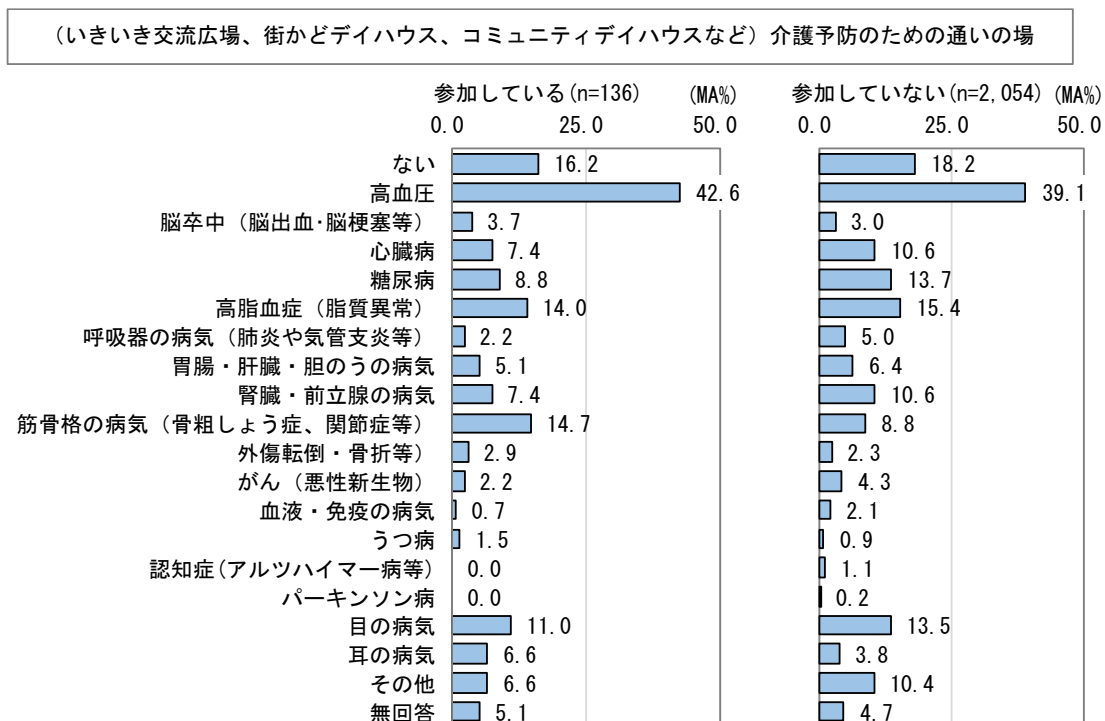
「趣味関係のグループ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が37.3%で最も多く、次いで「ない」が19.9%、「高脂血症（脂質異常）」が16.0%、「参加していない」では「高血圧」が40.3%で最も多く、次いで「ない」が16.9%、「高脂血症（脂質異常）」が14.8%となっています。



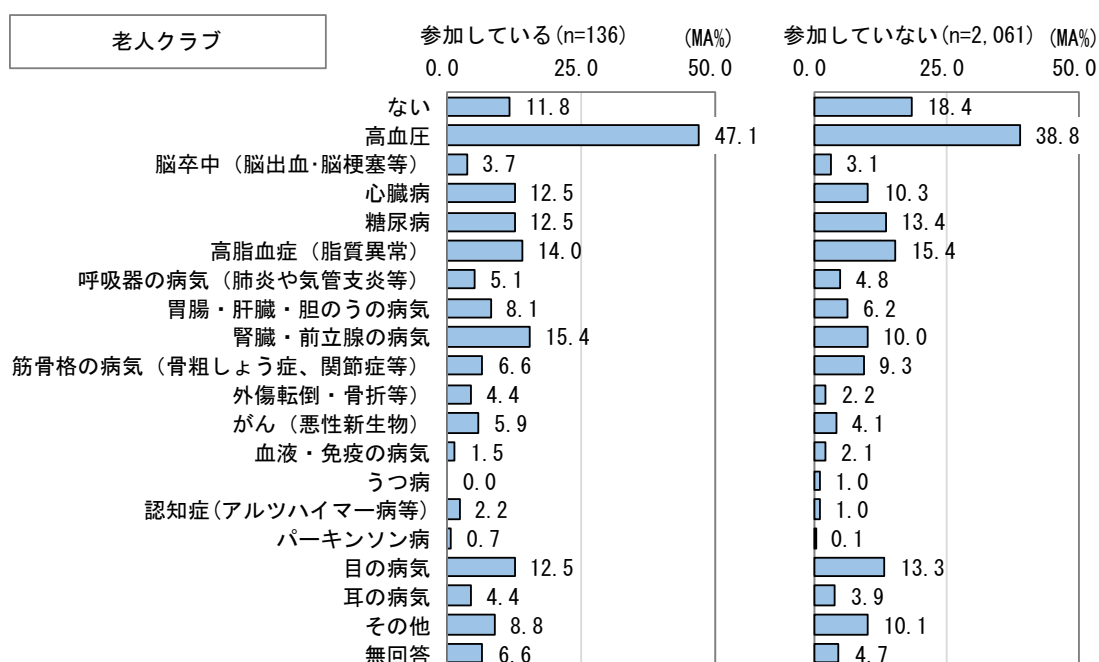
「学習・教養サークル」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が33.0%で最も多く、次いで「ない」が22.1%、「高脂血症（脂質異常）」が16.8%、「参加していない」では「高血圧」が40.4%で最も多く、次いで「ない」が17.4%、「高脂血症（脂質異常）」が15.1%となっています。



「介護予防のための通いの場」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が42.6%で最も多く、次いで「ない」が16.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が14.7%、「参加していない」では「高血圧」が39.1%で最も多く、次いで「ない」が18.2%、「高脂血症（脂質異常）」が15.4%となっています。

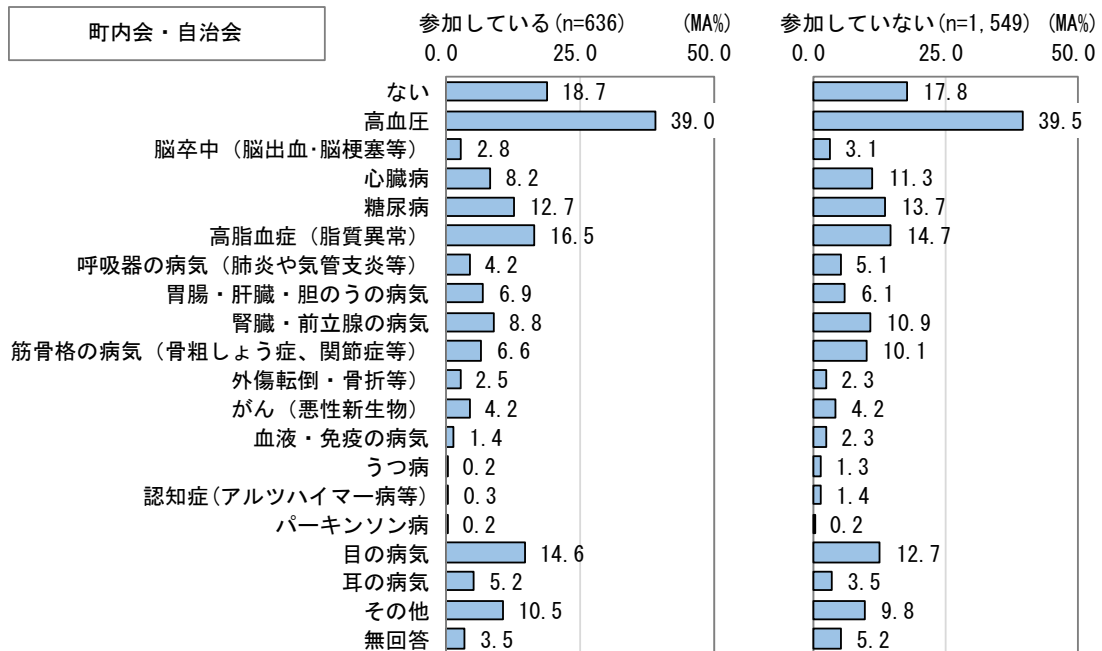


「老人クラブ」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が47.1%で最も多く、次いで「腎臓・前立腺の病気」が15.4%、「高脂血症（脂質異常）」が14.0%、「参加していない」では「高血圧」が38.8%で最も多く、次いで「ない」が18.4%、「高脂血症（脂質異常）」が15.4%となっています。

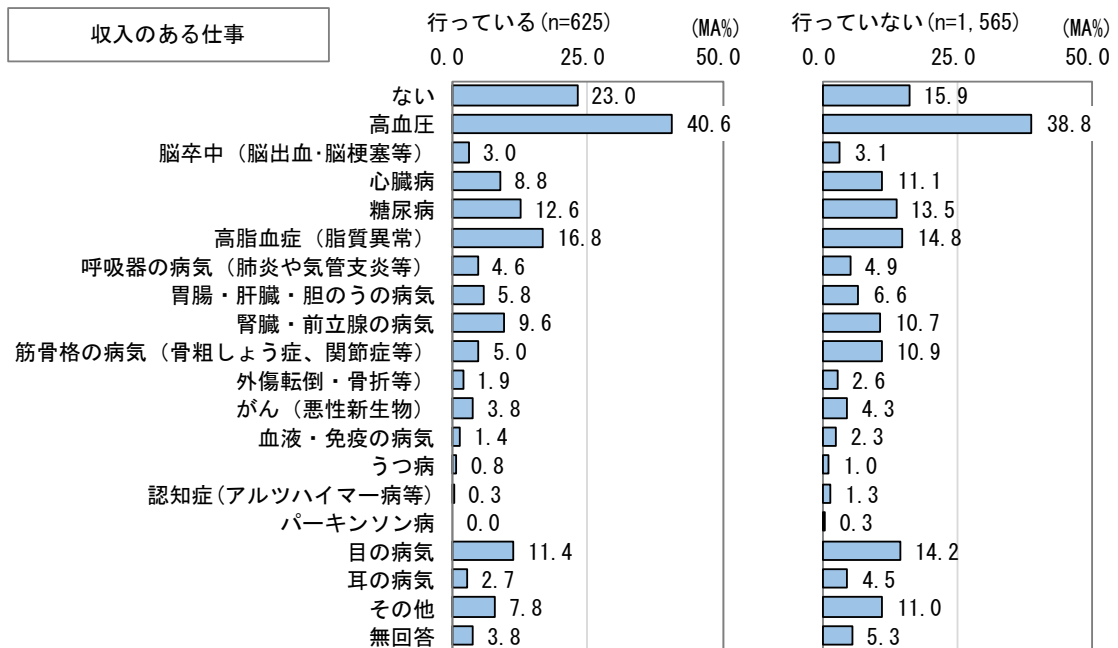


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

「町内会・自治会」への参加の有無別で見ると、「参加している」では「高血圧」が39.0%で最も多く、次いで「ない」が18.7%、「高脂血症（脂質異常）」が16.5%、「参加していない」では「高血圧」が39.5%で最も多く、次いで「ない」が17.8%、「高脂血症（脂質異常）」が14.7%となっています。



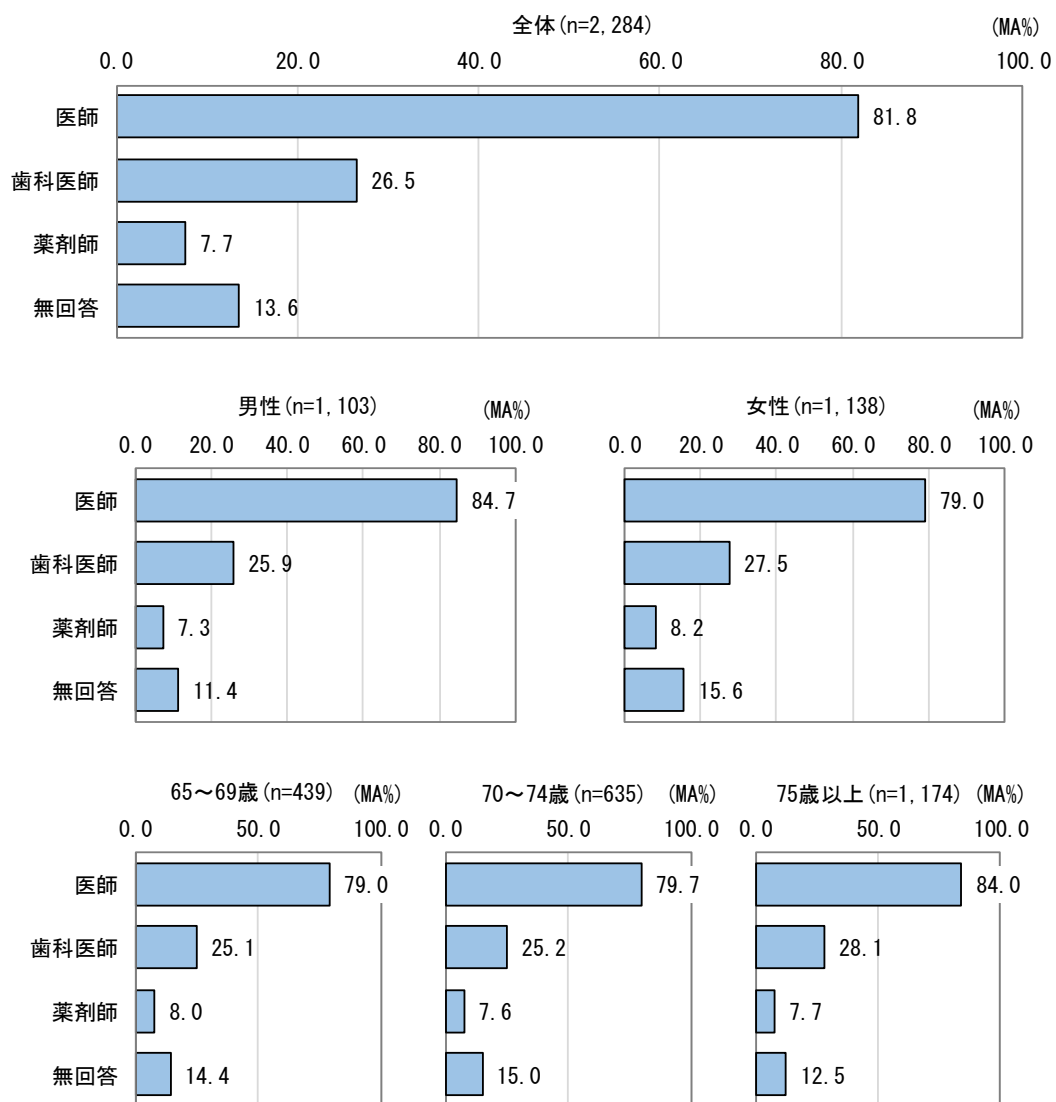
「収入のある仕事」の有無別で見ると、「行っている」では「高血圧」が40.6%で最も多く、次いで「ない」が23.0%、「高脂血症（脂質異常）」が16.8%、「行っていない」では「高血圧」が38.8%で最も多く、次いで「ない」が15.9%、「高脂血症（脂質異常）」が14.8%となっています。



(12) かかりつけの医療提供者

問7	Q10	健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などはいますか。	○はいくつでも
----	-----	--------------------------------------	---------

健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などについて、「医師」が81.8%で最も多く、次いで「歯科医師」が26.5%、「薬剤師」が7.7%となっています。

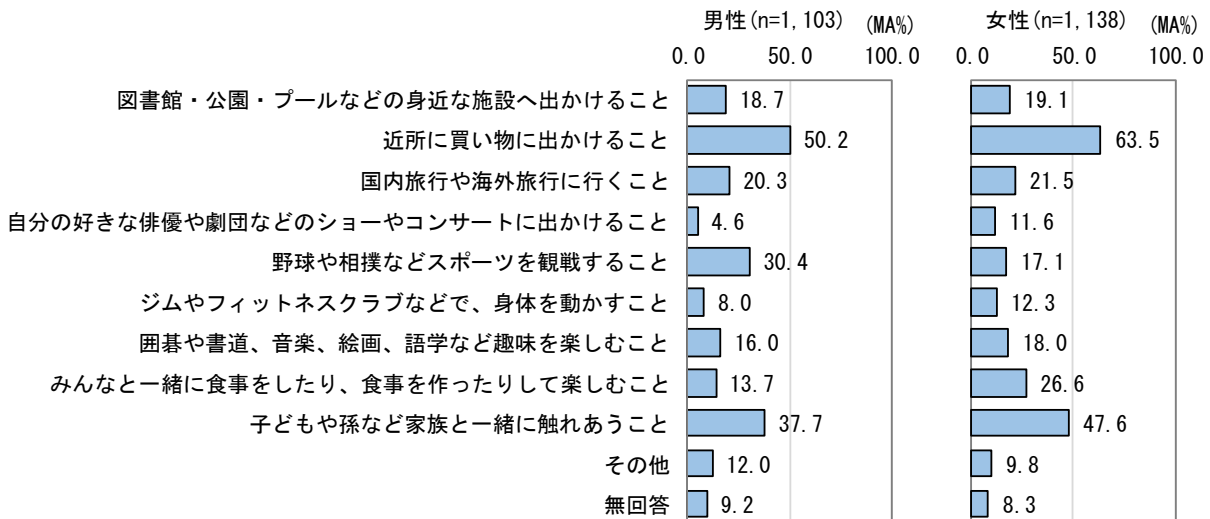
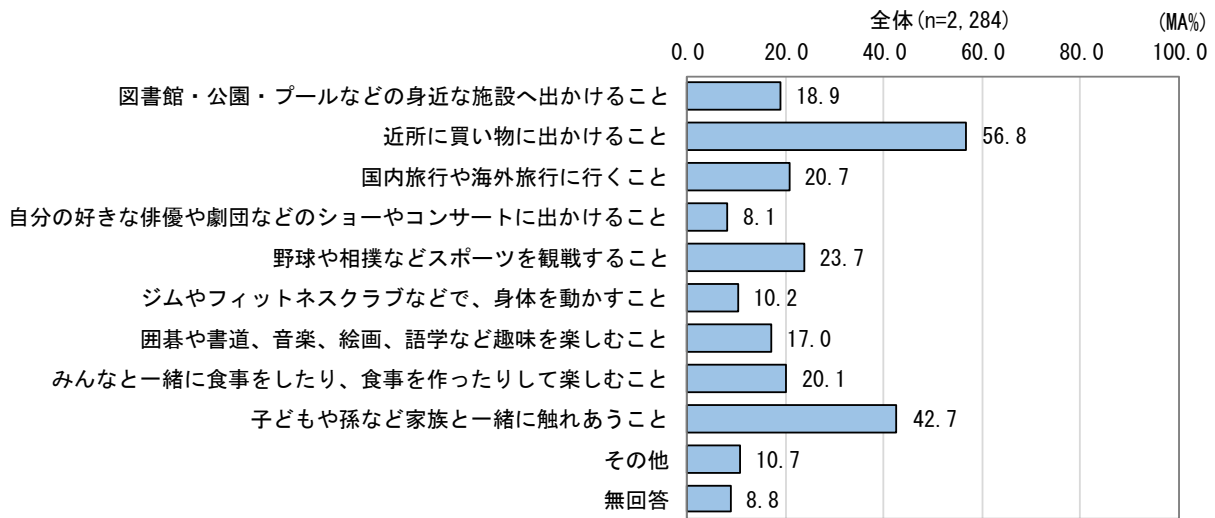


(13) 趣味や交流活動を実施していること

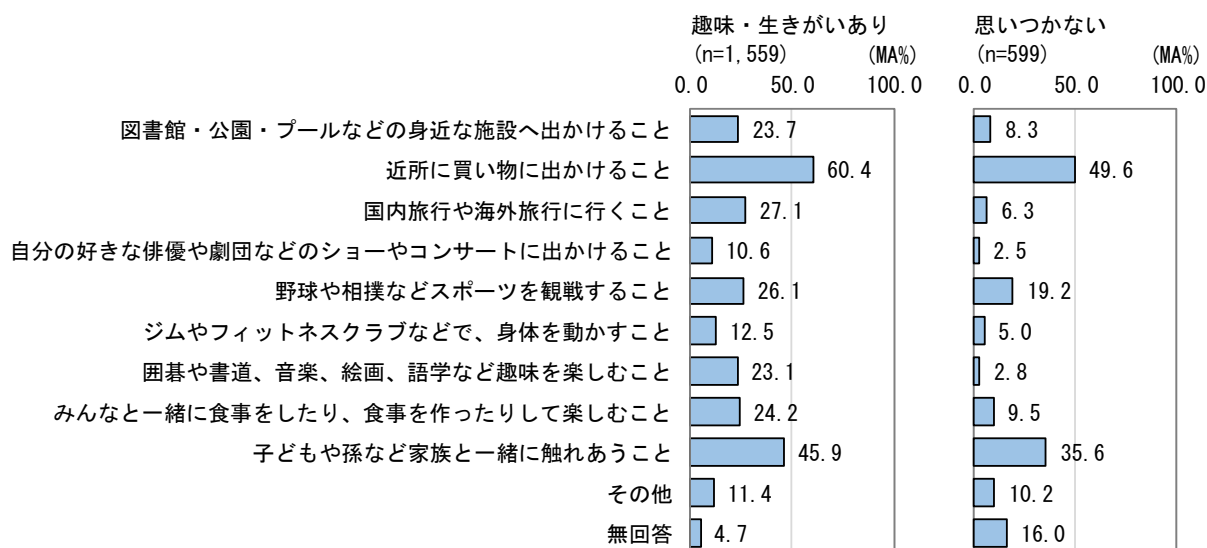
問7	Q11	あなたが、趣味や交流活動として実施していることはありますか。	○はいくつでも
----	-----	--------------------------------	---------

趣味や交流活動として実施していることについて、「近所に買い物に出かけること」が56.8%で最も多く、次いで「子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと」が42.7%、「野球や相撲などスポーツを観戦すること」が23.7%となっており、「その他」として「特にない」「コロナでできない」「ゴルフ」「カラオケ」「釣り」などがありました。

また、性別で見ると、男女ともに「近所に買い物に出かけること」が最も多く、「男性」が50.2%、「女性」が63.5%となっています。



さらに、趣味・生きがいの有無別で見ると、「趣味・生きがいあり」では「近所に買い物に出かけること」が60.4%で最も多く、次いで「子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと」が45.9%、「国内旅行や海外旅行に行くこと」が27.1%、「思いつかない」では「近所に買い物に出かけること」が49.6%で最も多く、次いで「子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと」が35.6%、「野球や相撲などスポーツを観戦すること」が19.2%となっています。

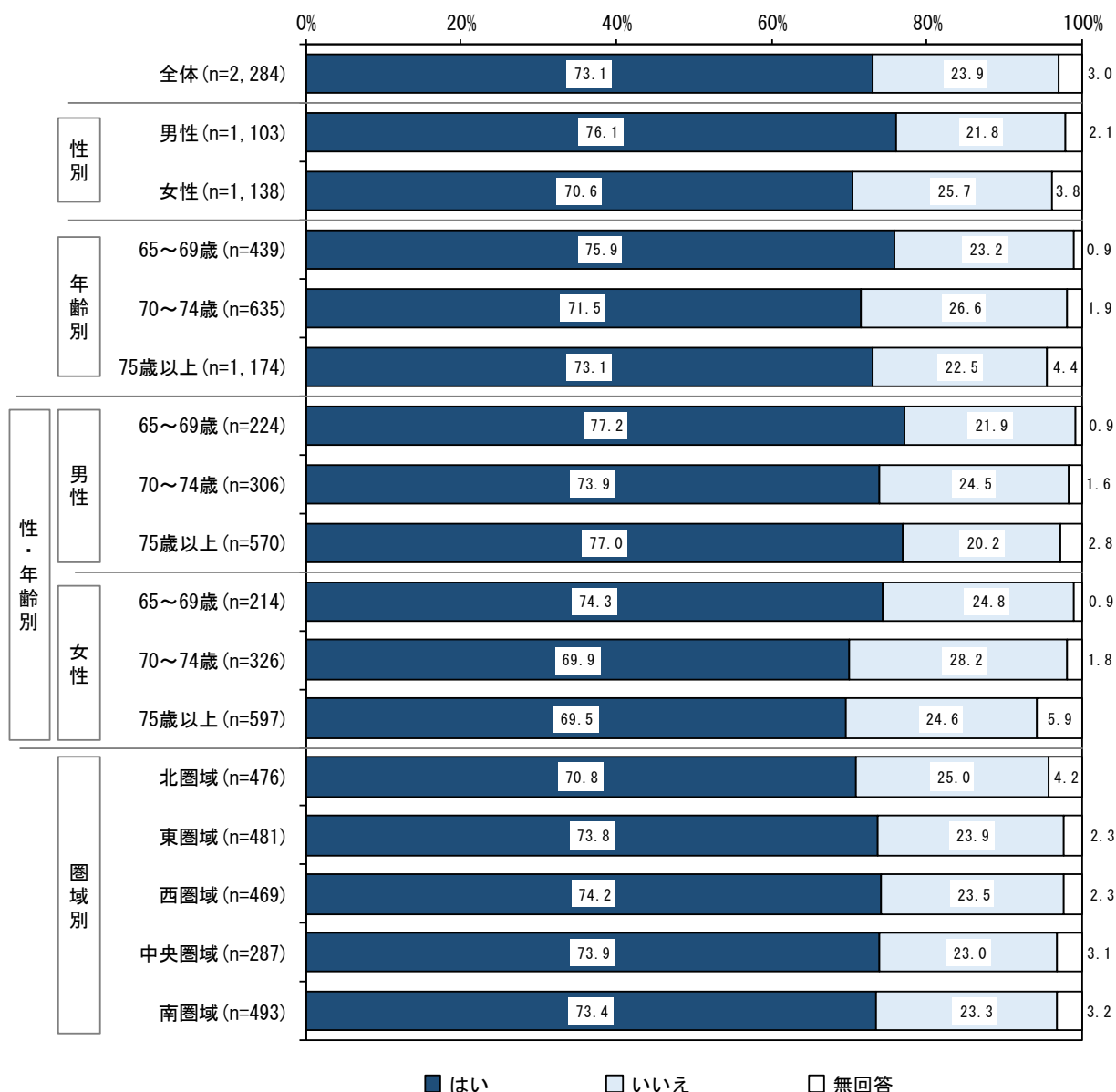


(14) 自主的な健康診断の受診状況

問7	Q12	自主的に健康診断を受けていますか。	○は1つ
----	-----	-------------------	------

自主的な健康診断を受けているかについて、「はい」が73.1%、「いいえ」が23.9%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が76.1%、「女性」が70.6%で、「男性」のほうが5.5ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が75.9%で最も多く、次いで「75歳以上」が73.1%、「70～74歳」が71.5%となっています。



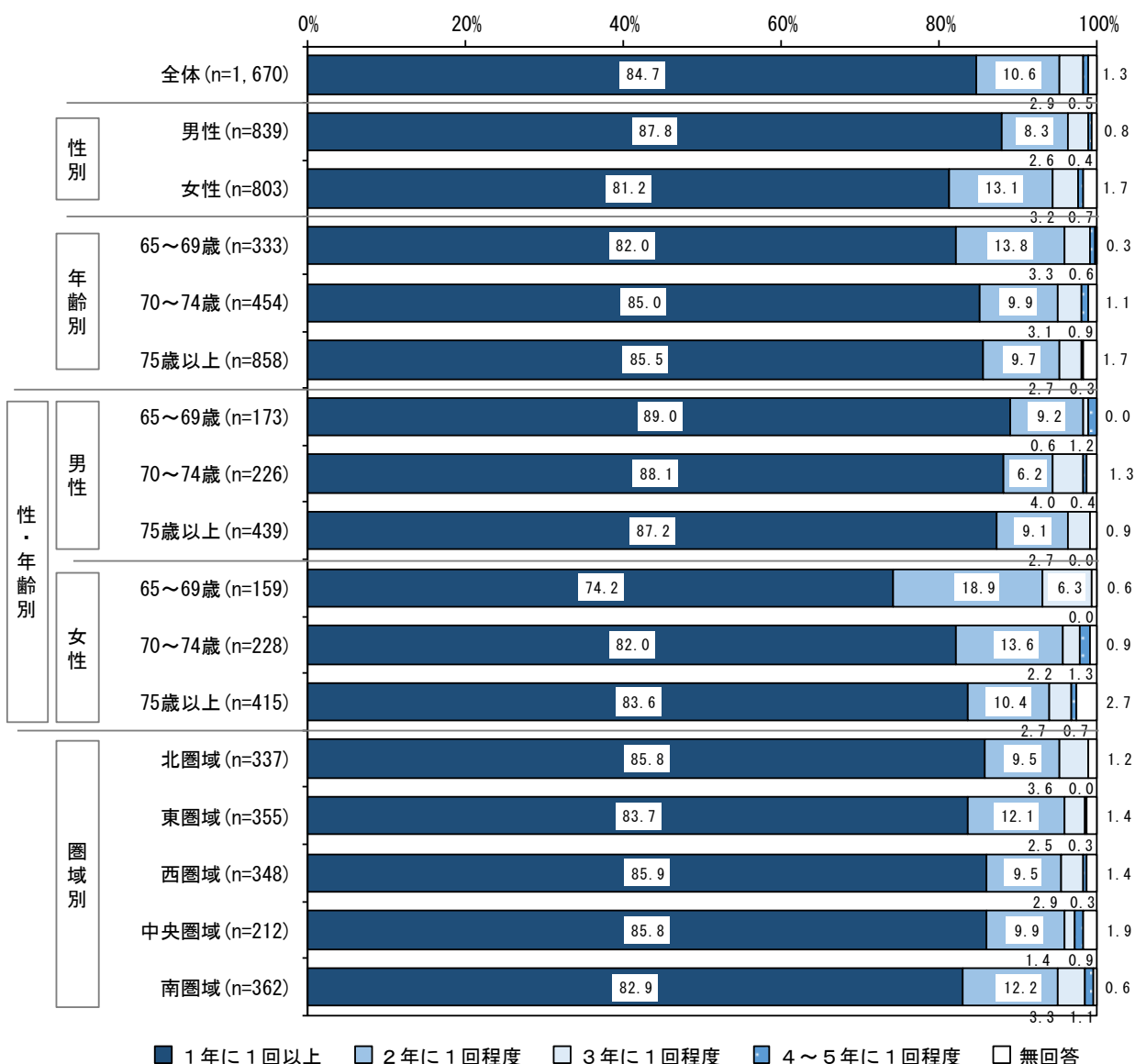
(15) 健康診断の受診頻度

【Q12で「はい」を回答した人のみ】

問7	Q12-1	どれくらいの頻度で健康診断を受けていますか。	○は1つ
----	-------	------------------------	------

自主的に健康診断を受けている人に、受診頻度について聞いたところ、「1年に1回以上」が84.7%で最も多く、次いで「2年に1回程度」が10.6%、「3年に1回程度」が2.9%となっています。

また、性別でみると「1年に1回以上」では「男性」が87.8%、「女性」が81.2%で、「男性」のほうが6.6ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が85.5%で最も多く、次いで「70～74歳」が85.0%、「65～69歳」が82.0%となっています。



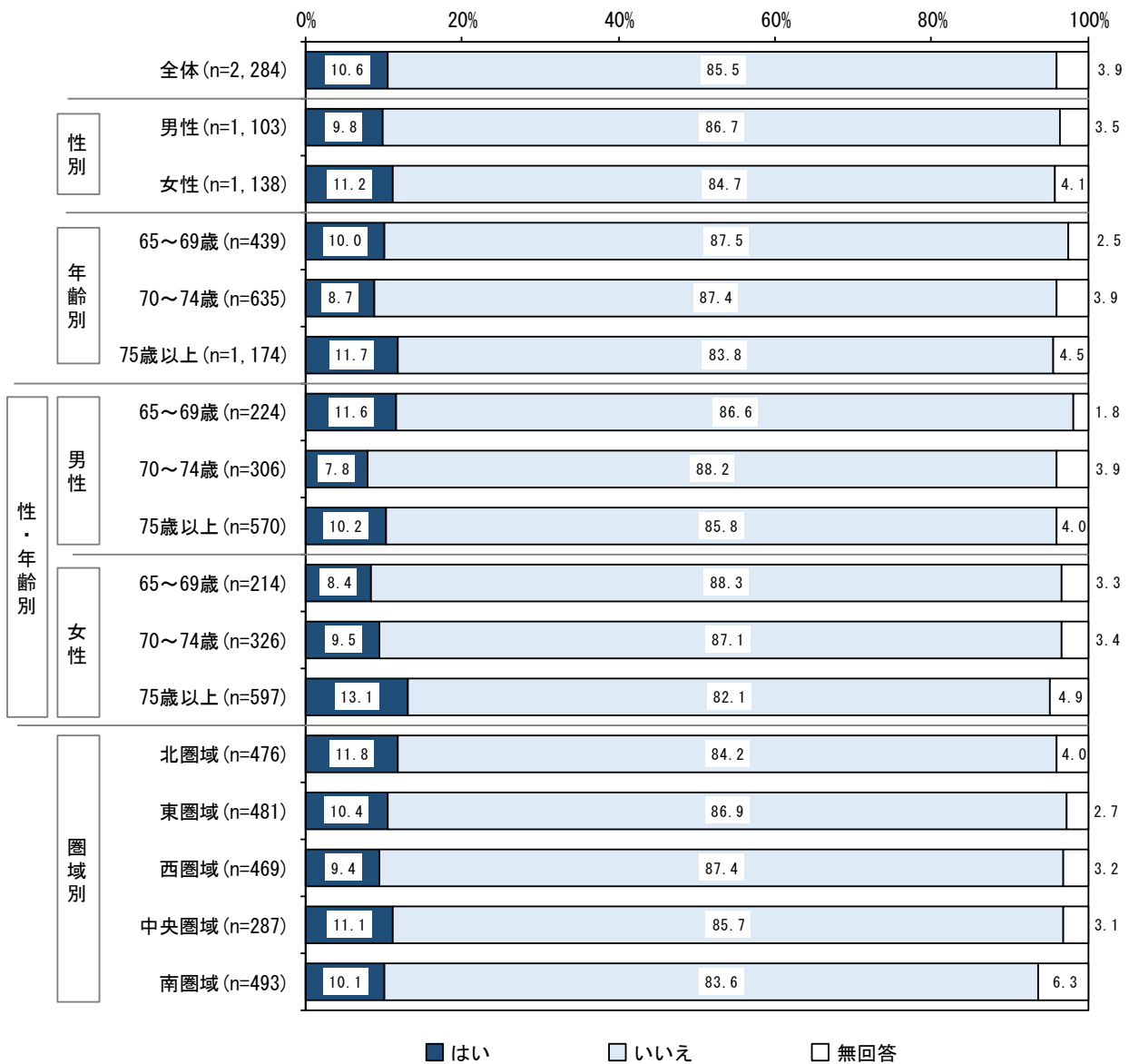
9 認知症について

(1) 自身や家族に認知症の症状がある人がいること

問8	Q1	あなた自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。	○は1つ
----	----	--	------

自身や家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が10.6%、「いいえ」が85.5%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が9.8%、「女性」が11.2%で、「女性」のほうが1.4ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が11.7%で最も多く、次いで「65～69歳」が10.0%、「70～74歳」が8.7%となっています。

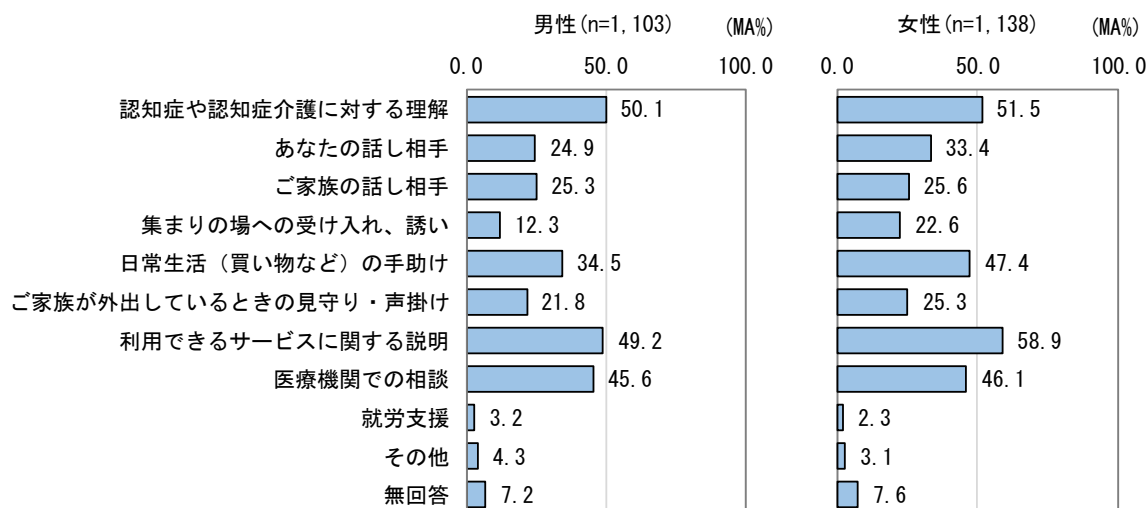
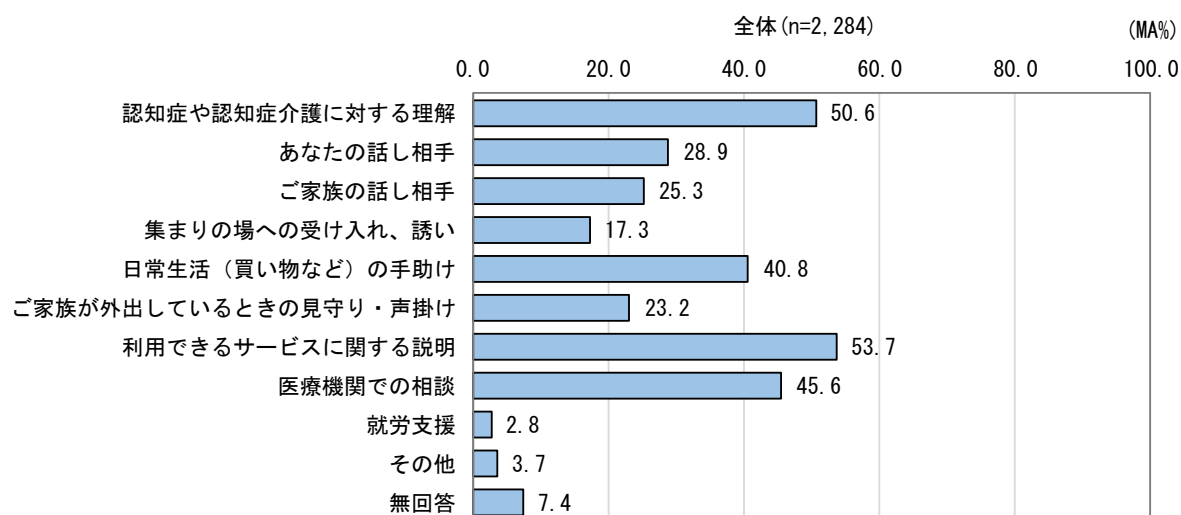


(2) 自身が認知症になったときに期待する支援

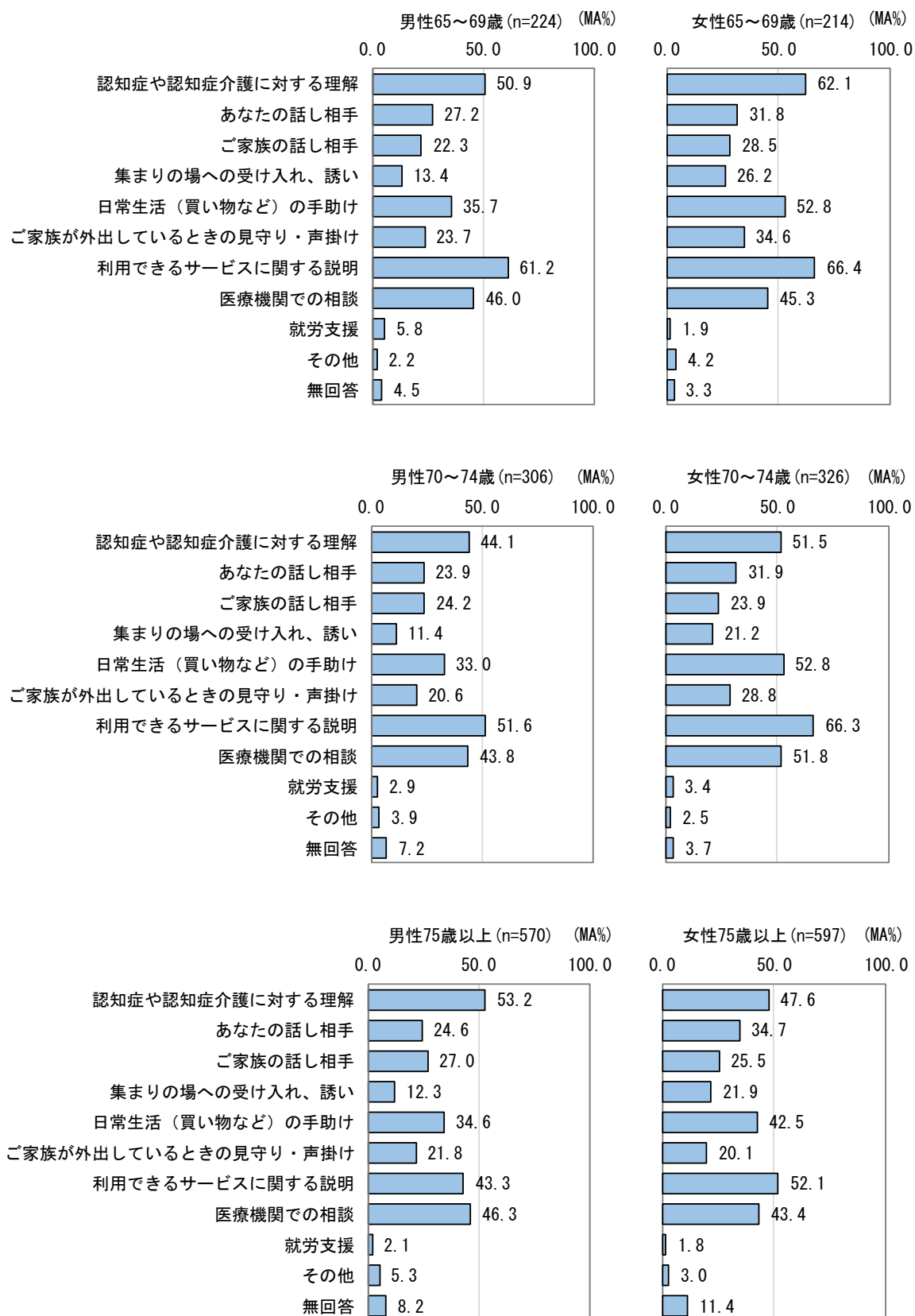
問8	Q2	あなたが認知症になったら、どのような支援を期待しますか。	○はいくつでも
----	----	------------------------------	---------

自身が認知症になったときに期待する支援について、「利用できるサービスに関する説明」が53.7%で最も多く、次いで「認知症や認知症介護に対する理解」が50.6%、「医療機関での相談」が45.6%となっています。

また、性別で見ると、「男性」では「認知症や認知症介護に対する理解」が50.1%で最も多く、「女性」では「利用できるサービスに関する説明」が58.9%で最も多くなっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

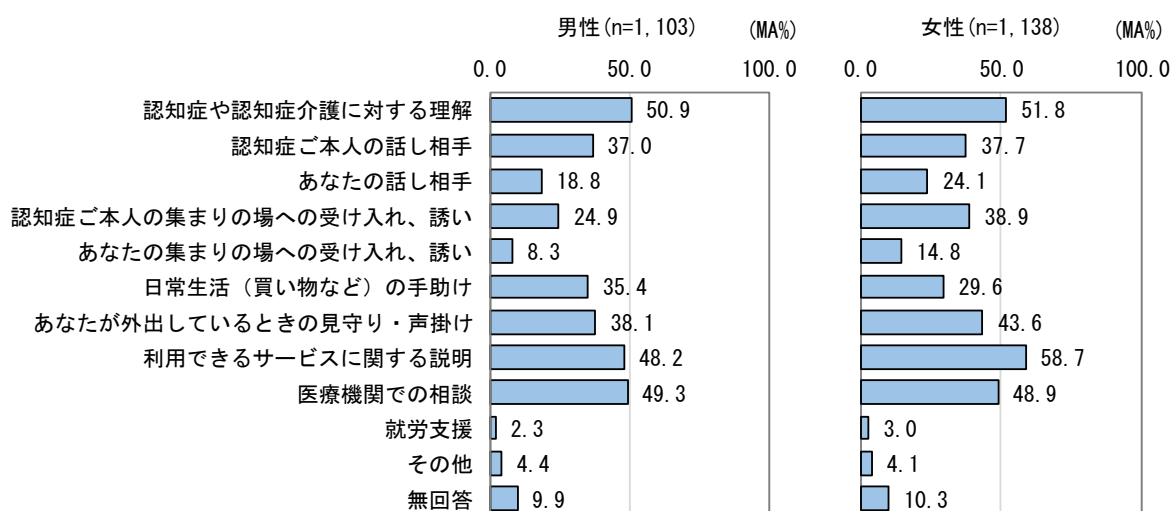
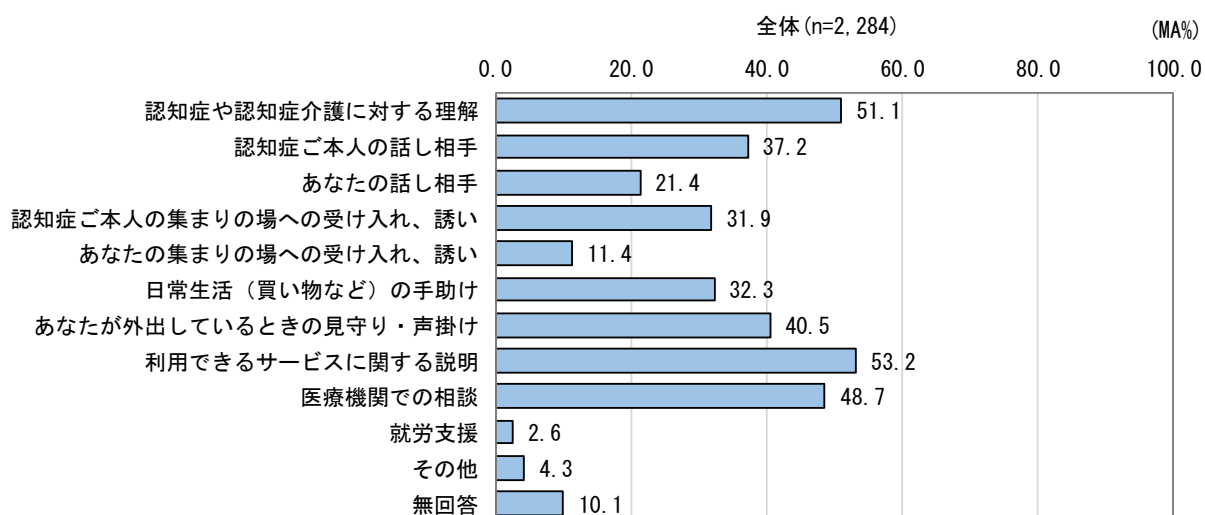


(3) 家族が認知症になったときに期待する支援

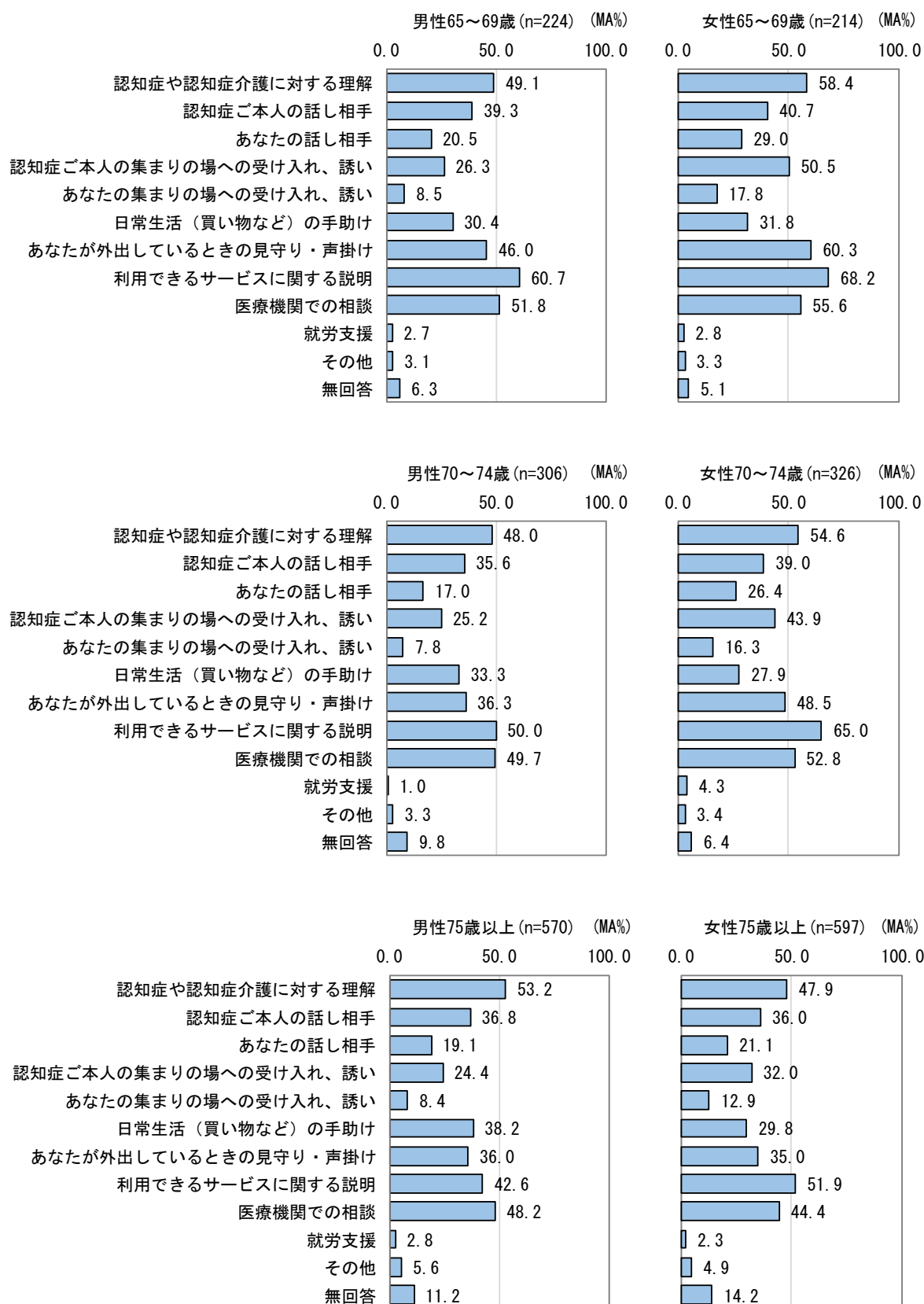
問8	Q3	あなたの家族が認知症になったら、どのような支援を期待しますか。	○はいくつでも
----	----	---------------------------------	---------

家族が認知症になったときに期待する支援について、「利用できるサービスに関する説明」が53.2%で最も多く、次いで「認知症や認知症介護に対する理解」が51.1%、「医療機関での相談」が48.7%となっています。

また、性別で見ると、「男性」では「認知症や認知症介護に対する理解」が50.9%で最も多く、「女性」では「利用できるサービスに関する説明」が58.7%で最も多くなっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

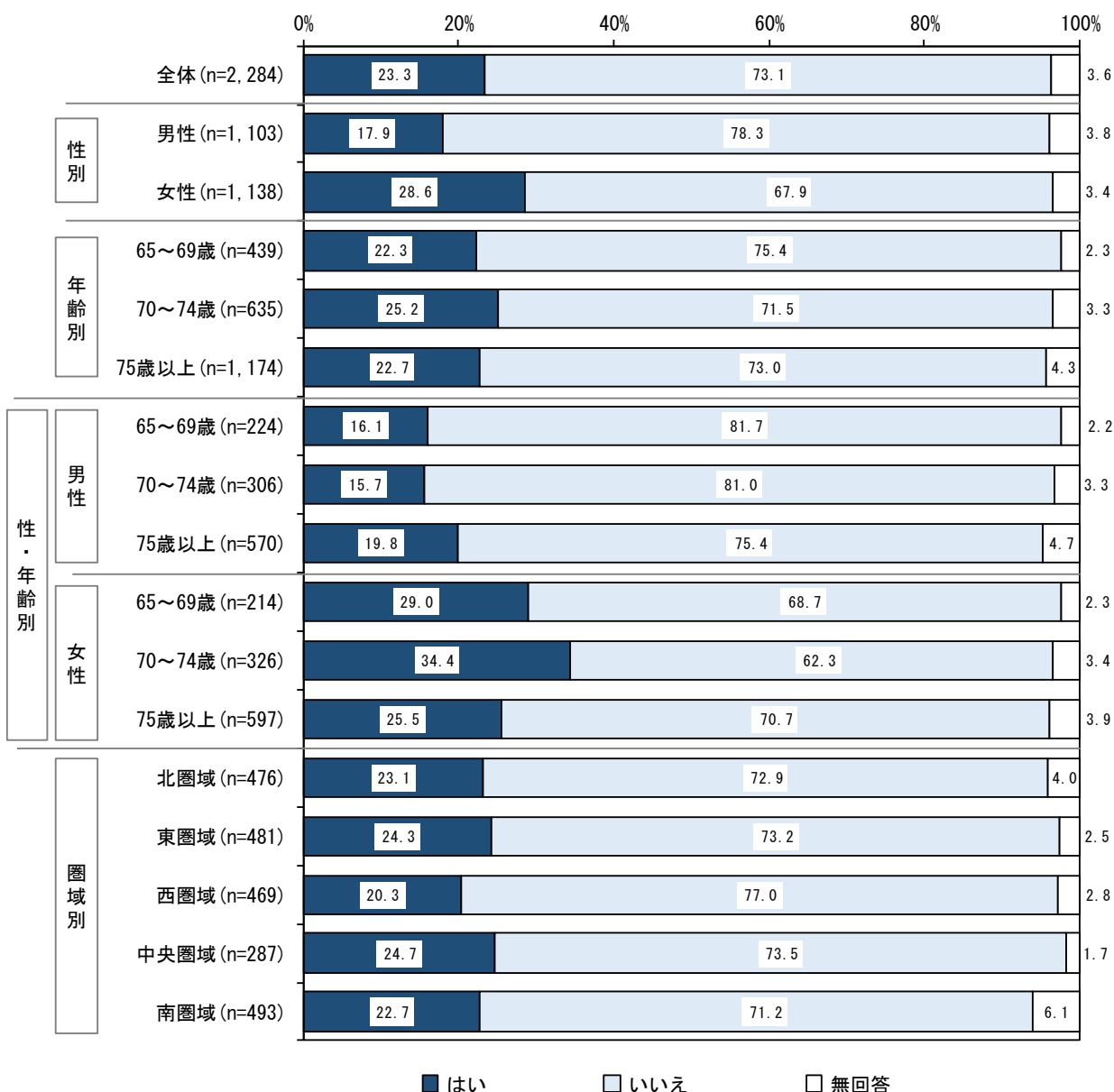


(4) 認知症に関する相談窓口の認知度

問8	Q4	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	○は1つ
----	----	----------------------	------

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が23.3%、「いいえ」が73.1%となっています。

また、性別で見ると、「はい」では「男性」が17.9%、「女性」が28.6%で、「女性」のほうが10.7ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が25.2%で最も多く、次いで「75歳以上」が22.7%、「65～69歳」が22.3%となっています。



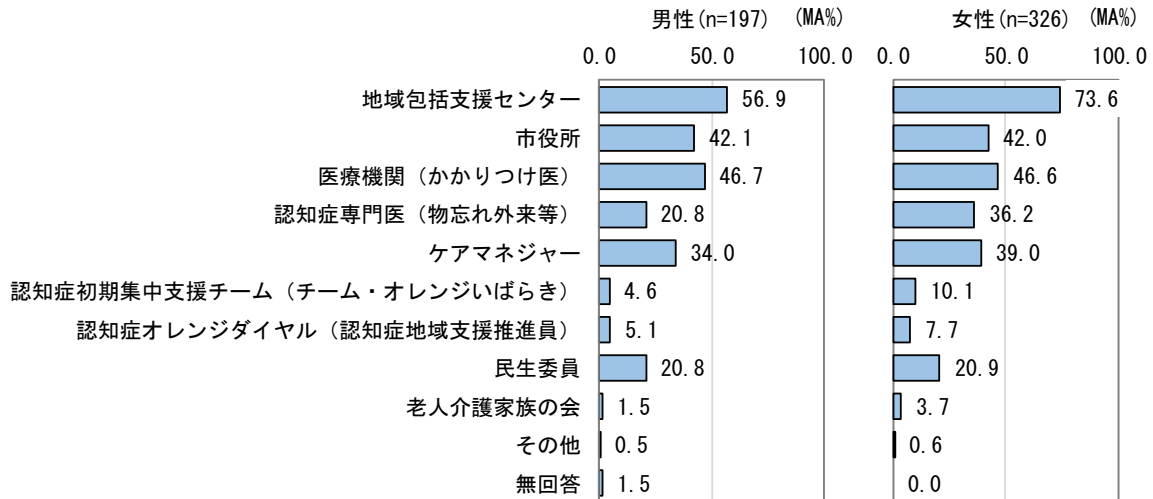
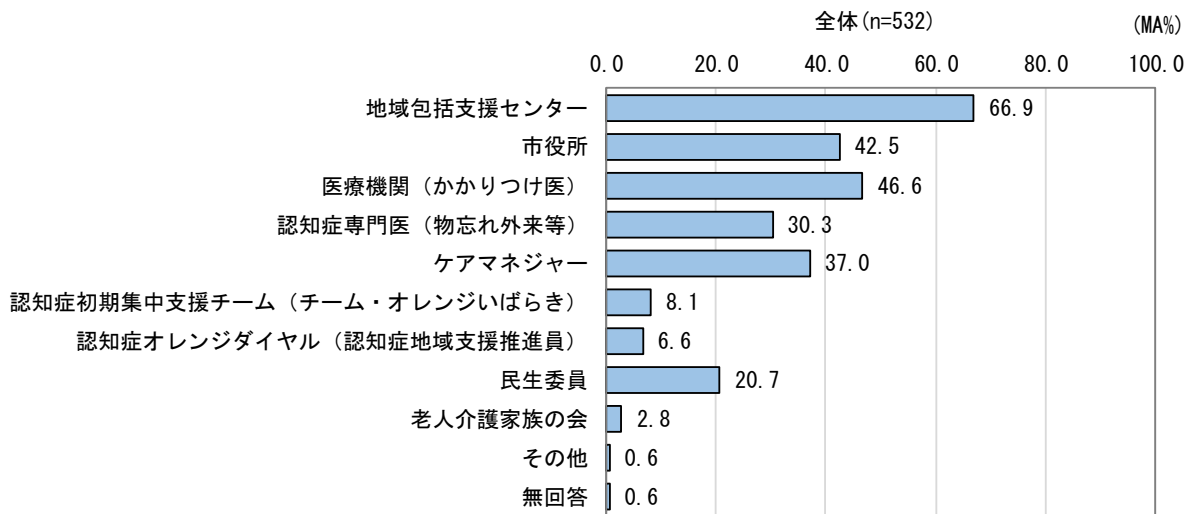
(5) 知っている認知症に関する相談窓口

【Q4で「はい」を回答した人のみ】

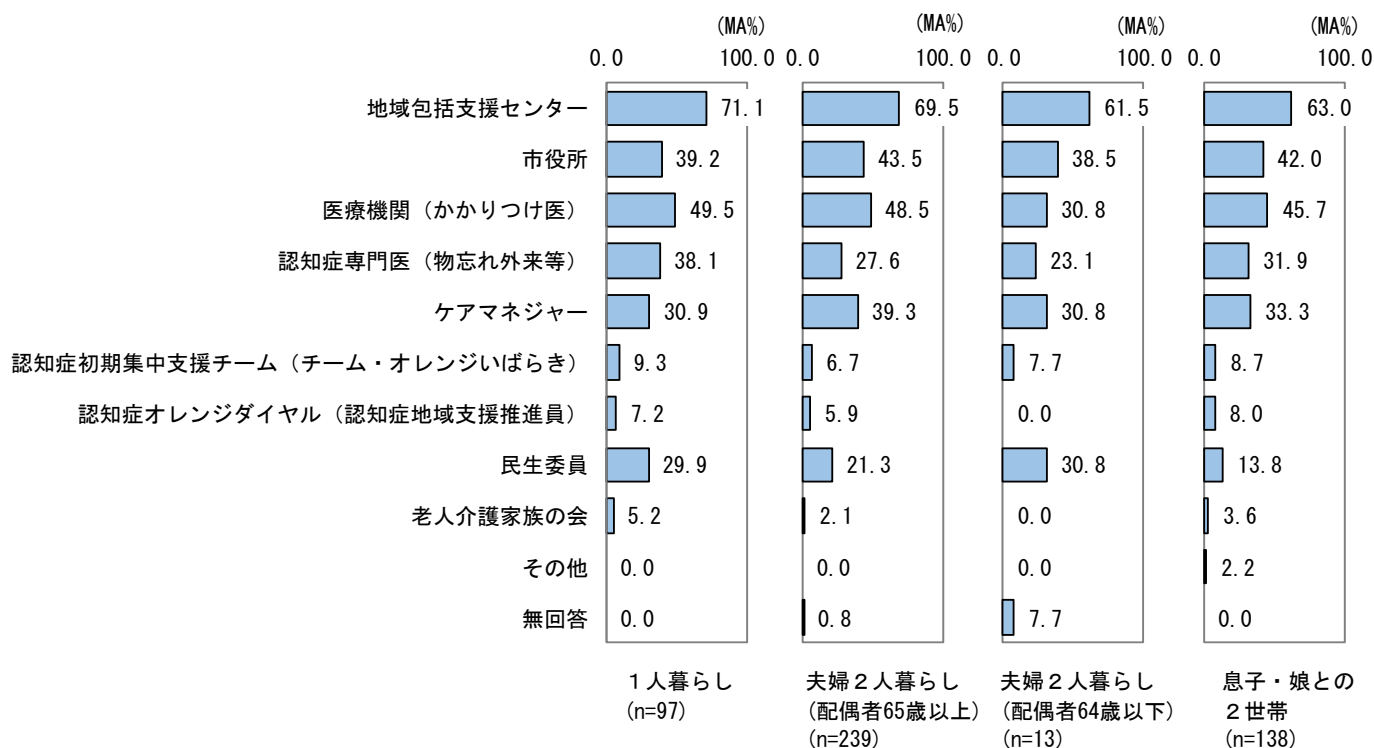
問8	Q4-1	知っている相談窓口はどこですか。	○はいくつでも
----	------	------------------	---------

認知症に関する相談窓口を知っている人に、具体的な相談窓口について聞いたところ、「地域包括支援センター」が66.9%で最も多く、次いで「医療機関（かかりつけ医）」が46.6%、「市役所」が42.5%となっています。

また、性別で見ると、男女とも「地域包括支援センター」が最も多く、「男性」が56.9%、「女性」が73.6%となっています。



さらに、家族構成別でみると、「1人暮らし」では「地域包括支援センター」が71.1%で最も多く、次いで「医療機関（かかりつけ医）」が49.5%、「市役所」が39.2%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では「地域包括支援センター」が69.5%で最も多く、次いで「医療機関（かかりつけ医）」が48.5%、「市役所」が43.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では「地域包括支援センター」が61.5%で最も多く、次いで「市役所」が38.5%、「医療機関（かかりつけ医）」「ケアマネジャー」「民生委員」が30.8%、「息子・娘との2世帯」では「地域包括支援センター」が63.0%で最も多く、次いで「医療機関（かかりつけ医）」が45.7%、「市役所」が42.0%となっています。



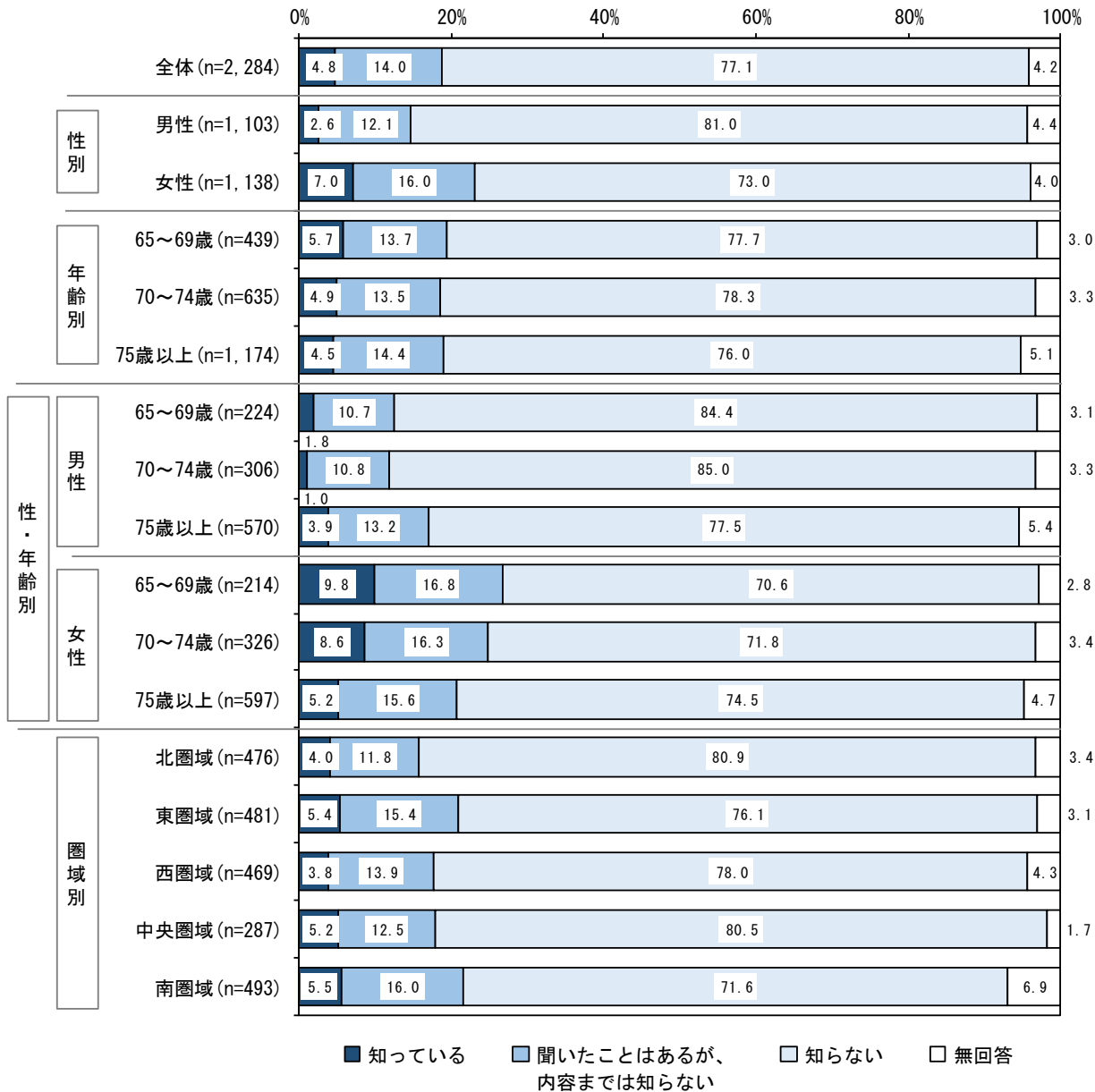
(6) 認知症に関する市の事業の認知度

問8	Q5	認知症に関する市の事業である①～④について、知っていますか。	○は1つ
----	----	--------------------------------	------

①認知症サポーター養成講座

認知症に関する市の事業である「認知症サポーター養成講座」を知っているかについて、「知らない」が77.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が14.0%、「知っている」が4.8%となっています。

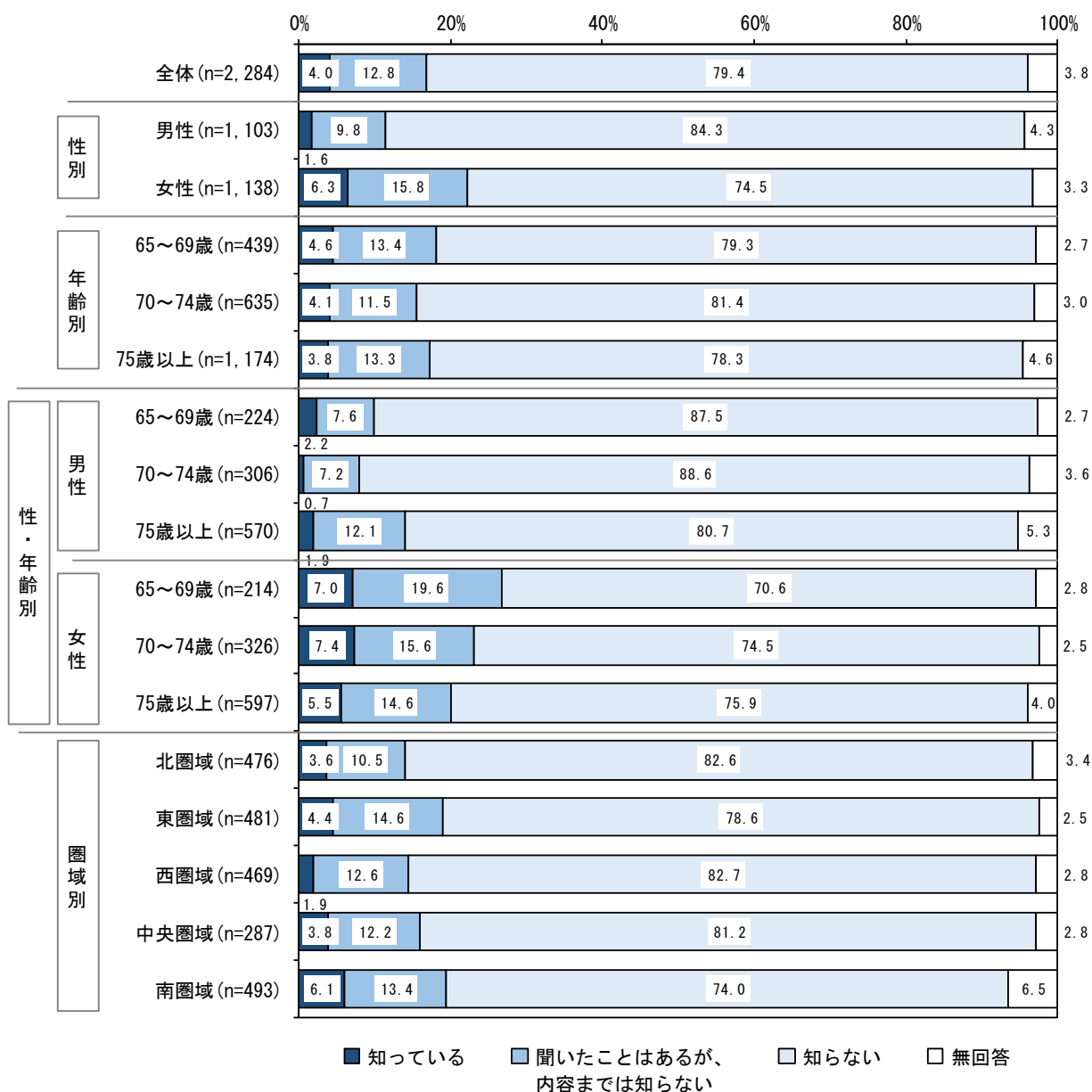
また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が2.6%、「女性」が7.0%で、「女性」のほうが4.4ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が5.7%で最も多く、次いで「70～74歳」が4.9%、「75歳以上」が4.5%となっています。



②認知症カフェ（いばらきオレンジかふえ）

認知症に関する市の事業である「認知症カフェ（いばらきオレンジかふえ）」を知っているかについて、「知らない」が79.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が12.8%、「知っている」が4.0%となっています。

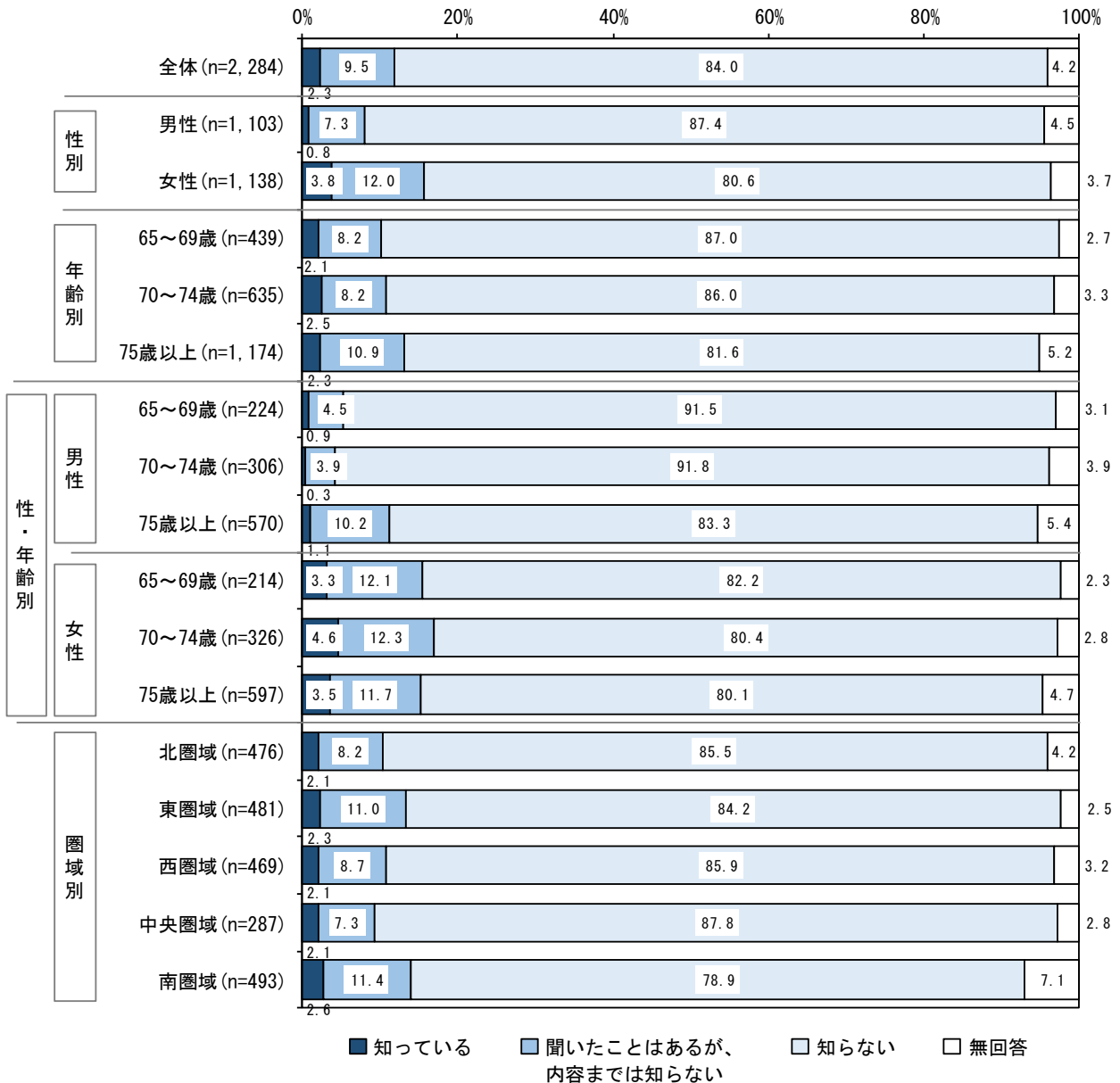
また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が1.6%、「女性」が6.3%で、「女性」のほうが4.7ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が4.6%で最も多く、次いで「70～74歳」が4.1%、「75歳以上」が3.8%となっています。



③認知症介護家族教室

認知症に関する市の事業である「認知症介護家族教室」を知っているかについて、「知らない」が84.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が9.5%、「知っている」が2.3%となっています。

また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が0.8%、「女性」が3.8%で、「女性」のほうが3.0ポイント多くっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が2.5%で最も多く、次いで「75歳以上」が2.3%、「65～69歳」が2.1%となっています。



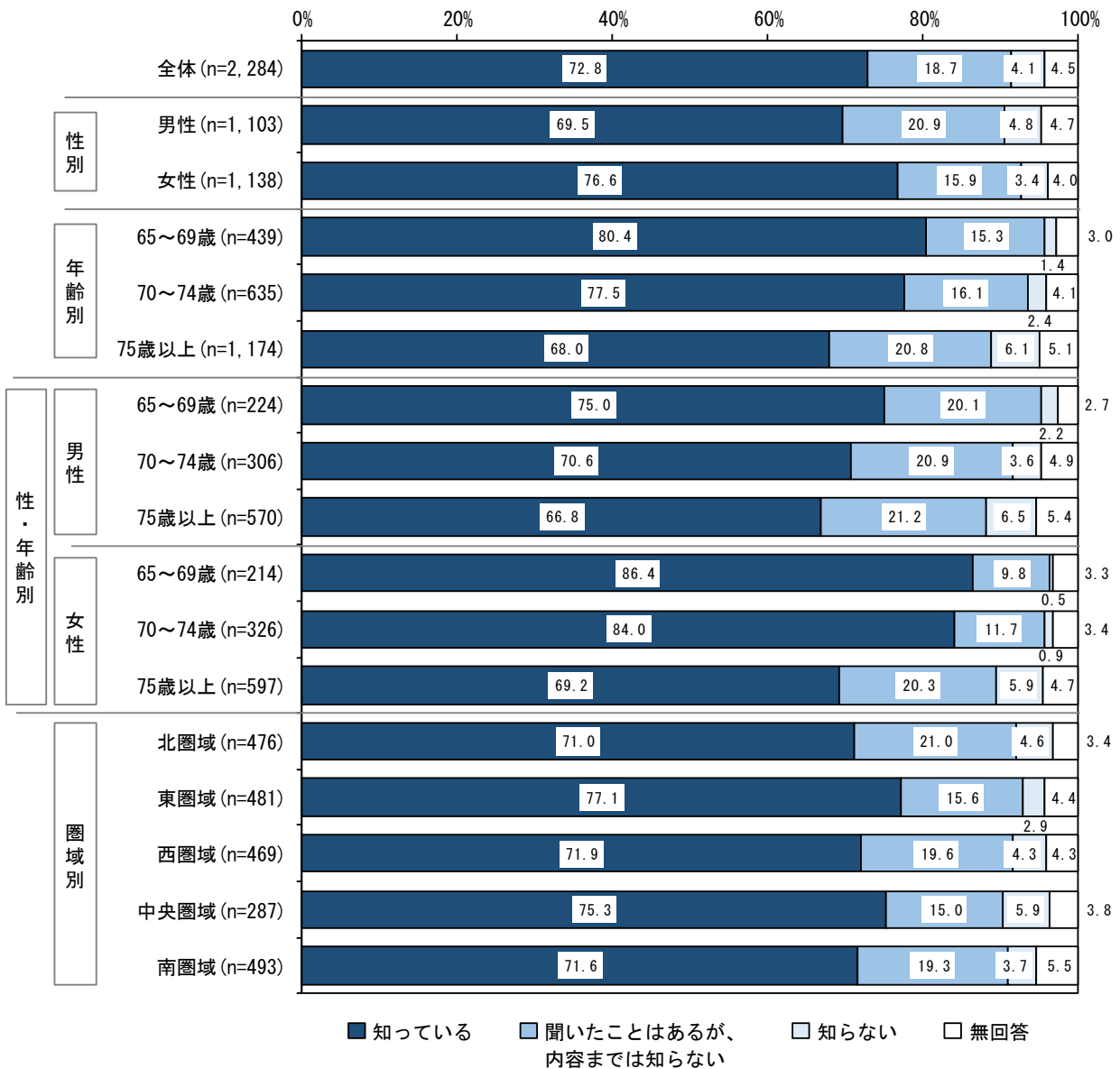
10 人生の最期について

(1) 終活の認知度

問9	Q1	「終活」という言葉を知っていますか。	○は1つ
----	----	--------------------	------

「終活」という言葉を知っているかについて、「知っている」が72.8%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が18.7%、「知らない」が4.1%となっています。

また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が69.5%、「女性」が76.6%で、「女性」のほうが7.1ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が80.4%で最も多く、次いで「70～74歳」が77.5%、「75歳以上」が68.0%となっています。

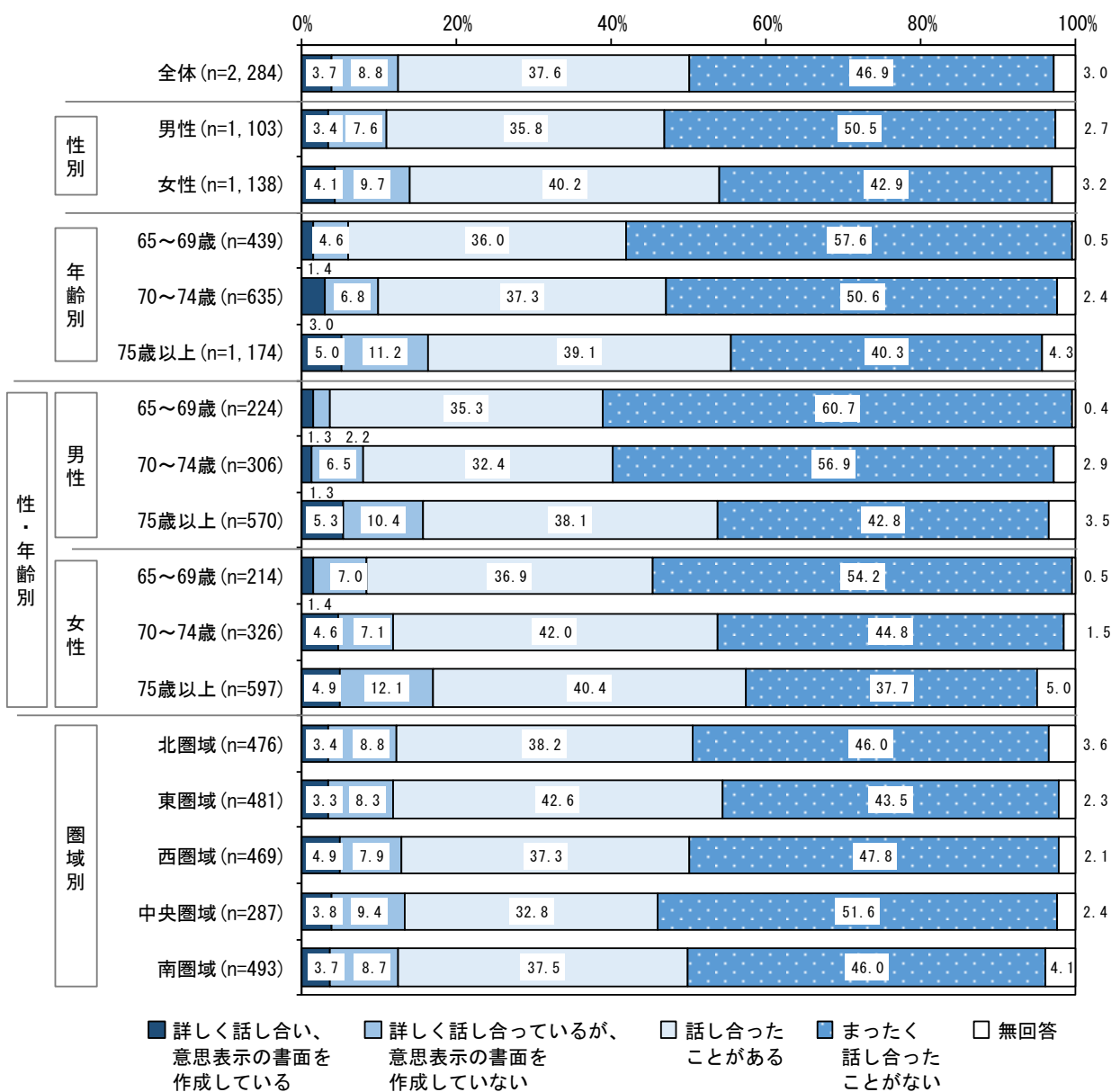


(2) 人生の最期について家族と話し合うこと

問9	Q2	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。	○は1つ
----	----	-----------------------------------	------

人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるかについて、「まったく話し合ったことがない」が46.9%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が37.6%、「詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない」が8.8%となっています。

また、性別でみると、『話し合ったことがある』（「詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している」「詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない」「話し合ったことがある」の合計）では「男性」が46.8%、「女性」が54.0%で、「女性」のほうが7.2ポイント多くなっており、年齢別でみると、「75歳以上」が55.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が47.1%、「65～69歳」が42.0%となっています。

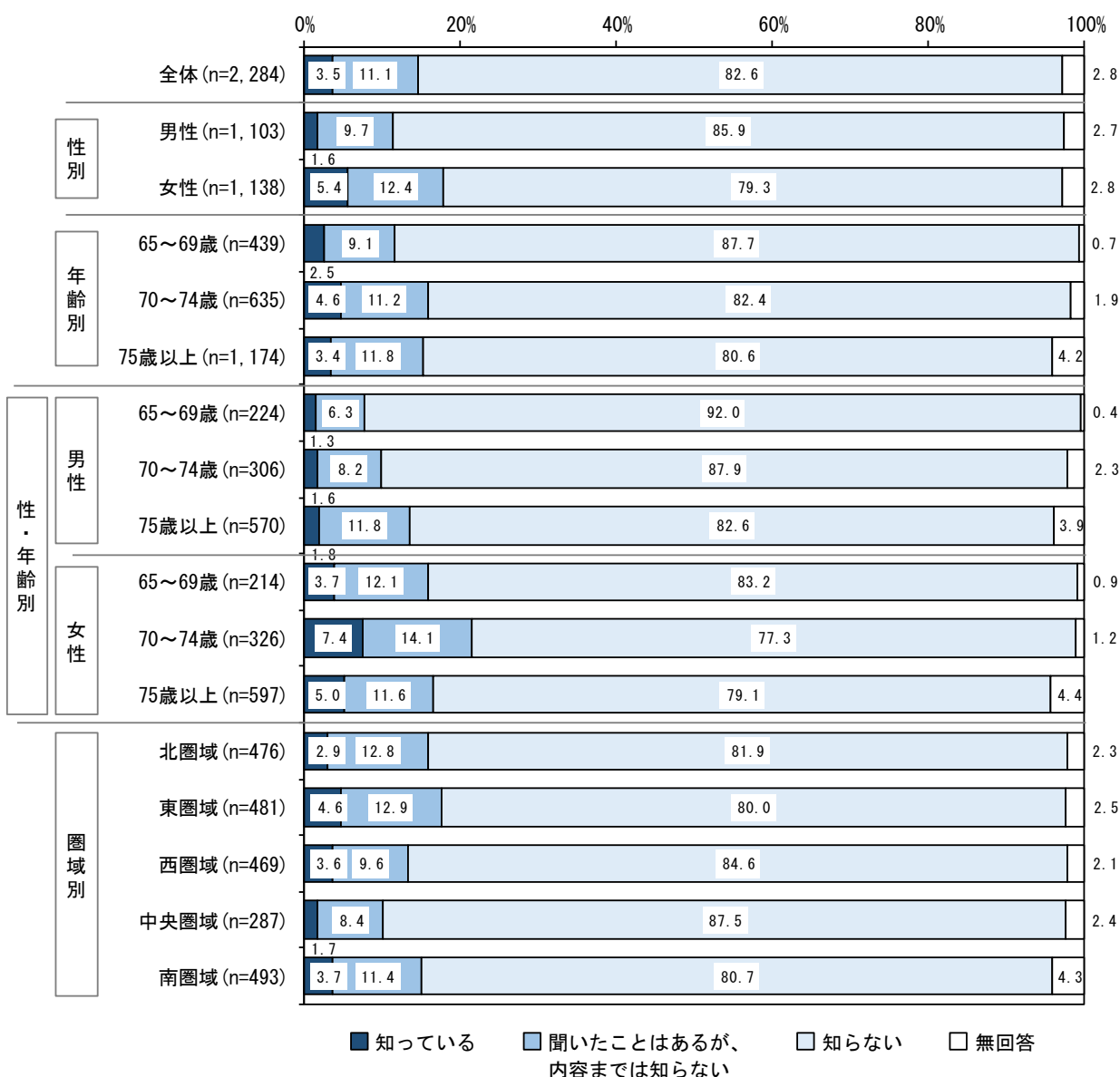


(3) アドバンス・ケア・プランニングの認知度

問9	Q3	アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	○は1つ
----	----	--	------

アドバンス・ケア・プランニングを知っているかについて、「知らない」が82.6%、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が11.1%、「知っている」が3.5%となっています。

また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が1.6%、「女性」が5.4%で、「女性」のほうが3.8ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が4.6%で最も多く、次いで「75歳以上」が3.4%、「65～69歳」が2.5%となっています。



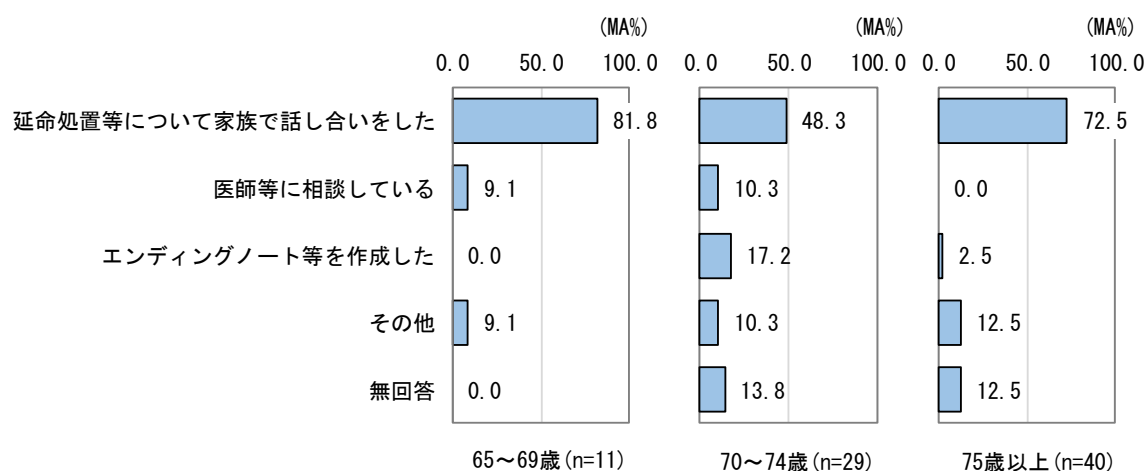
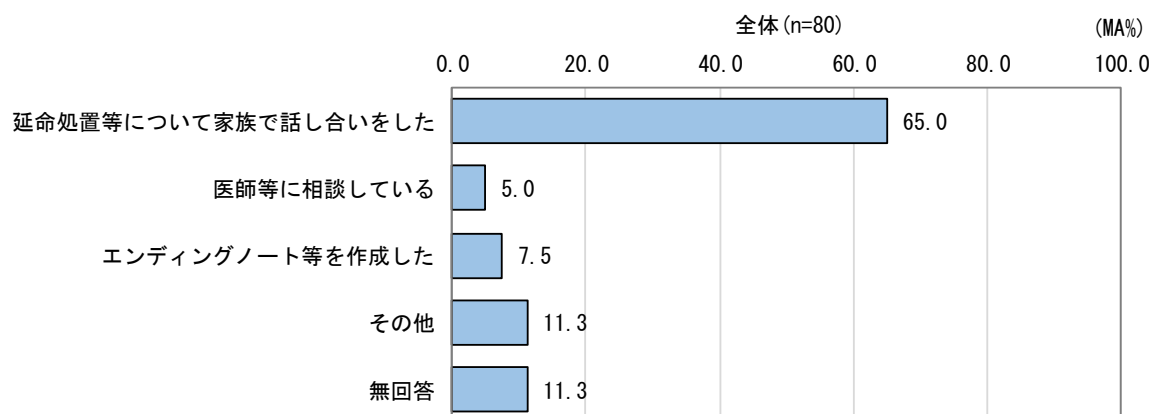
※アドバンス・ケア・プランニングとは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

(4) アドバンス・ケア・プランニングの取組

【Q3で「知っている」を回答した人のみ】

問9	Q3-1	どのような取組をしていますか。	○は1つ
----	------	-----------------	------

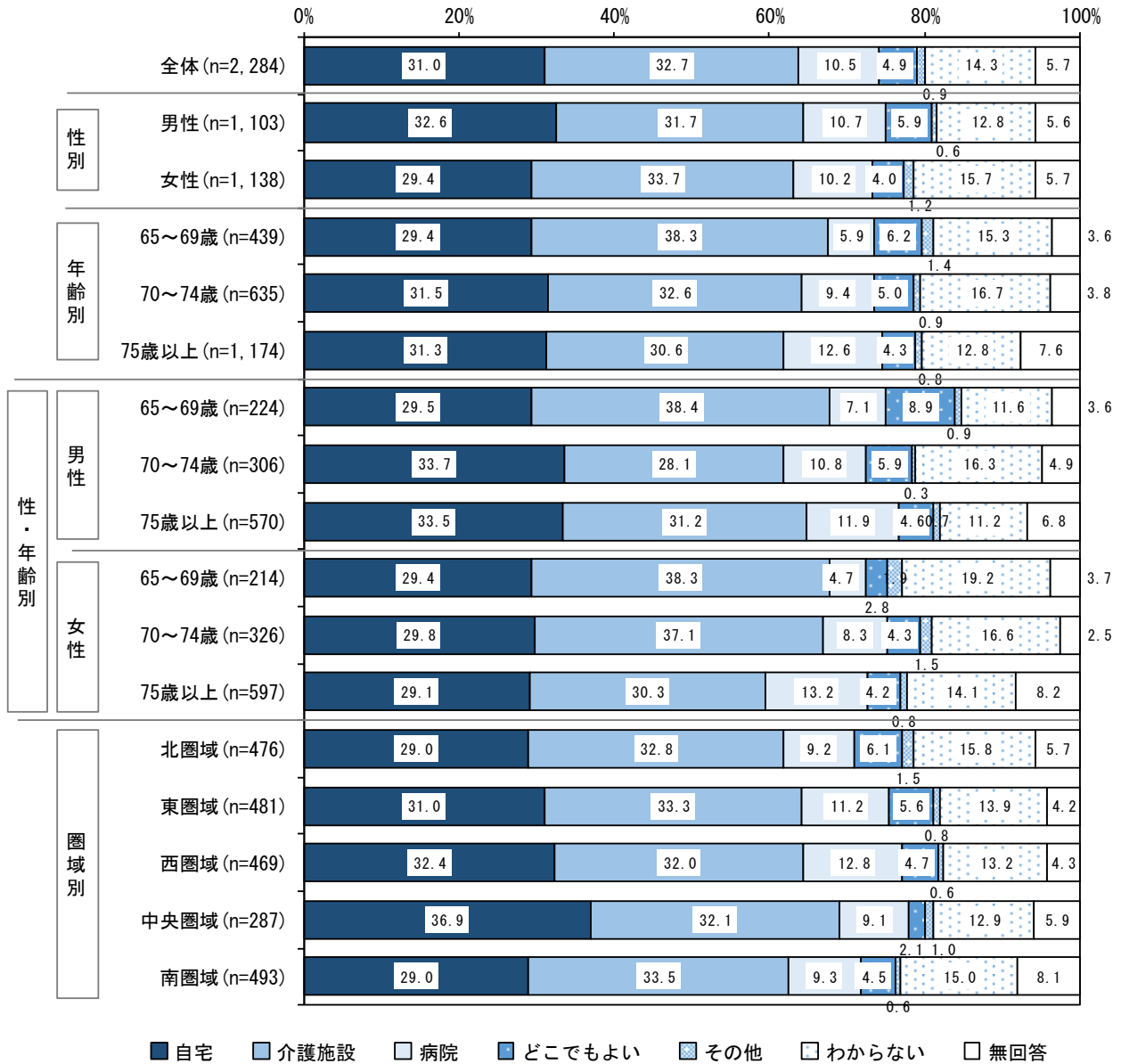
アドバンス・ケア・プランニングを知っている人に、取り組んで切る内容について聞いたところ、「延命処置等について家族で話し合いをした」が65.0%で最も多く、次いで「その他」が11.3%、「エンディングノート等を作成した」が7.5%となっています。



(5) 介護を受けたい場所

問9	Q4	あなたは、介護が必要になった時、また今よりも重くなった時、あなたはどこで介護を受けたいですか。	○は1つ
----	----	---	------

介護を受けたい場所について、「介護施設」が32.7%で最も多く、次いで「自宅」が31.0%、「わからない」が14.3%となっています。

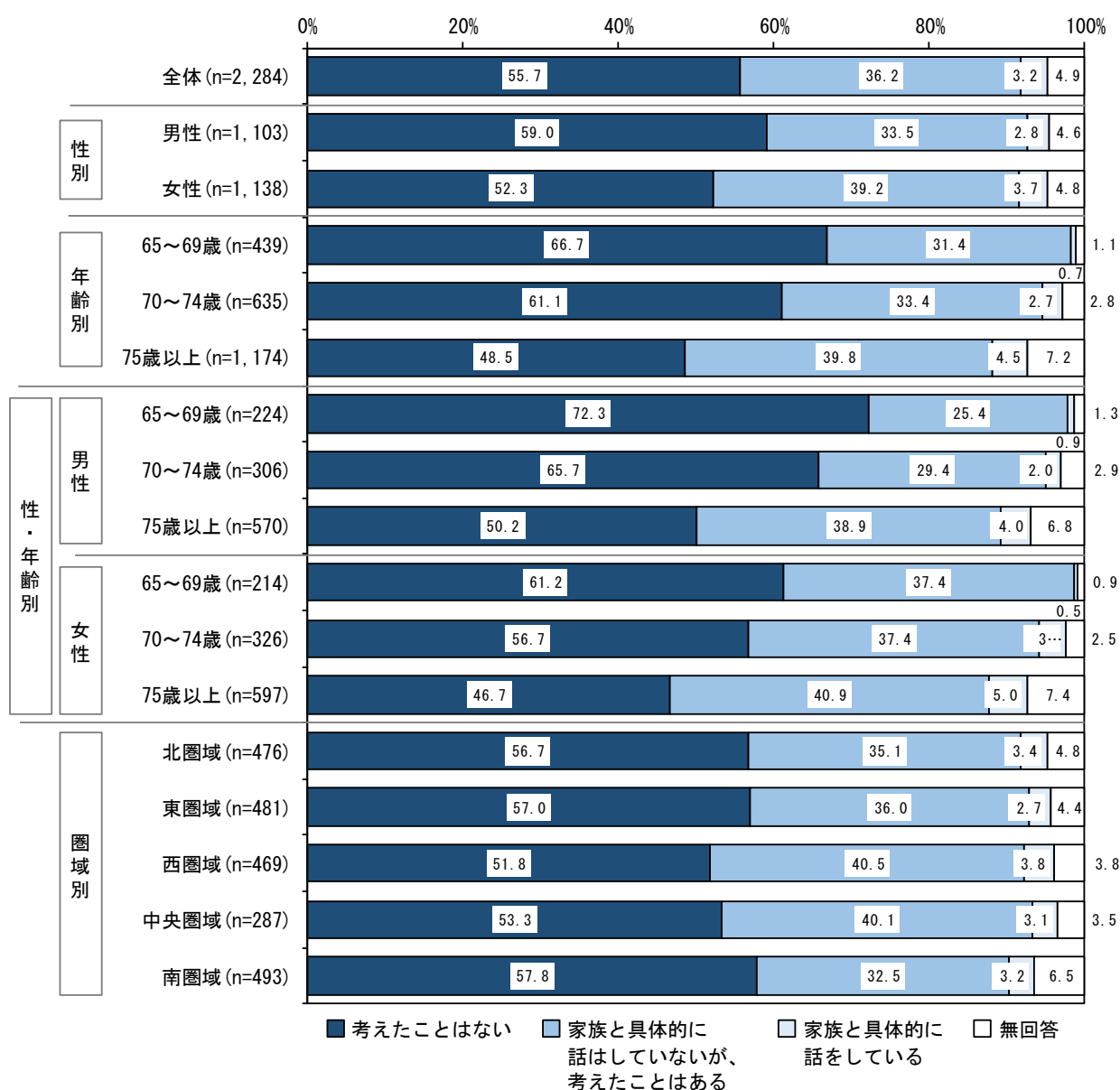


(6) 在宅での看取り

問9	Q5	在宅での看取りを考えたことはありますか。	○は1つ
----	----	----------------------	------

在宅での看取りを考えたことはあるかについて、「考えたことはない」が55.7%で最も多く、次いで「家族と具体的に話していないが、考えたことはある」が36.2%、「家族と具体的に話をしている」が3.2%となっています。

また、性別で見ると、『考えたことがある』（「家族と具体的に話をしている」と「家族と具体的に話していないが、考えたことはある」の合計）では「男性」が36.3%、「女性」が42.9%で、「女性」のほうが6.6ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「75歳以上」が44.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が36.1%、「65～69歳」が32.1%となっています。

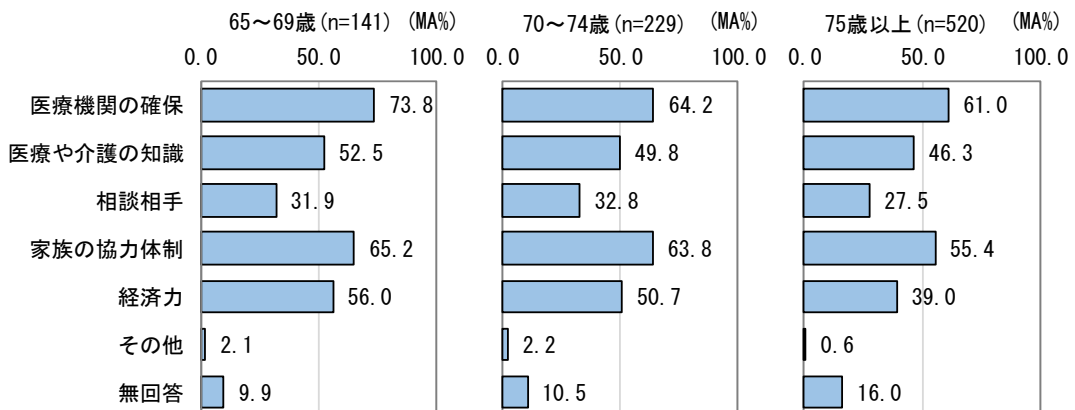
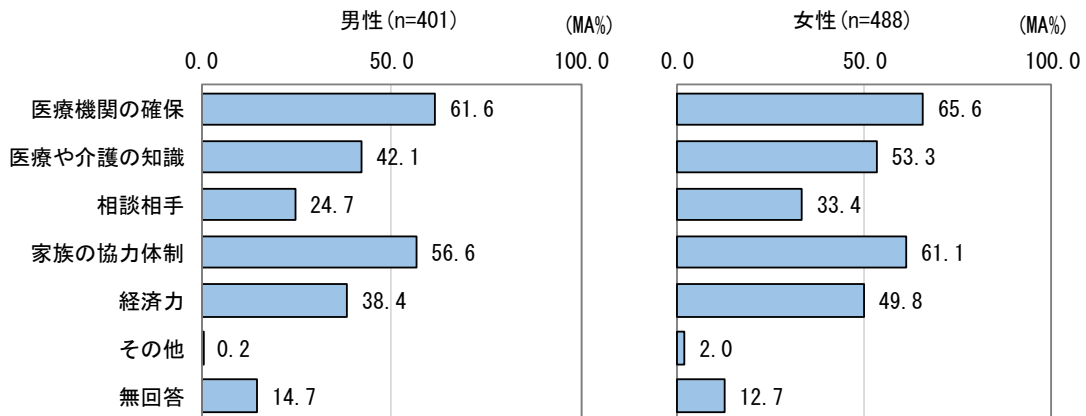
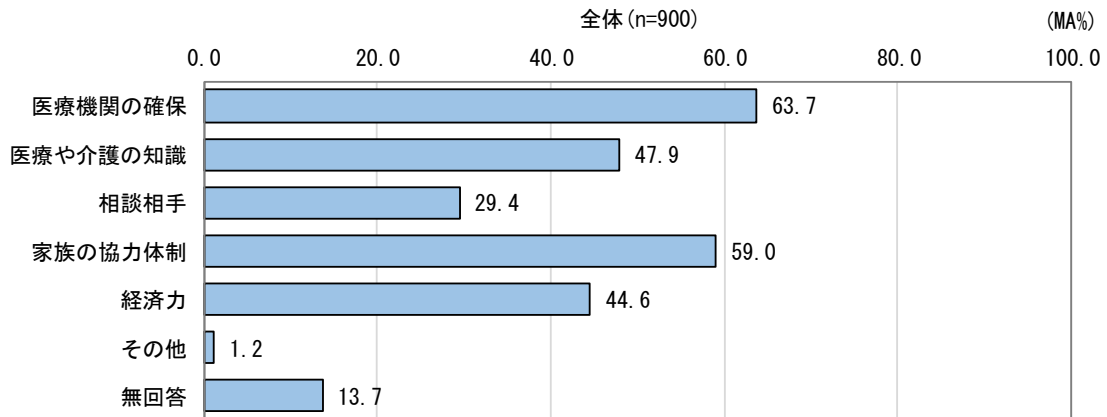


(7) 看取りを可能にするために必要なこと

【Q5で「考えたことはない」以外を回答した人のみ】

問9	Q5-1	看取りを可能とするために、必要なことは何だと思えますか。	○はいくつでも
-----------	-------------	------------------------------	---------

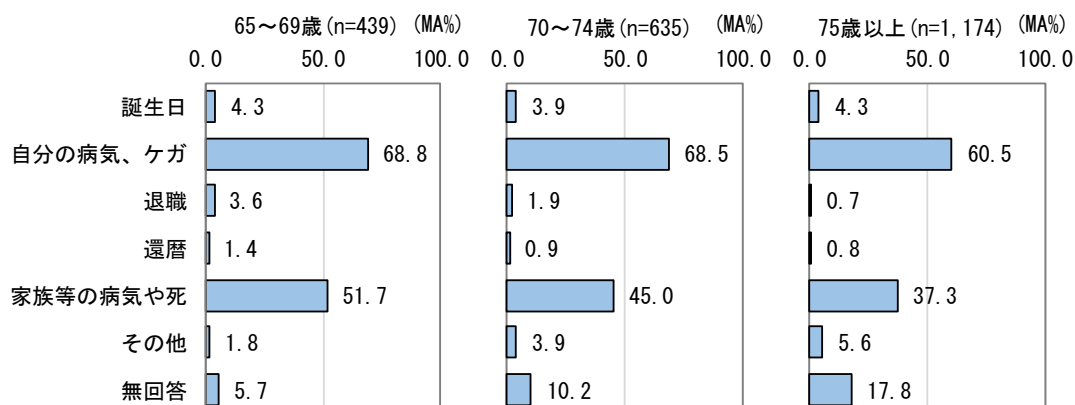
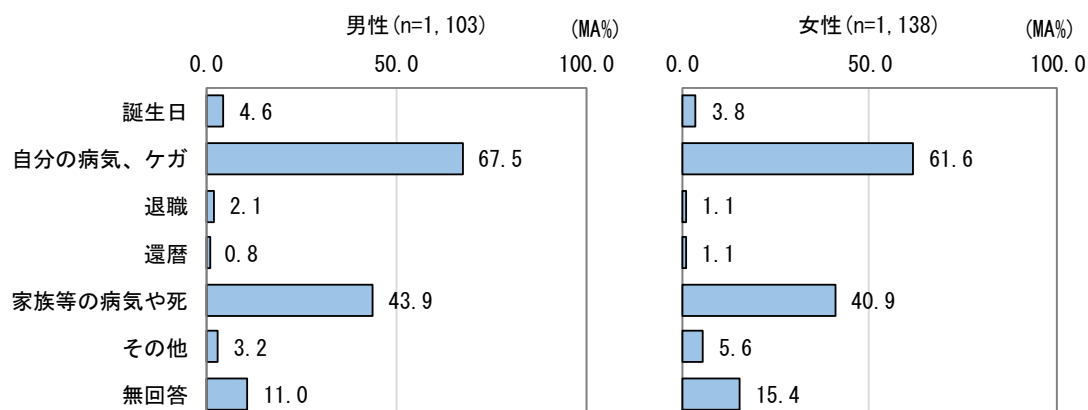
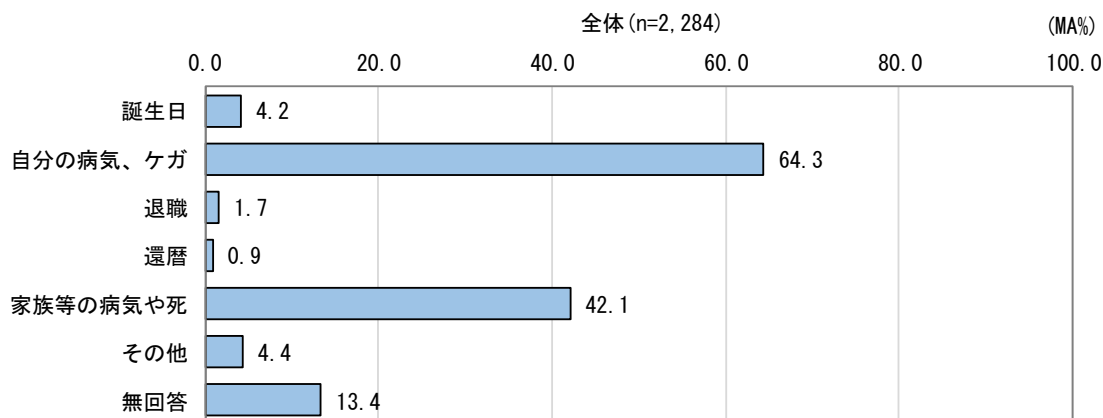
在宅での看取りを考えたことがある人に、看取りを可能とするために必要なことについて聞いたところ、「医療機関の確保」が63.7%で最も多く、次いで「家族の協力体制」が59.0%、「医療や介護の知識」が47.9%となっています。



(8) 医療・療養について話し合うきっかけ

問9	Q6	もし、家族や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとするれば、どのようなタイミングだと思いますか。(話し合ったことがある方は、何がきっかけでしたか。)	○はいくつでも
----	----	---	---------

家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけについて、「自分の病気、ケガ」が64.3%で最も多く、次いで「家族等の病気や死」が42.1%、「その他」が4.4%となっています。



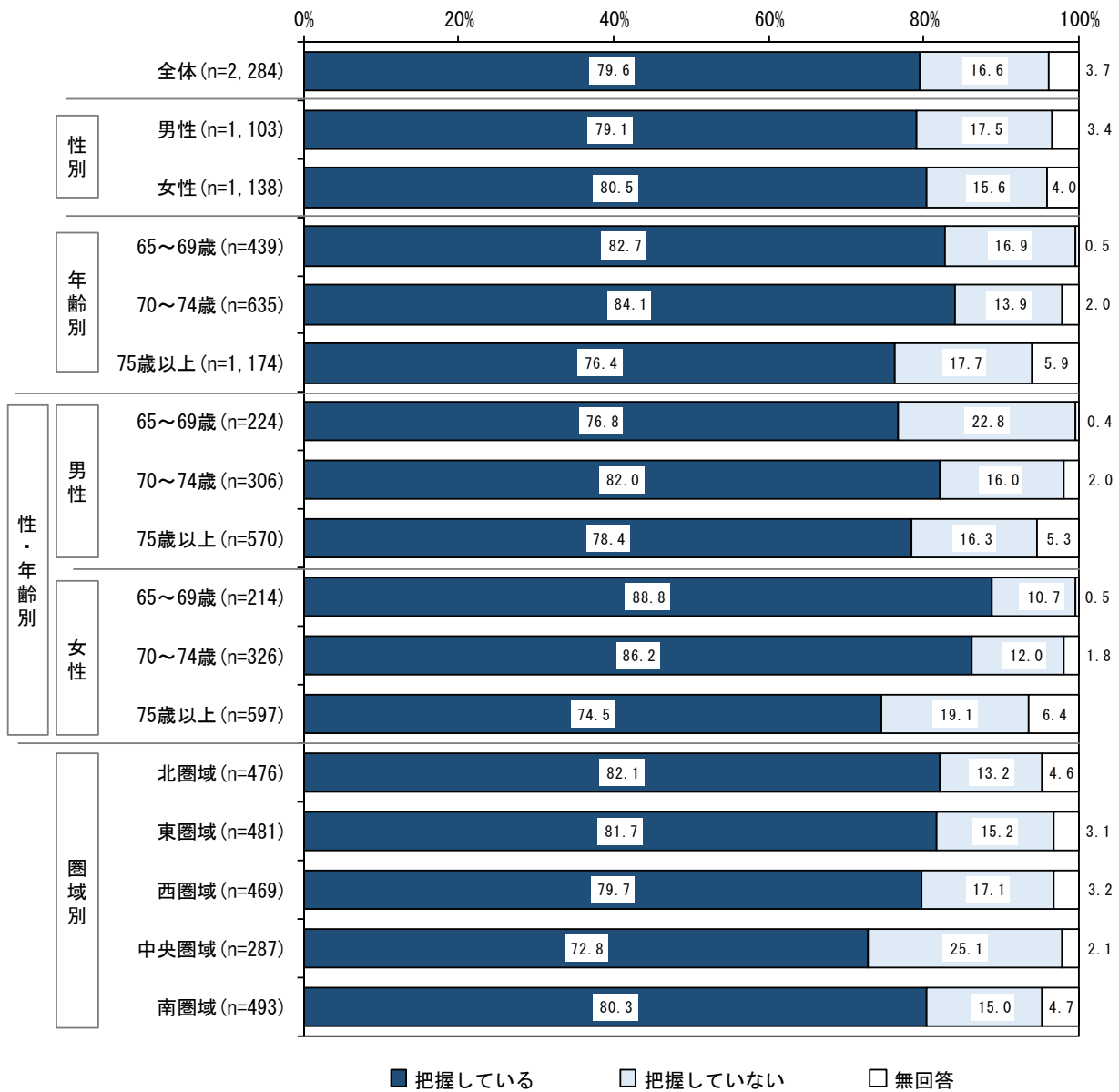
11 自然災害の備えについて

(1) 災害時における自宅周りの避難所・避難場所の把握

問10	Q1	あなたは、災害時における自宅周りの避難所・避難場所を把握していますか。	○は1つ
-----	----	-------------------------------------	------

災害時における自宅周りの避難所・避難場所について、「把握している」が79.6%、「把握していない」が16.6%となっています。

また、性別で見ると、「把握している」では「男性」が79.1%、「女性」が80.5%で、「女性」のほうが1.4ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「70～74歳」が84.1%で最も多く、次いで「65～69歳」が82.7%、「75歳以上」が76.4%となっています。



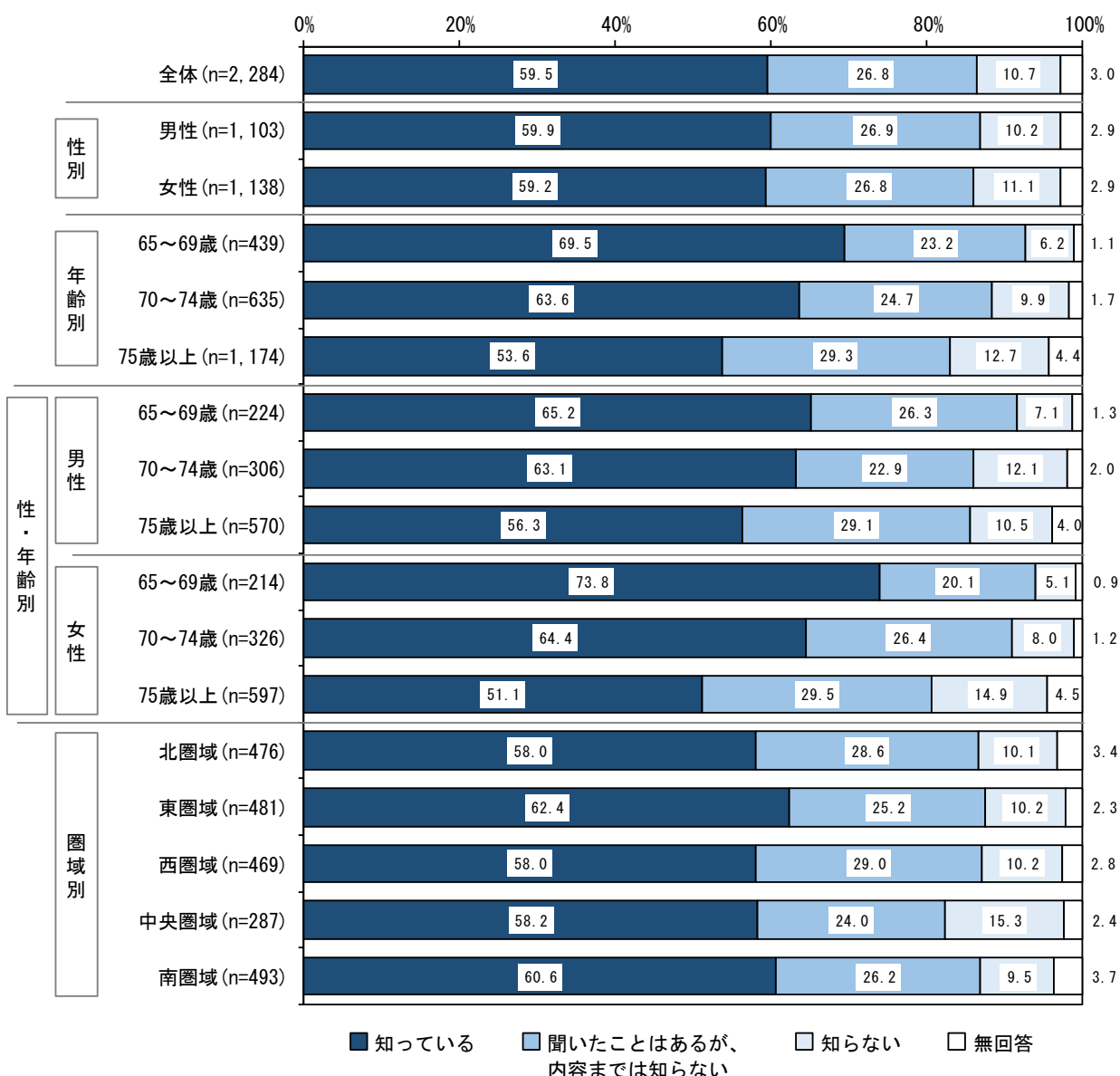
※避難場所とは、火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む先（河川敷や大きい公園など）のことです。
 ※避難所とは、災害のため自宅で過ごすことが困難になった時に、避難生活をする場所（学校や公民館など）のことです。

(2) ハザードマップの認知度

問 10	Q 2	茨木市のハザードマップを知っていますか。	○は1つ
------	-----	----------------------	------

茨木市のハザードマップを知っているかについて、「知っている」が59.5%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が26.8%、「知らない」が10.7%となっています。

また、性別で見ると、「知っている」では「男性」が59.9%、「女性」が59.2%で、「男性」のほうが0.7ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が69.5%で最も多く、次いで「70～74歳」が63.6%、「75歳以上」が53.6%となっています。

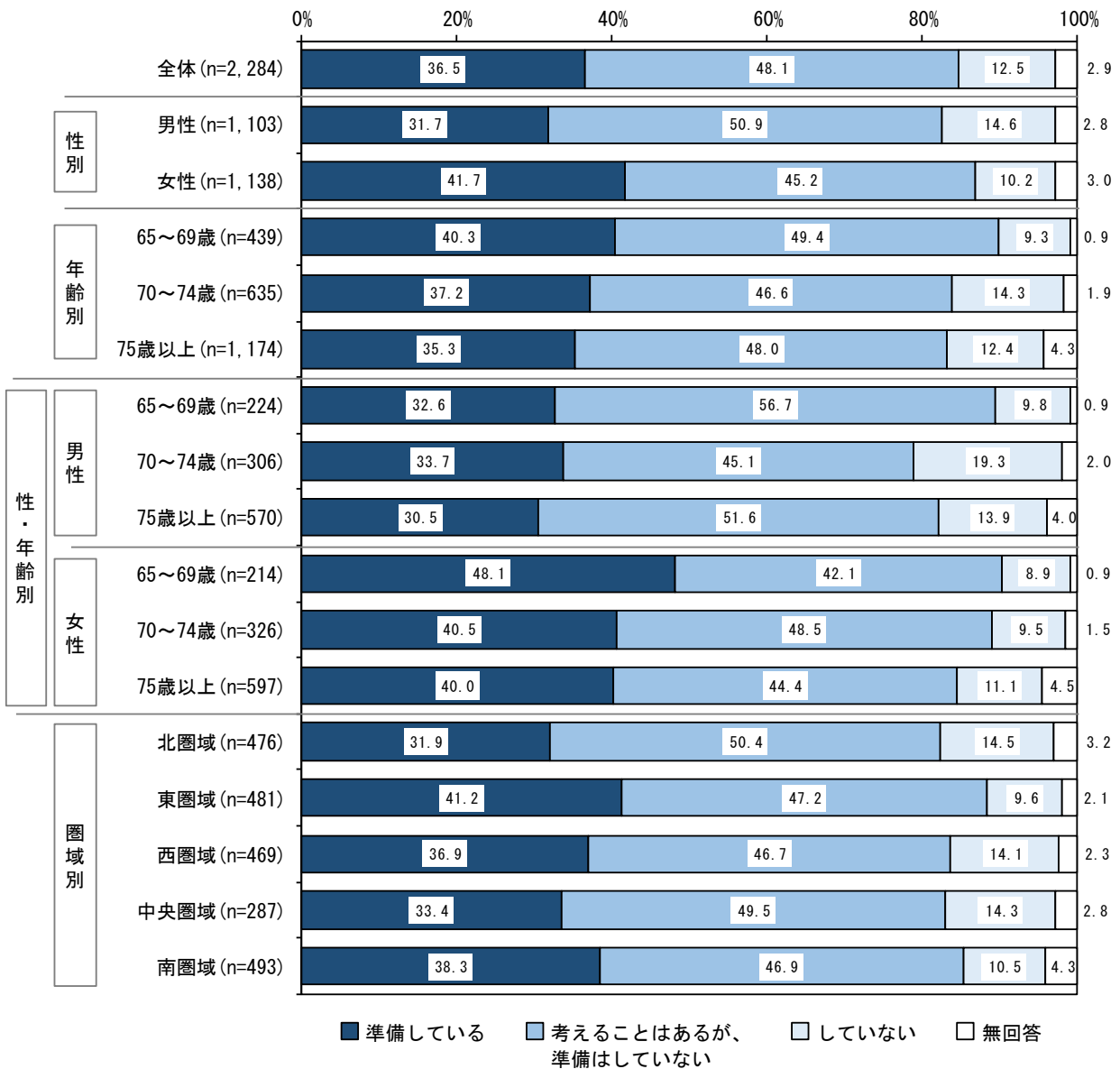


(3) ふだんの備え

問10	Q3	ふだんの備えをされていますか。	○は1つ
-----	----	-----------------	------

ふだんの備えについて、「考えることはあるが、準備はしていない」が48.1%で最も多く、次いで「準備している」が36.5%、「していない」が12.5%となっています。

また、性別で見ると、「準備している」では「男性」が31.7%、「女性」が41.7%で、「女性」のほうが10.0ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が40.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が37.2%、「75歳以上」が35.3%となっています。

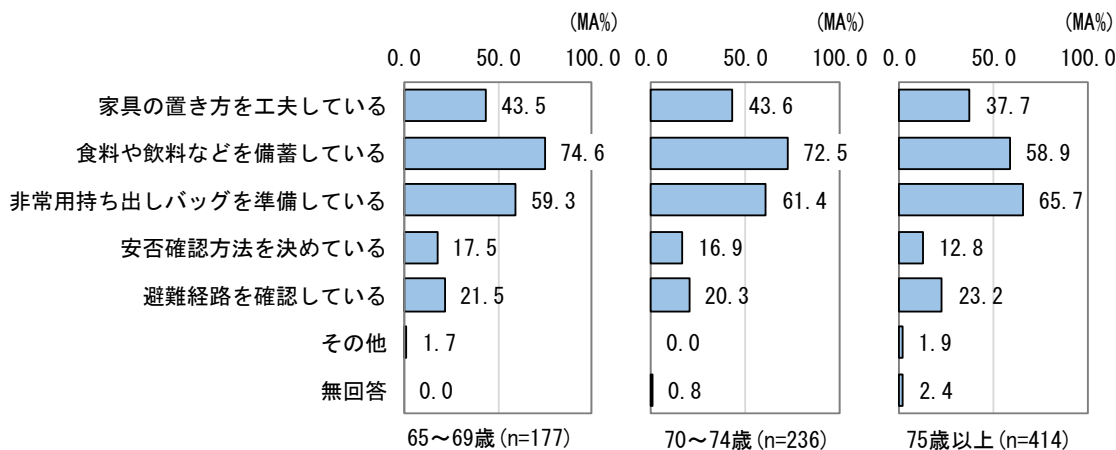
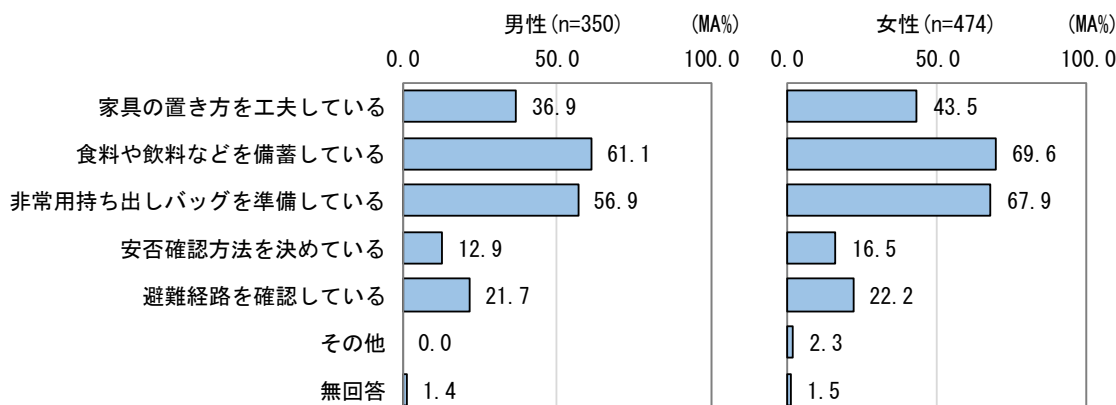
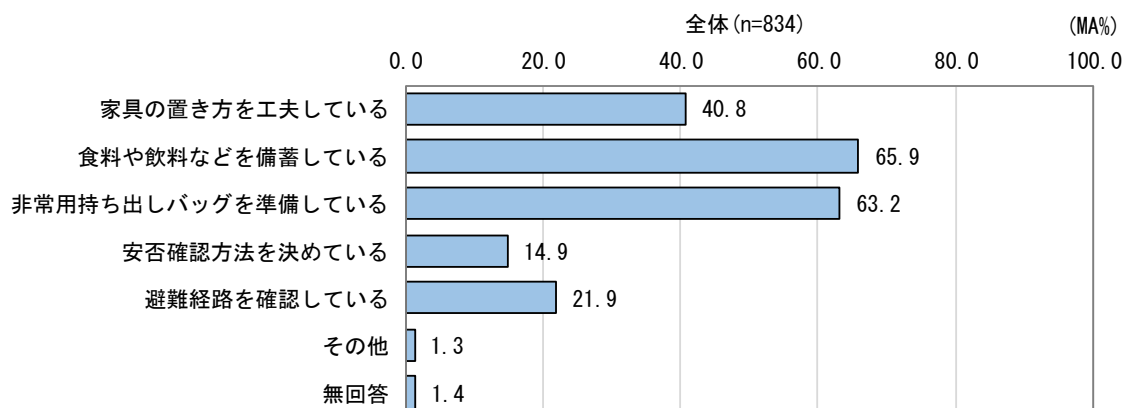


(4) 準備をしているふだんの備え

【Q3で「準備している」を回答した人のみ】

問10	Q3-1	どのような準備をされていますか。	○はいくつでも
-----	------	------------------	---------

ふだんの備えをしている人に、準備をしている内容について聞いたところ、「食料や飲料などを備蓄している」が65.9%で最も多く、次いで「非常用持ち出しバッグを準備している」が63.2%、「家具の置き方を工夫している」が40.8%となっています。



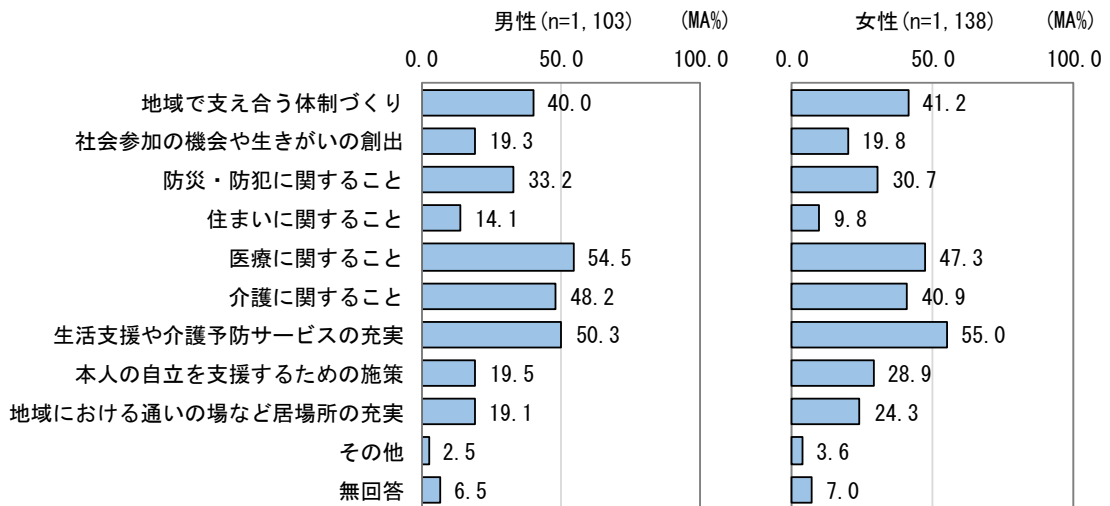
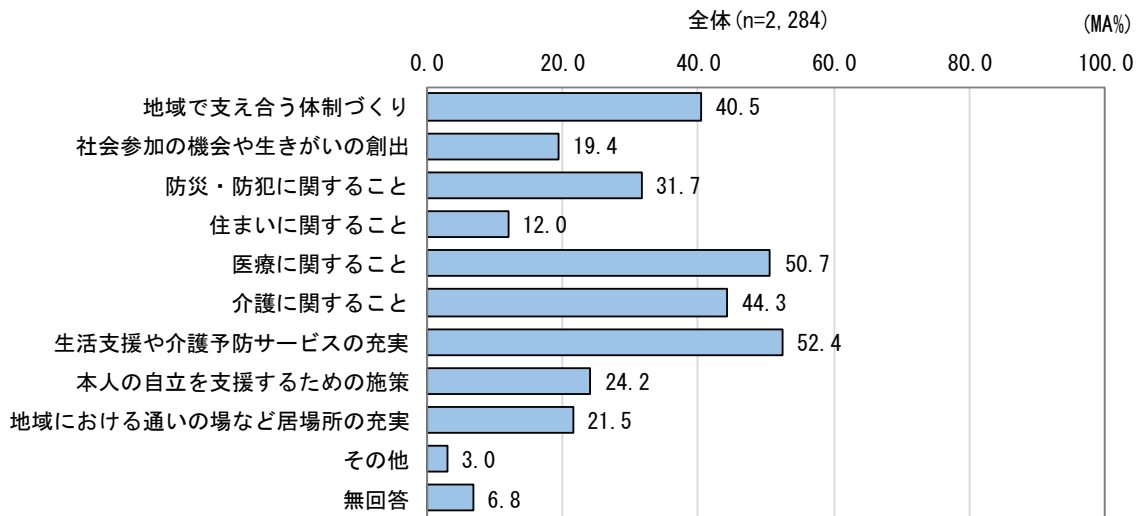
12 高齢者施策全般について

(1) 重点を置くべき施策

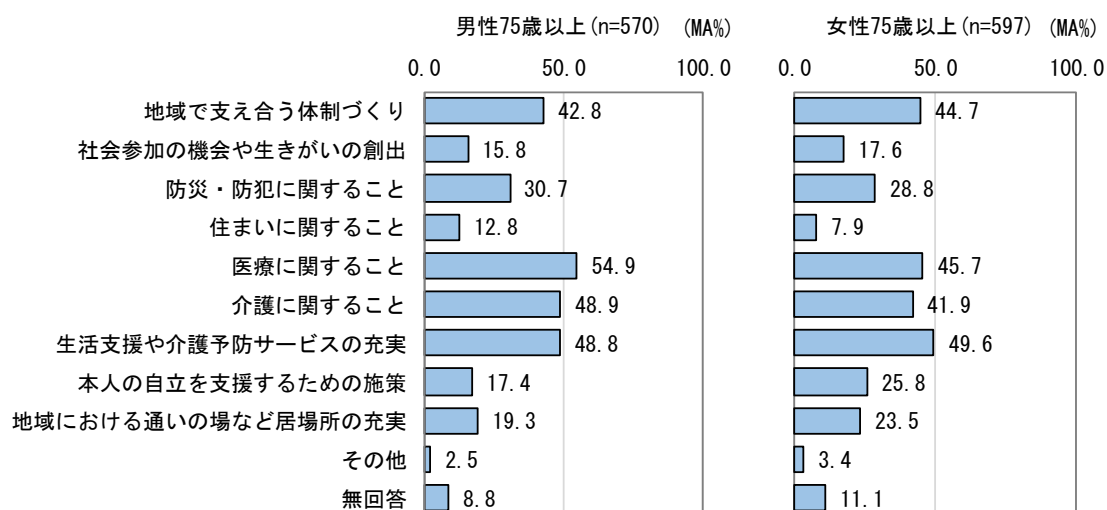
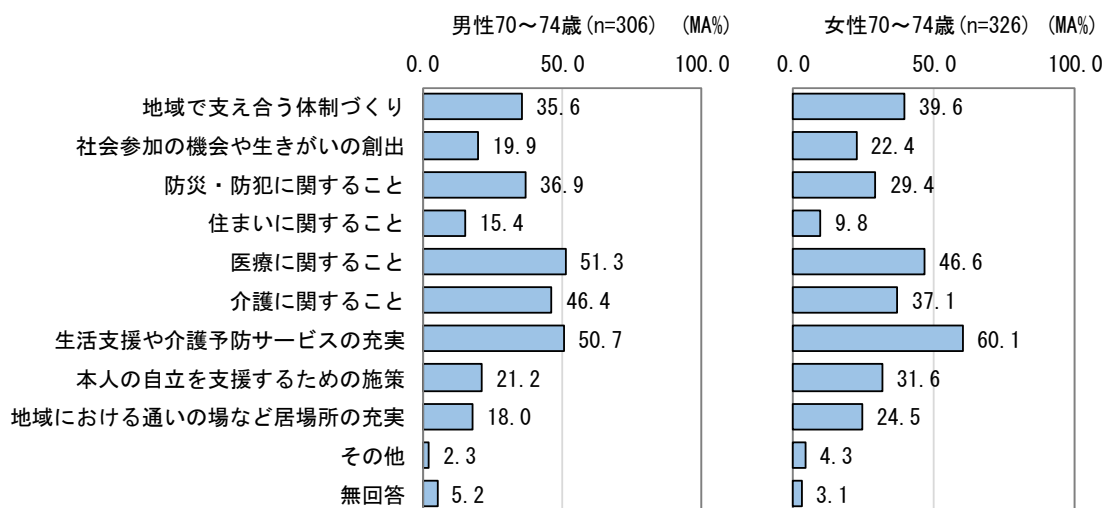
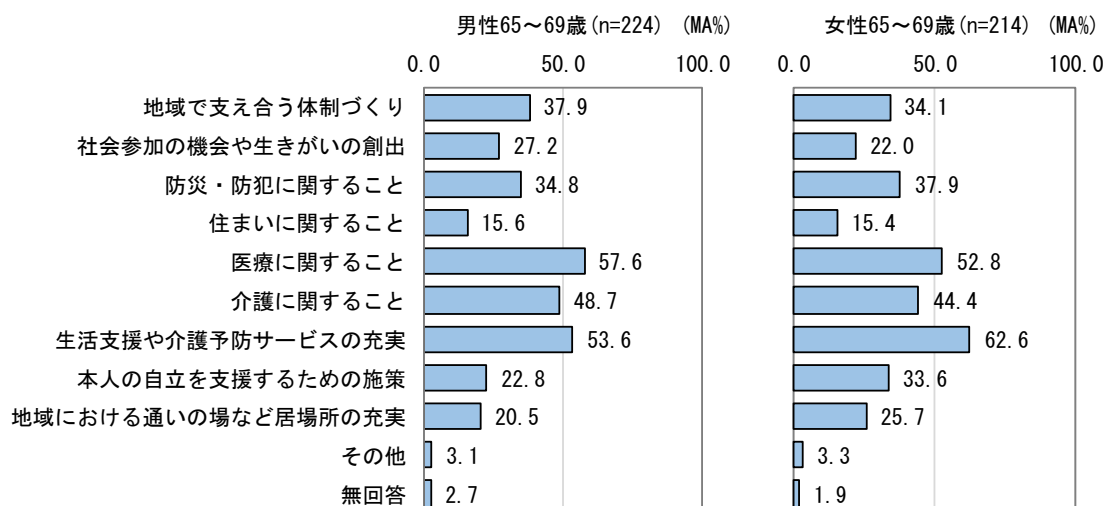
問11	Q1	今後、茨木市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。	○はいくつでも
-----	----	--------------------------------	---------

今後、茨木市が重点を置くべき施策について、「生活支援や介護予防サービスの充実」が52.4%で最も多く、次いで「医療に関すること」が50.7%、「介護に関すること」が44.3%となっています。

また、性別で見ると、「男性」では「医療に関すること」が54.5%で最も多く、「女性」では「生活支援や介護予防サービスの充実」が55.0%で最も多くなっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



(2) 重点を置くべき施策の内容

問 11	Q 1-1	Q 1で選択した項目について具体的なご意見・ご要望はありますか。	記述
------	-------	----------------------------------	----

①地域で支え合う体制づくり

意見	件数
困っている内容の共有・手助け・安否確認等について	21
声かけの推進・難しさについて	13
地域行事の開催・参加、コミュニティ強化について	12
自治会についてのご意見	6
老化に対する理解について	3
地域（自治会）と市が連携しての体制づくりについて	2
その他	5
延べ件数	62

②社会参加の機会や生きがいの創出

意見	件数
定期的な講習会（実習会）の開催について	6
地域で貢献できる場の機会・要望について	5
行事やイベント・講習等の情報公開・発信について	3
地域の相互協力について	2
いろいろな世代間との交流の機会について	2
その他	5
延べ件数	23

③防災・防犯に関すること

意見	件数
避難場所・支援の充実等について	6
情報公開・発信・連絡手段等について	5
現在対策が必要とされる場所・内容について	3
訓練・講習会の実施について	2
地域と警察が連携しての定期的なパトロールの強化	2
その他	2
延べ件数	20

④住まいに関すること

意見	件数
交通機関等についての要望	3
道路・歩道についての要望	2
住まいの改装支援についての要望	1
街づくりについての要望	1
タクシー代等の支援についての要望	1
その他	2
延べ件数	10

⑤医療に関すること

意見	件数
病院の増設についての要望	32
医師・医療内容の充実についての要望	15
医療費についての要望	12
かかりつけ医についての要望	3
相談窓口の開設についての要望	2
通院時の交通費支援についての要望	2
情報提供・連絡等の要望について	1
救急時の連絡体制、医師の派遣等についての要望	1
その他	1
延べ件数	69

⑥介護に関すること

意見	件数
施設の増設・充実について	11
介護・医療サービスの充実・要望について	11
市に対する要望	8
情報公開・発信・連絡手段等について	7
施設の手続き・入所についての要望	3
介護している家族への支援について	2
事業所・介護職についている方への支援体制の強化	2
定期的なセミナー等の開催	2
分からない	2
相談窓口の開設についての要望	1
その他	10
延べ件数	59

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

⑦生活支援や介護予防サービスの充実

意見	件数
支援・体制・制度・施策の見直し、充実についての要望	19
交通機関の充実、無料化についての要望	13
安心して生活できる環境についての要望	12
情報公開・共有・発信等について	6
現在、または将来に対する不安について	3
その他	7
延べ件数	60

⑧本人の自立を支援するための施策

意見	件数
交通機関の充実について	6
施策の見直し・選択機会について	4
地域での助け合い・見守りについて	3
勉強・運動場の機会・充実について	3
情報公開・発信等について	1
地域と市の連携強化について	1
交通機関の無料化、割引制度の実施について	1
その他	4
延べ件数	23

⑨地域における通いの場など居場所の充実

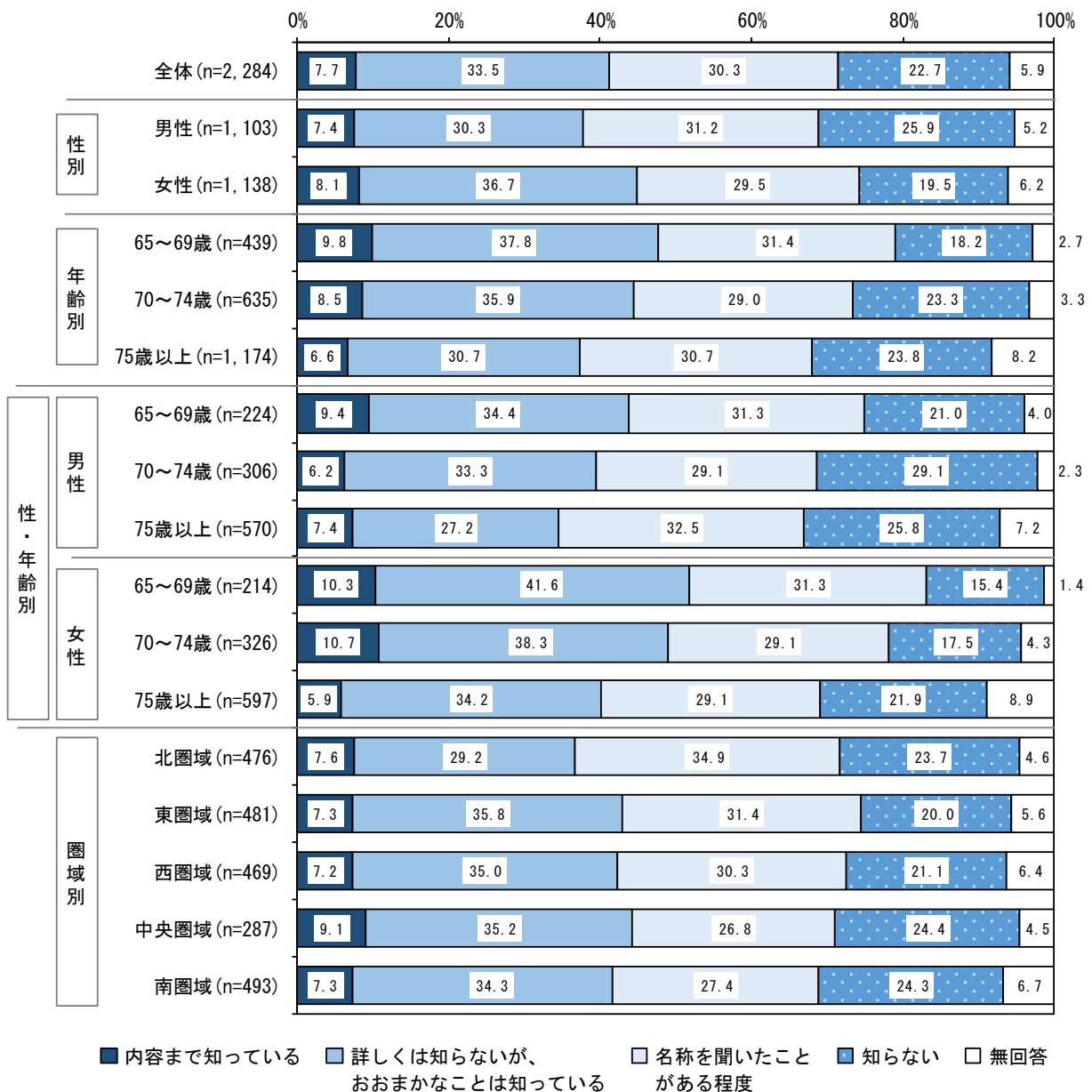
意見	件数
通いの場、居場所の増設・要望について	14
仕組み・利用内容・雰囲気について	5
いろいろな世代間の交流の機会	2
交通機関の充実について	2
定期的な講習会（実習会）の開催について	2
地域で貢献できる場の機会について	1
情報公開・発信等について	1
その他	5
延べ件数	32

(3) 成年後見制度の認知度

問11	Q2	あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。	○は1つ
-----	----	------------------------	------

成年後見制度を知っているかについて、「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が33.5%、次いで「名称を聞いたことがある程度」が30.3%、「知らない」が22.7%となっています。

また、性別で見ると、「内容まで知っている」では「男性」が7.4%、「女性」が8.1%で、「女性」のほうが0.7ポイント多くなっており、年齢別で見ると、「65～69歳」が9.8%で最も多く、次いで「70～74歳」が8.5%、「75歳以上」が6.6%となっています。

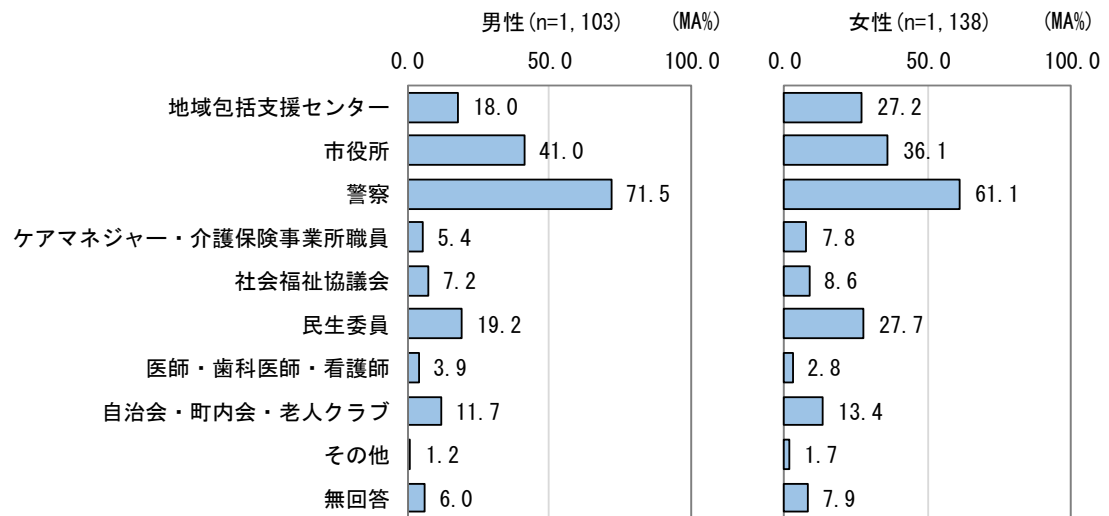
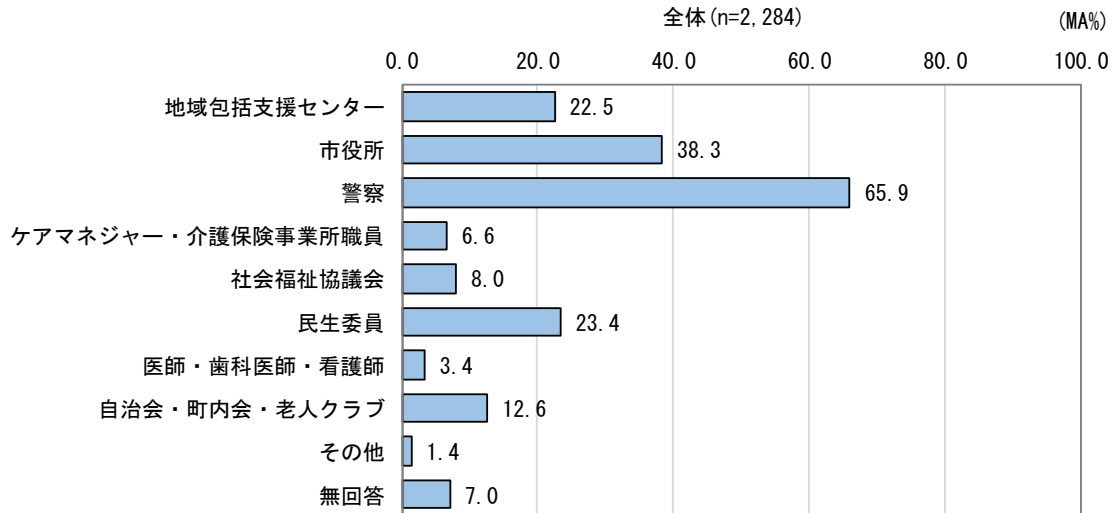


※成年後見制度とは、認知症などの理由で判断能力が不十分な方の権利を守るため、不動産や預貯金などの財産管理や介護サービスに関する契約などを、本人に代わって行う代理人を法的に定め、本人を保護する制度です。この制度は、通常、本人か家族が裁判所に申し立てを行います。状況に応じて、市が申し立てを支援することがあります。

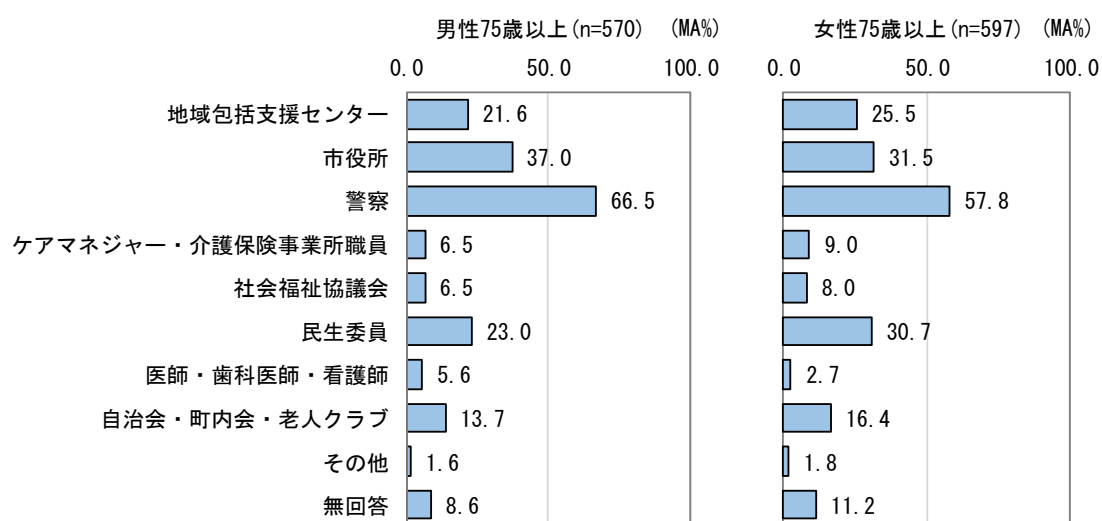
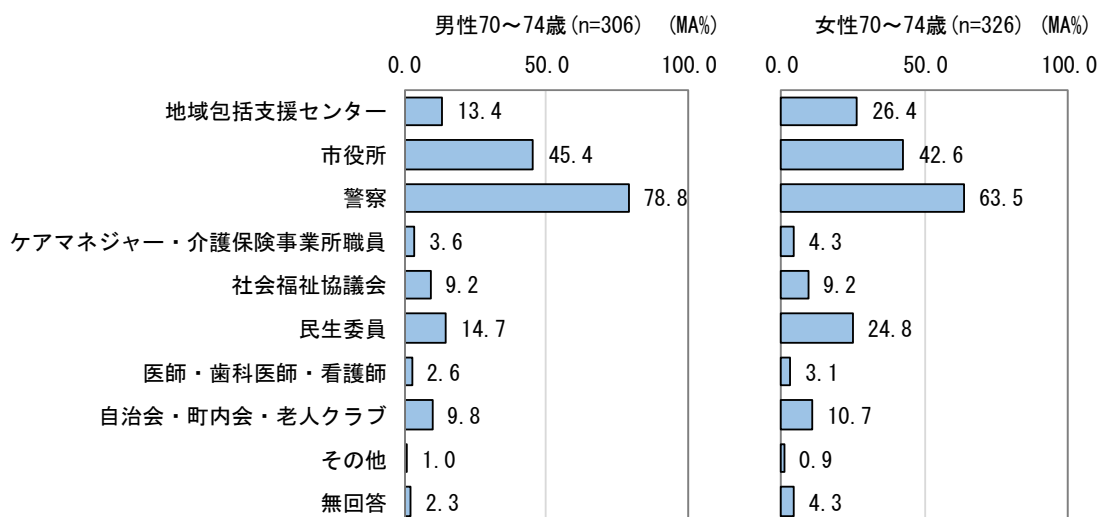
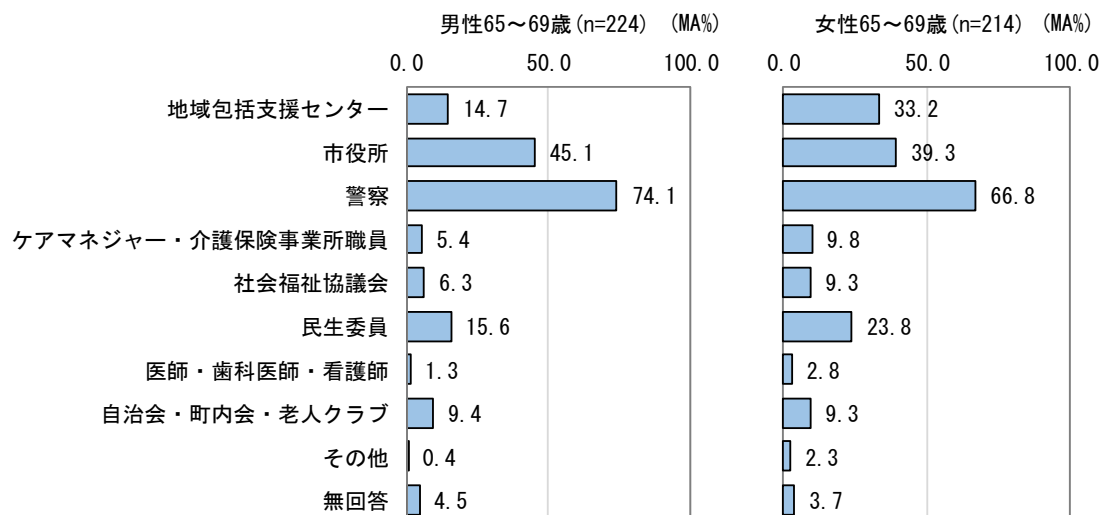
(4) 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先

問 11	Q3	虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合、どこに相談(通報)されますか。	○はいくつでも
------	----	---------------------------------------	---------

虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談(通報)先について、「警察」が65.9%で最も多く、次いで「市役所」が38.3%、「民生委員」が23.4%となっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果

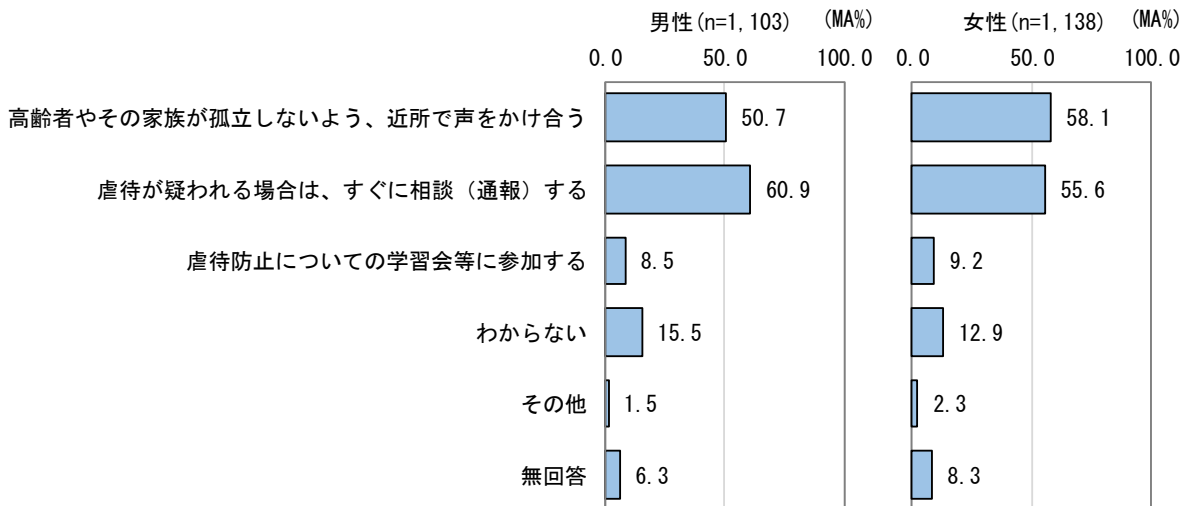
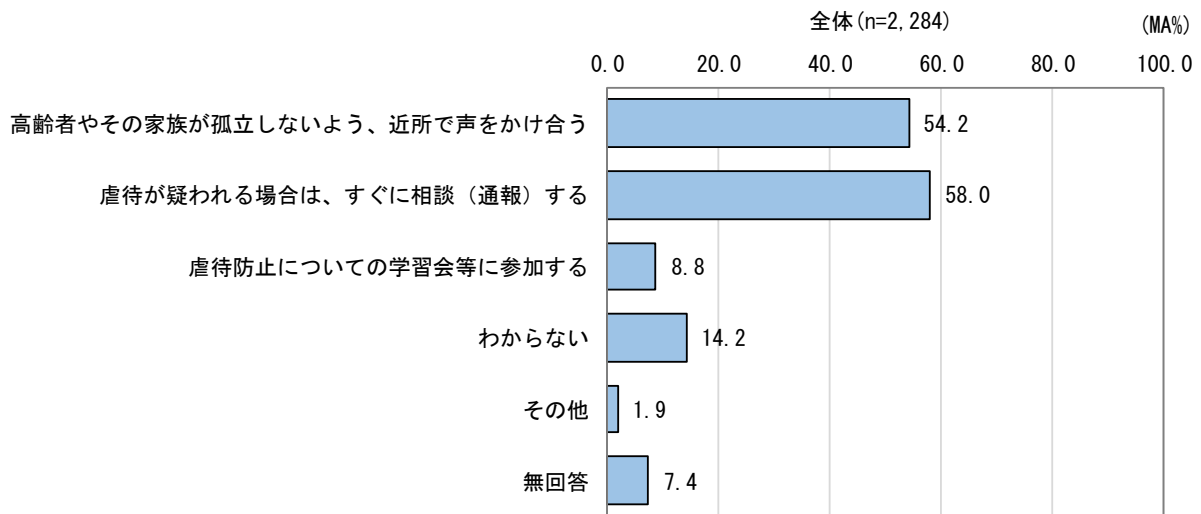


(5) 高齢者虐待を防止するための地域における取組

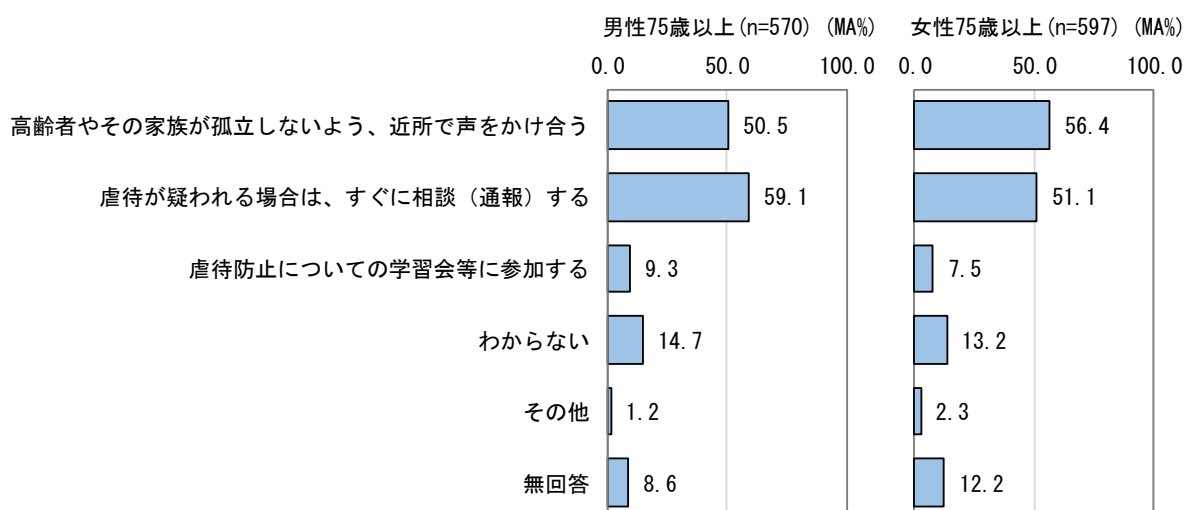
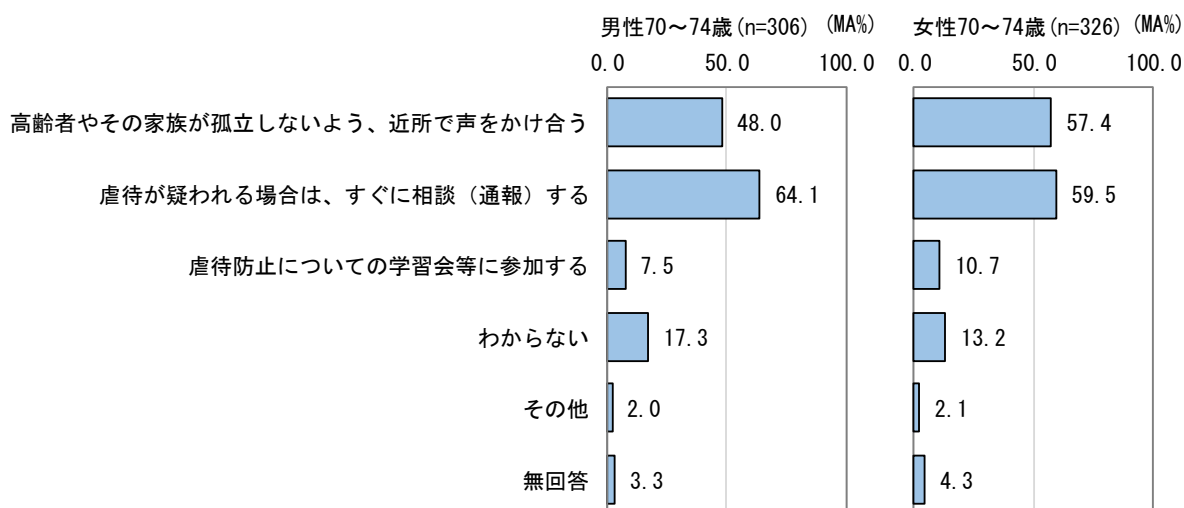
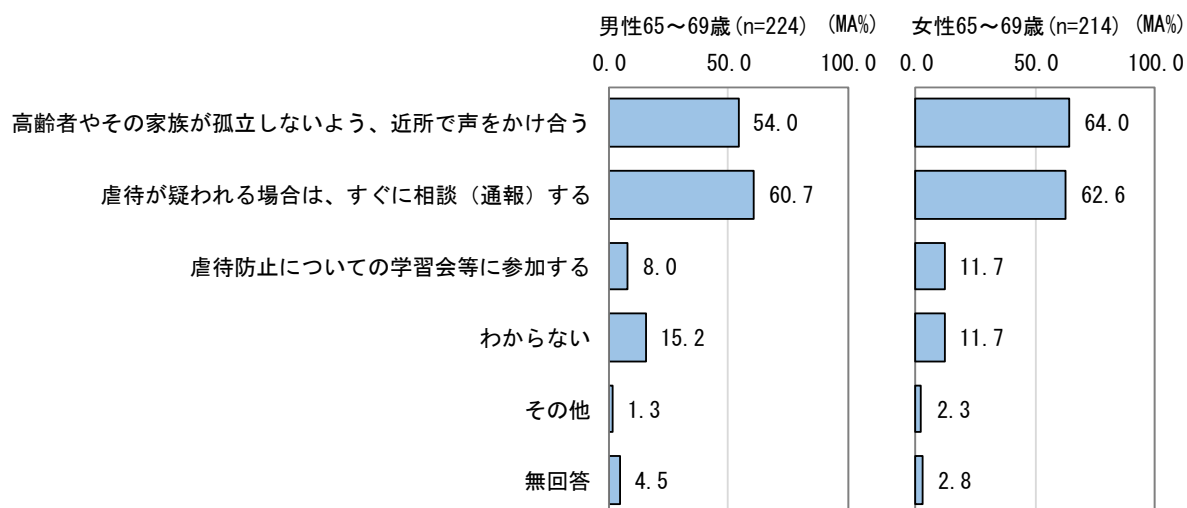
問 11	Q4	高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組が必要と 思われますか。	○はいくつでも
------	----	--	---------

高齢者虐待を防止するための地域における取組について、「虐待が疑われる場合は、すぐに相談（通報）する」が 58.0%で最も多く、次いで「高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う」が 54.2%、「わからない」が 14.2%となっています。

また、性別で見ると、「男性」では「虐待が疑われる場合は、すぐに相談（通報）する」が 60.9%で最も多く、「女性」では「高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う」が 58.1%で最も多くなっています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズの結果



13 生活機能評価等に関する分析について

(1) 転倒

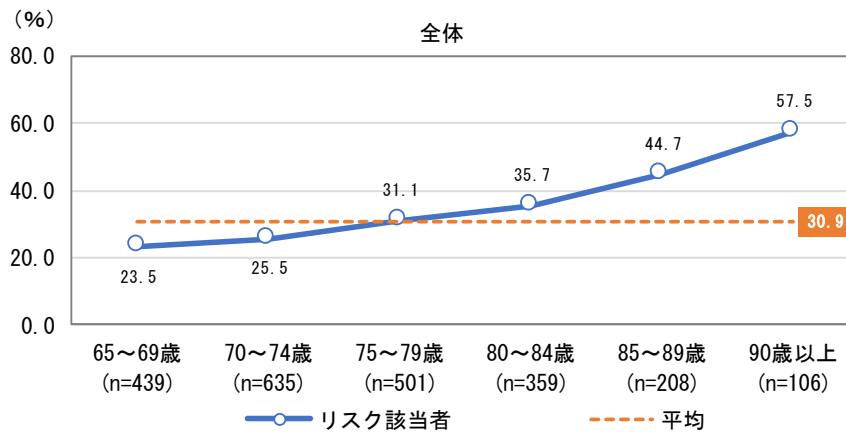
以下の項目に該当する人を、転倒傾向のある高齢者（リスク該当者）と判定しました。

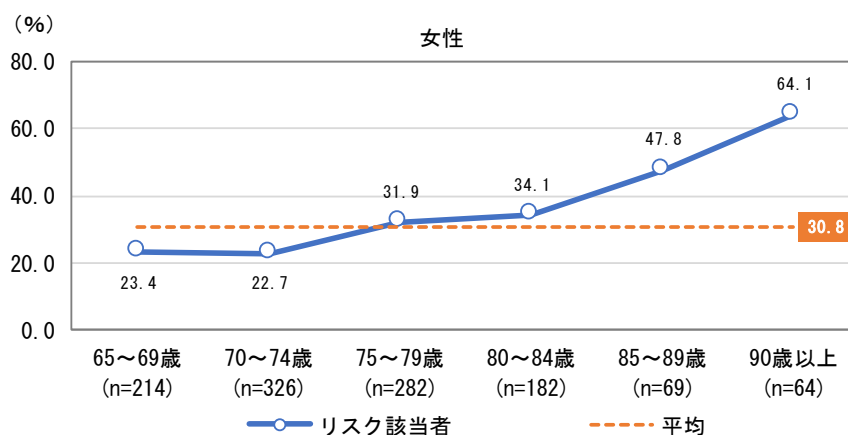
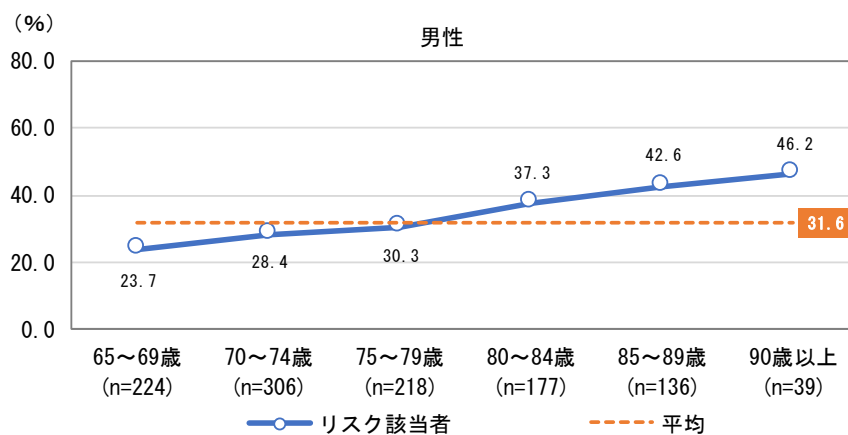
設問			該当する選択肢
問2	Q6	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

※四捨五入の関係上、「1. 何度もある」と「2. 1度ある」の回答割合の合計と、転倒リスクの該当割合が一致しない場合があります。

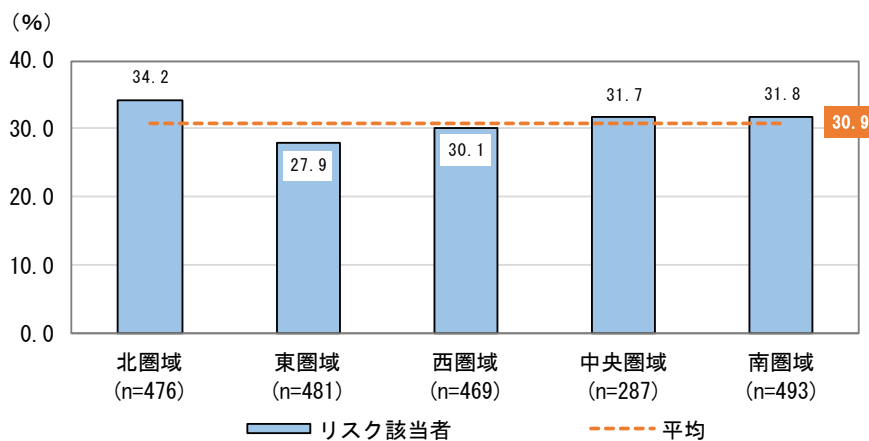
転倒傾向のある高齢者は全体平均が30.9%で、年齢が上がるほど割合が高くなっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均31.6%、「女性」が平均30.8%で、「男性」のほうが0.8ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「南圏域」「中央圏域」が全体平均の30.9%を超えています。

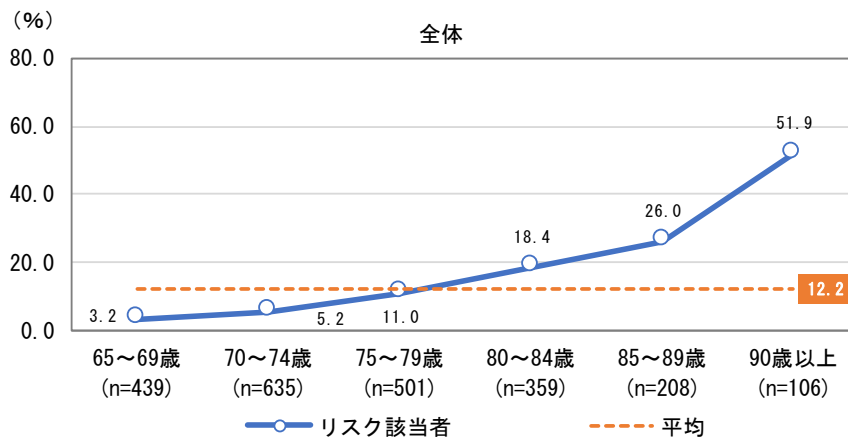


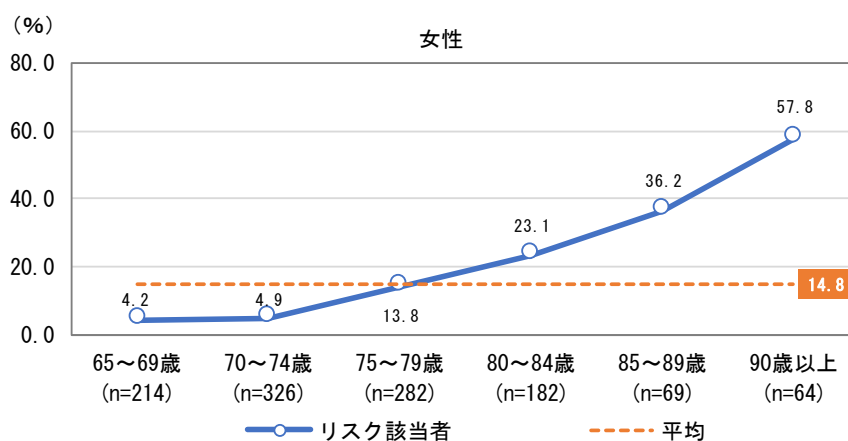
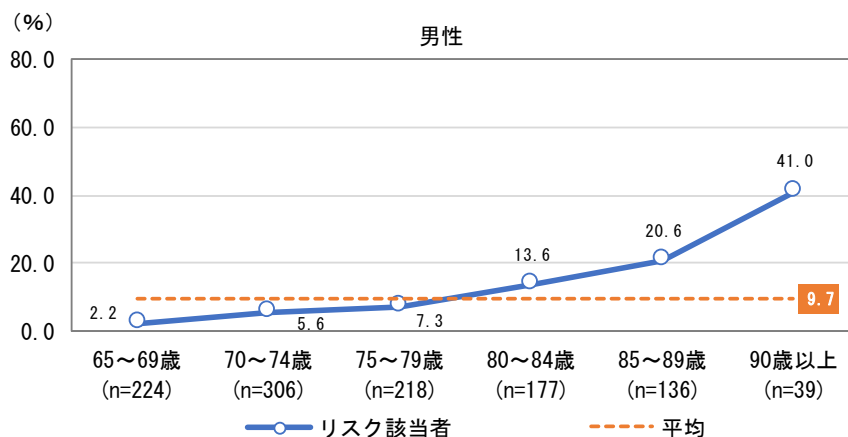
(2) 運動器

5項目のうち3項目以上に該当する人を、運動器機能が低下している高齢者（リスク該当者）と判定しました。

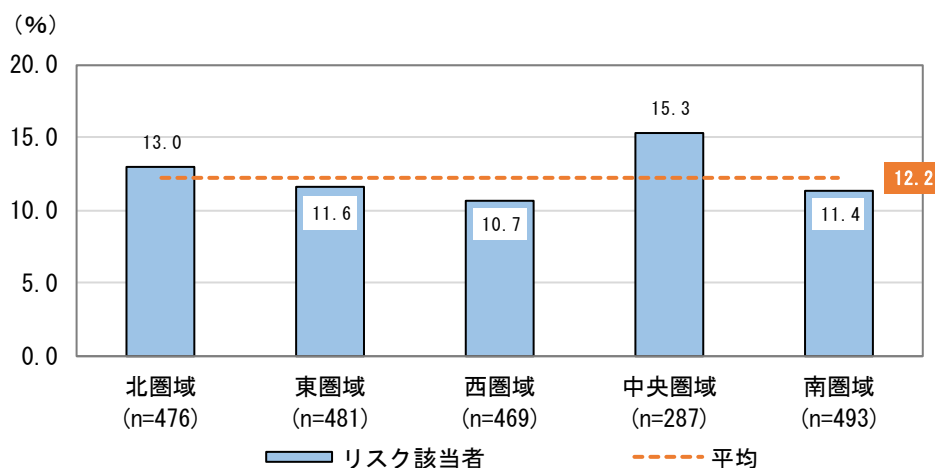
設問			該当する選択肢
問2	Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2	Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2	Q3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2	Q6	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2	Q7	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

運動機能が低下している高齢者は全体平均が12.2%で、年齢が上がるほど割合が高くなっています。また、性・年齢別でみると、「男性」が平均9.7%、「女性」が平均14.8%で、「女性」のほうが5.1ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「中央圏域」が全体平均の12.2%を超えています。



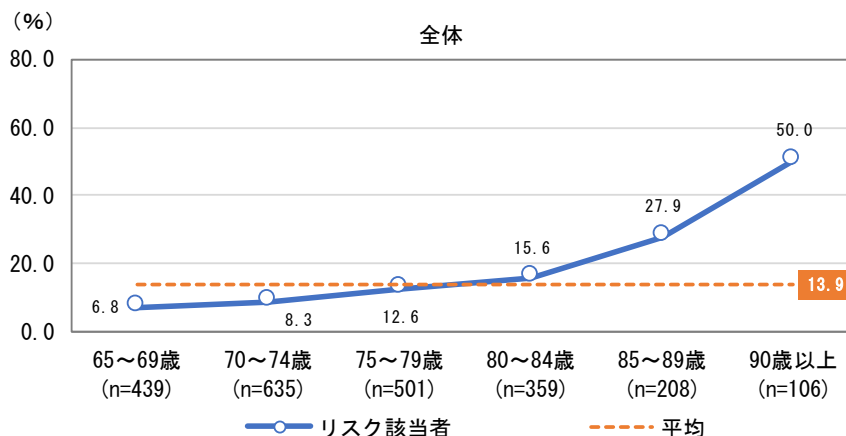
(3) 閉じこもり

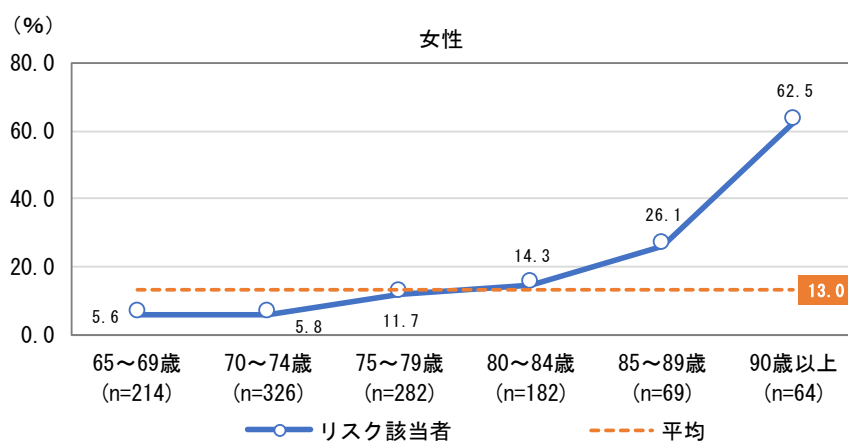
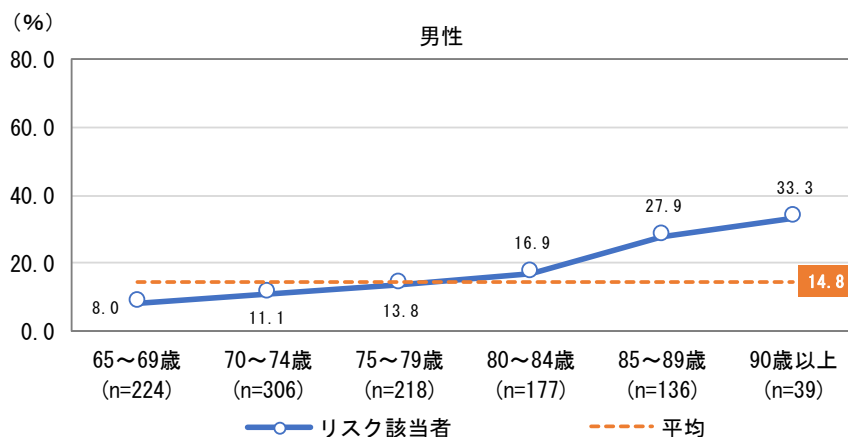
以下の項目に該当する人を、閉じこもり傾向のある高齢者（リスク該当者）と判定しました。

設問			該当する選択肢
問2	Q8	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

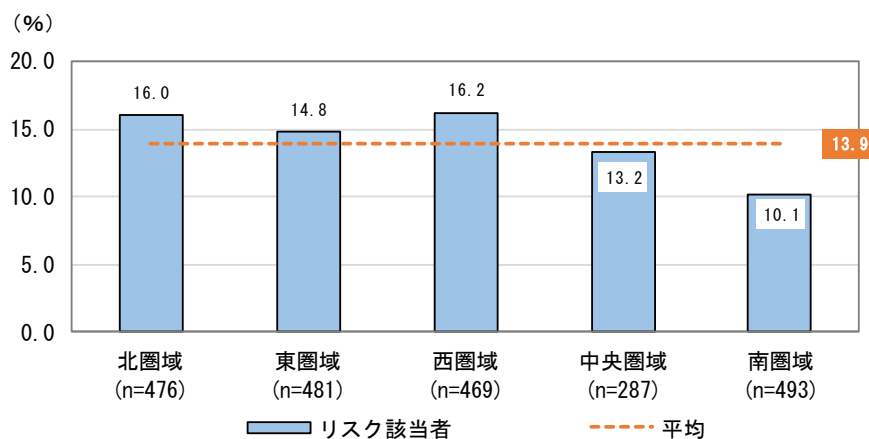
閉じこもり傾向のある高齢者は全体平均が13.9%で、年齢が上がるほど割合が高くなっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均14.8%、「女性」が平均13.0%で、「男性」のほうが1.8ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「東圏域」「西圏域」が全体平均の13.9%を超えています。



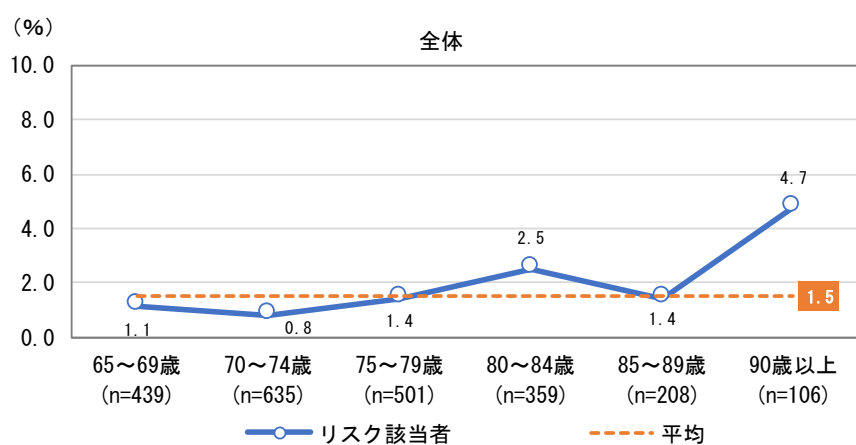
(4) 栄養

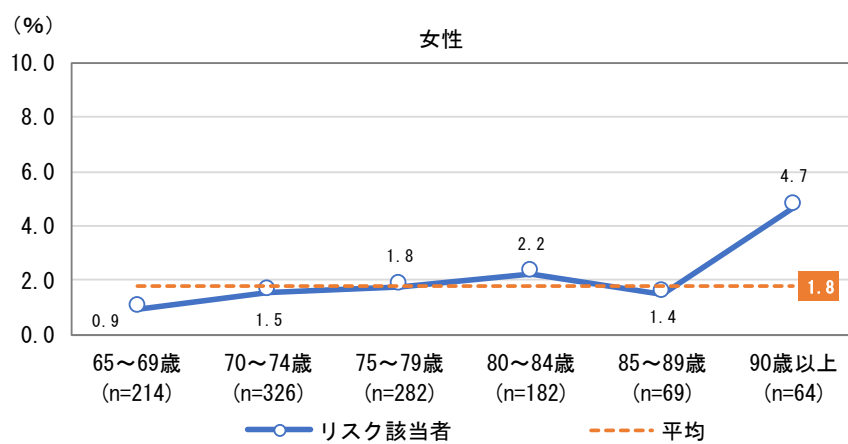
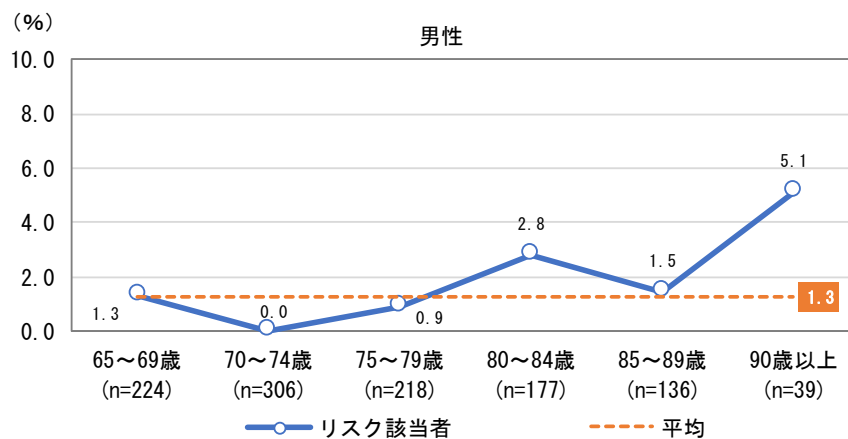
2項目のすべてに該当する人を、低栄養傾向の高齢者（リスク該当者）と判定しました。

設問			該当する選択肢
問3	Q1	身長と体重を教えてください。	BMI 18.5未満
問3	Q2	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

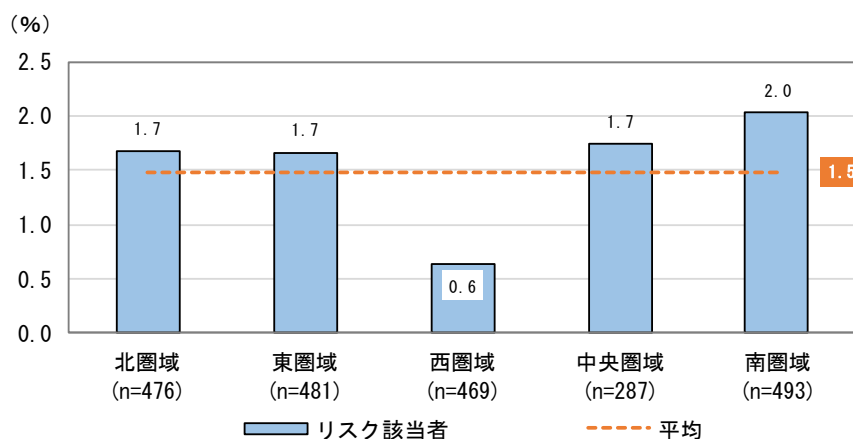
低栄養傾向の高齢者は全体平均が1.5%となっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均1.3%、「女性」が平均1.8%で、「女性」のほうが0.5ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「東圏域」「中央圏域」「南圏域」が全体平均の1.5%を超えています。



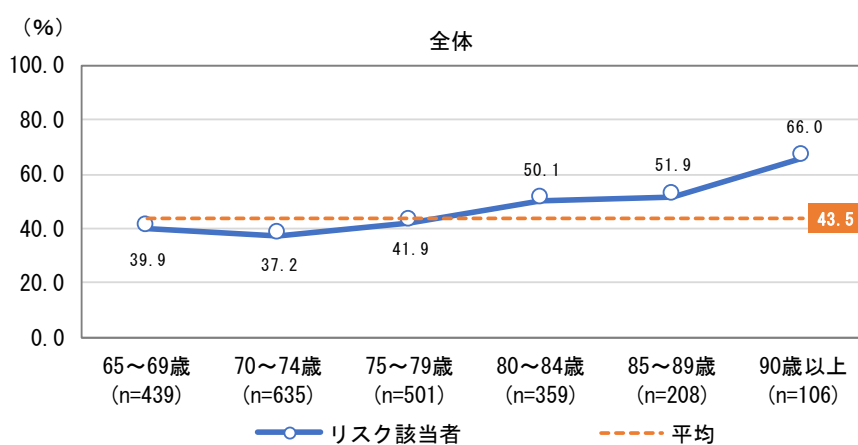
(5) 認知

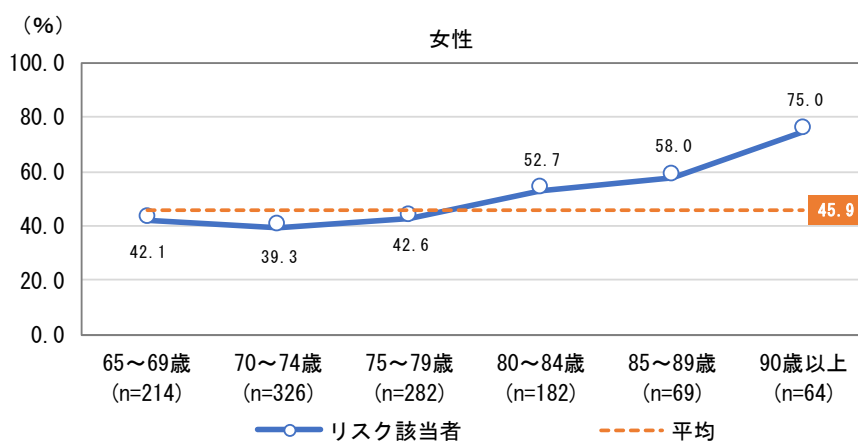
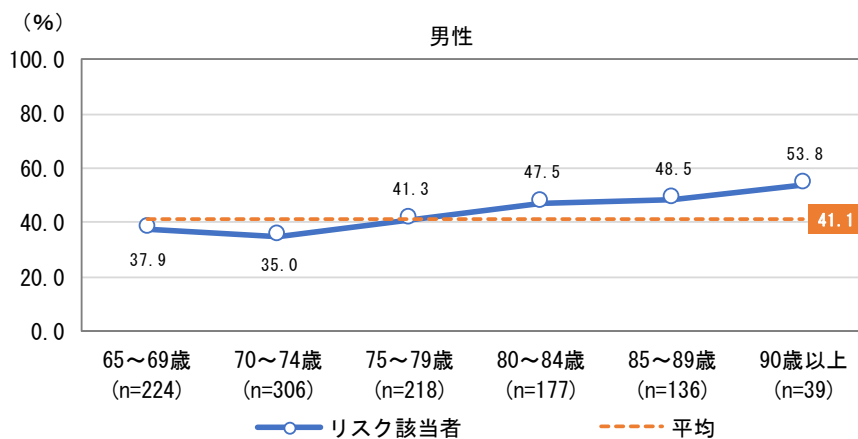
以下の項目に該当する人を、認知機能が低下している高齢者（リスク該当者）と判定しました。

設問			該当する選択肢
問4	Q1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

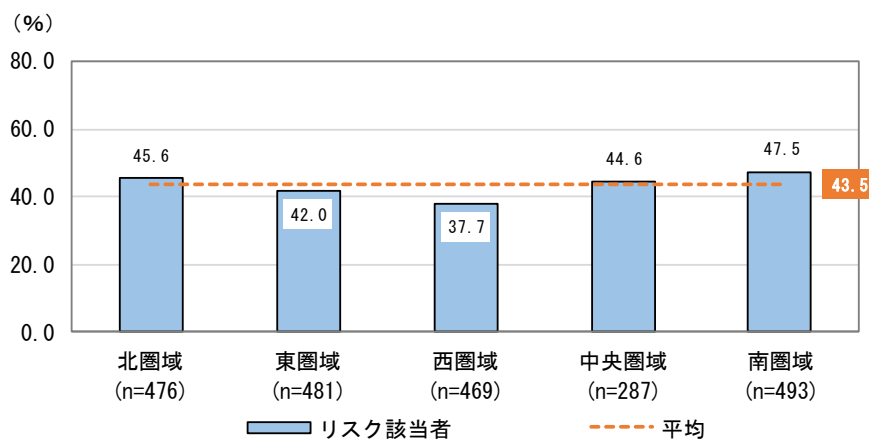
認知機能が低下している高齢者は全体平均が43.5%で、75歳以降は年齢が上がるほど割合が高くなっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均41.1%、「女性」が平均45.9%で、「女性」のほうが4.8ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「中央圏域」「南圏域」が全体平均の43.5%を超えています。



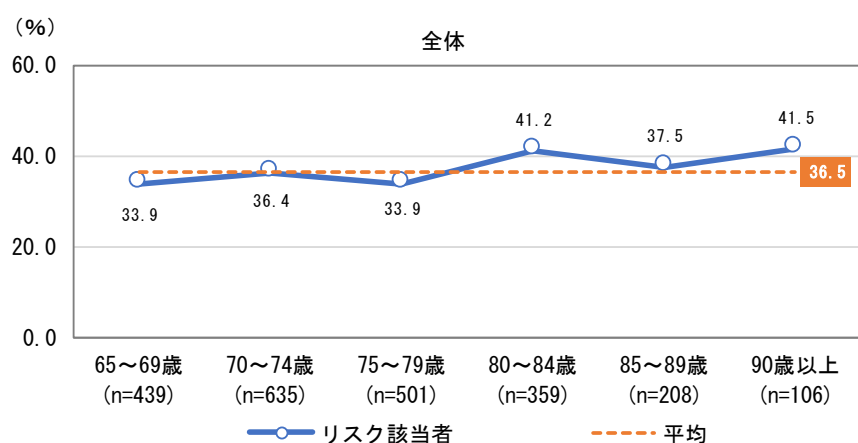
(6) うつ

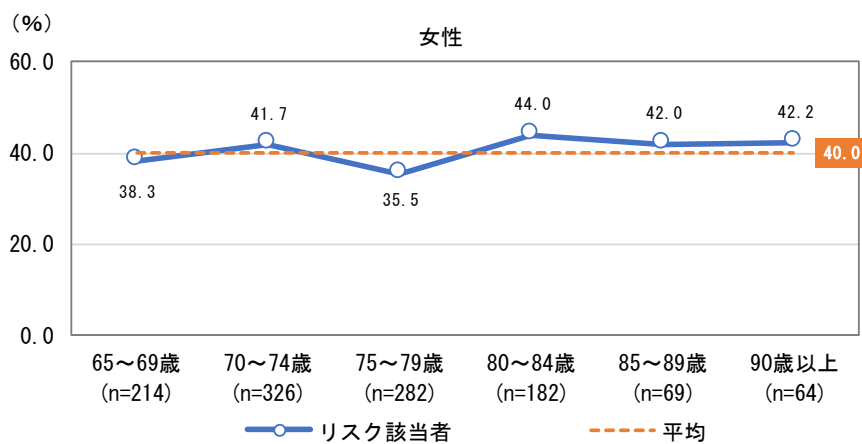
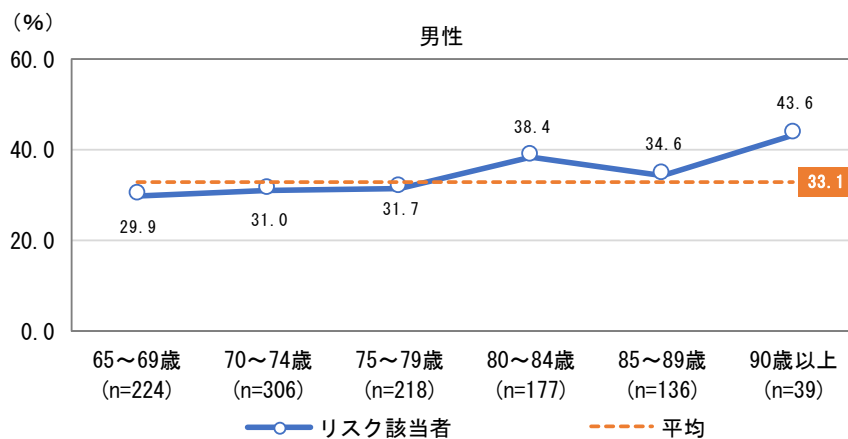
2項目のうち1項目以上に該当する人を、うつ傾向のある高齢者（リスク該当者）と判定しました。

設問			該当する選択肢
問7	Q6	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7	Q7	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

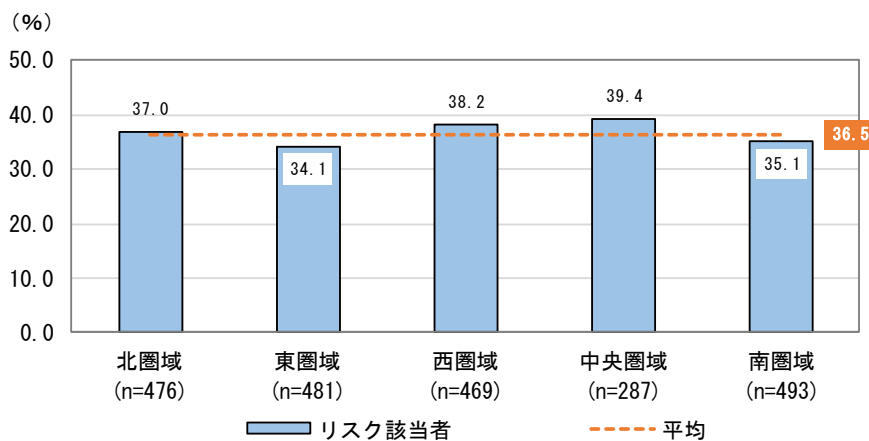
うつ傾向のある高齢者は全体平均が36.5%となっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均33.1%、「女性」が平均40.0%で、「女性」のほうが6.9ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「北圏域」「西圏域」「中央圏域」が全体平均の36.5%を超えています。



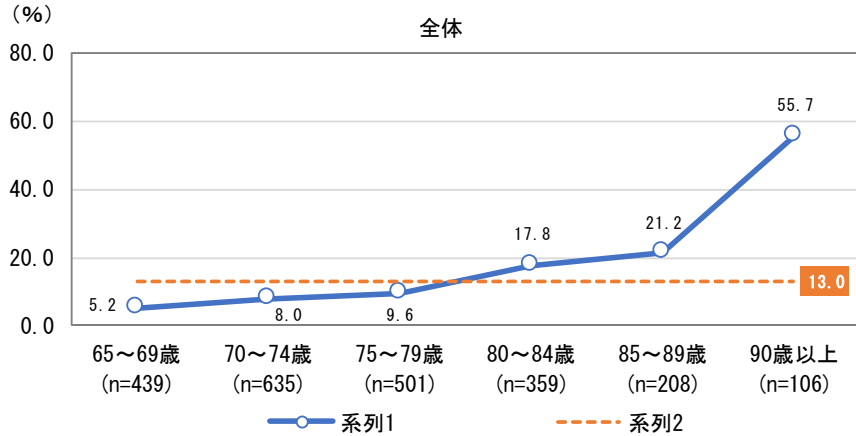
(7) 手段的自立度 (IADL)

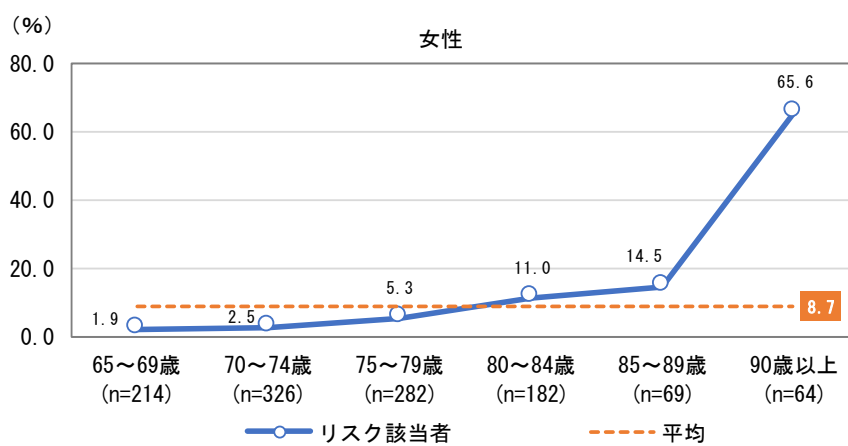
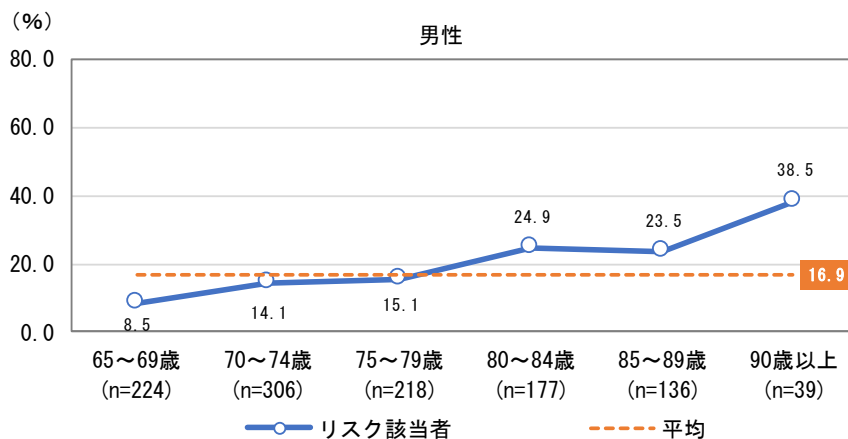
各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価し、4点以下を手段的自立度が低下している高齢者（リスク該当者）として判定しました。

設問		該当する選択肢
問4	Q2	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4	Q3	自分で食品・日用品の買物をしていますか。 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4	Q4	自分で食事の用意をしていますか。 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4	Q5	自分で請求書の支払いをしていますか。 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4	Q6	自分で預貯金の出し入れをしていますか。 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

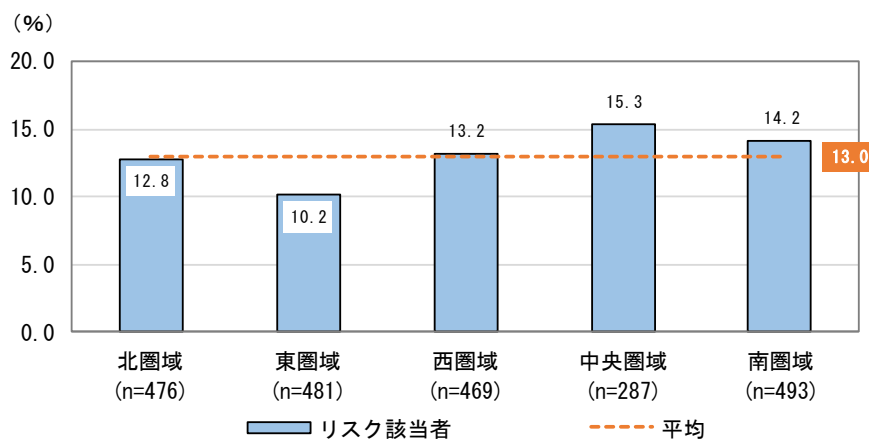
手段的自立度が低下している高齢者は全体平均が13.0%で、年齢が上がるほど割合が高くなっています。

また、性・年齢別でみると、「男性」が平均16.9%、「女性」が平均8.7%で、「男性」のほうが8.2ポイント多くなっています。





さらに、圏域別でみると、「西圏域」「中央圏域」「南圏域」が全体平均の13.0%を超えています。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

第3章 在宅介護実態調査の結果

●調査目的

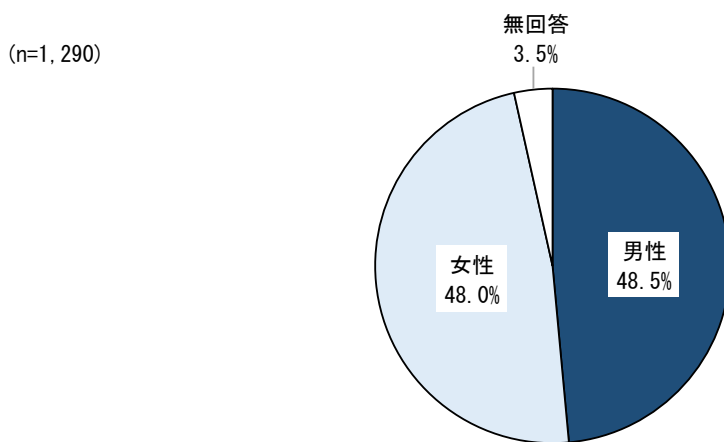
在宅介護実態調査は、「家族等介護者の就労継続」や「要介護者の適切な在宅生活の継続」などについての、客観的な状態把握とその達成に向けた施策検討を行うことなどを目的として実施しました。

I 回答者の属性

(1) 性別

A票	問1	あなたの身体上の性別は	○は任意
----	----	-------------	------

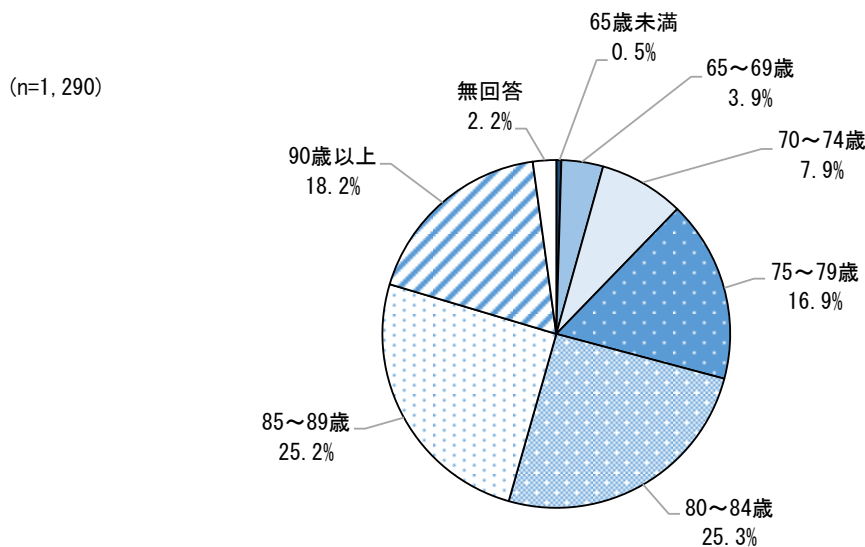
性別について、「男性」が48.5%、「女性」が48.0%となっています。



(2) 年齢

A票	問2	年齢について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	-----------------	------

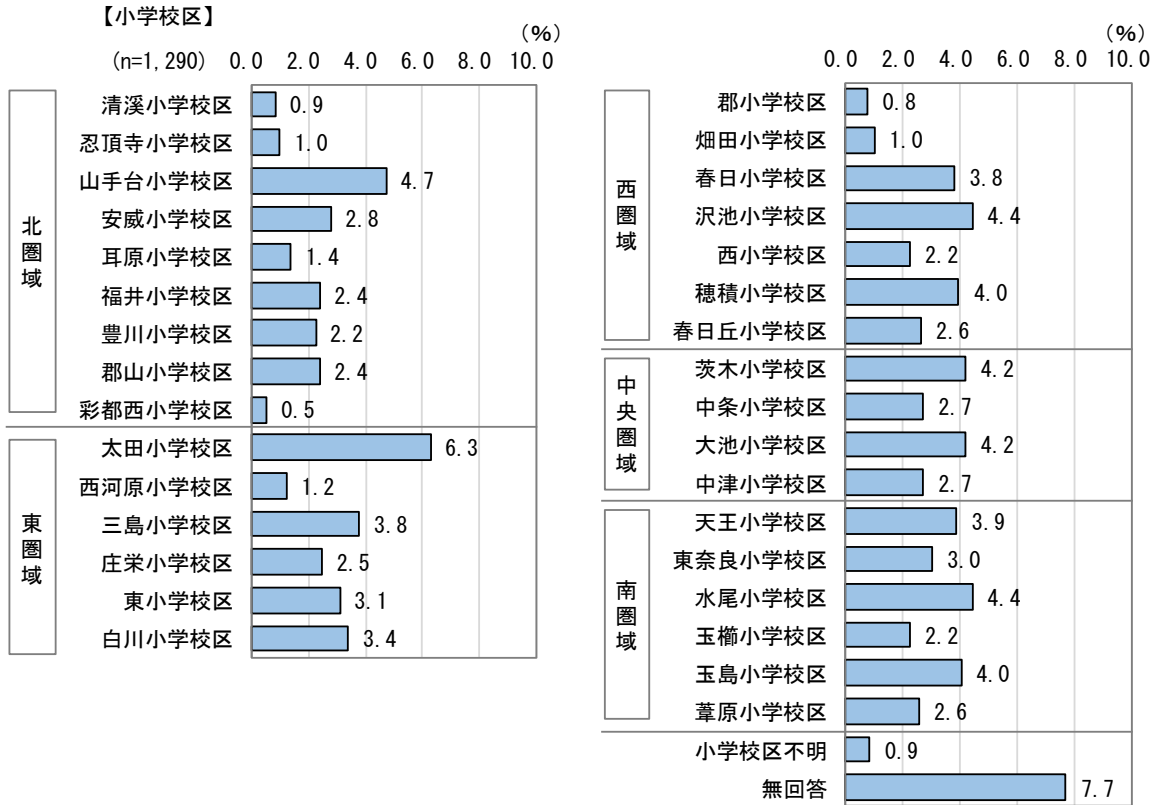
年齢について、「80～84歳」が25.3%で最も多く、次いで「85～89歳」が25.2%、「90歳以上」が18.2%となっています。



(3) 居住地

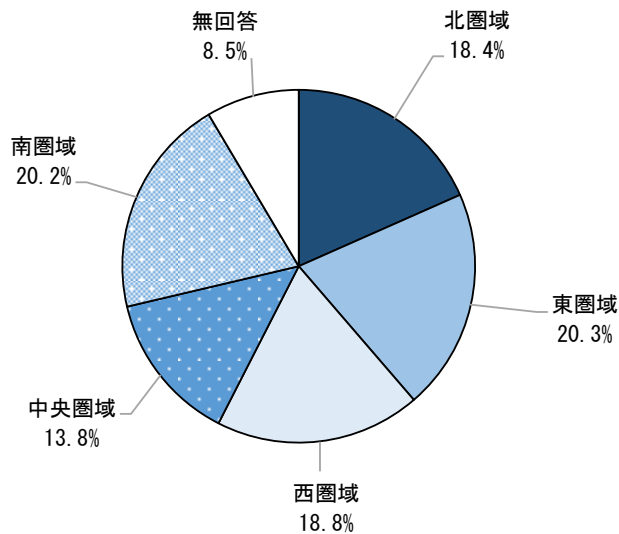
A票	問3	お住まいの町名を教えてください。	記述
----	----	------------------	----

居住地について、圏域別で見ると、「東圏域」が20.3%で最も多く、次いで「南圏域」が20.2%、「西圏域」が18.8%となっています。



【日常生活圏域】

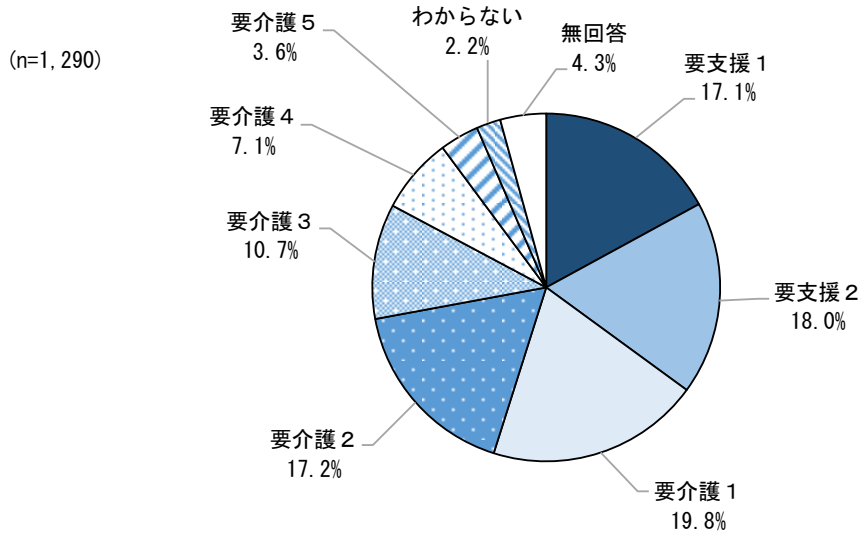
(n=1,290)



(4) 要介護度

A票	問4	要介護度について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	-------------------	------

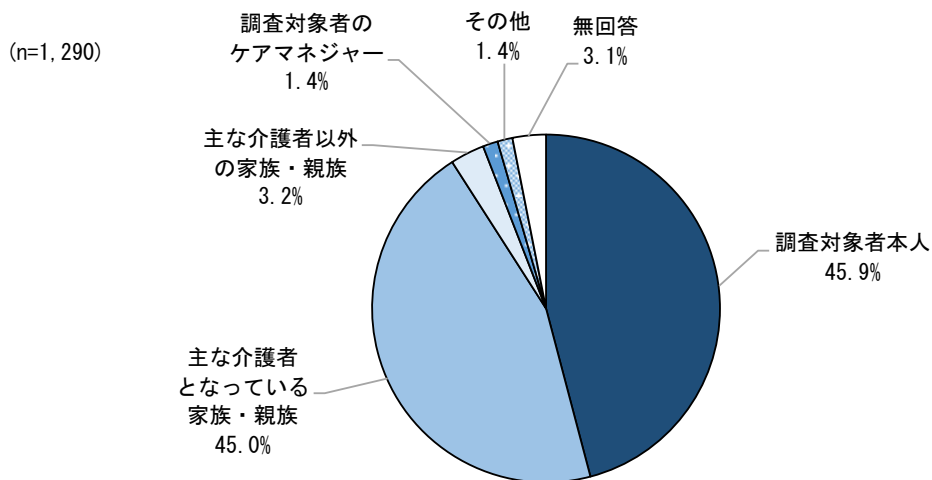
要介護度について、「要介護1」が19.8%で最も多く、次いで「要支援2」が18.0%、「要介護2」が17.2%となっています。



(5) アンケート記入者

A票	問5	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。	○は1つ
----	----	------------------------------	------

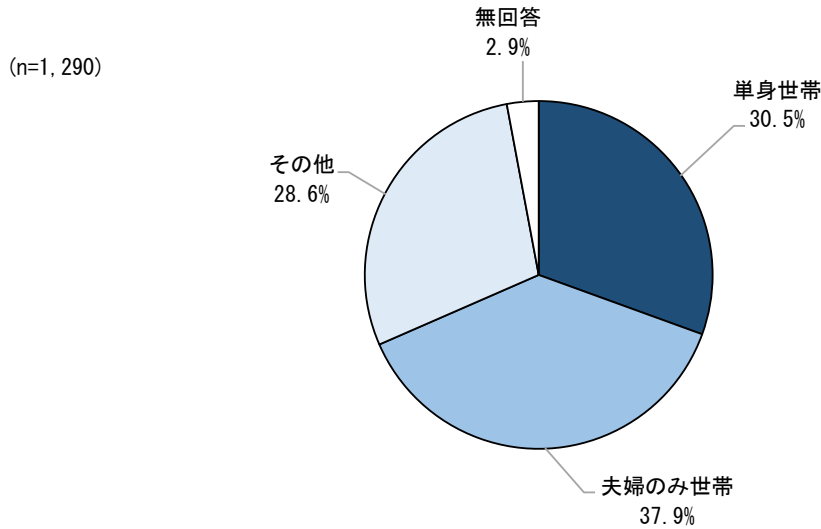
アンケート記入者について、「調査対象者本人」が45.9%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が45.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.2%となっています。



(6) 世帯類型

A票	問6	世帯類型について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	-------------------	------

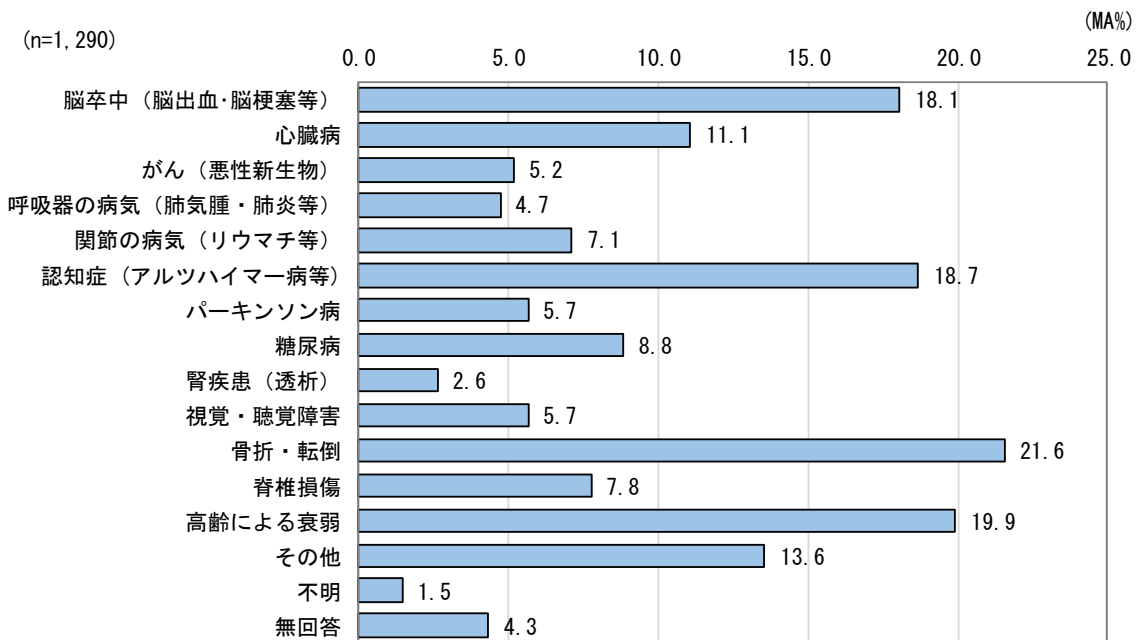
世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が37.9%で最も多く、次いで「単身世帯」が30.5%、「その他」が28.6%となっています。



(7) 介護・介助が必要になった主な原因

A票	問7	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。	○はいくつでも
----	----	------------------------	---------

介護・介助が必要になった主な原因について、「骨折・転倒」が21.6%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が19.9%、「認知症（アルツハイマー病等）」が18.7%となっています。

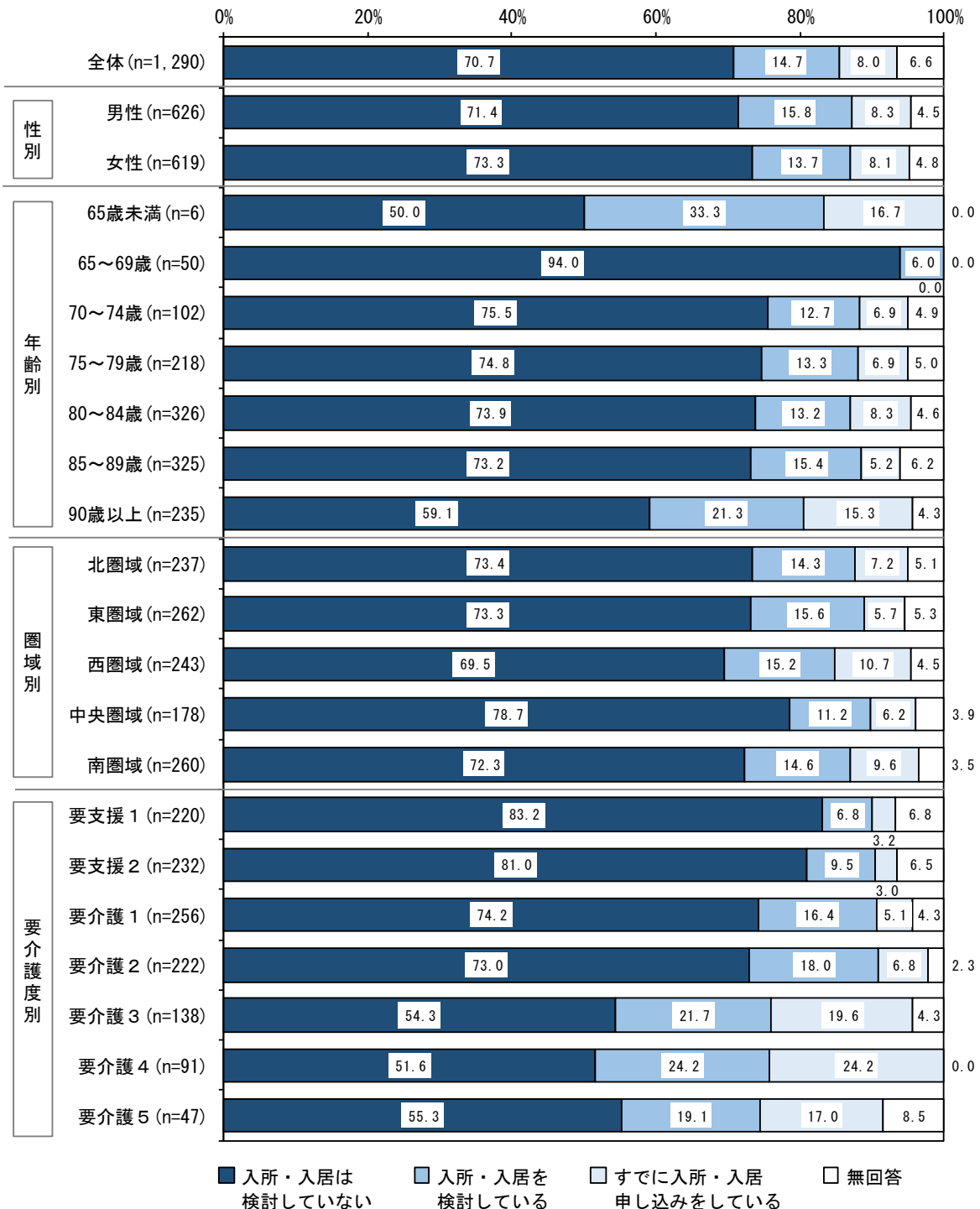


(8) 施設等への入所・入居の検討状況

A票	問8	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	------------------------------------	------

施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が70.7%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が14.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.0%となっています。

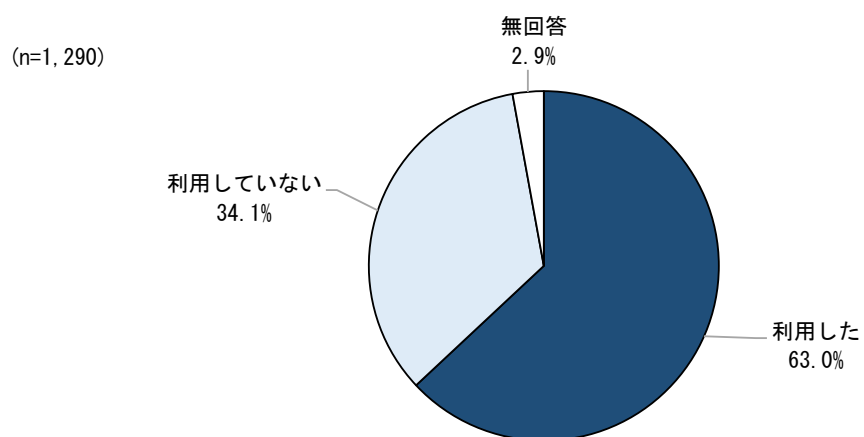
また、「入所・入居を検討している」を性別でみると、「男性」が15.8%、「女性」が13.7%で、「男性」のほうが2.1ポイント多くなっており、要介護度別でみると、「要介護4」が24.2%で最も多く、次いで「要介護3」が21.7%、「要介護5」が19.1%となっています。



(9) 介護保険サービスの利用の有無

A票	問9	令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。	○は1つ
----	----	---	------

介護保険サービスの利用の有無について、「利用した」が63.0%、「利用していない」が34.1%となっています。

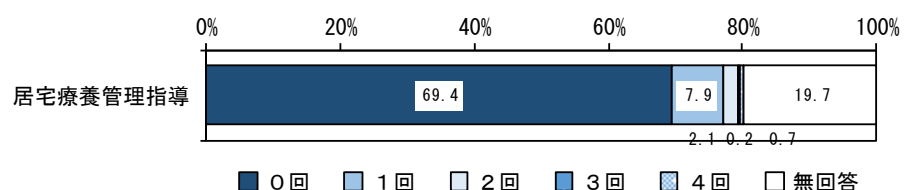
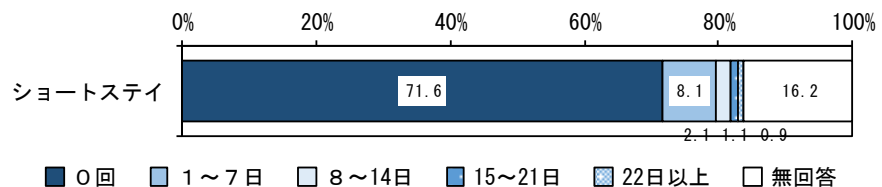
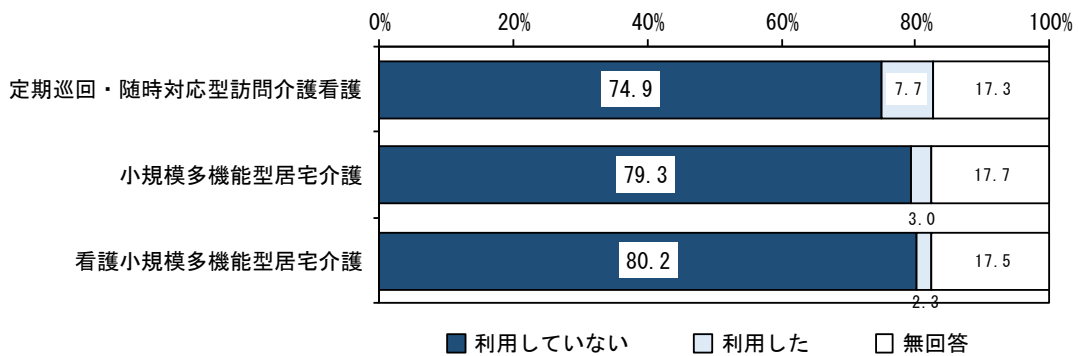
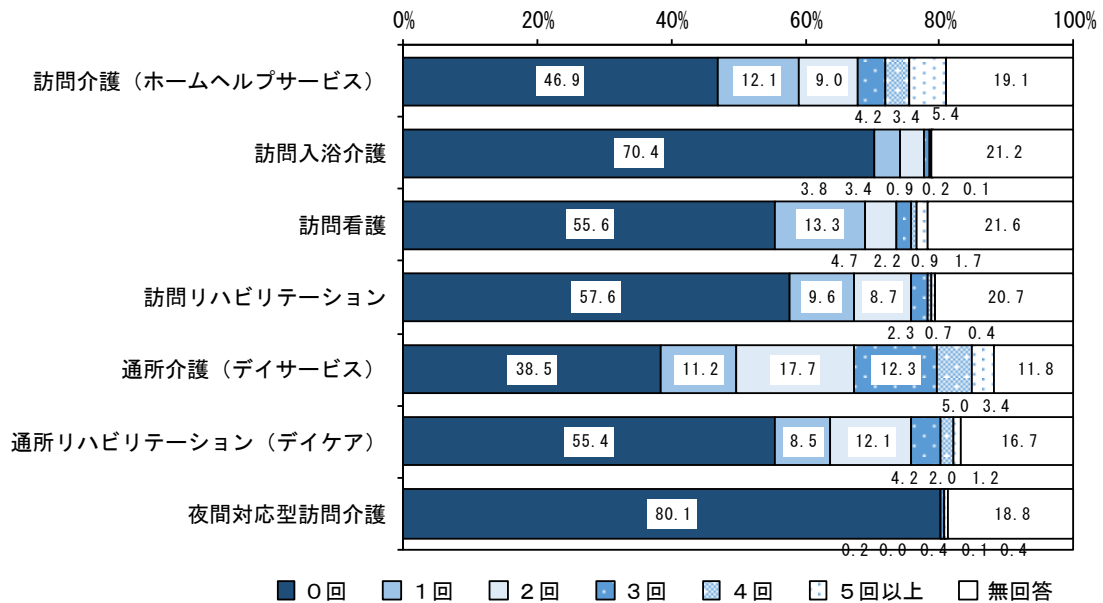


(10) 1か月間の介護保険サービスの利用状況

【問9で「利用した」と回答した方にお伺いします。】

A票	問10	介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。	○は1つ
-----------	------------	---	------

介護保険サービスを利用した人に、1か月間の利用状況について聞いたところ、「利用している」（「0回」以外）では「通所介護（デイサービス）」が49.6%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が34.1%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が28.0%となっています。

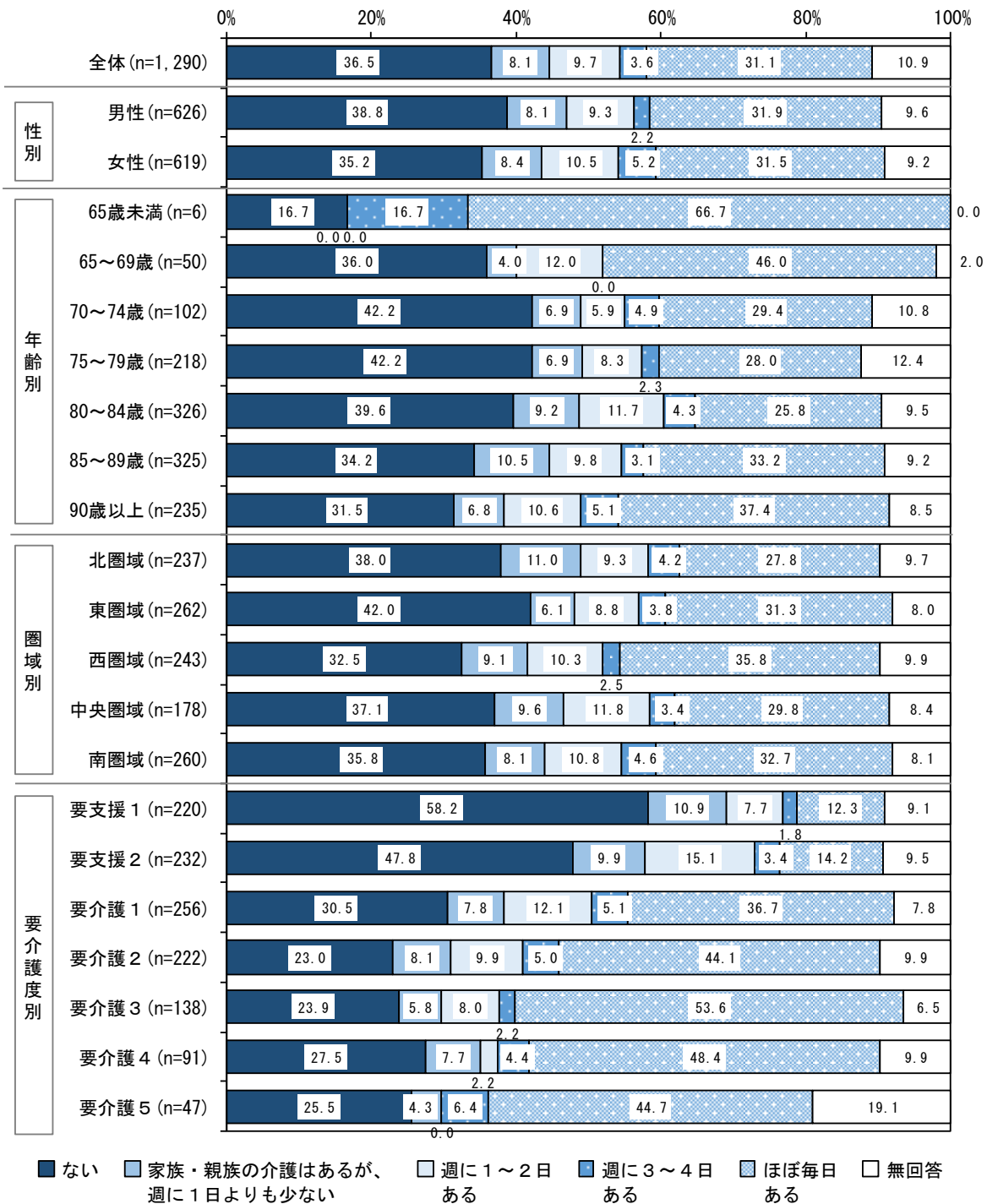


(11) 家族等による介護の頻度

A票	問11	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)	○は1つ
----	-----	---	------

家族や親族からの介護の頻度について、「ない」が36.5%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が31.1%、「週に1～2日ある」が9.7%となっています。

また、「あり」（「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」の合計）を性別でみると、「男性」が51.5%、「女性」が55.6%で、「女性」のほうが4.1ポイント多くなっており、要介護度別でみると、「要介護3」が69.6%で最も多く、次いで「要介護2」が67.1%、「要介護4」が62.7%となっています。

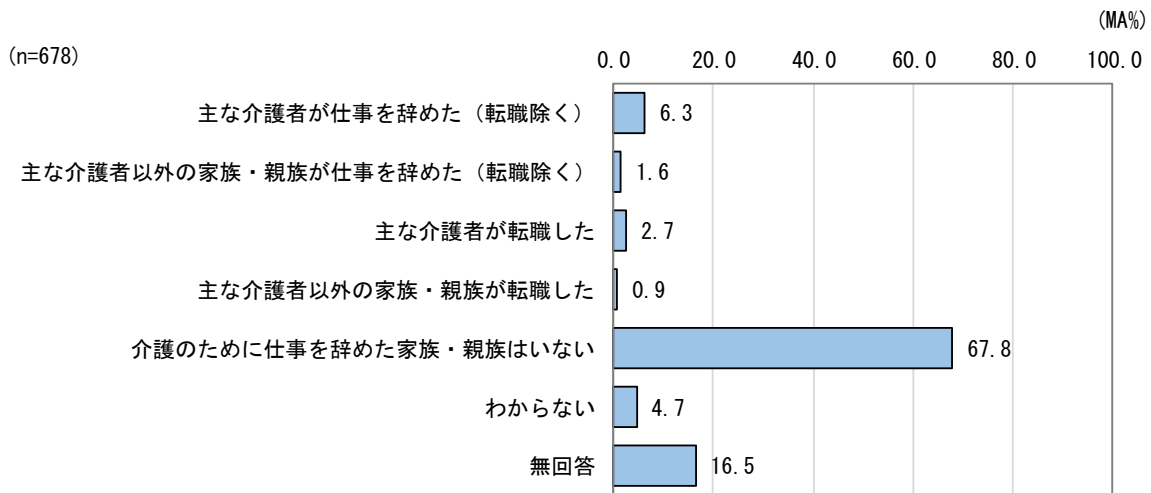


2 主な介護者について

(1) 介護のための離職の有無

B票	問1	ご家族やご親族の中で、ご本人様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。	○はいくつでも
----	----	---	---------

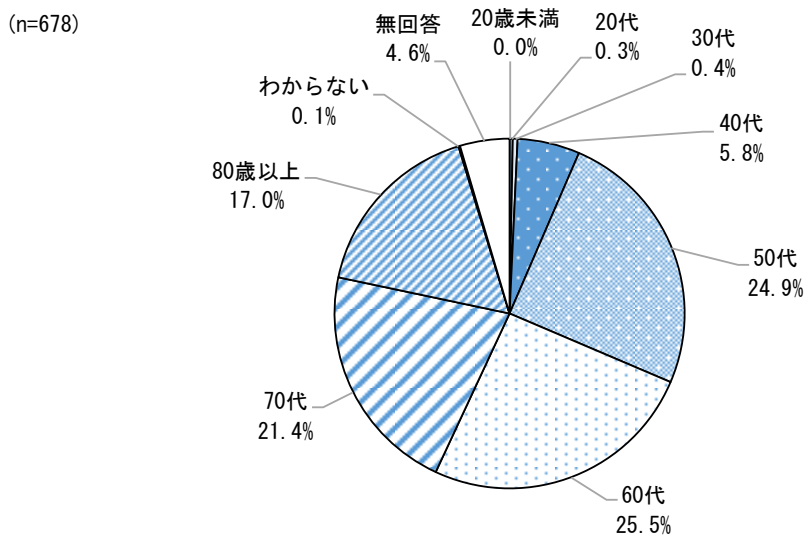
介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた人はいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が67.8%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が6.3%、「わからない」が4.7%となっています。



(2) 主な介護者の年齢

B票	問2	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	-------------------------	------

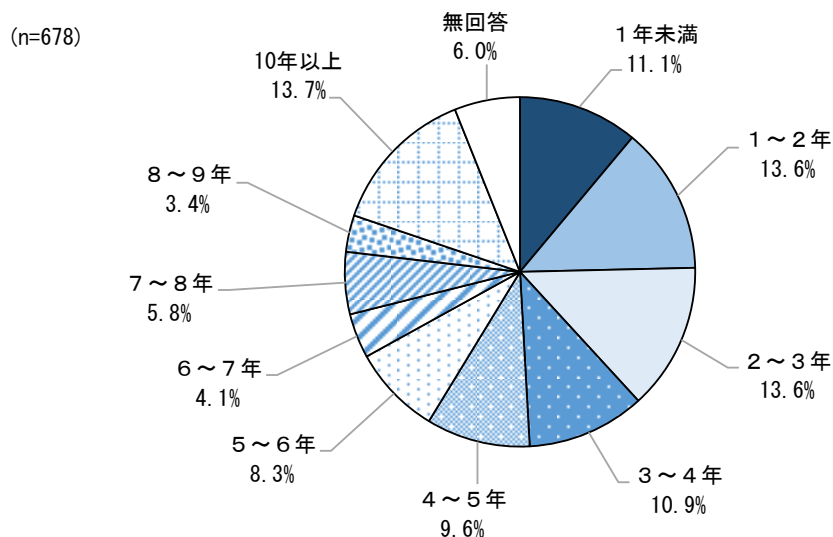
主な介護者の年齢について、「60代」が25.5%で最も多く、次いで「50代」が24.9%、「70代」が21.4%となっています。



(3) 介護の期間

B票	問3	どのくらいの期間、介護をされていますか。	○は1つ
-----------	-----------	----------------------	------

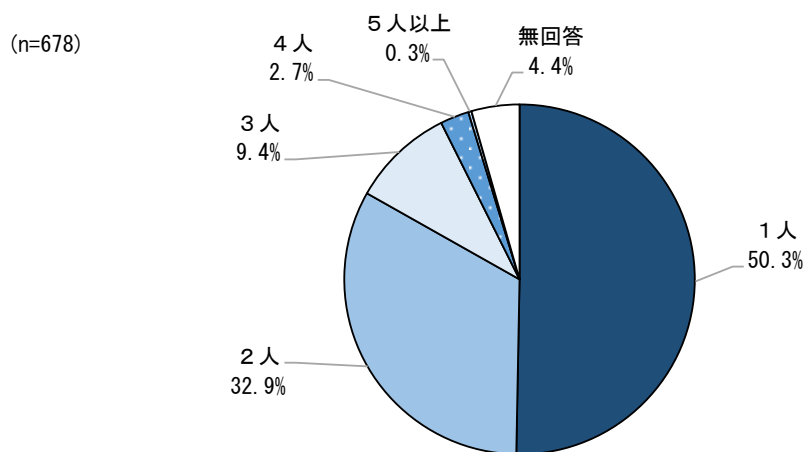
介護の期間について、「10年以上」が13.7%で最も多く、次いで「1～2年」「2～3年」が13.6%、「1年未満」が11.1%となっています。



(4) 介護者の人数

B票	問4	主な介護者を含め、家族の何人で見ていますか。	○は1つ
-----------	-----------	------------------------	------

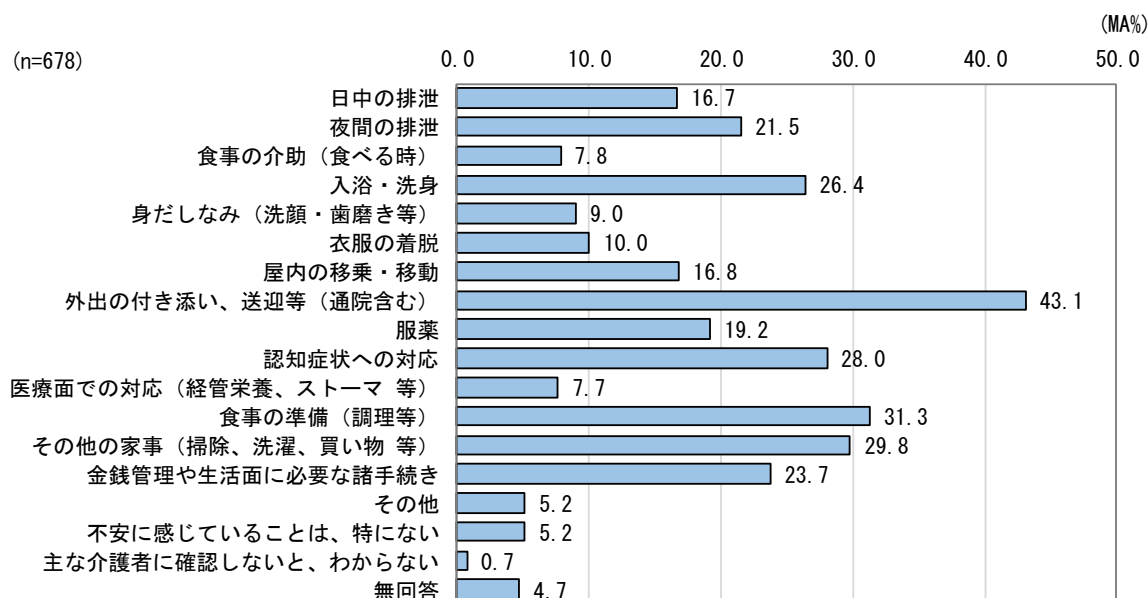
家族の看ている人数について、「1人」が50.3%で最も多く、次いで「2人」が32.9%、「3人」が9.4%となっています。



(5) 主な介護者が不安に感じる介護

B票	問5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、ご回答ください。	○は3つ
----	----	--	------

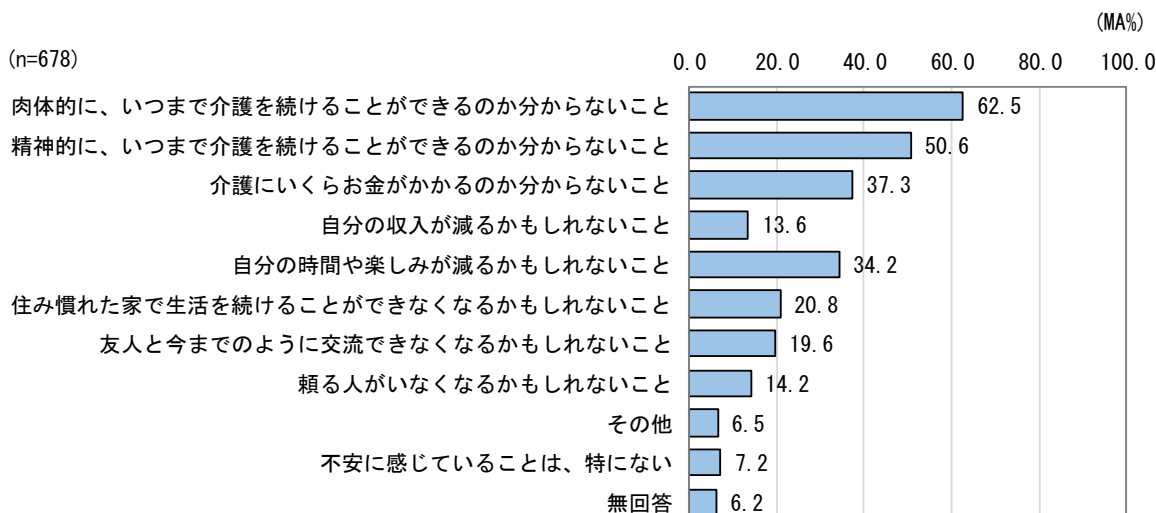
主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、「外出の付き添い、送迎等（通院含む）」が43.1%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が31.3%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が29.8%となっています。



(6) 主な介護者自身の不安

B票	問6	今後、介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、ご回答ください。	○はいくつでも
----	----	--	---------

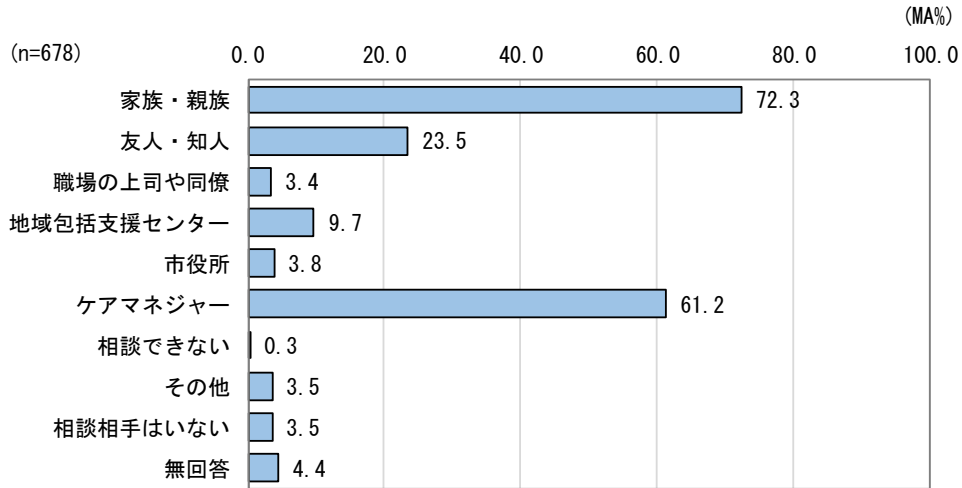
今後、介護を続けていくにあたっての介護者自身の不安について、「肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと」が62.5%で最も多く、次いで「精神的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと」が50.6%、「介護にいくらお金がかかるのか分からないこと」が37.3%となっています。



(7) 主な介護者自身の困りごとの相談相手

B票	問7	介護者自身の困りごとの相談相手について、ご回答ください。	○はいくつでも
----	----	------------------------------	---------

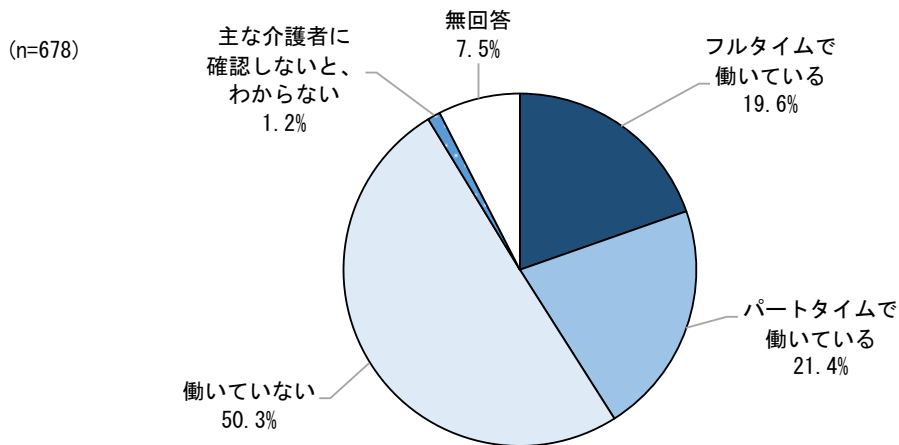
介護者自身の困りごとの相談相手について、「家族・親族」が72.3%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が61.2%、「友人・知人」が23.5%となっています。



(8) 主な介護者の勤務形態

B票	問8	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。	○は1つ
----	----	------------------------------	------

主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が50.3%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が21.4%、「フルタイムで働いている」が19.6%となっています。

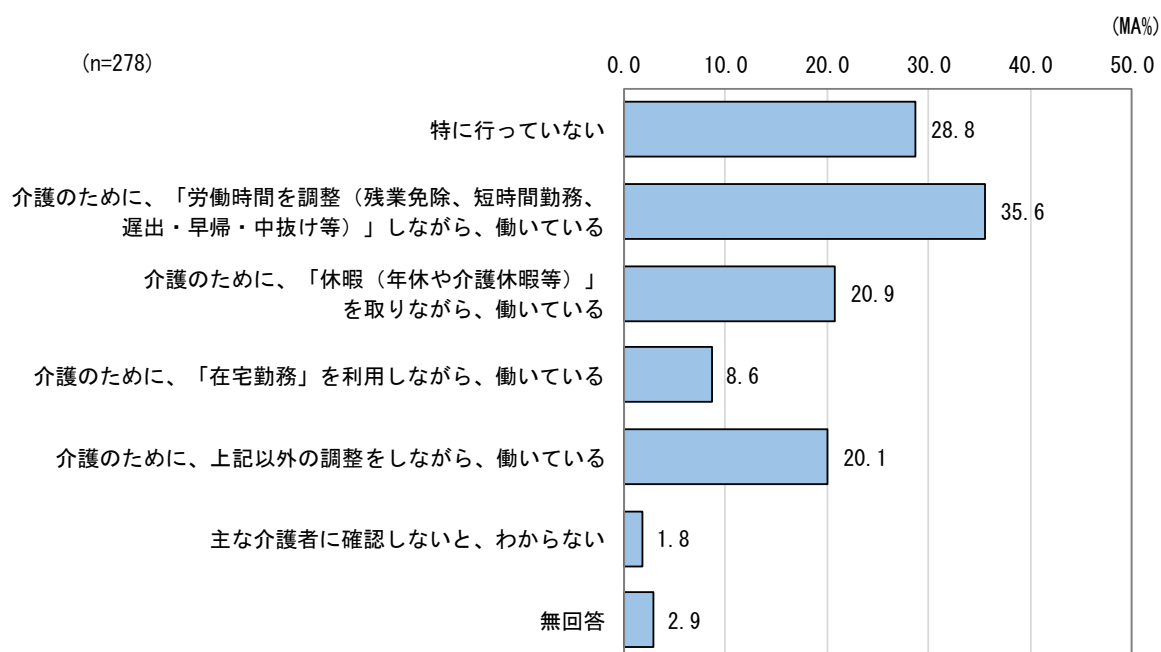


(9) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

【問8で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

B票	問9	主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方について、調整等をしていますか。	○はいくつでも
-----------	-----------	---	---------

働いている介護者の人に、働き方の調整等について聞いたところ、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.6%で最も多く、次いで「特に行っていない」が28.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.9%となっています。

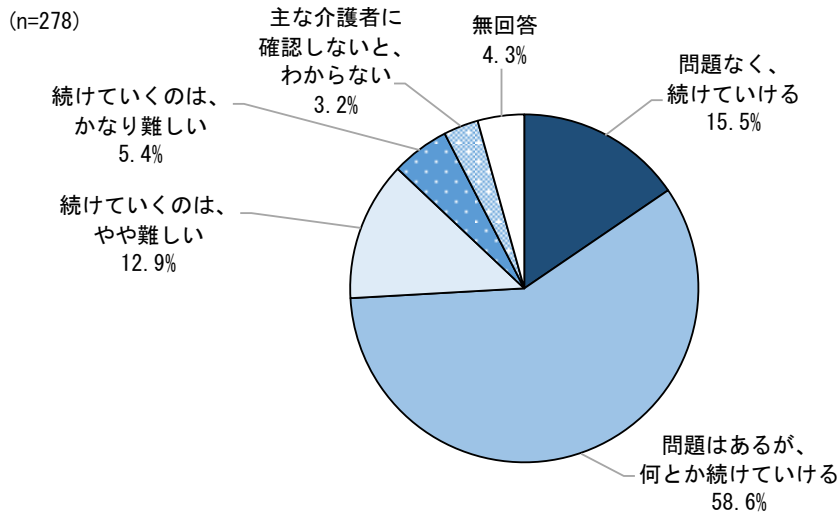


(10) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

【問8で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

B票	問10	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	○は1つ
-----------	------------	---------------------------------	------

働いている介護者の人に、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.6%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が15.5%、「続けていくのは、やや難しい」が12.9%となっています。

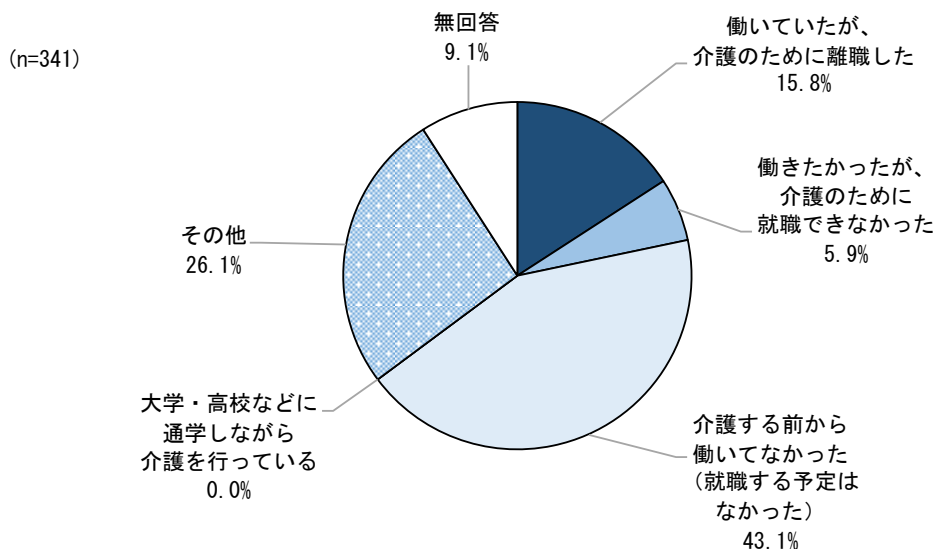


(11) 就労していない理由

【問8で「働いていない」と回答した方にお伺いします。】

B票	問11	働いていない理由について、ご回答ください。	○は1つ
-----------	------------	-----------------------	------

働いていない介護者の人に、その理由について聞いたところ、「介護する前から働いてなかった（就職する予定はなかった）」が43.1%で最も多く、次いで「その他」が26.1%、「働いていたが、介護のために離職した」が15.8%となっています。

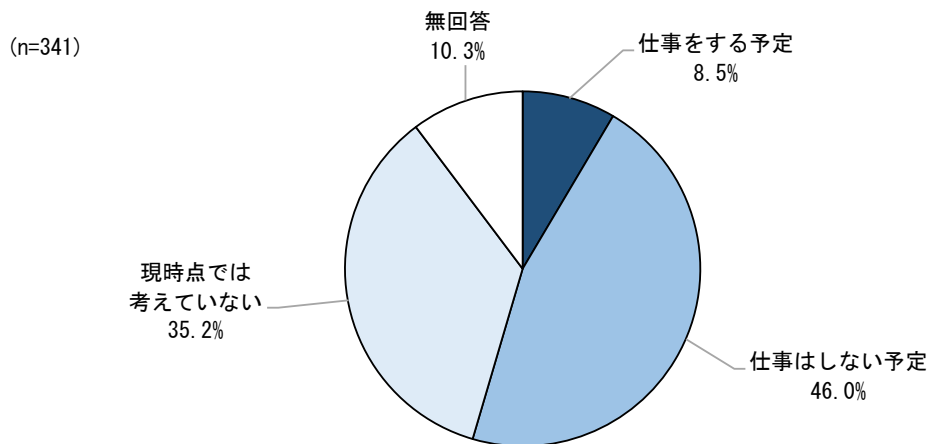


(12) 介護が終了した後の介護者自身の就労意向

【問8で「働いていない」と回答した方にお伺いします。】

B票	問12	介護が終了した後の介護者ご自身の就労（パート含む）について、考えていることはありますか。	○は1つ
----	-----	--	------

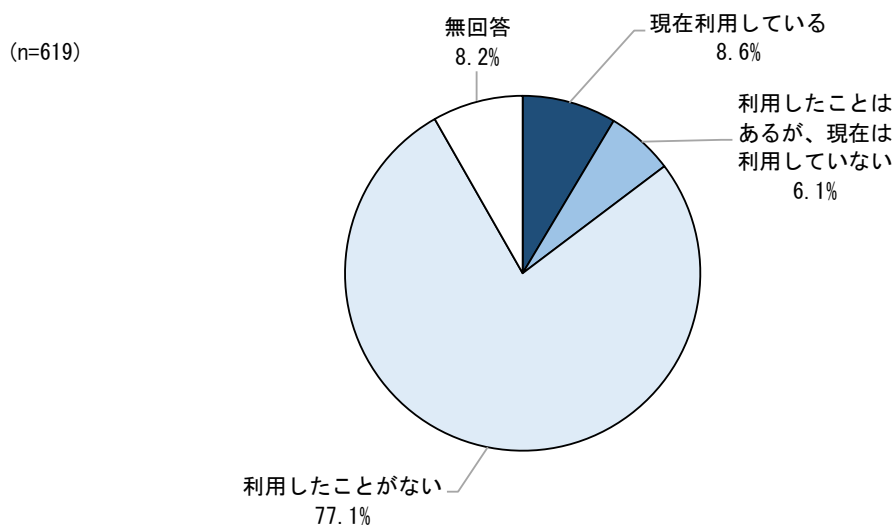
働いていない介護者の人に、介護が終了した後の介護者自身の就労（パート含む）について聞いたところ、「仕事はしない予定」が46.0%で最も多く、次いで「現時点では考えていない」が35.2%、「仕事をする予定」が8.5%となっています。



(13) はつらつパスポートの利用状況

B票	問13	自宅等で安心して療養生活が送れるように、市では「はつらつパスポート（みんなで連携編）」を作成し、要介護（要支援）認定等を受けて介護保険サービス等を利用される方に配布していますが、利用したことがありますか。	○は1つ
----	-----	--	------

「はつらつパスポート（みんなで連携編）」を利用したことがあるかについて、「利用したことがない」が77.1%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.6%、「利用したことはあるが、現在は利用していない」が6.1%となっています。



第3章 在宅介護実態調査の結果

第4章 介護保険事業者調査の結果

●調査目的

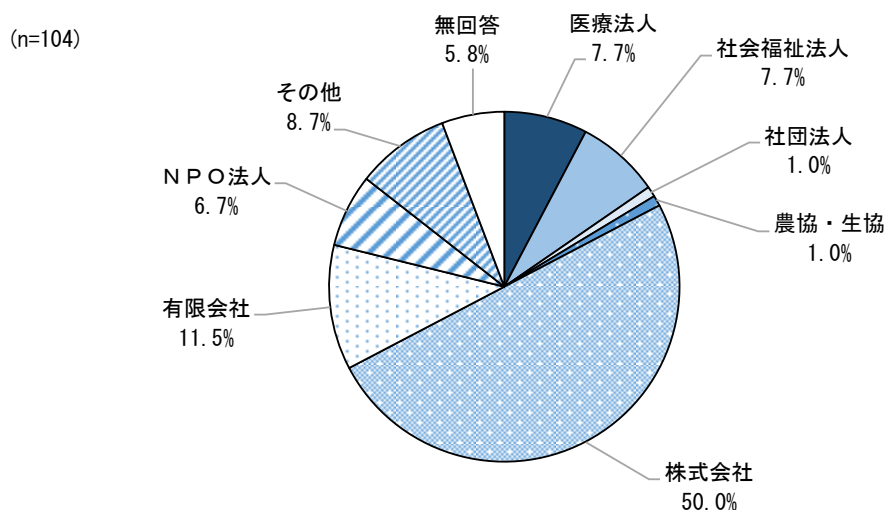
介護保険事業者調査は、介護サービスの提供体制、提供内容等を把握することにより、介護サービスの提供面に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることなどを目的として実施しました。

I 法人の概要

(1) 法人種別

問 I	貴法人の概要について教えてください。	○は1つ
-----	--------------------	------

法人種別について、「株式会社」が50.0%で最も多く、次いで「有限会社」が11.5%、「その他」が8.7%となっています。



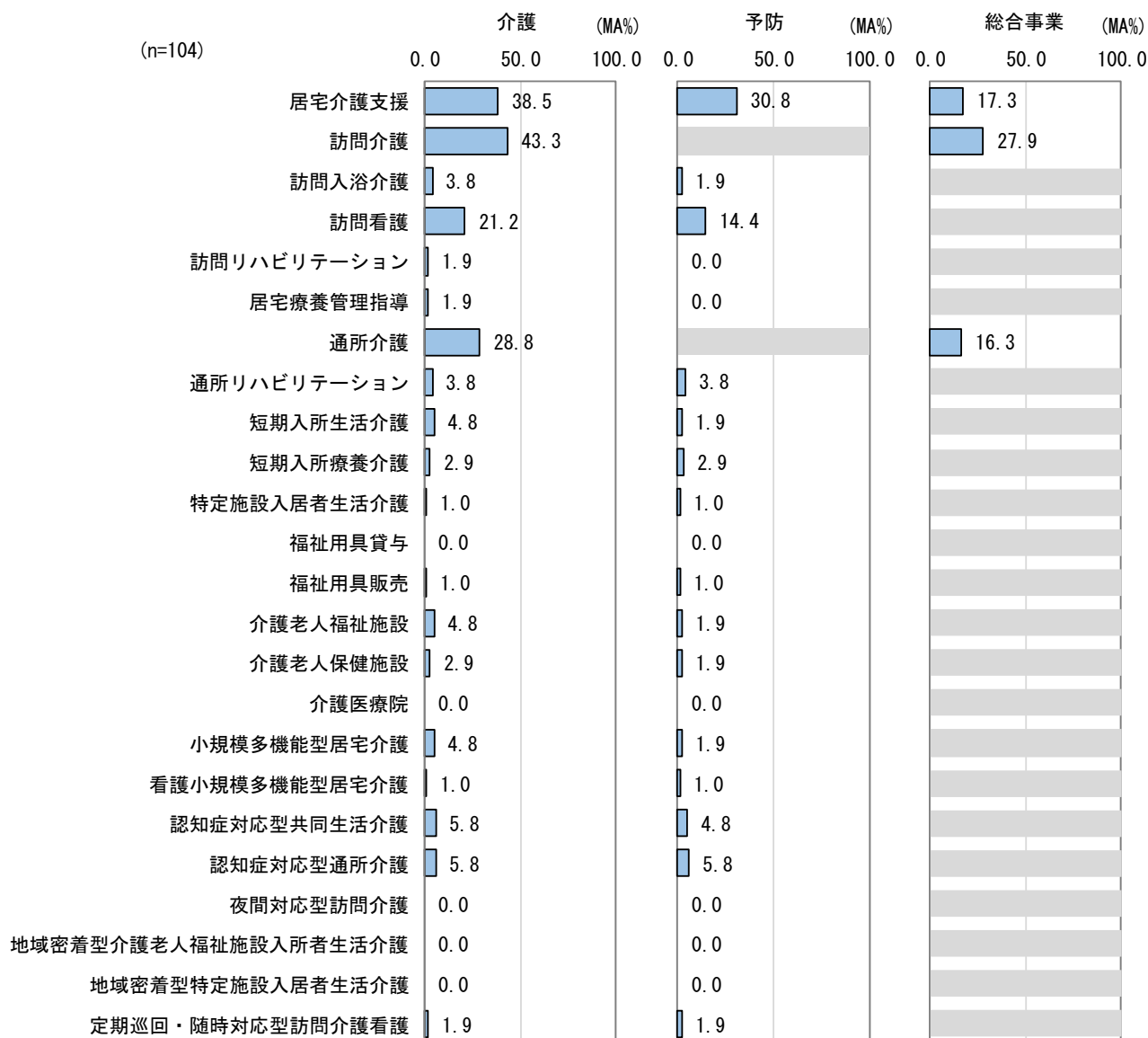
(2) 現在提供しているサービス

問2

令和4年10月時点で提供しているサービス及び3年以内に参入を考えているサービスについてお聞きします。

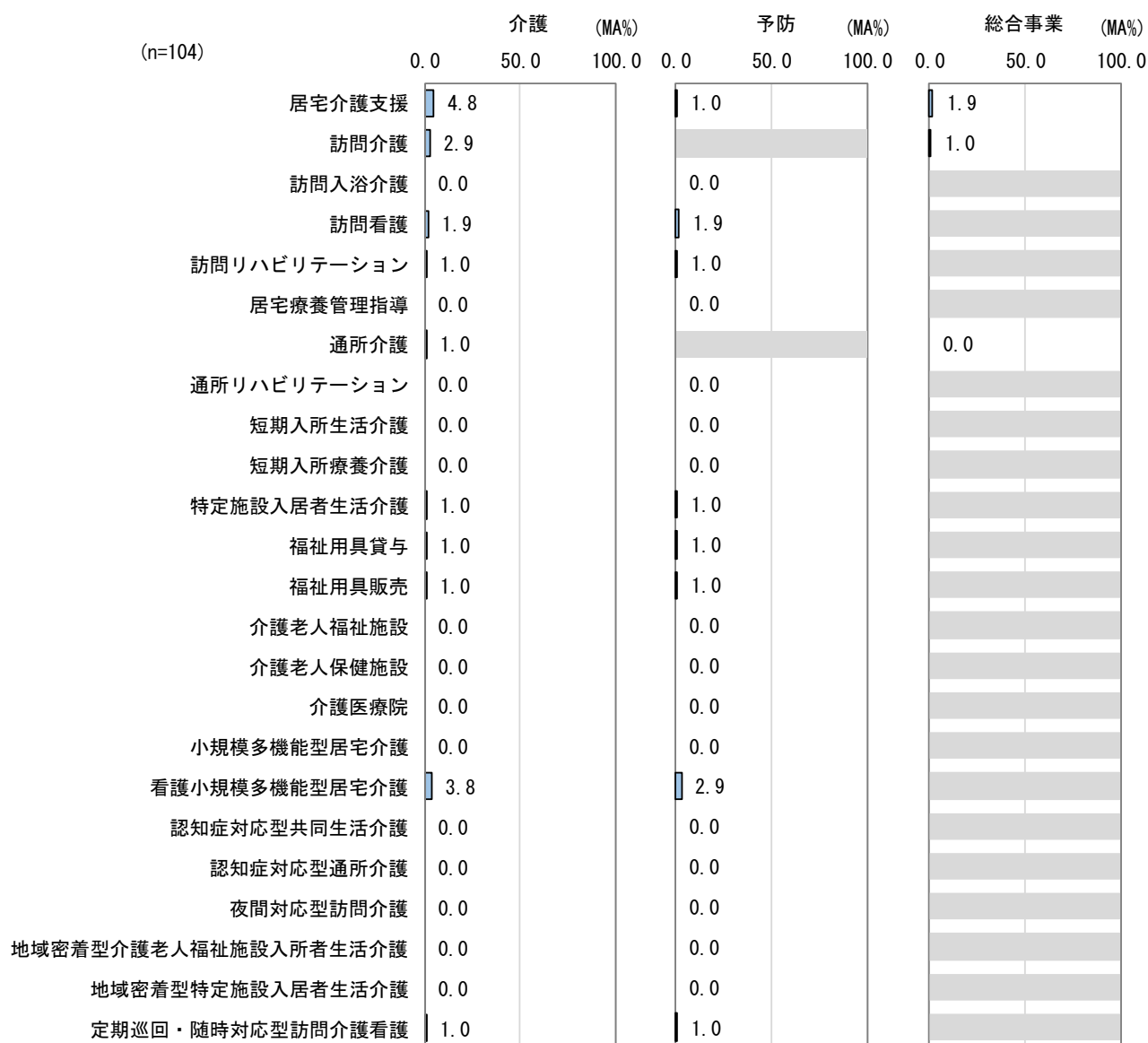
○は1つ

現在提供しているサービスについて、「介護」では「訪問介護」が43.3%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が38.5%、「通所介護」が28.8%、「予防」では「居宅介護支援」が30.8%で最も多く、次いで「訪問看護」が14.4%、「認知症対応型通所介護」が5.8%、「総合事業」では「訪問介護」が27.9%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が17.3%、「通所介護」が16.3%となっています。



第4章 介護保険事業者調査の結果

3年以内に参入を考えているサービスについて、「介護」では「居宅介護支援」が4.8%で最も多く、「予防」では「看護小規模多機能型居宅介護」が2.9%で最も多く、「総合事業」では「居宅介護支援」が1.9%で最も多くなっています。



2 サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について

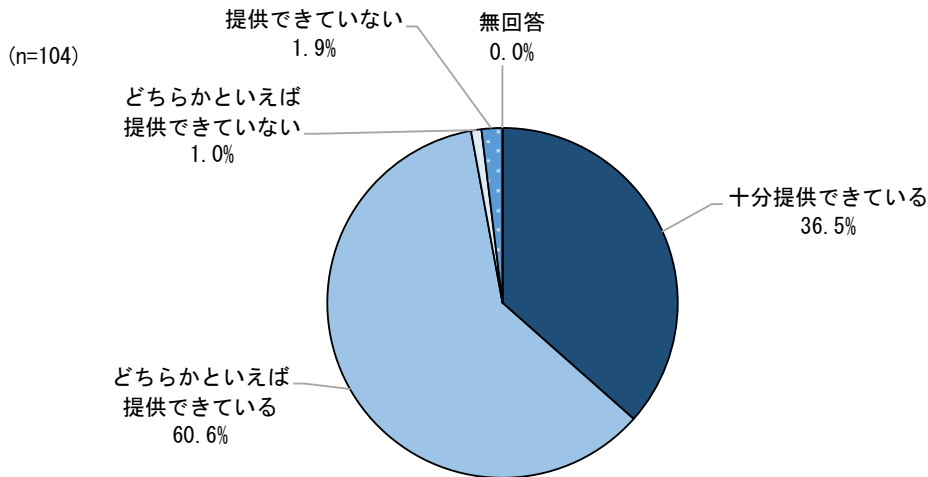
(1) サービス提供に対する自己評価

問3

サービス提供に対する自己評価について、全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思いますか。

○は1つ

サービス提供に対する自己評価として全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思うかについて、「どちらかといえば提供できている」が60.6%で最も多く、次いで「十分提供できている」が36.5%、「提供できていない」が1.9%となっています。



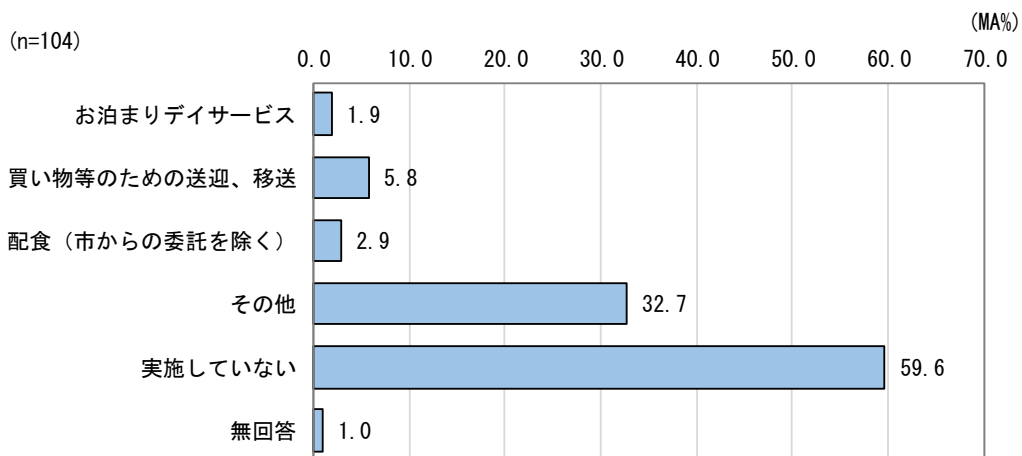
(2) 介護保険サービス以外の事業の実施状況

問4

貴法人独自で介護保険サービス以外の事業を実施していますか。

○はいくつでも

介護保険サービス以外で実施している事業について、「実施していない」が59.6%で最も多く、次いで「その他」が32.7%、「買い物等のための送迎、移送」が5.8%となっています。



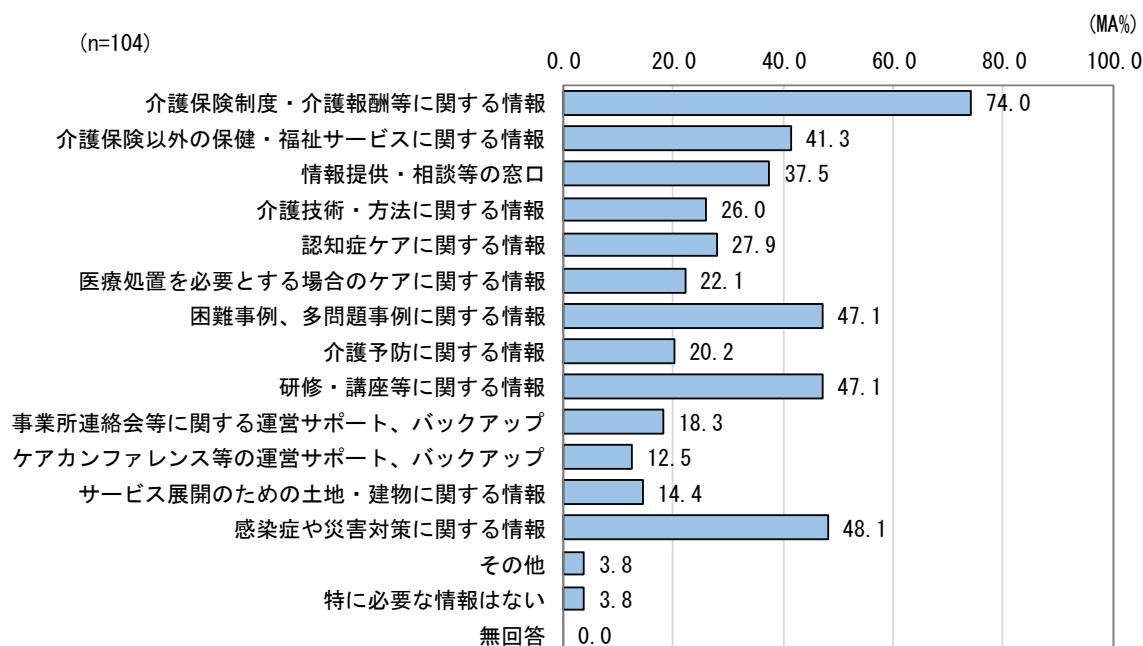
(3) 運営やサービス向上のために必要な情報や支援

問5

貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。以下から最も必要と考えられる情報・支援を選択してください。

○はいくつでも

運営やサービスの向上のために必要な情報や支援について、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が74.0%で最も多く、次いで「感染症や災害対策に関する情報」が48.1%、「困難事例、多問題事例に関する情報」「研修・講座等に関する情報」が47.1%となっています。



3 医療との連携について

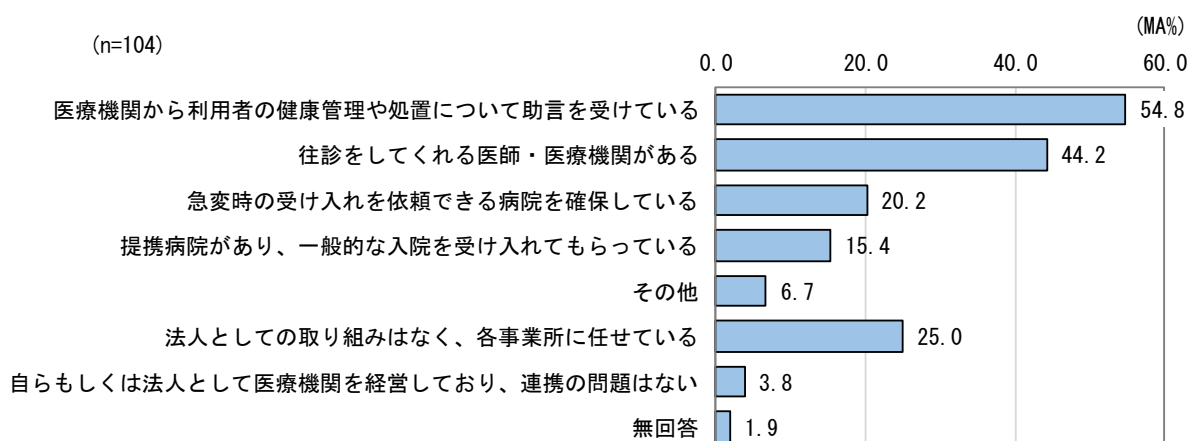
(1) 医療機関との連携について取り組んでいること

問6

医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか。

○はいくつでも

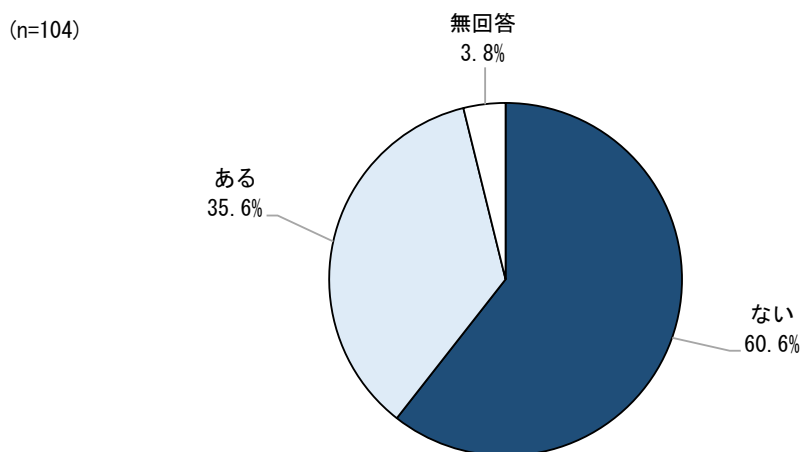
医療機関との連携について取り組んでいることについて、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が54.8%で最も多く、次いで「往診をしてくれる医師・医療機関がある」が44.2%、「法人としての取り組みはなく、各事業所に任せている」が25.0%となっています。



(2) 医療機関との連携について困難に感じること

問7	医療機関との連携について、困難に感じることはありますか。	○は1つ
-----------	------------------------------	------

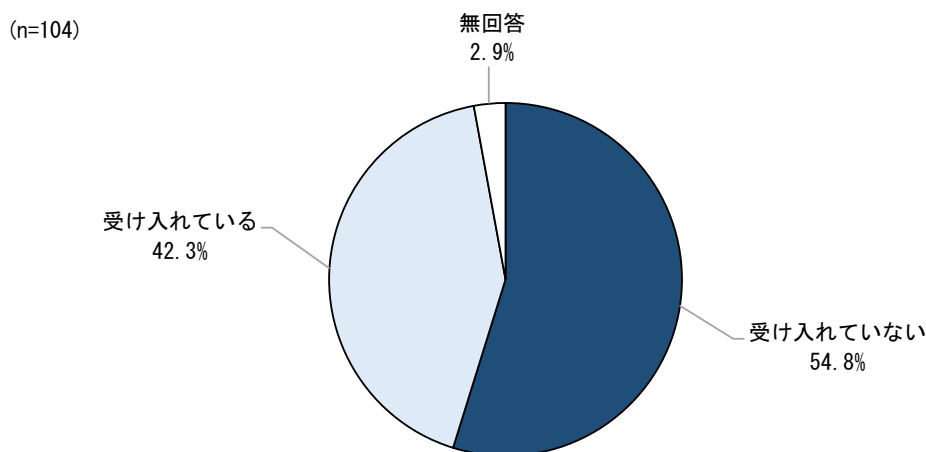
医療機関との連携で困難に感じることについて、「ない」が60.6%、「ある」が35.6%となっています。



(3) 医療ニーズの高い利用者の受入状況

問8	医療ニーズの高い利用者を受け入れていますか。	○は1つ
-----------	------------------------	------

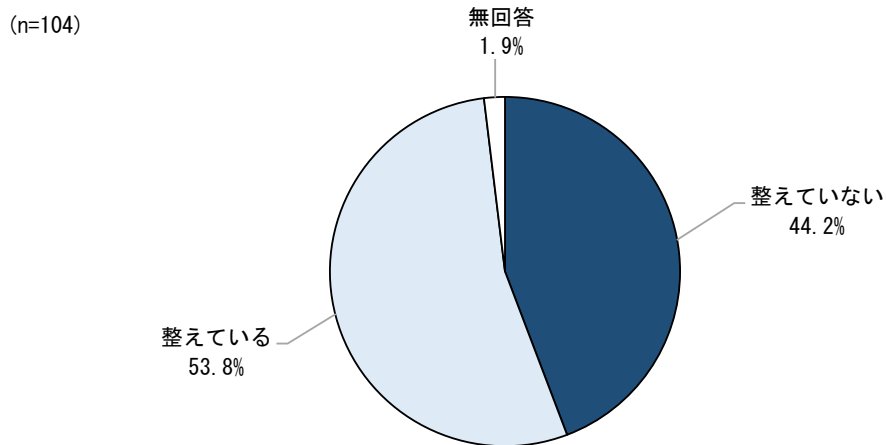
医療ニーズの高い利用者を受け入れているかについて、「受け入れている」が42.3%、「受け入れている」が54.8%となっています。



(4) 看取りの体制の整備状況

問9	看取りの体制を整備していますか。(ただし、ここでいう看取りとは、看取り加算の算定にかかわらず、終末期のケアにかかわることを指します)	○は1つ
-----------	--	------

看取りの体制を整備しているかについて、「整えていない」が44.2%、「整えている」が53.8%となっています。



(5) 看取りができない（困難な）理由

【問9で「整えていない」を回答した方のみ】

問9-1	看取りができない（困難な）理由について、ご記入ください。	記述
-------------	------------------------------	----

看取りの体制を整備していない事業者に、その理由について聞いたところ、以下のとおりとなっています。

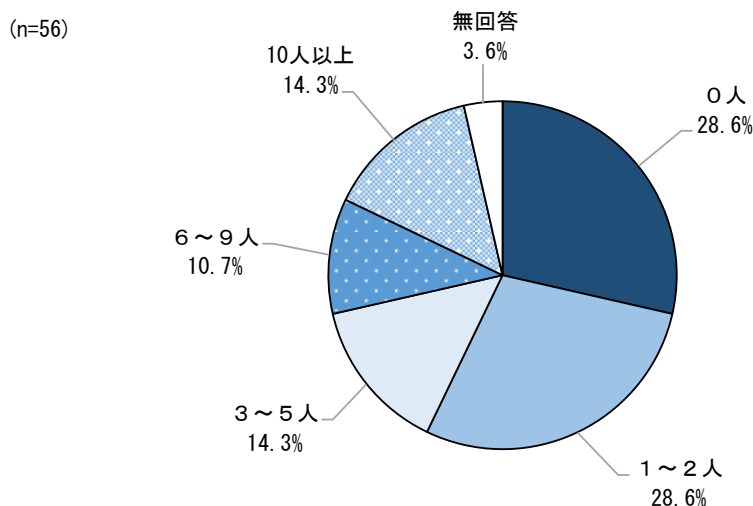
意見	件数
サービスとして対応していない	17
人員確保が難しい	9
運用方法が確立していないまたは、整備維持が困難になっている	8
利用者に対象者がいない	6
体制として整備しており対応可能である	2
その他	3
延べ件数	45

(6) 施設（事業所）での看取りに係わった実人数

【問9で「整えている」を回答した方のみ】

問9-2	令和3年4月から令和4年3月末までの施設（事業所）での看取りに関わった実人数を教えてください。	数値入力
-------------	---	------

看取りの体制を整備している事業者に、看取りに関わった実人数について聞いたところ、「0人」「1～2人」が28.6%で最も多く、次いで「3～5人」「10人以上」が14.3%、「6～9人」が10.7%となっています。

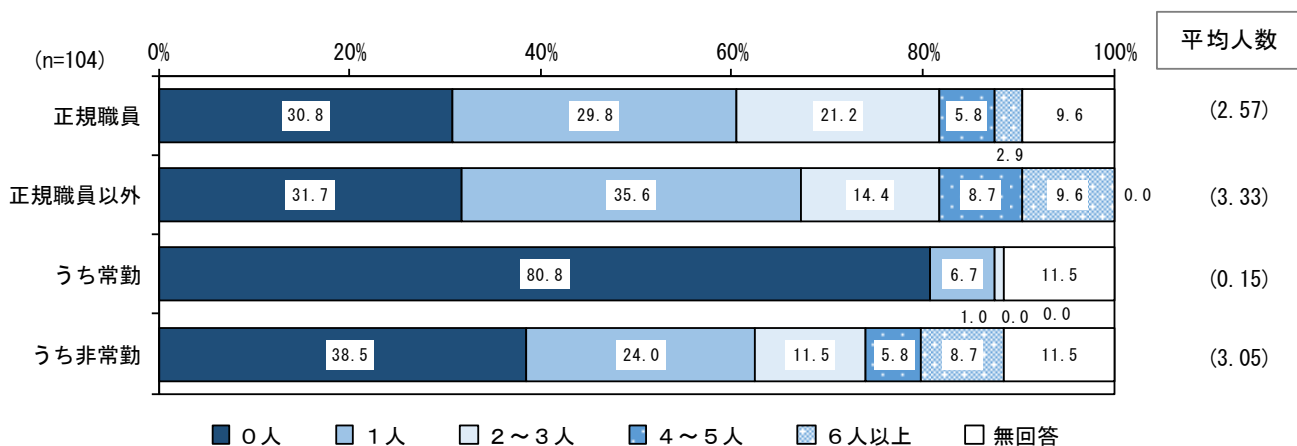


4 職員の処遇改善に向けた取組について

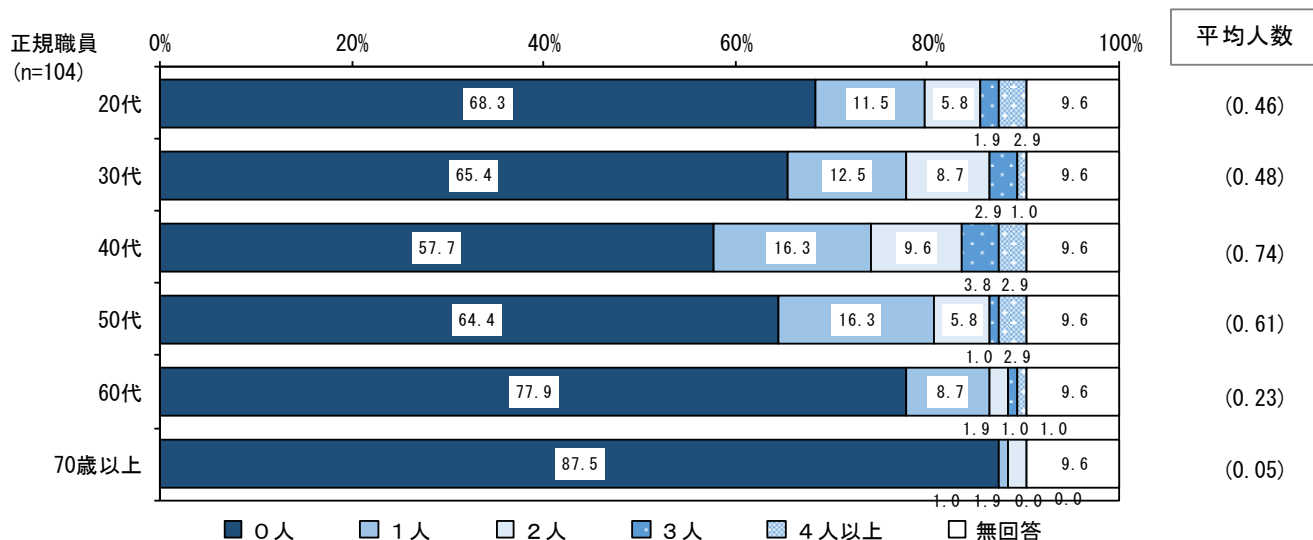
(1) 令和3年度における介護職員の採用人数

問 10	令和3年度における介護職員の採用状況を教えてください。(令和3年4月1日～令和4年3月31日、茨木市内での事業状況) 合計と年齢別人数と合わせてください。	数値入力
-------------	---	------

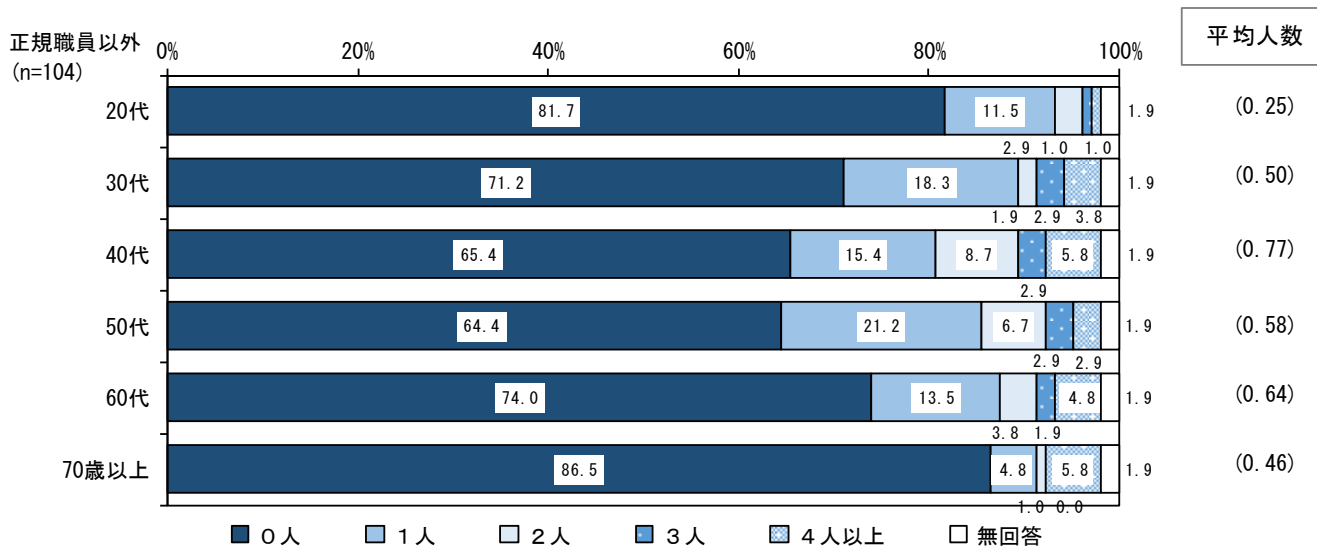
令和3年度における介護職員の採用状況について、「正規職員」が平均 2.57 人、「正規職員以外」が平均 3.33 人となっており、正規職員以外のうち「常勤」は平均 0.15 人、「非常勤」は平均 3.05 人となっています。



また、正規職員の年齢について、「40代」が平均 0.74 人で最も多く、次いで「50代」が平均 0.61 人、「30代」が平均 0.48 人となっており、正規職員以外の年齢について、「40代」が平均 0.77 人で最も多く、次いで「60代」が平均 0.64 人、「50代」が平均 0.58 人となっています。



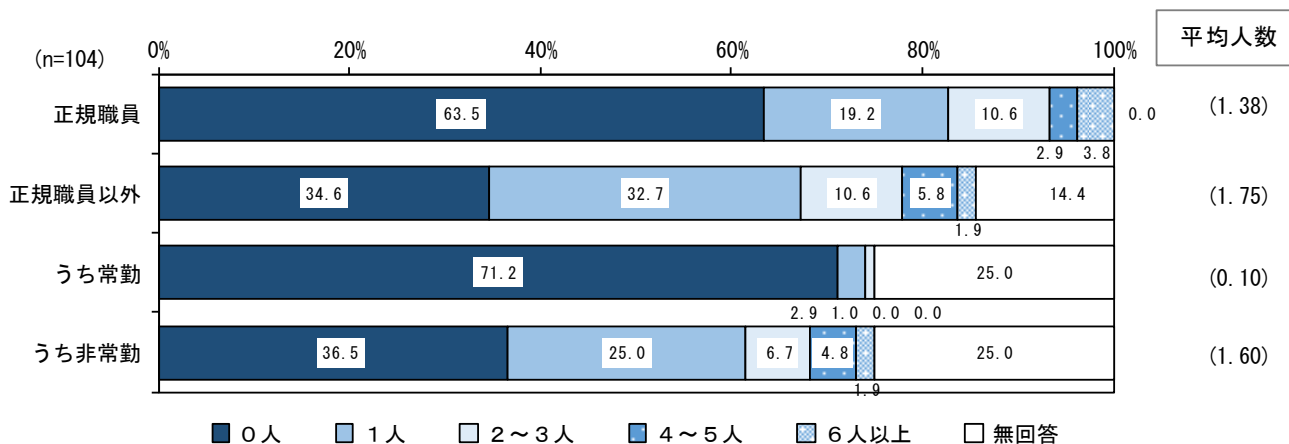
第4章 介護保険事業者調査の結果



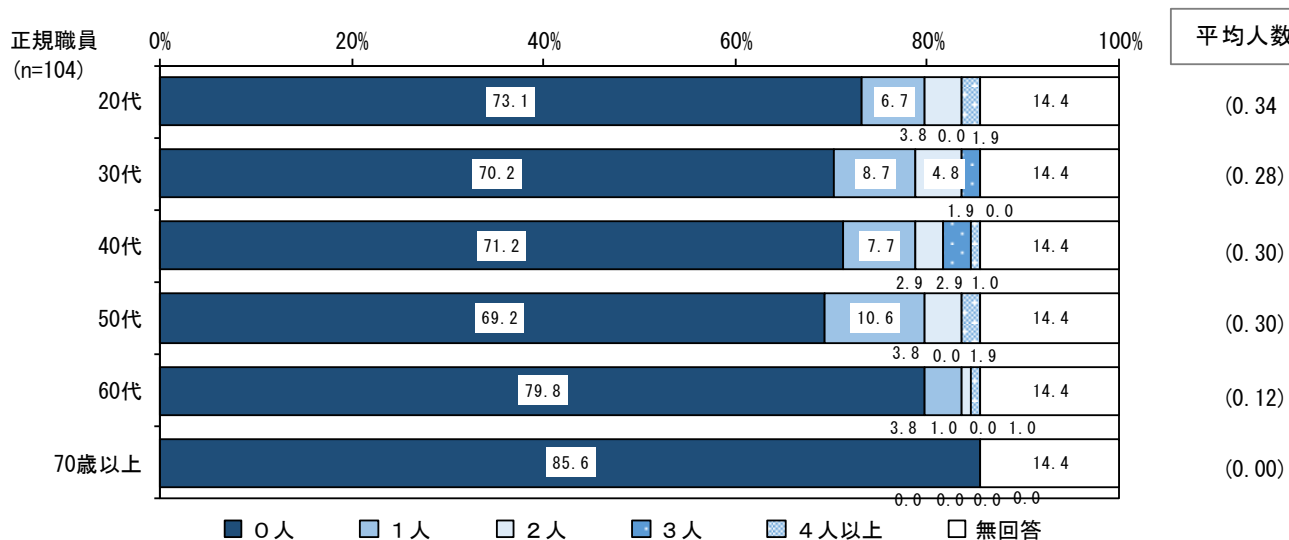
(2) 令和3年度における介護職員の離職人数

問 11	令和3年度における介護職員の離職状況を教えてください。(令和3年4月1日～令和4年3月31日、茨木市内での事業状況)合計と年齢別人数及び勤続年数別人数と合わせてください。また、勤続年数は、貴法人での勤続年数としてください。	数値入力
-------------	---	------

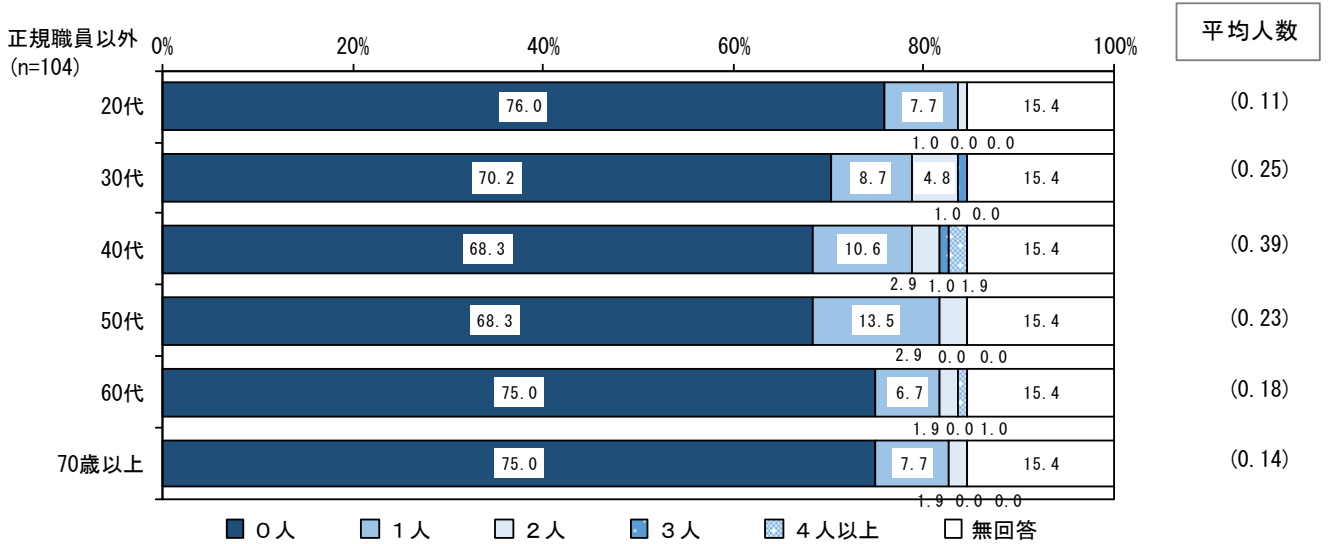
令和3年度における介護職員の離職状況について、「正規職員」が平均1.38人、「正規職員以外」が平均1.75人となっており、正規職員以外のうち「常勤」は平均0.10人、「非常勤」は平均1.60人となっています。



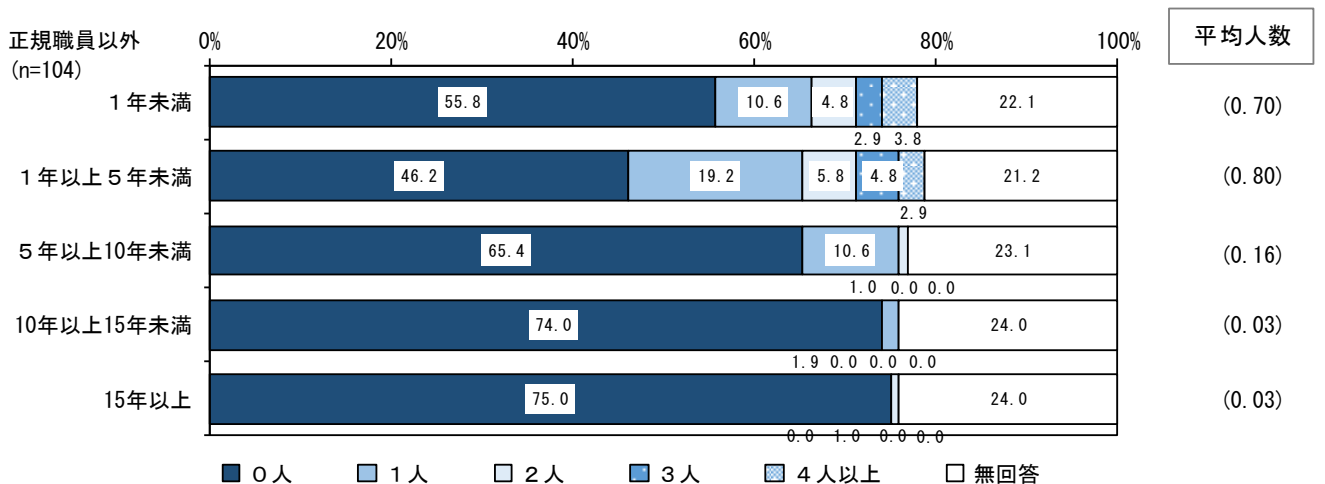
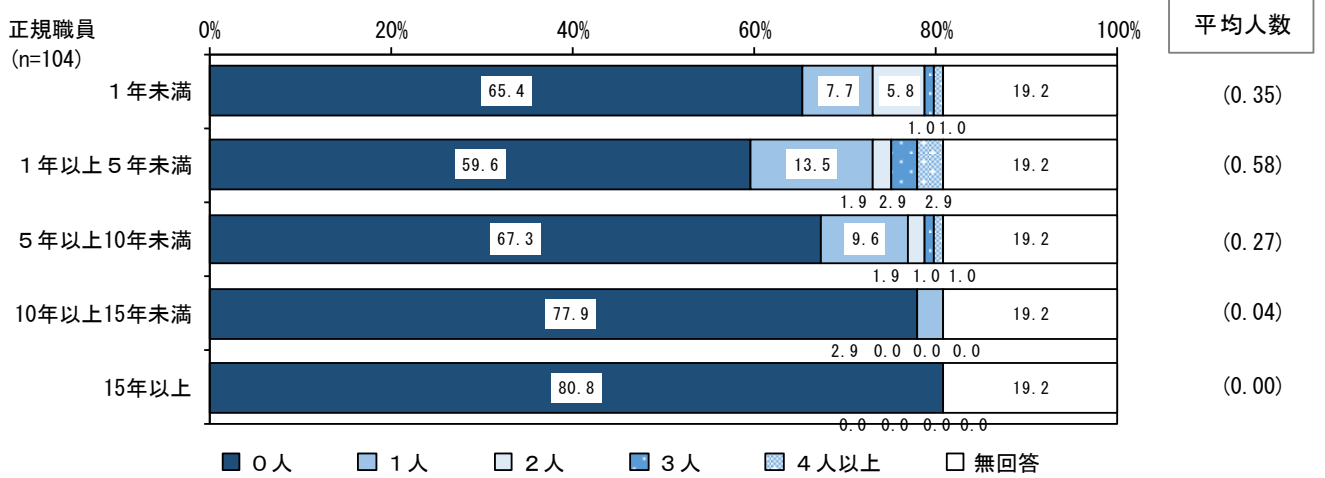
また、正規職員の年齢について、「20代」が平均0.34人で最も多く、次いで「40代」「50代」が平均0.30人、「30代」が平均0.28人となっており、正規職員以外の年齢について、「40代」が平均0.39人で最も多く、次いで「30代」が平均0.25人、「50代」が平均0.23人となっています。



第4章 介護保険事業者調査の結果



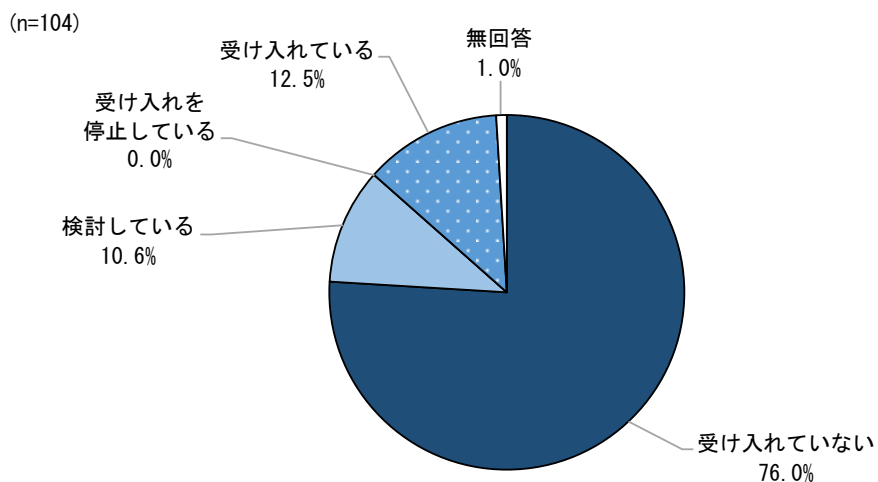
さらに、正規職員の勤続年数について、「1年以上5年未満」が平均0.58人で最も多く、次いで「1年未満」が平均0.35人、「5年以上10年未満」が平均0.27人となっており、正規職員以外の勤続年数について、「1年以上5年未満」が平均0.80人で最も多く、次いで「1年未満」が平均0.70人、「5年以上10年未満」が平均0.16人となっています。



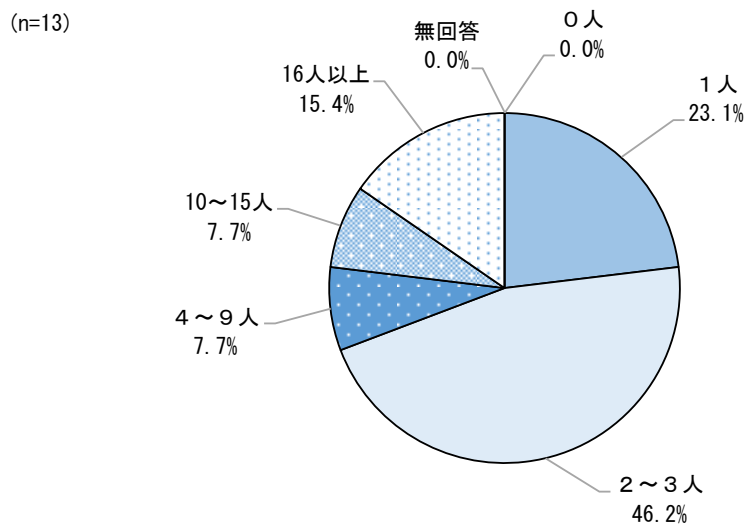
(3) 外国人介護職員の採用状況

問 12	調査時点（令和4年10月1日時点）における外国人介護職員の採用状況について教えてください。	○は1つ
-------------	---	------

外国人介護職員の採用状況について、「受け入れていない」が76.0%で最も多く、次いで「受け入れている」が12.5%、「検討している」が10.6%となっています。



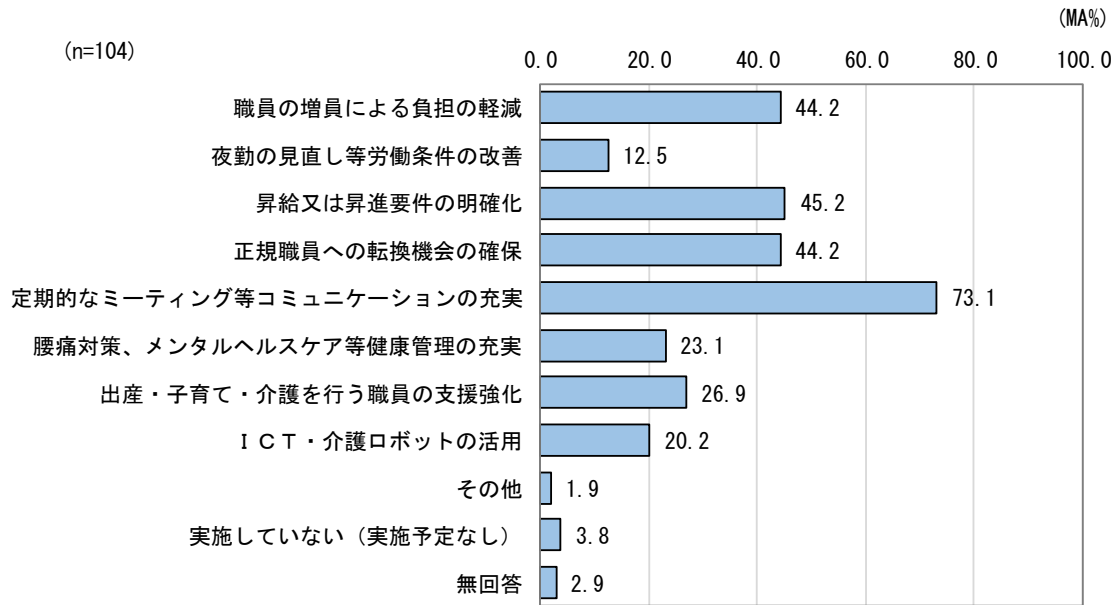
また、外国人介護職員を受け入れている事業者に、受け入れ人数について聞いたところ、「2～3人」が46.2%で最も多く、次いで「1人」が23.1%、「16人以上」が15.4%となっています。



(4) 職員の処遇向上のために取り組んでいること

問 13 職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか。 ○はいくつでも

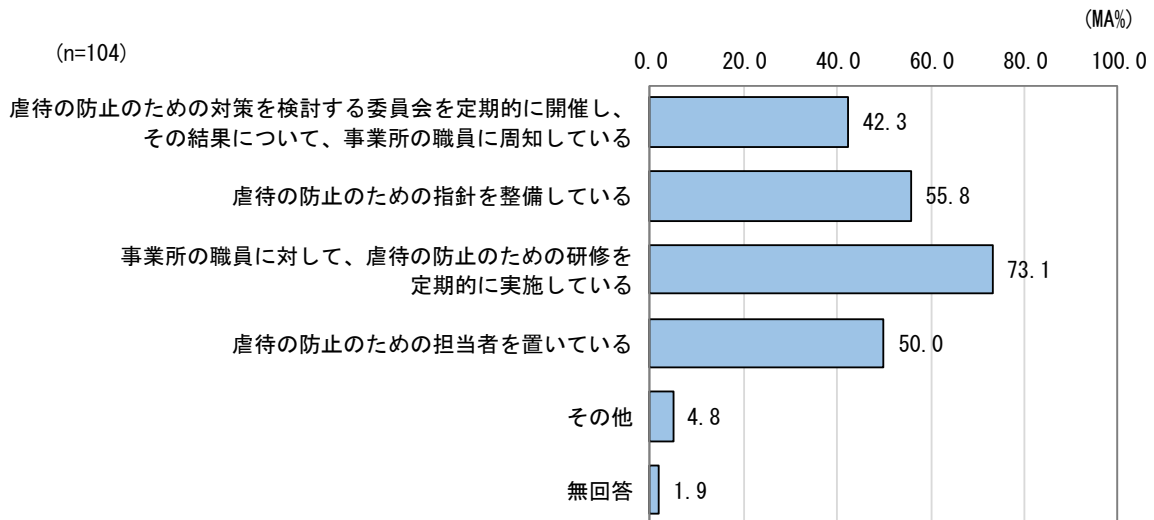
職員の処遇向上のために取り組んでいることについて、「定期的なミーティング等コミュニケーションの充実」が73.1%で最も多く、次いで「昇給又は昇進要件の明確化」が45.2%、「職員の増員による負担の軽減」「正規職員への転換機会の確保」が44.2%となっています。



(5) 利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策

問 14 利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策がなされていますか。 ○はいくつでも

利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策について、「事業所の職員に対して、虐待の防止のための研修を定期的実施している」が73.1%で最も多く、次いで「虐待の防止のための指針を整備している」が55.8%、「虐待の防止のための担当者を置いている」が50.0%となっています。



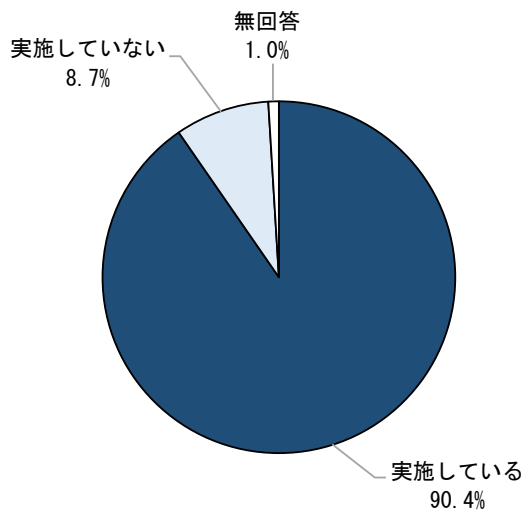
(6) 利用者の人権や虐待防止に関する研修の実施状況

問 15 利用者の人権や虐待防止に関する研修を年に一度以上実施していますか。

○は1つ

利用者の人権や虐待防止に関する研修を年に一度以上実施しているかについて、「実施している」が90.4%、「実施していない」が8.7%となっています。

(n=104)



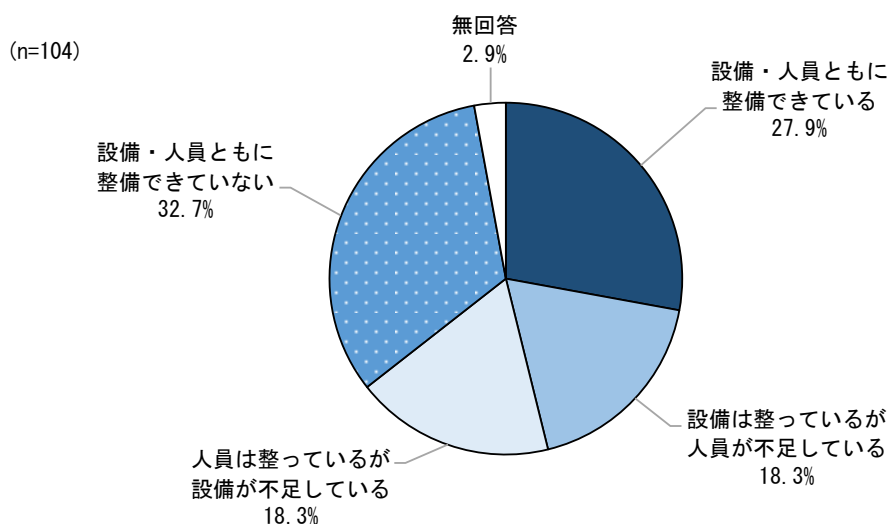
利用者の人権や虐待防止に関する研修を年に一度以上実施していない事業者に、その理由について聞いたところ、以下のとおりとなっています。

意見	件数
今後、実施する予定	3
協会の研修を受講している	1
開設したばかりでまだできていない	1
人的、時間的な余裕がない	1
コロナ禍で大人数による研修は困難だった	1
その他	1

(7) 事業所でのICTの整備状況

問 16 事業所でのICTの推進について、体制は整備できていますか。 ○は1つ

事業所でのICTの整備状況について、「設備・人員ともに整備できていない」が32.7%で最も多く、次いで「設備・人員ともに整備できている」が27.9%、「設備は整っているが人員が不足している」「人員は整っているが設備が不足している」が18.3%となっています。



事業所でのICTの整備ができていない事業者に、その理由について聞いたところ、以下のとおりとなっています。

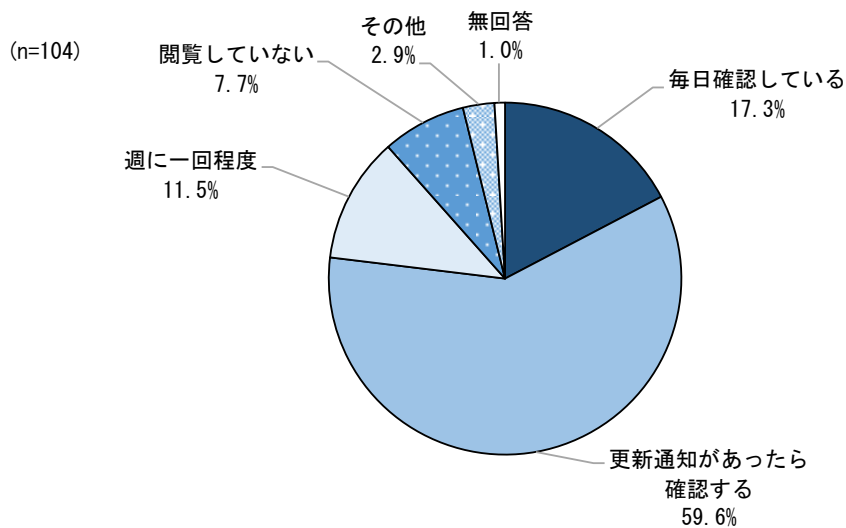
意見	件数
資金不足	9
人手不足、適応できる人材がいない	8
必要性を感じていない、そこまで仕事量がない	4
検討中	2
今後整備予定、検討中	2
使いこなせるか不安、対応が難しい	2
知識がない	1
導入の費用対効果が期待できない	1
wi-Fi環境がない	1
データ通信料金が高額になるため、職員のスマートフォン等の端末を支給できていない	1
社内の情報セキュリティ整備のため	1

※事業所でのICTの推進とは、ICTを介護現場のインフラとして導入することで、介護職員が行政に提出する文書等の作成に要する時間を効率化し、介護サービスの提供に集中することが期待されます。

(8) ケア倶楽部の閲覧頻度

問 17	市ではケア倶楽部で情報を発信していますが、どれくらいの頻度でケア倶楽部を閲覧していますか。	○は1つ
-------------	---	------

ケア倶楽部の閲覧頻度について、「更新通知があったら確認する」が59.6%で最も多く、次いで「毎日確認している」が17.3%、「週に一回程度」が11.5%となっています。



5 自由意見

問18	その他、ご意見やご要望などお気づきのことがありましたらご記入ください。	記述
------------	-------------------------------------	----

意見
I C Tの推進をされているが職員全員がパソコン教育を受けていない世代のため、扱えるようになるまで時間を要すると思われ、使えるのか不確実なため、導入に踏み切れない。そのような世代の人間にサポート体制があれば良いと思うが、平日のサービス提供中は少人数で行っているため、職員を出せないで、休日の講習会などがあれば助かります。
変更届等電子申請を希望いたします。
Wi-Fi 環境整備の補助金があればと願う。
市主催の就職フェアがあれば有難い。
I C T推進については、現在使用しているソフト対応不可。訪問系は全ての人材にタブレットを渡す設備投資ができない。介護2、3になると利用者は施設に入ってしまうので売り上げも上がらない。
茨木市には人材確保、定着の観点から積極的に取り組んでもらいたい。課題として他の事業所では既存の職員が退職や派遣できなくなると撤退する事案が多発しており、当事業所もその煽りを受けている。
人員不足を補うため、非常勤職員を常勤職員にしたいが、扶養の壁103万があるため、働きたくても、働けない職員がいる。この壁が改善されれば、人手不足の解消にもつながると思う。

資料（調査票）

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【ご回答にあたって】

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査 (高齢者の方へ)

■ ご協力をお願い

皆様には、日頃から市政の推進に温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、本市では、市民の皆様が高齢期を豊かに充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービス・介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取り組みを進めています。

このアンケート調査は、高齢者施策の充実を目的として、65歳以上の市民から無作為に抽出した3,000の方を対象に実施しています。

ご記入いただいた内容につきましては、個人情報保護に十分な注意を払い、本調査の目的以外には使用しませんので、率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の賜をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年11月

茨木市長 福岡 洋一

＜ご回答にあたってのお願い＞

回答の方法は、(1) 調査票での回答と、(2) インターネットでの回答の2種類からお選びください。

(1) 調査票での回答

◎回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、数字などを記入いただくものがあります。「○は1つ」「○はいくつでも」など回答方法を指定してありますので、ご注意のうえ、ご回答ください。鉛筆やボールペンなど、なんでも結構です。

◎質問には、令和4年11月1日現在をお答えください。

◎ご本人が、調査票をご記入できない場合は、ご家族の方による代筆記入でも構いません。

◎質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を() 内になるべく具体的に記入ください。

◎ご記入いただいた調査票は、12月20日(火)までに、同封の返信用封筒によりご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名や住所の記入や切手の貼付は不要ですので、そのままご投函ください。

(2) インターネットでの回答

◎右の二次元コードを読み取るか、下記のURLを入力し、パソコンやスマートフォンからご回答してください。

URL:

◎入力期限は、12月21日(水)午前0時までです。

調査票の記入にあたって、身近な方の読み上げや代筆記入ができない場合、また、記入にあたってわからないことがありましたら、長寿介護課までご連絡ください。

【この調査についての問い合わせ先】

茨木市 健康福祉部 長寿介護課 電話：072-620-1639

調査票を記入されたのはなですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみられた続柄)
3. その他()

問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1 あなたの身体上の性別は。(○は任意)

※統計的な分析に必要であるためお聞きしています

1. 男性
2. 女性

Q2 年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90歳以上

Q3 あなたのお住まいの町名を教えてください。

茨木市 _____ (町・丁目)

Q4 家族構成を教えてください。(○は1つ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他()

Q5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない (→Q6へ)
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (→Q6へ)
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) (→Q5-1へ)

Q5-1【Q5で「3. 現在、何らかの介護を受けている」を回答した人のみ】
 主にどのような介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	

Q6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問2 からだを動かすことについて

Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q3 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q4 現在、あなたはどのくらいの頻度で運動をしていますか。(〇は1つ)

1. 週5日以上	2. 週3~4日	3. 週2日
4. 週1日	5. 月1~3日	6. 月1日未満
7. 全く運動していない		

Q5 普段、1日に「座っている」(仕事を含めて)時間はどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 3時間未満	2. 3~8時間未満	3. 8時間以上
----------	------------	----------

Q6 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

Q7 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

Q8 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上

Q9 あなたは普段どれくらいの範囲まで歩いて出かけますか。(〇は1つ)

1. 歩いて5分以内	2. 歩いて15分以内	3. 歩いて30分以内
4. 歩いて45分以内	5. 歩いて1時間以内	6. 歩いて1時間以上

Q10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

Q11 外出を控えていますか。(〇は1つ)

1. はい (→Q11-1へ)	2. いいえ (→Q12へ)
-----------------	----------------

Q11-1【Q11で「1. はい」(外出を控えている)を回答した人のみ】
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

1. 病気のため	2. 障害のため
3. 足腰などの痛みの不安	4. トイレの心配(失禁など)
5. 外での楽しみがない	6. 経済的に出られない
7. 交通手段がない	8. 階段等、段差が多く移動しにくい
9. 外出するための移動手段がない	10. 車や自転車の通行が多く移動しにくい
11. 近くに買い物等ができる場所がない	12. 趣味や娯楽を楽しめる場所がない
13. コロナ感染の不安のため	14. その他 ()

Q12 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他()		

問3 食べることについて

Q1 身長・体重

身長 cm 体重 kg

Q2 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q4 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

Q5 どなたかと食事をもにされる機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

Q6 1日の食事回数は何回ですか。(○は1つ)

1. 1日3回 2. 1日2回 3. 1日1回
4. その他()

Q7 食生活を改善してみようと思えますか。(○は1つ)

1. 既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
2. 既に改善に取り組んでいる(6か月未満)
3. 近いうち(1か月以内)に改善するつもり
4. そのうち(6か月以内)に改善するつもり
5. 改善するつもりはない

問4 毎日の生活について

Q1 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q2 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q4 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している (→Q5へ)
2. できるけどしていない (→Q4-1へ)
3. できない (→Q4-1へ)

Q4-1【Q4で「2. できるけどしていない」「3. できない」を回答した人のみ】
食事の確保はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 家族が買い物や調理をしている
2. ヘルパーが買い物や調理をしている
3. デイサービス利用時に食事が提供されている
4. 配食サービスを利用している
5. その他()

Q5 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q7 新聞、本、雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q8 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある 2. 関心はない

Q9 趣味・生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 趣味・生きがいあり → 具体的に記入してください
 2. 思いつかない

Q10 次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものがありますか。(○はいくつでも)

1. 固定電話 2. 携帯電話 3. スマートフォン
 4. タブレット端末 5. パソコン 6. その他 ()
 7. 使用していない

Q11 日常生活で困りごとはありますか。(○はいくつでも)

1. 買い物
 2. 通院の付き添い
 3. 外出先への同行
 4. 最寄駅までの送迎
 5. 洗濯物を干す・取り込む
 6. ゴミ出し
 7. 電球の取替え
 8. 家具などの重い物の移動
 9. 調理
 10. 安否確認と声掛け
 11. 話し相手や相談相手
 12. 部屋の掃除・片付け
 13. その他 ()
 14. 特に困りごとはない

問5 地域での活動について

Q1① 「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1② 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1③ 「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1④ 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1⑤ 「(いきいき交流広場、街かどデハハウス、コミュニティデハウスなど) 介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1⑥ 「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1⑦ 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q1⑧ 「収入のある仕事」をどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回
 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 行っていない

Q2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

Q3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい (→Q3-1へ)
 2. 参加してもよい (→Q3-1へ)
 3. 参加したくない (→Q4へ)
 4. 既に参加している (→Q4へ)

Q3-1 【Q3で「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」を回答した人のみ】
 地域づくりの活動に参加した際、報酬は必要だと思いますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q 4 どのような居場所があれば利用しようと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家から近い
2. 趣味・スポーツの場
3. 一緒に食事ができる場
4. 学習の場
5. ボランティア活動の場
6. 仕事のできる場
7. 世代間交流ができる場
8. その他 ()

問 6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします

Q 1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

Q 2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

Q 3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

Q 4 反対に、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

Q 5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師
5. 地域包括支援センター
6. 市役所
7. その他 ()
8. そのような人はいない

Q 6 もしご近所に手助けを必要とする人がいる場合に、あなたはどんな手助けができますか。(〇はいくつでも)

1. 買い物
2. 通院の付き添い
3. 外出先への同行
4. 最寄駅までの送迎
5. 洗濯物を干す・取り込む
6. ゴミ出し
7. 電球の取替え
8. 家具などの重い物の移動
9. 調理
10. 安否確認と声掛け
11. 話し相手や相談相手
12. 部屋の掃除・片付け
13. その他 ()
14. 心身の状況などできてきない

Q 7 もし生活に困りごとができた場合に、近所や地域の人に頼みづらいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 買い物
2. 通院の付き添い
3. 外出先への同行
4. 最寄駅までの送迎
5. 洗濯物を干す・取り込む
6. ゴミ出し
7. 電球の取替え
8. 家具などの重い物の移動
9. 調理
10. 安否確認と声掛け
11. 話し相手や相談相手
12. 部屋の掃除・片付け
13. 頼みづらいことはない (→問7へ)
14. その他 ()

Q 7-1 【Q 7で「13. 頼みづらいことはない」以外を回答した人のみ】近所や地域の人に、頼みづらい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 相手がどんな人かわからない
2. トラブルになりそう
3. 恥ずかしい
4. 世間体が気になる
5. 身体的理由
6. その他 ()

問7 健康について

Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

Q2 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

- とても不幸
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
とても幸せ

Q3 あなたは、健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている (歯みがき、うがいなど)
3. 規則的な生活を心がけている (夜更かしをしないなど)
4. 体重を定期的に測っている
5. 定期的な運動を心掛けている
6. 定期的に健康診断を受けたり、かかりつけの医師 (主治医) に診てもらっている
7. 休養や睡眠を十分にとっている
8. 友人や家族とよく会話をしている
9. 閉じこもらないよう外に出る頻度を増やしている
10. その他 ()
11. 特にない

Q4 お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

Q5 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

Q6 この1か月間、気分が流んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q7 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q8 現在あなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(補聴器をつけている人は、補聴器を外した状態についてお答えください)(○は1つ)

1. 普通 (→Q9へ)
2. 普通の声やがと聞き取れる (→Q8-1へ)
3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる (→Q8-1へ)
4. ほとんど聞こえない (→Q8-1へ)

Q8-1 【Q8で「1. 普通」以外を回答した人のみ】

現在、補聴器を使用していますか。(○は1つ)

1. 使用している (→Q9へ)
2. 持っているが、使用していない (→Q9へ)
3. 持っていない (→Q8-2へ)

Q8-2 【Q8-1で「3. 持っていない」を回答した人のみ】
持っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 補聴器は高額だから
2. 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから
3. 補聴器を使用することがわずらわしいから
4. 耳が聞こえにくくなっていくことを周りに知られたくないから
5. その他 ()

Q9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

Q10 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などはいですか。
(○はいくつでも)

1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師

Q11 あなたが、趣味や交流活動として実施していることはありますか。
(○はいくつでも)

1. 図書館・公園・プールなどの身近な施設へ出かけること
2. 近所に買い物に出かけること
3. 国内旅行や海外旅行に行くこと
4. 自分の好きな俳優や劇団などのショーやコンサートに出かけること
5. 野球や相撲などスポーツを観戦すること
6. ジムやフィットネスクラブなどで、身体を動かすこと
7. 囲碁や書道、音楽、絵画、語学など趣味を楽しむこと
8. みんなと一緒に食事をしたり、食事を作ったりして楽しむこと
9. 子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと
10. その他 ()

Q12 自立的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

1. はい (→Q12-1へ) 2. いいえ (→問8へ)

Q12-1 【Q12で「1. はい」を回答した人のみ】

どれくらいの頻度で健康診断を受けていますか。(○は1つ)

1. 1年に1回以上 2. 2年に1回程度 3. 3年に1回程度
4. 4～5年に1回程度

問8 認知症について

Q1 あなた自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいですか。
(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q2 あなたが認知症になったら、どのような支援を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 認知症や認知症介護に対する理解
2. あなたの話し相手
3. ご家族の話し相手
4. 集まりの場への受け入れ、誘い
5. 日常生活（買い物など）の手助け
6. ご家族が外出しているときの見守り・声掛け
7. 利用できるサービスに関する説明
8. 医療機関での相談
9. 就労支援
10. その他 ()

Q3 あなたの家族が認知症になったら、どのような支援を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 認知症や認知症介護に対する理解
2. 認知症ご本人の話し相手
3. あなたの話し相手
4. 認知症ご本人の集まりの場への受け入れ、誘い
5. あなたの集まりの場への受け入れ、誘い
6. 日常生活（買い物など）の手助け
7. あなたが外出しているときの見守り・声掛け
8. 利用できるサービスに関する説明
9. 医療機関での相談
10. 就労支援
11. その他 ()

Q4 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい (→Q4-1へ) 2. いいえ (→Q5へ)

Q4-1 【Q4で「1. はい」を回答した人のみ】

知っている相談窓口はどこですか。(○はいくつでも)

1. 地域包括支援センター 2. 市役所
 3. 医療機関 (かかりつけ医) 4. 認知症専門医 (物忘れ外来等)
 5. ケアマネジャー
 6. 認知症初期集中支援チーム (チーム・オレンジいばらき)
 7. 認知症オレンジダイヤル (認知症地域支援推進員)
 8. 民生委員
 9. 老人介護家族の会
 10. その他 ()

Q5① 「認知症ポーター養成講座」を実施していますが、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない

Q5② 「認知症カフェ」(いばらきオレンジかふえ) が市内で実施されていますが、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない

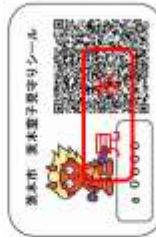
Q5③ 「認知症介護家族教室」を実施していますが、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない

Q5④ 「茶木童子見守りシール」を、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない

※茶木童子見守りシール：行方不明になる心配のある高齢者の見守りや早期発見・事故防止を図るために衣類等に貼るシール



問9 人生の最期について

Q1 「終活」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない

Q2 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。(○は1つ)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している
 2. 詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない
 3. 話し合ったことがある
 4. まったく話し合ったことがない

Q3 アドバンス・ケア・プランニング (ACP、人生会議) について、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている (→Q3-1へ)
 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない (→Q4へ)
 3. 知らない (→Q4へ)

※アドバンス・ケア・プランニングとは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと

Q3-1 【Q3で「1. 知っている」を回答した人のみ】
 どのような取り組みをしていますか。(○は1つ)

1. 延命処置等について家族で話し合いをした
 2. 医師等に相談している
 3. エンディングノート等を作成した
 4. その他 ()

Q4 あなたは、介護が必要になった時、また今よりも重くなった時、あなたはどこで介護を受けたいですか。(○は1つ)

1. 自宅 2. 介護施設 3. 病院
 4. どこでもよい 5. その他 () 6. わからない

Q5 在宅での看取りを考えたことはありませんか。(○は1つ)

1. 考えたことはない (→Q6へ)
 2. 家族と具体的に話し合っていないが、考えたことはある (→Q5-1へ)
 3. 家族と具体的に話をしている (→Q5-1へ)

Q5-1 【Q5で「1. 考えたことはない」以外を回答した人のみ】

看取りを可能とするために、必要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 医療機関の確保 2. 医療や介護の知識
 3. 相談相手 4. 家族の協力体制
 5. 経済力 6. その他 ()

Q 6 もし、家族や医療介護関係者の方と医療・療養について話し合うきっかけがある
とすれば、どのようなタイミングだと思いますか。(話し合ったことがある方は、
何がきっかけでしたか。)(〇はいくつでも)

1. 誕生日
2. 自分の病気、ケガ
3. 退職
4. 運賃
5. 家族等の病気や死
6. その他 ()

問 10 自然災害の備えについて

Q 1 あなたは、災害時における自宅周りの避難所・避難場所を把握していますか。
(〇はいくつ)

1. 把握している
2. 把握していない

※避難場所：火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む先(河川敷や大きい公園など)

※避難場所：災害のため自宅を退避することが困難になった時に、避難生活を営む場所(学校や公民館など)

Q 2 茨木市のハザードマップを知っていますか。(〇はいくつ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 知らない

Q 3 ふだんの備えをされていますか。(〇はいくつ)

1. 準備している (→Q3-1へ)
2. 考えることはあるが、準備はしていない (→問11へ)
3. していない (→問11へ)

Q 3-1 【Q3で「1. 準備している」を回答した人のみ】
どのような準備をされていますか。(〇はいくつでも)

1. 家具の置き方を工夫している
2. 食料や飲料などを備蓄している
3. 非常用持ち出しバッグを準備している
4. 安否確認方法を決めている
5. 避難経路を確認している
6. その他 ()

問 11 高齢者施策全般について

Q 1 今後、茨木市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域で変え合う体制づくり
2. 社会参加の機会や生きがいの創出
3. 防災・防犯に関すること
4. 住まいに関すること
5. 医療に関すること
6. 介護に関すること
7. 生活支援や介護予防サービスの充実
8. 本人の自立を支援するための施策
9. 地域における通いの場など居場所の充実
10. その他 ()

16

Q 1-1 Q1で選択した項目について具体的なご意見・ご要望はありますか。

Q 2 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(〇はいくつ)

1. 内容まで知っている
2. 詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている
3. 名称を聞いたことがある程度
4. 知らない

※成年後見制度とは、認知症などの理由で判断能力が不十分な方の権利を守るため、不動産や預貯金
などの財産管理や介護サービスに関する契約などを、本人に代わって行う代理人を法的に定め、本
人を保護する制度です。この制度は、通常、本人が家族が裁判所に申し立てを行います。状況に
応じて、市が申し立てを支援することがあります。

Q 3 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合、どこに相談(通報)されますか。
(〇はいくつでも)

1. 地域包括支援センター
2. 市役所
3. 警察
4. ケアマネジャー・介護保険事業所職員
5. 社会福祉協議会
6. 民生委員
7. 医師・歯科医師・看護師
8. 自治会・町内会・老人クラブ
9. その他 ()

Q 4 高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組みが必要と思われるですか。
(〇はいくつでも)

1. 高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う
2. 虐待が疑われる場合は、すぐに相談(通報)する
3. 虐待防止についての学習会等に参加する
4. わからない
5. その他 ()

質問は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。

17

2 在宅介護実態調査

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 あなたの身体上の性別は。(〇は任意) ※統計的な分析に必要であるためお聞きしています

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- 1. 65歳未満
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問3 お住まいの町名を教えてください。

茨木市 _____ (町・丁目)

問4 要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

問5 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(1つを選択)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他()

問6 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他()

問7 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(複数選択可)

- 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 2. 心臓病
- 3. がん(悪性新生物)
- 4. 呼吸器の病気(肺炎・肺炎等)
- 5. 関節の病気(リウマチ等)
- 6. 認知症(アルツハイマー病等)
- 7. パーキンソン病
- 8. 糖尿病
- 9. 腎疾患(透析)
- 10. 視覚・聴覚障害
- 11. 骨折・転倒
- 12. 骨粗鬆症
- 13. 高齢による衰弱
- 14. その他
- 15. 不明

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- 1. 入所・入居は検討していない
- 2. 入所・入居を検討している
- 3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問9 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

- 1. 利用した ⇒問10へ
- 2. 利用していない ⇒問11へ

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査【在宅介護実態調査】 (在宅で生活されている要支援・要介護認定者と介護者の方へ)

■ ご協力をお願いします

皆様には、日頃から市政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。さて、本市では、市民の皆様が高齢期に充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービス・介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取り組みを進めています。

このアンケート調査は、高齢者施策の充実を目的として、在宅で生活されている要支援・要介護認定者から無作為に抽出した2,000人の方を対象に実施しています。

ご記入いただいた内容につきましては、個人情報保護に十分な注意を払い、本調査の目的以外には使用しませんので、幸運なご意見をお聞かせください。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年11月

茨木市長 福岡 洋一

<ご回答にあたってのお願い>

回答の方法は、(1)調査票での回答と、(2)インターネットでの回答の2種類からお選びください。

(1) 調査票での回答

◎回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、数字などをご記入いただくものがあります。「1つを選択」「複数選択可」など回答方法を指定していますので、ご注意のうえ、ご回答ください。鉛筆やボールペンなど、なんでも結構です。

◎質問には、令和4年11月1日現在でお答えください。

◎ご本人が、調査票をご記入できない場合は、ご家族の方による代筆記入でも構いません。

◎質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内になるべく具体的に記入ください。

◎ご記入いただいた調査票は、12月20日(火)までに、同封の返信用封筒によりご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名の記入や切手の貼付は不要ですので、そのままご投函ください。

(2) インターネットでの回答

◎右の二次元コードを読み取るか、下記のURLを入力し、パソコンやスマートフォンからご回答ください。

URL:

◎入力期限は、12月21日(水)午前0時までです。

【この調査についての問い合わせ先】

茨木市 健康医療部 長寿介護課 電話：072-620-1639

問6 今後、介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと
2. 精神的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと
3. 介護にいくらかお金がかかるのか分からないこと
4. 自分の収入が減るかもしれないこと
5. 自分の時間や楽しみが減るかもしれないこと
6. 住み慣れた家で生活を続けることができなくなるかもしれないこと
7. 友人と今までのように交流できなくなるかもしれないこと
8. 頼る人がいなくなるかもしれないこと
9. その他()
10. 不安に感じていることは、特になし

問7 介護者自身の困りごとの相談相手について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 職場の上司や同僚
4. 地域包括支援センター
5. 市役所
6. ケアマネジャー
7. 相談できない(理由)
8. その他()
9. 相談相手はいない

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

1. フルタイムで働いている ⇒問9～問10へ
2. パートタイムで働いている ⇒問9～問10へ
3. 働いていない ⇒問11～問12へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒調査終了です

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問9 「1」または「2」(働いている)と回答した方にお伺いします。

問9 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方について、調整等をしていきますか。(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問8 「1」または「2」(働いている)と回答した方にお伺いします。

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問8 「3. 働いていない」と回答した方にお伺いします。

問11 働いていない理由について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 働いていたが、介護のために離職した
2. 働きたかったが、介護のために就職できなかった
3. 介護する前から働いてなかった(就職する予定はなかった)
4. 大学・高校などに通学しながら介護を行っている
5. その他()

問8 「3. 働いていない」と回答した方にお伺いします。

問12 介護が終了した後の介護者ご自身の就労(パート含む)について、考えていることはありますか。(1つを選択)

1. 仕事を予定
2. 仕事はしない予定
3. 現時点では考えていない

問13 自宅等で安心して療養生活を送れるように、市では「はつらつバスポート(みんなで連携編)」

を作成し、要介護(要支援)認定等を受けて介護保険サービス等を利用される方に配布していますが、利用したことがありますか。(1つを選択)

1. 現在利用している
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 利用したことがない

みんなで連携編

- 対象：要支援・要介護認定を受けている市民
- 対象：医療と介護に関する情報共有手帳

本人や医療・介護スタッフ等が記入し、関係者の円滑な連携・連絡に活用



アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

3

介護保険事業者調査

問1 貴法人の概要について教えてください

法人名	
代表所在地	
法人種別 (○は1つ)	1. 医療法人 2. 社会福祉法人 3. 社団法人 4. 農協・生協 5. 株式会社 6. 有限会社 7. NPO法人 8. その他()
記入者	氏名 (役職) 連絡先 (TEL) (FAX)

問2 令和4年10月時点で提供しているサービス及び3年以内に参入を考慮しているサービスについてお聞きます (該当するものすべてに○)

	現在提供しているサービス		3年以内に参入を考慮しているサービス	
	介護	予防	介護	予防
1. 居宅介護支援				
2. 訪問介護				
3. 訪問入浴介護				
4. 訪問看護				
5. 訪問リハビリテーション				
6. 居宅療養管理指導				
7. 通所介護				
8. 通所リハビリテーション				
9. 短期入所生活介護				
10. 短期入所療養介護				
11. 特定施設入居者生活介護				
12. 福祉用具貸与				
13. 福祉用具販売				
14. 介護老人福祉施設				
15. 介護老人保健施設				
16. 介護医療院				
17. 小規模多機能型居宅介護				
18. 看護小規模多機能型居宅介護				
19. 認知症対応型共同生活介護				
20. 認知症対応型通所介護				
21. 夜間対応型訪問介護				
22. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護				
23. 地域密着型特定施設入居者生活介護				
24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護				

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査
(介護保険事業者の皆様へ)

■ ご協力をお願い

皆様には、日頃から市政の推進に温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、本市では、市民の皆様が高齢期を豊かに充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービス・介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取り組みを進めています。

このアンケート調査は、高齢者施策の充実を目的として、茨木市内で介護保険事業を営む事業者を対象に、実施するものです。

ご記入いただいた内容につきましては、すべて統計的に処理し、個別の事業者の情報を外部に出すことはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和4年11月

茨木市長 福岡 洋一

＜ご回答にあたってのお願い＞

回答の方法は、(1) 調査票での回答と、(2) インターネットでの回答の2種類からお選びください。

(1) 調査票での回答

◎回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。「○は1つ」「○はいくつでも」など回答方法を指定してありますので、ご注意のうえご回答ください。鉛筆やボールペンなど、なんでも結構です。

◎質問には、茨木市内での事業状況について、令和4年10月1日現在でお答えください。

(同一法人であっても、他市町村・他府県で運営するサービスは対象外です。)

◎質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内になるべく具体的にご記入ください。

◎ご記入いただいた調査票は、12月20日(火)までに、同封の返信用封筒によりご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名の記入や切手の貼付は不要ですので、そのままご投函ください。

(2) インターネットでの回答

◎右の二次元コードを読み取るか、下記のURLを入力し、パソコンやスマートフォンからご回答してください。

URL:

◎入力期限は、12月21日(水) 午前0時までです

[この調査についての問い合わせ先]

茨木市 健康医療部 長寿介護課 電話:072-620-1639

FAX:072-622-5950

問3 サービス提供に対する自己評価について、全体的にサービスは利用者のニーズに
 じて提供されていると思いますか (○は1つ)

1. 十分提供できている
2. どちらかといえば提供できている
3. どちらかといえば提供できていない
4. 提供できていない

問4 貴法人独自で介護保険サービス以外の事業を実施していますか (○はいくつでも)

1. お泊まりデイサービス
2. 買い物等のための送迎、移送
3. 配車 (市からの委託を除く)
4. その他 (具体的に)
5. 実施していない

問5 貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか
 以下から最も必要と考えられる情報・支援を選択してください (○はいくつでも)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報
3. 情報提供・相談等の窓口
4. 介護技術・方法に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報
7. 困難事例、多問題事例に関する情報
8. 介護予防に関する情報
9. 研修・講座等に関する情報
10. 事業所連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
11. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
12. サービス展開のための土地・建物に関する情報
13. 感染症や災害対策に関する情報
14. その他 (具体的に)
15. 特に必要な情報はない

問6 医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか
 (○はいくつでも)

1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している
4. 提携病院があり、一時的な入院を受け入れてもらっている
5. その他 (具体的に)
6. 法人としての取り組みはなく、各事業所に任せている
7. 自らもしくは法人として医療機関を経営しており、連携の問題はない

問7 医療機関との連携について、困難に感じることがありますか (○は1つ)

1. ない (ある場合) どのようなことですか
2. ある → 具体的に

問8 医療ニーズの高い利用者を受け入れていきますか (○は1つ)

1. 受け入れていない (受け入れている場合) 職員体制や研修等どのような配慮をしていますか
2. 受け入れています → 具体的に

問9 看取りの体制を整備していますか (○は1つ)

(ただし、ここでの看取りとは、看取り加算の算定にかかわらず、終末期のケアにかかわることを指します)

1. 整えていない ⇒ 問9-1へ	2. 整えている ⇒ 問9-2へ
-------------------	------------------

問9-1 【問9で「1. 整えていない」を回答した方のみ】

看取りができさない (困難な) 理由について、ご記入ください

--

問9-2 【問9で「2. 整えている」を回答した方のみ】

令和3年4月から令和4年3月までの施設 (事業所) での看取りに関わった実
 人数を教えてください

() 人

問10 令和3年度における介護職員の採用状況を教えてください (○は1つ)
 (令和3年4月1日～令和4年3月31日、茨木市内での事業状況)

正規職員	合計 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人
	年齢	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人
正規職員以外	合計 () 人	うち常勤 () 人	うち非常勤 () 人	
	年齢	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人
		50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人

問11 令和3年度における介護職員の継続状況を教えてください
 （令和3年4月1日～令和4年3月31日、茨木市内での事業状況）
 合計と年齢別人数及び勤続年数別人数と合わせてください
 また、勤続年数は、貴法人での勤続年数としてください

合計	()人
年齢	20代()人 30代()人 40代()人 50代()人 60代()人 70歳以上()人
勤続年数	1年未満()人 1年以上5年未満()人 5年以上10年未満()人 10年以上15年未満()人 15年以上()人
合計	()人 うち常勤()人 うち非常勤()人
年齢	20代()人 30代()人 40代()人 50代()人 60代()人 70歳以上()人
勤続年数	1年未満()人 1年以上5年未満()人 5年以上10年未満()人 10年以上15年未満()人 15年以上()人

問12 調査時点（令和4年10月1日時点）における外国人介護職員の採用状況について
 教えてください（〇は1つ）

1. 受け入れていない
 2. 検討している
 3. 受け入れを停止している（受け入れている場合）受け入れ人数を教えてください
 4. 受け入れている → ()人

問13 職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか（〇はいくつでも）

1. 職員の増員による負担の軽減
 2. 夜勤の見直し等労働条件の改善
 3. 昇給又は昇進条件の明確化
 4. 正規職員への転換機会の確保
 5. 定期的なミーティング等コミュニケーションの充実
 6. 階層対談、メンタルヘルスマスクケア等健康管理の充実
 7. 出産・子育て・介護を行う職員の支援強化
 8. ICT・介護ロボットの活用
 9. その他（具体的に）
 10. 実施していない（実施予定なし）

問14 利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策がなされていますか（〇はいくつでも）

1. 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催し、その結果について、事業所の職員に周知している
 2. 虐待の防止のための指針を整備している
 3. 事業所の職員に対して、虐待の防止のための研修を定期的の実施している
 4. 虐待の防止のための担当者を選んでいる
 5. その他（具体的に）

問15 利用者の人権や虐待防止に関する研修を年に一度以上実施していますか（〇は1つ）

1. 実施している（実施していない場合）理由を教えてください
 2. 実施していない →

問16 事業所でのICTの推進について、体制は整備できていますか（〇は1つ）

1. 設備・人員ともに整備できている
 2. 設備は整っているが人員が不足している
 3. 人員は整っているが設備が不足している（整備できていない場合）理由を教えてください
 4. 設備・人員ともに整備できていない →

※事業所でのICTの推進とは、ICTを介護現場のインフラとして導入することで、介護職員が行政に提出する文書等の作成に要する時間を効率化し、介護サービスの提供に集中することが期待されます。

問17 市ではケア倶楽部で情報を発信していますが、どれくらいの頻度でケア倶楽部を閲覧していますか（〇は1つ）

1. 毎日確認している
 2. 更新通知があったら確認する
 3. 週に一回程度
 4. 閲覧していない
 5. その他（具体的に）

問18 その他、ご意見やご要望などお気づきのことがありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました

茨木市保健福祉に関するアンケート調査

[高齢者・在宅介護者・介護保険事業者]

報告書

令和5年(2023年)3月

発行 茨木市

茨木市駅前三丁目8番13号

電話 072-620-1639 FAX 072-622-5950
